DESIGNJET T7100 および T7100 Monochrome プリンタ シリーズ

プリンタの使い方

第 1 版

法律に関する注記

このマニュアルに記載した内容は、予告なしに変更することがあります。HP 製品およびサービスの保証は、該当する製品およびサービスに付属する明示された保証書の記載内容に限られるものとします。明示された保証書の記載内容とは異なる別のセクション中のいかなる内容も、付加的な保証として解釈されないものとします。弊社は、本書に含まれる技術上および編集上の誤りまたは欠落について、一切責任を負うものではありません。

商標

Adobe®、Acrobat®、Adobe Photoshop®、および PostScript®は、Adobe Systems Incorporated の商標です。

Microsoft®および Windows®は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

PANTONE®*は*Pantone, Inc.の色に関する標準基準の商標です。

目次

1 はじめに

安全に関する注意

次の注意事項に従うことにより、プリンタを適切に使用してプリンタの故障を防ぐことができます。常にこれらの注意事項に従ってください。

- 製品プレートに示された電源電圧を使用してください。プリンタの電源コンセントに複数のデバイスを接続して、過負荷をかけないようにしてください。
- プリンタが接地していることを確認します。プリンタを接地しないと、感電、発火、電磁妨害の影響を受ける可能性があります。
- 弊社の許可がない限り、プリンタを分解または修理しないでください (177 ページの 「カスタマー セルフ リペア」を参照)。サービスについては、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせください。178 ページの 「HP カスタマー・ケア」を参照してください。
- プリンタ付属の HP が提供する電源コード以外は使用しないでください。電源コードの破損、切断、修理は避けてください。破損した電源コードは、発火や感電の恐れがあります。破損した電源コードは HP 純正の電源コードと交換してください。
- 金属または液体 (HP クリーニング キットで使用するものを除く) がプリンタの内部部品に触れないようにしてください。発火、感電、またはその他の重大な事故の原因となる可能性があります。
- 次のいずれかの場合には、プリンタの電源をオフにして、電源コンセントから電源ケーブルを抜いてください。
    - プリンタ内部に手を入れる場合
    - プリンタから煙が出たり、異様な臭いがする場合
    - プリンタが通常の動作中には発生しない異常なノイズを発生する場合
    - 金属や液体 (クリーニングおよび保守手順の一部ではなく) がプリンタの内部部品に触れた場合
    - 雷雨時
    - 停電時

製品モデル

このガイドでは、次の製品モデルを対象にします。通常は、これらのモデルを簡潔に省略名で表現します。

正式名	省略名	製品番号
HP Designjet T7100	T7100	CQ105A、CQ106A
HP Designjet T7100 (PostScript アップグレード キット付属)	T7100ps	CQ105A、CQ106A + CQ745A
HP Designjet T7100 Monochrome	T7100 Mono	CQ101A、CQ102A
HP Designjet T7100 Monochrome (PostScript アップグレード キット付属)	T7100ps Mono	CQ101A、CQ102A + CQ745A

このガイドの使用方法

『*HP スタートアップ キット*』DVD に含まれているこのガイドには本製品の情報の詳細が収められており、以下の章で構成されています。

はじめに

この章では、本プリンタを初めて使用するユーザのために、本プリンタおよびマニュアルについて簡単に説明します。

使用方法と保守

これらの章では、通常のプリンタ操作手順を説明します。以下の項目が含まれます。

- 12 ページの 「接続およびソフトウェア手順」
- 19 ページの 「プリンタをカスタマイズする」
- 26 ページの 「使用方法 (用紙)」
- 44 ページの 「インク システム取り扱い」
- 76 ページの 「印刷オプション」
- 92 ページの 「カラーマネジメント」
- 111 ページの 「実際の印刷の例」
- 137 ページの 「プリンタの保守」

トラブルシューティング

これらの章では、印刷中に発生する可能性のある問題の解決策を説明しています。以下の項目が含まれます。

- 145 ページの 「印刷品質に関するトラブルシューティング」
- 162 ページの 「トラブルシューティング (インクシステム)」
- 160 ページの 「トラブルシューティング (用紙)」
- 167 ページの 「その他のトラブルシューティング」

サポート

この章では、さまざまな情報源とサポートの情報について説明します。

- 175 ページの 「ヘルプ」

付録

付録には、プリンタのさまざまな側面に関するリファレンス情報が含まれています。

- 183 ページの 「フロントパネル メニュー」
- 194 ページの 「フロントパネルのエラー メッセージ」
- 198 ページの 「プリンタの仕様」

用語集

この章には、このマニュアルで使用する印刷および HP 用語の定義が記載されています。

索引

目次の他に、索引を使用してトピックをすぐに見つけることができます。

警告および注意

このマニュアルでは、プリンタを適切に使用してプリンタの破損を防ぐために、次の記号が使用されています。これらの記号の付いた手順に従ってください。

⚠ **警告！** この記号の付いたガイドラインに従わない場合、重大な人身事故または死亡につながる恐れがあります。

△ **注意：** この記号の付いたガイドラインに従わない場合、人身事故または製品の破損につながる恐れがあります。

プリンタの主な機能

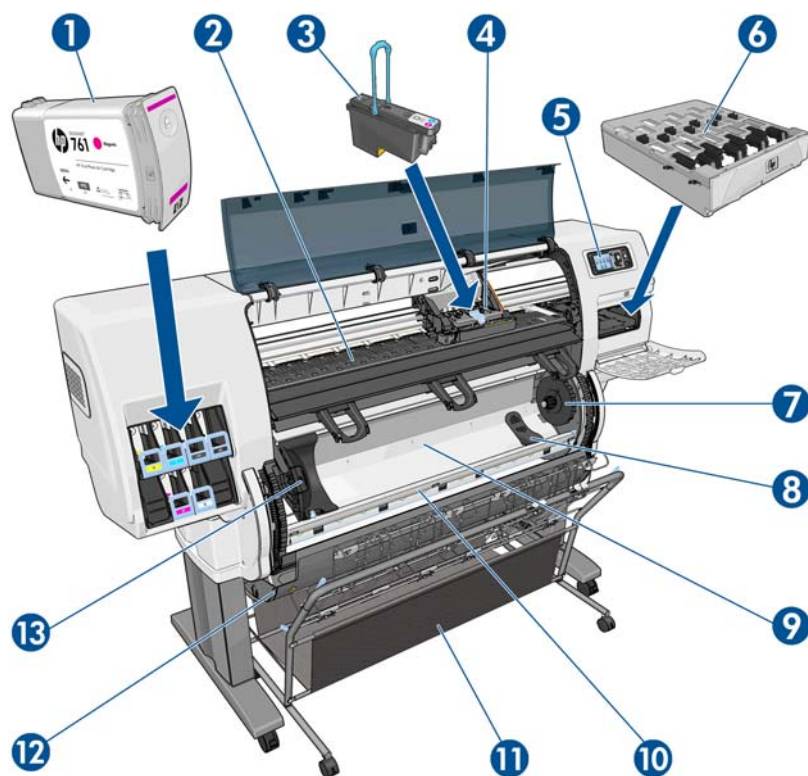
このプリンタは、幅 1067mm (42 インチ) までの用紙に高品質のイメージを印刷するために設計されたカラー インクジェット プリンタです。主な機能を以下に示します。

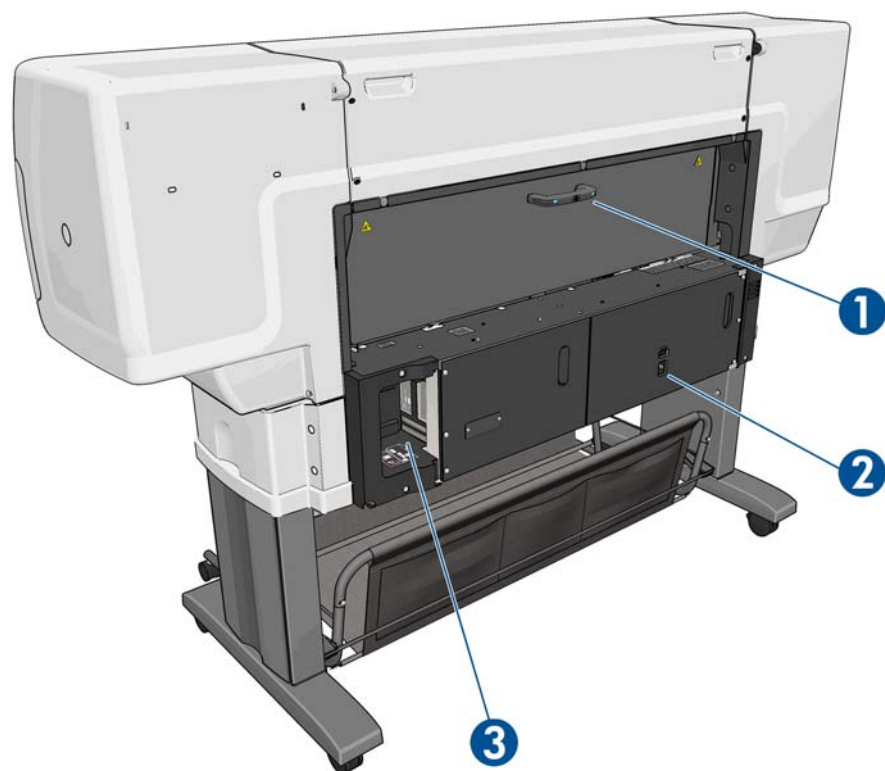
- 入力時 1200 × 1200dpi のイメージを最大 2400 × 1200dpi の最適化された解像度で印刷 (フォト用紙、[**高品質**] 印刷品質オプション、[高精細] オプション、および [**フォト用紙での最大解像度**] オプションを使用した場合)。
- 一度に 2 つ (一部の構成では 3 つ) のロール紙を取り付け可能。ロール紙を自動ですばやく簡単に切り替えたり、長時間の印刷を無人で行ったりできます。
- 6 インク システム (7100 プリンタ) および 2 インク システム (7100 Mono プリンタ)。
- 自動カラー キャリブレーションによる正確で一貫したカラー再現機能 (7100 プリンタ)。
- グレースケール ジョブを高速かつ高品質で印刷できる 2 つのブラック プリントヘッド。
- 柔軟な用紙対応と簡単な自動取り付け機能。情報およびプリセットは、フロントパネルまたはリモートで利用できます。
- ジョブのプレビュー、ネスティング、自動回転などの生産性機能。
- 経済的な印刷を実現するエコノモード。
- さまざまな種類の印刷に対するインクおよび用紙の使用状況のアカウンティング。
- 内蔵 Web サーバ (9 ページの 「内蔵 Web サーバの主なコンポーネント」を参照) または HP ユーティリティ (10 ページの 「HP ユーティリティの主な機能」を参照) によるプリンタのリモート管理。

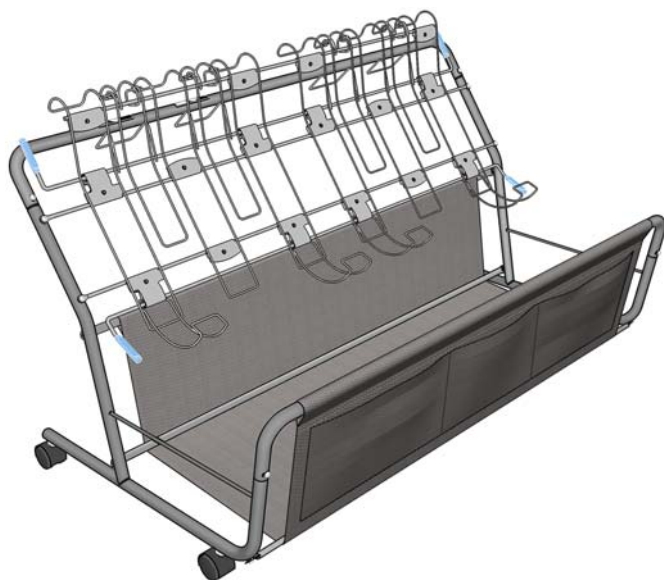
プリンタの主なコンポーネント

以下の図で、HP Designjet T7100 プリンタの主なコンポーネントについて説明します。

⚠ **警告！** ロール ドアや後部ドアを分解、修理、または操作しないでください。指や手を挟む危険があります。

前面図

1. インクカートリッジ
2. プラテン
3. プリントヘッド
4. プリントヘッド キャリッジ
5. フロントパネル
6. 保守カートリッジ
7. 右側のハブ
8. ロール サポート
9. HP スマート ロールローディング システム
10. 排紙ブレーキ
11. 用紙スタッカ/バスケット
12. ロール ドア
13. 左側のハブ

背面図

1. 後部ドア ハンドル
2. 電源スイッチおよび電源ソケット
3. 接続ケーブルおよびオプション アクセサリ用ソケット

用紙スタッカ/バスケット

用紙スタッカ/バスケットには、完成した印刷物が収容されます。次のような複数の使い方ができます。

- サイズが A0 または E の用紙のみが積み重ねられるようにする (ワイヤー ループを使用)。この場合は、上のハンドルを上げて下のハンドルを下げます。
- サイズが A1 または D の用紙のみが積み重ねられるようにする (ワイヤー ループを使用)。この場合は、上のハンドルを下げます。下のハンドルは使用されません。
- さまざまなサイズの用紙がバスケットの底部に収まるようにする。この場合は、上と下の両方のハンドルを上げます。

サイズが A0/E または A1/D の用紙が積み重ねられるようにする場合は、用紙スタッカ/バスケットが排紙口の下に正しく取り付けられていることを事前に確認してください (所定の位置で止まるまでプリンタに押し込みます)。

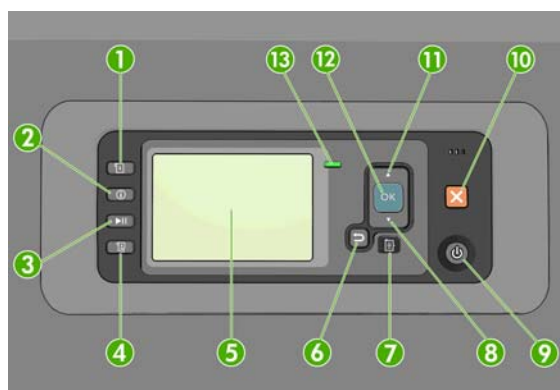
用紙スタッカ/バスケットにはキャスターが付いているため、プリンタから取り外すと簡単に移動できます。

前面のポケットには、芯アダプタやプリンタのマニュアルを収納できます。

フロントパネル

プリンタのフロントパネルは、プリンタ前面の向かって右側にあります。フロントパネルには、以下の重要な機能があります。

- 用紙の取り付け、取り外しなどの操作を実行する際に使用します。
- プリンタ、インクカートリッジ、プリントヘッド、保守カートリッジ、用紙、印刷ジョブ、およびその他の部品や処理のステータスに関して、最新情報が表示されます。
- プリンタの使用手順が表示されます。
- 場合に応じて、警告やエラー メッセージが表示され、注意を促すために警告音が鳴ります。
- プリンタの設定値を変更して、プリンタの動作を変更する際に使用できます。

注記： 内蔵 Web サーバの設定またはプリンタ ドライバの設定でフロントパネルの設定が上書きされます。

フロントパネルには、4 方向アクセス ボタンから始まる以下のコンポーネントがあります。

1. 用紙の取り付け ボタンは、用紙の取り付け処理を開始します。30 ページの 「ロール紙をプリンタに取り付ける」を参照してください。
2. 情報の表示 ボタンでは、ボタンを繰り返し押すと、取り付けられている用紙、インク容量、プリンタとコンピュータの接続、およびプリントヘッドのステータスに関する情報が表示されます。38 ページの 「用紙情報の印刷」を参照してください。

3. 印刷の一時停止 ボタンは、現在のページの終了後に一時停止します。ボタンを再度押すと、印刷が再起動されます。これは、たとえばロール紙を別の種類に変更して取り付ける際などに便利です。

4. 排紙/カット ボタン : 38 ページの 「排紙とカット」を参照してください。

5. フロントパネルの表示 は、プリンタの使用に関するエラー、警告、および情報を表示します。

6. 戻る ボタン : 手順実行中または操作中に前の手順に戻ります。上位レベルに移動する、メニューのオプションから外れる、またはオプションがある場合に使用します。

7. メニュー ボタン : このボタンを押すと、フロントパネルの表示がメイン メニューに戻ります。すでにメイン メニューが表示されている場合は、ステータス画面が表示されます。

8. 下矢印 ボタン : メニューまたはオプション内を下に移動したり、数値を減らします (たとえば、フロントパネルの表示コントラストや IP アドレスを設定する場合)。

9. 電源 ボタン : プリンタの電源のオンとオフを切り替えます。また、電源ボタンのランプでプリンタのステータスを示します。電源ボタンのランプが消灯している場合、プリンタの電源はオフになっています。電源ボタンのランプが緑色に点滅している場合、プリンタは起動中です。電源ボタンのランプが緑色に点灯している場合、プリンタの電源はオンになっています。電源ボタンのランプが黄色に点灯している場合、プリンタは待機中です。電源ボタンのランプが黄色に点滅している場合、プリンタに対して注意が必要です。

10. キャンセル ボタン : 手順または操作を中止します。

11. 上矢印 ボタン : メニューまたはオプション内を上に移動したり、数値を増やします (たとえば、フロントパネルの表示コントラストや IP アドレスを設定する場合)。

12. OK ボタン : 手順の実行中または操作中に操作を確定します。メニューでサブメニューを表示します。オプションがある場合に値を選択します。ステータス画面が表示されている場合、このボタンを押すと、メイン メニューが表示されます。

13. ステータス ランプ : プリンタのステータスを示します。ステータス ランプが緑色に点灯している場合、プリンタは印刷可能です。LED ランプが緑色に点滅している場合、プリンタが使用中です。LED ランプが黄色に点灯している場合、プリンタはシステム エラーです。LED ランプが黄色に点滅している場合、プリンタに対して注意が必要です。

フロントパネルの表示上の項目を**ハイライト**させるには、その項目がハイライトされるまで 上矢印 または 下矢印 ボタンを繰り返し押します。

フロントパネルの表示上の項目を**選択**するには、まずその項目をハイライトして、OK ボタンを押します。

このガイドで、フロントパネル表示の一連の項目が、**項目 1** - **項目 2** - **項目 3** のように記述されている場合は、**項目 1**、**項目 2**、**項目 3** の順に選択してください。

フロントパネルのメニューについての詳細は、183 ページの 「フロントパネル メニュー」を参照してください。

フロントパネルのエラー メッセージの注釈一覧については、194 ページの 「フロントパネルのエラー メッセージ」を参照してください。

フロントパネルの特定の使用方法についての詳細は、このガイドで順を追って説明します。

プリンタ ソフトウェア

このプリンタには、以下のソフトウェアが付属しています。

- HP-GL/2 プリンタ ドライバ (Windows オペレーティング システム用)
- Windows、Linux、および Mac OS の各オペレーティング システム用の PostScript プリンタ ドライバ (PostScript アップグレード キットを使用)

- HP ユーティリティ (10 ページの 「HP ユーティリティの主な機能」を参照)
- 内蔵 Web サーバ。プリンタ内で動作し、これを使用すると、どのコンピュータでも Web ブラウザを使用してインク残量やプリンタのステータスの確認を行うことができます (9 ページの「内蔵 Web サーバの主なコンポーネント」を参照)。

ヒント： Linux を使用している場合は、http://hplipopensource.com/hplip-web/index.html を参照してください。

内蔵 Web サーバの主なコンポーネント

内蔵 Web サーバはプリンタ内部で実行される Web サーバです。ユーザは、プリンタ情報の入手、設定やプリセットの管理、および問題のトラブルシューティングを内蔵 Web サーバから行うことができます。また、サービス エンジニアは、プリンタの問題を診断するのに役立つ内部情報を取得することができます。

内蔵 Web サーバには、コンピュータで一般的に使用される Web ブラウザからリモートでアクセスします。機能と操作は 3 つのタブで構成されています。各タブページの上部の近くにあるボタンで、オンライン ヘルプへのアクセスとサプライ品の注文ができます。

メイン タブ

[**メイン**] タブでは、次の項目に関する情報が提供されます。

- 印刷ジョブおよび印刷キューの管理
- サプライ品のステータス
- 用紙およびインクの使用状況のアカウンティング
- PANTONE©* エミュレーション

セットアップ タブ

[**セットアップ**] タブには、次のタスクを実行するためのオプションが含まれます。

- プリンタ、ネットワーク、およびセキュリティ設定を定義する
- アカウンティング レポート、および警告やエラーの通知を電子メールで送信する
- ファームウェアをアップデートする
- 用紙プリセットをアップロードする
- 日付と時刻を設定する

サポート タブ

[**サポート**] タブには、次の機能を実行するためのオプションが含まれます。

- 内蔵 Web サーバの [印刷品質のトラブルシューティング] ウィザードを使用して、最も一般的な印刷品質に関する問題の一部の解決に役立てる
- さまざまなソースから役に立つ情報を参照する
- HP Designjet リンクにアクセスして、プリンタ、ドライバ、およびアクセサリに関する技術サポートを得る
- サービス サポート ページにアクセスして、プリンタの使用状況に関する現在および過去のデータを表示する
- トラブルシューティング (印刷品質)

HP ユーティリティの主な機能

HP ユーティリティでは、操作の簡単なインタフェースが使用できるため、ユーザはプリンタのさまざまな機能を管理およびアクセスできます。

- HP Color Center を使用したシングルポイント カラーコントロールなどのプリンタ管理
- オンラインの HP Knowledge Center へのアクセス
- インクカートリッジ、プリントヘッド、および用紙のステータスの表示
- ICC (国際カラーコンソーシアム) プロファイルの管理、インストール、および作成 (PostScript アップグレード キットを使用)。
- 埋め込まれたプロファイルへのアクセスおよび使用 (PostScript アップグレード キットを使用)。
- プリンタのファームウェアのアップデート。142 ページの 「プリンタ ファームウェアのアップデート」を参照してください。
- プリンタおよびディスプレイのキャリブレーション。
- さまざまなプリンタ設定の変更 ([設定] タブ内)
- ネットワーク設定を構成する

プリンタの印刷メニュー

印刷メニューには、プリンタに関するさまざまな情報が表示されます。印刷メニューは、コンピュータを使用しなくても、フロントパネルから呼び出すことができます。

印刷メニューを呼び出す前に、用紙が取り付けられており、フロントパネルに **印刷可能です** のメッセージが表示されていることを確認します。

印刷メニューを印刷するには、 アイコンを選択し、次に [**印刷メニュー**] を選択し、必要な印刷メニューの種類を選択します。

次の印刷メニューを使用できます。

- デモ印刷 : プリンタの機能の一部を表示します。
- メニューマップの印刷 : すべてのフロントパネル メニューの詳細を表示します。
- 現在の設定の印刷 : 現在のフロントパネルの設定をすべて表示します。
- 使用状況レポートの印刷 : 印刷の合計数、用紙の種類別の印刷数、印刷品質オプション別の印刷数、および色ごとに使用されるインクの合計量を表示します。これらの推定値の正確性は保証されていません。
- HP-GL/2 パレットの印刷 : 現在選択されているカラー パレットのカラー定義またはグレースケール定義を表示します。
- PostScript フォント一覧 : プリンタにインストールされている PostScript フォントを表示します (PostScript アップグレード キットを使用)。
- サービス情報の印刷 : サービス エンジニアが必要とする情報を表示します。

プリンタをオン/オフにする

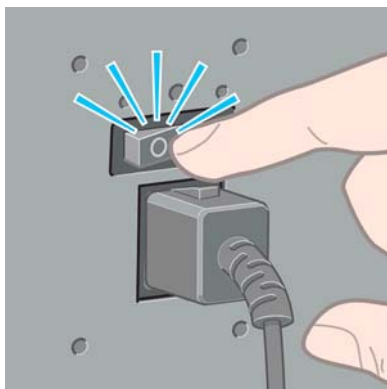
ヒント： 電源を入れたままでも消費電力を抑えることができます。電源をオンのままにすることにより、応答時間とシステム全体の信頼性が向上します。一定時間 (デフォルトの時間は Energy Star によって指定される) 使用しない場合、プリンタはスリープ モードに移行して電力を節約します。ただし、プリンタのフロントパネルの表示で何らかの操作を行うか、新しい印刷ジョブを送信すると、直ちにアクティブ モードに戻り、印刷を再開することができます。スリープ モード時間を変更するには、21 ページの 「スリープ モード設定を変更する」を参照してください。

注記： スリープ モードでは、プリンタは随時プリントヘッドの保守サービスを実行します。これにより、長時間のアイドリング後に印刷の準備を長時間実行する必要がなくなります。このため、インクと時間を節約するために、プリンタの電源をオンにするかスリープ モードにしておくことを強くお勧めします。

このプリンタには、3 つの消費電力レベルがあります。

- プラグ接続：電源コードがプリンタ背面に接続されている状態。
- スイッチ オン：プリンタ背面のスイッチがオンになっている状態。
- 電源オン：フロントパネルの 電源 ボタンのランプが緑色に点灯している状態。

プリンタの電源をオン/オフにしたり、プリンタをリセットする場合は、通常はフロントパネルの 電源 ボタンを使用することをお勧めします。

ただし、プリンタを無期限で保管する場合、または 電源 ボタンが動作しない場合は、電源 ボタンで電源をオフにした後、背面の電源スイッチも切ることをお勧めします。

電源を入れ直すには、背面の電源スイッチを使用します。

プリンタの電源を入れ直すと、初期化、およびプリントヘッドのチェックと準備に約 3 分間かかります。プリントヘッドの準備には、約 1 分 15 秒かかります。ただし、プリンタを 6 週間以上使用していない場合は、プリントヘッドの準備に最大 45 分かかることがあります。

2　接続およびソフトウェア手順

接続

使用する接続方法を選択する

プリンタを接続するには、以下の方法を使用できます。

接続の種類	速度	ケーブルの長さ	その他
ギガビットイーサネット	超高速。ネットワーク トラフィックによって速度は異なります。	長い：100m（328 フィート）	追加機材（スイッチ）要。
Jetdirect プリント サーバ(別売オプション)	普通。ネットワーク トラフィックによって速度は異なります。	長い：100m（328 フィート）	追加機材（スイッチ）要。 ワイヤレス、AppleTalk 接続、および Novell 印刷向き。
USB 2.0（別売オプション）	きわめて高速	短い：5m（16 フィート）	

注記： ネットワーク接続速度は、ネットワーク上のすべてのコンポーネントに左右されます。たとえば、ネットワーク インタフェース カード、ハブ、ルータ、スイッチ、ケーブルなどがあります。コンポーネントのいずれかが高速で処理を行えない場合、接続速度は遅くなります。また、ネットワーク上の他のデバイスから送信される総トラフィック量も、接続速度に影響を与えます。

注記： プリンタをネットワークに接続する方法はさまざまありますが、同時にもう 1 つ別のネットワーク接続でアクティブにできる Jetdirect プリント サーバを除き、同時にアクティブにできる接続方法は 1 つだけです。

ネットワークに接続する（Windows）

ネットワーク ケーブルを接続し、プリンタの電源をオンにすると、プリンタは自動的に IP アドレスを取得します。プリンタをネットワークに設定するには、以下の手順を実行する必要があります。

1. プリンタのフロントパネルで、接続アイコン を選択し、次に［**ギガビット イーサネット**］または［**Jetdirect EIO**］を選択し、［**設定の表示**］を選択します。
2. プリンタの IP アドレスをメモします。
3. コンピュータに『*HP スタートアップ キット*』DVD を挿入します。DVD が自動的に起動しない場合は、DVD のルート フォルダ内の「setup.exe」を実行します。
4. ［**Software Installation**］（ソフトウェアのインストール）ボタンを押します。
5. ［**エクスプレス ネットワーク インストール**］ボタンを押します。
6. 設定プログラムによりネットワークに接続されたプリンタの検出が行われます。検出が完了すると、プリンタのリストが表示されます。IP アドレスを参照してプリンタを識別し、リストでそのプリンタを選択します。

   使用するプリンタがリストにない場合は、［**Help me find my network printer**］（ネットワーク プリンタの検出）をクリックし、［**次へ**］をクリックします。次の画面で、プリンタの IP アドレスを指定します。

接続

コンピュータに直接接続する (Windows)

プリンタの USB 2.0 ソケットを使用して、ネットワークを介することなくプリンタを直接コンピュータに接続することができます。

1. **この時点ではまだコンピュータをプリンタに接続しないでください。**最初に、プリンタ ドライバ ソフトウェアを次のようにインストールする必要があります。
2. DVD ドライブに『*HP スタートアップ キット*』DVD を挿入します。DVD が自動的に起動しない場合は、DVD のルート フォルダ内の「setup.exe」を実行します。
3. [**Software Installation**] (ソフトウェアのインストール) ボタンを押します。
4. [**カスタム インストール**] ボタンを押します。
5. 画面に表示される指示に従ってプリンタをセットアップします。各画面で適切な設定を行うために、以下の点に注意してください。
   - ネットワーク上でプリンタを検出するには、Windows ファイアウォール経由で通信する必要があるという警告メッセージが表示される場合があります。直接接続をセットアップするので、[**Continue installation without searching the network**] (ネットワークを検索せずにインストールを続行する) を選択し、[**次へ**] をクリックします。
   - プリンタの接続方法を確認する画面が表示されたら、[**USB cable**] (USB ケーブル) を選択します。
   - コンピュータをプリンタに接続するように指示するメッセージが表示されたら、USB ケーブルを接続します。プリンタの電源がオンであることを確認します。

プリンタ ドライバをアンインストールする (Windows)

1. DVD ドライブに『*HP スタートアップ キット*』DVD を挿入します。DVD が自動的に起動しない場合は、DVD のルート フォルダ内の「setup.exe」を実行します。
2. [**Software Installation**] (ソフトウェアのインストール) ボタンを押します。
3. [**インストールの変更**] ボタンを押し、画面の指示に従ってプリンタ ドライバをアンインストールします。

ネットワークに接続する (Mac OS)

Mac OS 環境でプリンタをネットワークに接続する場合、以下の方法を使用できます。

- Bonjour
- TCP/IP

注記： このプリンタは AppleTalk をサポートしていません。

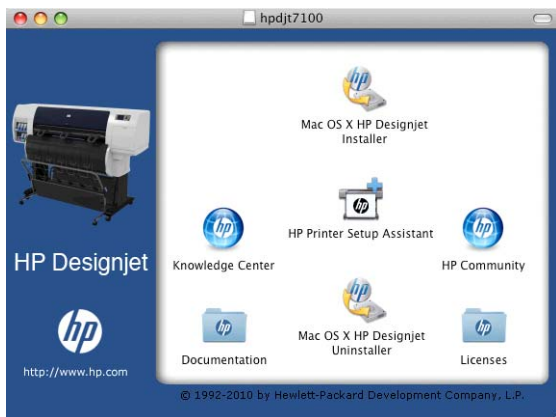
手順を実行する前に、以下を確認してください。

- プリンタがセットアップされ、電源が入っている。
- イーサネット ハブまたはルータの電源が入っていて、正常に機能している。
- ネットワーク上のすべてのコンピュータの電源が入っていて、ネットワークに接続されている。
- プリンタがネットワークに接続されている。

ここでプリンタ ソフトウェアをインストールしてプリンタを接続できます。

Bonjour 接続

1. プリンタのフロントパネルで、接続アイコン を選択し、次に［**ギガビット イーサネット**］または［**Jetdirect EIO**］を選択し、［**設定の表示**］を選択します。プリンタの mDNS サービス名をメモします。

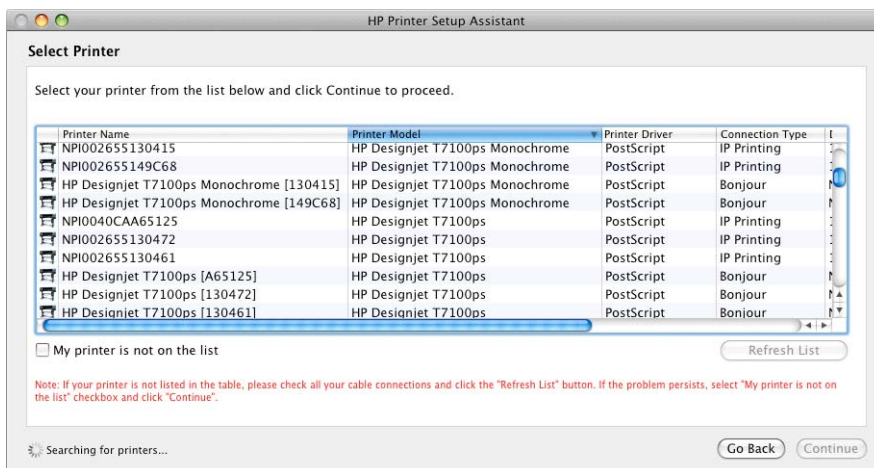
2. DVD ドライブに『*HP スタートアップ キット*』DVD を挿入します。

3. デスクトップ上の DVD アイコンを開きます。

4. ［**Mac OS X HP Designjet Installer**］アイコンを開きます。

5. 画面の指示に従います。［**簡易インストール**］オプションを選択することをお勧めします。

6. プリンタ ドライバ、HP ユーティリティなど、プリンタ ソフトウェアがインストールされます。

7. プリンタ ソフトウェアがインストールされた後、HP プリンタ セットアップ アシスタントが自動的に起動し、プリンタとの接続をセットアップします。画面の指示に従います。

8. [プリンタの選択] 画面が表示されたら、[プリンタ名] 列にあるプリンタの mDNS サービス名 (手順 1 でメモした名前) を探します。

- 正しいプリンタ名を見つけたら、横方向にスクロールして [接続方法] 列を表示し、それが **Bonjour** を示していることを確認します。次に、その行をハイライトします。見つからない場合は、さらにリストの下の方を探します。

- 接続方法が **Bonjour** のプリンタ名が見つからない場合は、[**リストにないプリンタを使用**] ボックスをオンにします。

［**次へ**］ボタンをクリックします。

9. 画面の指示に従って続行します。[プリンタ キューが作成されました] 画面が表示されたら、[**閉じる**] をクリックして終了するか、ネットワークに別のプリンタを接続する場合は、[**新しいキューの作成**] をクリックします。

10. HP プリンタ セットアップ アシスタントが完了したら、DVD ドライブから DVD を取り出します。

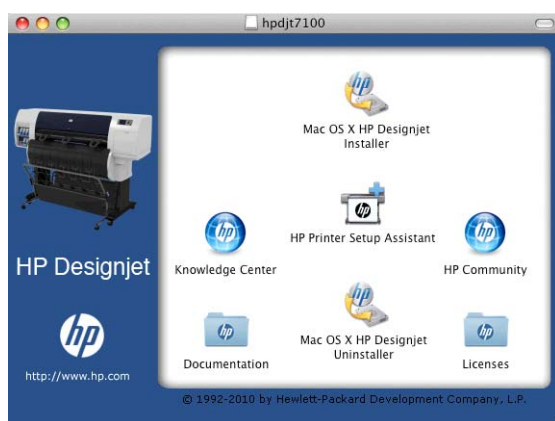
プリンタ ドライバがすでにインストールされている場合、HP プリンタ セットアップ アシスタントを DVD からいつでも起動することができます。

TCP/IP 接続

1. プリンタのフロントパネルで、接続アイコン を選択し、次に [**ギガビット イーサネット**] または [**Jetdirect EIO**] を選択し、[**設定の表示**] を選択します。

2. プリンタの URL をメモします。

3. DVD ドライブに『*HP スタートアップ キット*』DVD を挿入します。

4. デスクトップ上の DVD アイコンを開きます。

5. [**Mac OS X HP Designjet Installer**] アイコンを開きます。

6. 画面の指示に従います。[**簡易インストール**] オプションを選択することをお勧めします。

7. プリンタ ドライバ、HP ユーティリティなど、プリンタ ソフトウェアがインストールされます。

8. プリンタ ソフトウェアがインストールされた後、HP プリンタ セットアップ アシスタントが自動的に起動し、プリンタとの接続をセットアップします。画面の指示に従います。

9. [プリンタの選択] 画面が表示されたら、[プリンタ名] 列にあるプリンタの URL (1 でメモした) を探します。

   - 正しいプリンタ名を見つけたら、横方向にスクロールして [接続方法] 列を表示し、それが **IP Printing** (IP 有効) を示していることを確認します。次に、その行をハイライトします。見つからない場合は、さらにリストの下の方を探します。

   - 接続方法が **IP Printing** のプリンタ名が見つからない場合は、[**リストにないプリンタを使用**] ボックスをオンにします。

   [**次へ**] ボタンをクリックします。

10. 画面の指示に従って続行します。[プリンタ キューが作成されました] 画面が表示されたら、[**閉じる**] をクリックして終了するか、ネットワークに別のプリンタを接続する場合は、[**新しいキューの作成**] をクリックします。

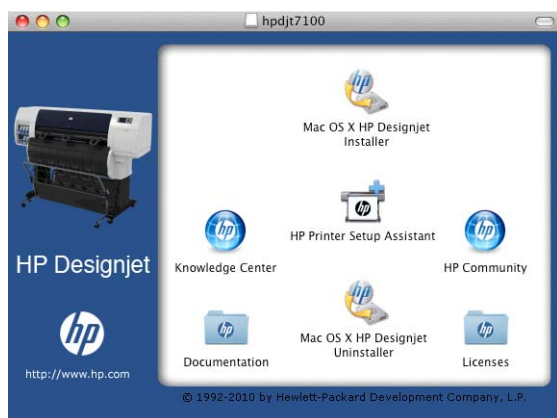
11. HP プリンタ セットアップ アシスタントが完了したら、DVD ドライブから DVD を取り出します。

プリンタ ドライバがすでにインストールされている場合、HP プリンタ セットアップ アシスタントを DVD からいつでも起動することができます。

コンピュータに直接接続する (Mac OS)

プリンタの内蔵 USB 2.0 ソケットを使用して、ネットワークを介することなくプリンタを直接コンピュータに接続することができます。

1. プリンタの電源がオフになっているか、またはコンピュータに接続されていないことを確認します。

2. DVD ドライブに『*HP スタートアップ キット*』DVD を挿入します。

3. デスクトップ上の DVD アイコンを開きます。

4. [**Mac OS X HP Designjet Installer**] アイコンを開きます。

5. 画面の指示に従います。[**簡易インストール**] オプションを選択することをお勧めします。

6. プリンタ ドライバ、HP ユーティリティなど、プリンタ ソフトウェアがインストールされます。

7. プリンタ ソフトウェアがインストールされた後、HP プリンタ セットアップ アシスタントが自動的に起動し、プリンタとの接続をセットアップします。

8. プリンタの電源がオンになっており、認定された USB ケーブルを使用してコンピュータに接続されていることを確認します。

注記： 認定されていない USB ケーブルを使用すると、接続の問題が発生する原因になります。このプリンタには、USB 開発者のためのフォーラム (http://www.usb.org/) によって認定されたケーブル以外は使用しないでください。

9. HP プリンタ セットアップ アシスタントで、[**次へ**] ボタンをクリックします。

10. 表示されたプリンタのリストで、接続方法に USB を使用しているエントリを選択して、[**次へ**] ボタンをクリックします。

11. 次の画面には、プリンタのインストール情報が表示されます。この画面でプリンタ名を変更できます。必要に応じてプリンタ名を変更し、[**次へ**] ボタンをクリックします。

接続

12. これで、プリンタが接続されました。[プリンタ キューが作成されました] 画面では、**[閉じる]** をクリックして終了するか、ネットワークに別のプリンタを接続する場合は、**[新しいキューの作成]** をクリックします。

13. HP プリンタ セットアップ アシスタントが完了したら、DVD ドライブから DVD を取り出します。

プリンタ ドライバがすでにインストールされている場合、HP プリンタ セットアップ アシスタントを DVD からいつでも起動することができます。

プリンタの共有

コンピュータがネットワークに接続されている場合に、コンピュータに直接接続されたプリンタを同じネットワーク上にある別のコンピュータで使用できます。

1. デスクトップ上の Dock メニュー バーの [システム環境設定] アイコンをダブルクリックします。
2. **[共有]** で、**[プリンタ共有]** を選択し、次に、共有するプリンタをオンにします。
3. Mac OS を実行しているその他のコンピュータで表示され、ローカル ネットワークに接続された共有プリンタのリストに、お使いのプリンタが自動的に表示されます。

プリンタの共有を必要とする他のすべてのユーザは、各自のコンピュータにプリンタ ソフトウェアをインストールする必要があります。

お使いのプリンタを共有するすべてのユーザは印刷ジョブを送信できますが、プリンタからの情報は受信できません。これは、プリンタ アラート、プリンタ ステータス レポート、用紙管理、プリンタ管理、およびトラブルシューティングに影響します。

直接接続したプリンタを別のユーザと共有すると、コンピュータの速度が許容できない速度まで低下する場合があります。

ヒント： ネットワークを介してプリンタを共有する場合、プリンタをどのコンピュータとも接続しないで、そのネットワークに接続することが最適な方法です。14 ページの 「ネットワークに接続する (Mac OS)」を参照してください。

プリンタ ソフトウェアをアンインストールする (Mac OS)

1. DVD ドライブに『*HP スタートアップ キット*』DVD を挿入します。
2. デスクトップ上の DVD アイコンを開きます。
3. **[MAC OS X HP Designjet Uninstaller]** を開き、画面の指示に従って、プリンタ ソフトウェアをアンインストールしてください。

印刷キューを削除するには

1. システム環境設定から、**[プリンタとファクス]** ダイアログを選択します。
2. プリンタの名前を選択し、[-] ボタンをクリックします。

3　プリンタをカスタマイズする

フロントパネルの表示の言語を変更する

フロントパネルのメニューおよびメッセージの言語を変更する方法は 2 つあります。

- 現在フロントパネルに表示されている言語を理解できる場合は、セットアップ アイコン を選択し、次に［**フロントパネル オプション**］-［**言語の選択**］を選択します。
- 現在フロントパネルに表示されている言語が分からない場合は、まずプリンタの電源を切ります。フロントパネルで、OK ボタンを長押します。OK ボタンを押したままの状態で、電源 ボタンを長押します。フロントパネルの表示の右側にある緑色のランプが点滅し始めるまで両方のボタンを押し続け、点滅を始めたら両方のボタンを放します。これには約 1 秒かかります。緑色のランプがすぐに点滅し始めた場合は、やり直す必要があります。

どちらの方法でも、フロントパネルに言語選択メニューが表示されます。上矢印 ボタンと 下矢印 ボタンで希望する言語をハイライトさせ、OK ボタンを押します。

希望する言語を選択した場合は、電源 ボタンでプリンタの電源を切ってから、電源を入れ直してください。フロントパネルが、選択した言語で表示されます。

HP ユーティリティにアクセスする

HP ユーティリティを使用すると、USB 接続、TCP/IP 接続、または Jetdirect 接続を使用してコンピュータからプリンタを管理できます。

- **Windows の場合**、デスクトップのショートカットから、または［**スタート**］-［**すべてのプログラム**］-［**Hewlett-Packard**］-［**HP Utility**］-［**HP Utility**］から、HP ユーティリティを起動します。これにより、HP ユーティリティが起動し、コンピュータにインストールされたプリンタが表示されます。
- **Mac OS の場合**、デスクトップのショートカットから、または［**ハードディスク**］-［**ライブラリ**］-［**Printers**］-［**hp**］-［**Utilities**］-［**HP Utility**］の順で選択して HP ユーティリティを起動します。これにより、HP ユーティリティが起動し、コンピュータにインストールされたプリンタが表示されます。

  プリンタを左ペインで選択すると、右ペインに表示されるすべてがそのプリンタに固有のものになります。

この手順に従っても HP ユーティリティにアクセスできない場合は、173 ページの 「HP ユーティリティにアクセスできない」を参照してください。

内蔵 Web サーバにアクセスする

内蔵 Web サーバを使用すると、コンピュータで一般的に使用される Web ブラウザから、プリンタをリモート管理することができます。

内蔵 Web サーバに直接アクセスするには、プリンタの接続方法が TCP/IP である必要があります。ただし、プリンタに USB 接続で接続している場合は、HP ユーティリティを介して間接的に内蔵 Web サーバにアクセスできます。

内蔵 Web サーバは、以下のブラウザでアクセスできます。

- Internet Explorer 6 以降 (Windows)
- Safari 2 以降 (Mac OS X)
- Firefox 1.5 以降

コンピュータ上で内蔵 Web サーバにアクセスするには、Web ブラウザを開き、プリンタの IP アドレスを入力します。

プリンタの IP アドレスを確認するには、接続アイコン を選択し、次に［**ギガビット イーサネット**］または［**Jetdirect EIO**］を選択し、［**設定の表示**］を選択します。

この手順に従っても内蔵 Web サーバにアクセスできない場合は、170 ページの 「内蔵 Web サーバにアクセスできない」を参照してください。

HP ユーティリティの言語を変更する

HP ユーティリティは次の言語に対応しています。英語、ポルトガル語、スペイン語、カタロニア語 (Windows のみ)、フランス語、イタリア語、ドイツ語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、および日本語。

- **Windows の場合**、［**ツール**］-［**言語設定**］を選択し、リストから言語を選択します。
- **Mac OS の場合**、言語は、他のアプリケーションに合わせて変更されます。［**システム環境設定**］で［**言語環境**］を選択し、アプリケーションを再起動します。

内蔵 Web サーバの言語を変更する

内蔵 Web サーバは次の言語に対応しています。英語、ポルトガル語、スペイン語、カタロニア語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、および日本語。ここでは、Web ブラウザのオプションで指定された言語が使用されます。内蔵 Web サーバが対応していない言語が指定されている場合は、英語が使用されます。

言語を変更するには、Web ブラウザの [言語の優先順位] 設定を変更する必要があります。たとえば、Internet Explorer のバージョン 6 を使用している場合は、［**ツール**］メニューに移動し、［**インターネット オプション**］-［**言語**］を選択します。[言語の優先順位] ダイアログ ボックスで、使用する言語がリストの最上部に表示されていることを確認します。

スリープ モード設定を変更する

プリンタの電源をオンにしたまま一定時間使用しなかった場合、電力節約のため、プリンタは自動的にスリープ モードへ移行します。プリンタがスリープ モードに移行するまでの待機時間を変更するには、フロントパネルでセットアップ アイコン を選択し、次に［**フロントパネル オプション**］-［**スリープ モード待ち時間**］を選択します。必要な待ち時間をハイライトさせて OK ボタンを押します。待ち時間は 1～240 分を設定できます。デフォルトの待ち時間は 30 分です。

ブザーをオン/オフにする

プリンタのブザーのオン/オフを切り替えるには、フロントパネルでセットアップ アイコン を選択し、次に［**フロントパネル オプション**］-［**ブザーの有効化**］を選択し、オンまたはオフをハイライトしてから、OK ボタンを押します。デフォルトではブザーはオンに設定されます。

フロントパネルの表示のコントラストを変更する

フロントパネルの表示のコントラストを変更するには、セットアップ アイコン を選択し、次に［**フロントパネル オプション**］-［**画面コントラストの選択**］を選択して、上矢印 または 下矢印 ボタンで値を入力します。OK ボタンを押して、その値を設定します。デフォルトのコントラストは 50 に設定されます。

測定単位を変更する

フロントパネルの表示の測定単位を変更するには、セットアップ アイコン を選択し、［**フロントパネル オプション**］-［**単位の選択**］を選択して、［**インチ**］または［**メートル**］を選択します。デフォルトでは単位はメートルに設定されます。

ネットワーク設定を構成する

ネットワーク設定を HP ユーティリティから表示および構成できます。Windows の場合、［**設定**］タブを選択し、次に［**ネットワーク設定**］を選択します。Mac OS の場合、［**設定**］-［**ネットワーク設定**］を選択します。以下の設定から選択できます。

- **IP 設定方法**：IP アドレスの設定方法を指定します。［**BOOTP**］、［**DHCP**］、［**Auto IP**］、または［**手動**］から選択します。
- **ホスト名**：ネットワーク デバイスの IP 名を指定します。名前は最大 32 ASCII 文字を含むことができます。
- **IP アドレス**：プリント サーバの IP アドレスを指定します。TCP/IP の専用 IP アドレスは使用できません。

  注記： 現在の IP アドレスを変更して［**適用**］をクリックすると、ブラウザはプリント サーバへの現在の接続を失います。これは、ブラウザが変更前のアドレスを参照していたためです。再接続するには、新しい IP アドレスを参照します。

- **サブネット マスク**：サブネット マスクを指定します。サブネット マスクは、IP アドレスに適用される 32 ビットの数値です。ネットワークとサブネットを示すビット構成部分と一意のノードを示すビット構成部分が決められます。
- **デフォルト ゲートウェイ**：他のネットワークまたはサブネットワークへの接続に使用するルータまたはコンピュータの IP アドレスを指定します。存在しない場合は、コンピュータの IP アドレスまたはプリント サーバの IP アドレスを使用します。
- **ドメイン名**：プリント サーバが常駐する DNS ドメイン（support.hp.com など）の名前を指定します。

  注記： ドメイン名はホスト名を含みません。ドメイン名は、printer1.support.hp.com のような完全修飾ドメイン名ではありません。

- **アイドル タイムアウト**：開いた状態を維持できるアイドル接続の秒数を指定します。30 がデフォルト値です。ゼロに設定すると、タイムアウトは無効になり、TCP/IP 接続は、ネットワーク上の他のノードが閉じるまで開いた状態を続けます。
- **デフォルト IP**：電源をオンにしたときや BOOTP または DHCP を使用するように再構成したときに、プリント サーバがネットワークから IP アドレスを取得できない場合に使用する IP アドレスを指定します。
- **DHCP 要求の送信**：レガシーのデフォルトの IP アドレスまたはデフォルトの Auto IP が割り当てられているとき、DHCP 要求を送信するかどうかを指定します。

同じネットワーク設定をフロントパネルから構成するには、接続アイコン を選択し、次に［**ギガビット イーサネット**］または［**Jetdirect EIO**］-［**設定の変更**］を選択します。

接続アイコンから他のさまざまなオプションを使用できます。

- ［**USB**］：USB 接続に関する情報を表示します
- ［**Jetdirect EIO**］：Jetdirect 接続に関する情報の表示、設定、リセットを行います

カスタマイズ設定

- ［詳細設定］-［**I/O タイムアウトの選択**］: 開いた状態を維持できるアイドル接続の秒数を指定します。270 がデフォルト値です。ゼロを設定すると、タイムアウトは無効になります
- ［詳細設定］-［**SNMP を使用**］: SNMP の使用を許可するかどうかを指定します
- ［詳細設定］-［**内蔵 Web サーバ**］-［**内蔵 Web サーバを使用**］: 内蔵 Web サーバが有効であるかどうかを指定します
- ［詳細設定］-［**Web サービス**］-［**HP Utility software**］(HP ユーティリティ ソフトウェア) : HP ユーティリティ ソフトウェアの設定を表示します
- ［詳細設定］-［**Web サービス**］-［**色と素材の管理**］: 色と素材の管理の設定を表示します

グラフィック言語の設定を変更する

HP ユーティリティからグラフィック言語の設定を変更するには、次の手順に従ってください。

1. **Windows の場合、**［**設定**］タブを選択し、次に［**プリンタ設定**］-［**印刷設定**］を選択します。

   Mac OS の場合、［**設定**］を選択し、次に［**プリンタ設定**］-［**プリンタ設定の構成**］-［**印刷設定**］を選択します。

2. 以下のオプションの 1 つを選択します。

   - ［**自動**］を選択すると、プリンタにより受信ファイルの種類が特定されます。これはデフォルトの設定です。ほとんどのソフトウェア アプリケーションに適用されます。通常は、デフォルトの設定を変更する必要はありません。
   - プリンタ ドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、［**HP-GL/2**］を選択します。
   - プリンタ ドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、［**PDF**］を選択します (PostScript アップグレード キットを使用)。
   - プリンタ ドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、［**PostScript**］を選択します (PostScript アップグレード キットを使用)。
   - プリンタ ドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、［**TIFF**］を選択します (PostScript アップグレード キットを使用)。
   - プリンタ ドライバを経由せずに、該当する種類のファイルをプリンタに直接送信する場合に限り、［**JPEG**］を選択します (PostScript アップグレード キットを使用)。

フロントパネルからグラフィック言語の設定を変更できます。セットアップ アイコン を選択し、次に［**印刷設定**］-［**グラフィック言語の選択**］を選択します。希望するオプションを選択し、OK ボタンを押すと値が設定されます。

注記： HP ユーティリティからグラフィック言語を設定すると、フロントパネルの設定が上書きされます。

用紙の適合性のオプション

用紙の不一致操作

現在プリンタに取り付けている用紙が特定のジョブに適していない場合、プリンタは、適合する用紙が取り付けられるまでジョブを保留にするか、その問題を無視して、適合しない用紙にジョブを印刷します。取り付けられた用紙を不適合と見なす方法は次のとおりです。

- 用紙の種類がジョブに指定したものと異なる
- ジョブに指定した供給方法 (ロール 1、ロール 2、またはロール 3) に用紙が取り付けられていない
- 用紙のサイズがジョブに指定したものより小さい

このような場合のプリンタの動作をフロントパネルから設定できます。

- 取り付けられた用紙に関係なくジョブを印刷する場合は、セットアップ アイコン を選択し、[**ジョブ管理オプション**] - [**Paper mismatch action**] (用紙の不一致操作) - [**そのまま印刷をする**] を選択します。これはデフォルトのオプションです。

注記： ロール紙のサイズや種類に関係なく、選択したロール紙でジョブが印刷されます。ロール紙の幅がジョブに対して狭すぎる場合は、ジョブがクリップされます。

- ジョブを保留にする場合は、セットアップ アイコン を選択し、[**ジョブ管理オプション**] - [**Paper mismatch action**] (用紙の不一致操作) - [**ジョブを保留にする**] を選択します。ジョブが保留になると、プリンタはアラートを送信します。

ジョブが用紙の保留状態になると、そのジョブは、適合する用紙を取り付けて再度印刷を選択するまでプリンタ キューに置かれます。これに対し、別の要件の他のジョブは印刷を続行できます。

ロール切替オプション

2 つのロール紙が取り付けられていて、両方ともジョブに適している場合は、環境設定に従ってロール紙が選択されます。この設定は、フロントパネルで行うことができます。セットアップ アイコン を選択し、次に [**印刷設定**] - [**用紙オプション**] - [**ロール切替オプション**] を選択します。次のオプションから選択できます。

- [**用紙の消費を最小化**]。このオプションを選択すると、トリムによって用紙が無駄にならないように、すべての条件を満たす中で最も幅の狭いロール紙が選択されます。これはデフォルトのオプションです。
- [**ロールの変更を最小化**]。このオプションを選択すると、ロール紙の切り替えに要する時間を節約するために、現在アクティブなロール紙が選択されます。アクティブなロール紙を変更するには、用紙アイコン を選択し、[**アクティブなロール紙の選択**] を選択します。
- [**用紙の少ないロールを使用**]。このオプションを選択すると、最も用紙の少ないロールが選択されます。

注記： このオプションは、[**用紙情報の印刷**] が有効になっている場合にのみ有効です (38 ページの 「用紙情報の印刷」 を参照)。有効でない場合は、[**用紙の消費を最小化**] と同じ結果になります。

- [**サイズを正確に合わせる**]。このオプションを選択すると、幅がジョブの幅と正確に一致するロール紙のみが選択されます。

カスタマイズ設定

注記： ネスティングがオンになっている場合 (88 ページの 「用紙を節約するためにジョブをネスティングする」を参照)、ロール切替オプションは無視され、プリンタは［**用紙の消費を最小化**］が選択されている場合と同様に動作します。

カスタマイズ設定

4 使用方法 (用紙)

概要

用紙は、プリンタが処理できる印刷素材のラインアップのサブセットにすぎません。さまざまな種類のフィルム、クロスや布地、粘着用紙、粘着紙、およびバナーや看板用紙にも印刷可能です。ただし、このガイド全体では、これらの素材は通常、用紙を意味します。

注記： フロントパネルのスペースが限られているため、HP 純正用紙の名前は省略される場合があり、パッケージ ラベルに表示されている名前がフロントパネルにそのまま正確に表示されない場合があります。

注記： サポートされている用紙の完全なリストは非常に長いため、最も一般的な用紙の種類のみがフロントパネルに表示されます。フロントパネルに表示されていない HP 純正用紙の種類を表示するには、http://www.hp.com/go/designjet からプリセットをプリンタにダウンロードします。37 ページの 「用紙プリセットをダウンロードする」を参照してください。

用紙を使用する

良好な印刷品質を得るためには、目的に合った適切な用紙を選択することが非常に重要です。最適な印刷結果を得るには、推奨されている HP 純正用紙 (詳細は、28 ページの 「サポートされている用紙の種類」を参照) のみを使用してください。HP 純正用紙は十分な検査を受けて開発され、高い信頼性とパフォーマンスが保証されています。すべてのプリンタ関連製品 (プリンタ、インク システム、用紙) は、一緒に使用することで高性能を発揮し、最適な印刷品質を実現することができます。

用紙の使用方法に関するその他のヒントを以下に示します。

- 用紙の種類を問わず、印刷に使用する 24 時間前には、包装を外して、使用する環境に用紙を出しておくようにしてください。
- フィルムとフォト用紙は、端を持つか綿製の手袋をして取り扱ってください。このような用紙には手の油分が付着しやすく、指紋が付く可能性があります。
- 用紙の取り付けと取り外しの際は、用紙をロールにしっかりと巻き付けておいてください。用紙をロールにしっかりと巻き付けるには、ロールをプリンタから取り外す直前に、テープを使用してロールの先端を芯に接着させてみてください。保管中はロールをテープで接着させておくことができます。巻き付け方が緩いと、取り扱いにくくなります。

  注記： 76.2mm (3 インチ) 芯の場合、ロールの先端を接着させる際にテープを使用することは特に重要です。印刷物自体の硬さによって印刷物が緩み、芯から外れてしまう可能性があります。

- ロール紙を取り付けた場合、取り付けた用紙の種類を指定するようにフロントパネルにメッセージが表示されます。印刷品質を高くするため、適切な用紙の種類を指定する必要があります。パッケージ ラベルに印刷されている用紙名がフロントパネルの説明と一致していることを確認してください。

  フロントパネルの表示で特定の用紙が見つからない場合は、http://www.hp.com/go/designjet/supplies にアクセスしてプリンタの最新の用紙プリセットをダウンロードするか、またはパッケージ ラベルに印刷されている用紙名に最適なメディア プリセットを選択します。

- イメージに適さない用紙を使用した場合、イメージによっては品質が低下するものがあります。これは、HP スタンダードコート紙、HP コート紙、HP 厚手コート紙および HP スタンダード厚手コート紙などの繊維ベースの用紙に印刷する場合に、特に重要なこととして考慮に入れる必要があります。繊維ベースの用紙上に高彩度の塗りつぶし領域が含まれているイメージを印刷する場合は用紙の広がりによって不要な波形パターンが作成される可能性があります 。最終的には、これによってより深刻な問題が発生する可能性があります。高彩度の塗りつぶし領域を印刷する場合は、厚手コート紙を使用してみてください。
- 適切な出力品質設定 ([高品質]、[標準]、または [高速]) が選択されていることを確認してください。印刷品質は、ドライバ、内蔵 Web サーバ、またはフロントパネルで設定できます。ドライバまたは内蔵 Web サーバの設定は、フロントパネルの設定よりも優先されます。用紙の種類と印刷品質設定の組み合わせによって、用紙に対するインクの転写方法が決定されます (たとえ

ば、インク濃度、ハーフトーンなど)。78 ページの 「印刷品質を選択する」を参照してください。

- プリンタに付属のインク システムは光に対して優れた耐久性を備えていますが、日光に長期間さらされると退色または変色します。
- フロントパネルに表示される用紙の種類が使用する用紙の種類に対応していない場合、次の操作のいずれかを行います。
  - ロール紙をプリンタに取り付け直し、適切な用紙の種類を選択します。34 ページの 「ロール紙をプリンタから取り外す」および30 ページの 「ロール紙をプリンタに取り付ける」を参照してください。
  - 内蔵 Web サーバまたは HP ユーティリティを使用してロール紙での用紙の種類を再設定します。
  - プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [**取り付けられている用紙の表示**] - [**用紙の種類の変更**] を選択します。

  注記： フロントパネルから用紙の種類を変更した場合、素材送りのキャリブレーションは行われません。

乾燥時間

印刷物の種類や印刷する環境によっては、印刷物を取り外す前にインクを乾燥させる時間が必要になる場合があります。用紙の種類ごとに以下の設定から選択できます。

- [**自動**] : 選択した用紙と印刷時の温度に基づき、適切な乾燥時間が自動的に判断されます。乾燥時間が必要な場合は、「乾燥時間の残り時間」がフロントパネルに表示されます。
- [**長い**] : デフォルトの乾燥時間よりも長くなります。デフォルトの乾燥時間では十分にインクが乾燥しない場合は、この設定を選択します。
- [**短い**] : デフォルトの乾燥時間よりも短くなります。できるだけ早く印刷する必要があり、乾燥時間が短くても大きな問題がない場合は、この設定を選択します。
- [**なし**] : 乾燥時間を設定しません。印刷物がプリンタから排紙されたらすぐに手動で取り外す場合は、この設定を選択します。
- [**手動**] : 秒単位で乾燥時間を指定できます。

乾燥時間を変更するには、37 ページの 「乾燥時間を変更する」を参照してください。

サポートされている用紙の種類

次の表に、このプリンタで使用できる最も一般的な HP の用紙の種類と、用紙を取り付けるときにフロントパネルで選択する表示名を示します。フロントパネルに表示されない HP 純正用紙を使用する場合、http://www.hp.com/go/designjet/supplies にアクセスして適切な用紙プリセットをダウンロードしてください。プリセットのダウンロードは 1 度だけ行います。プリセットはプリンタに保存されるため将来使用でき、以後、フロントパネルに表示されます。

用紙の製品番号、幅、重量については、39 ページの 「用紙について」を参照してください。

注記： 以下の表の内容は、将来変更される場合があります。最新情報については、http://www.hp.com/go/designjet/supplies/を参照してください。

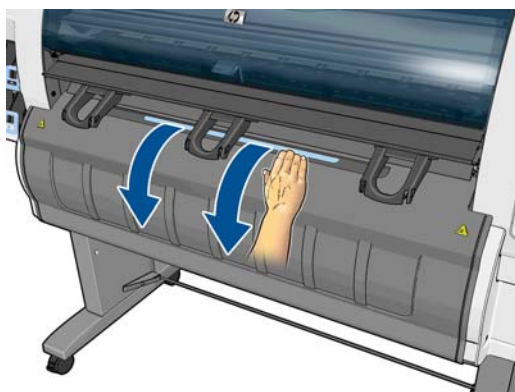
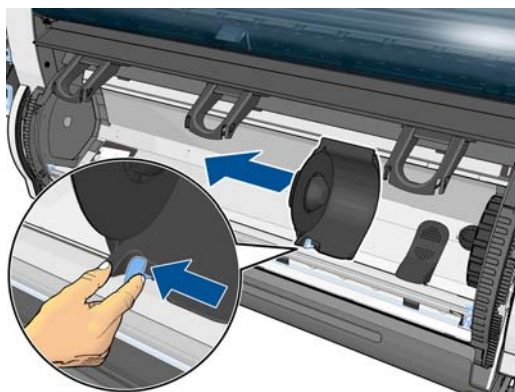
表 4-1　サポートされている用紙の種類

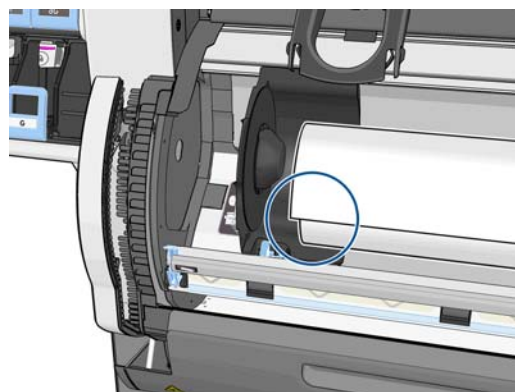
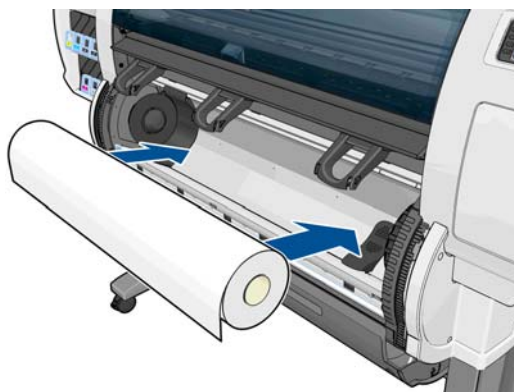
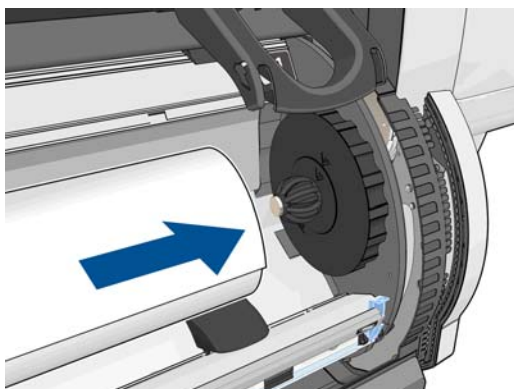
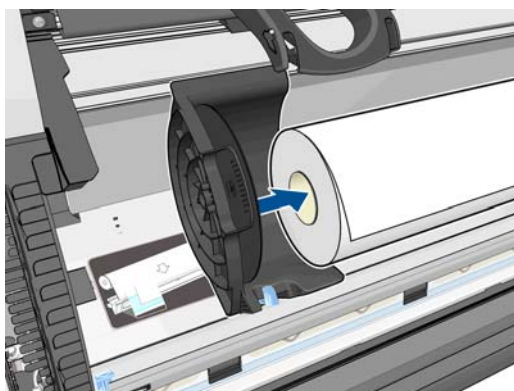
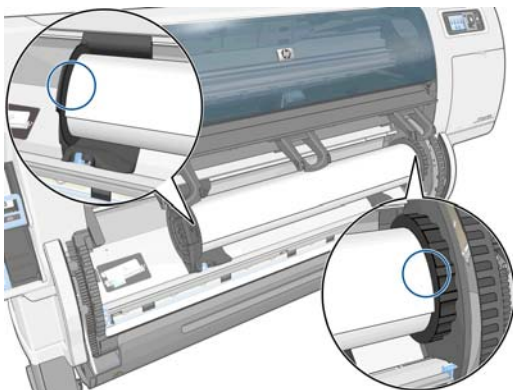
用紙の種類	製品名	フロントパネルでの表示名
普通紙とコート紙	HP コート紙	HP コート紙
	HP スタンダード普通紙	HP スタンダード普通紙
	HP インクジェット普通紙	HP インクジェット普通紙
	HP リサイクル普通紙	HP リサイクル普通紙
	普通紙（インクジェットまたは LED）60～80g/m²	普通紙
	インクジェット普通紙	インクジェット普通紙
	コート紙または普通紙（インクジェットまたは LED）90～110g/m²	コート紙
	厚手コート紙または普通紙（インクジェットまたは LED）110g/m² 以上	厚手コート紙
	リサイクル普通紙	リサイクル普通紙
テクニカル用紙	トレーシングペーパー	トレーシングペーパー
	半透明ボンド紙	半透明ボンド紙
	ベラム紙	ベラム紙
フォト用紙	HP スタンダード光沢フォト用紙	HP スタンダード光沢フォト用紙
	染料インク用光沢フォト用紙	光沢フォト用紙
	染料インク用半光沢/サテンフォト用紙	半光沢/サテンフォト用紙
	つや消しフォト用紙	つや消しフォト用紙
フィルム	透明/クリアフィルム	クリアフィルム
	マットフィルム	マット フィルム
バックライト用紙	バックライト用紙	バックライト用紙
粘着紙	粘着用紙	粘着用紙
	ポリプロピレン サテン粘着紙	ポリプロピレン サテン粘着紙

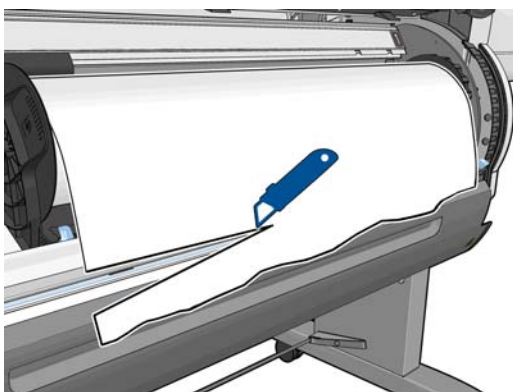
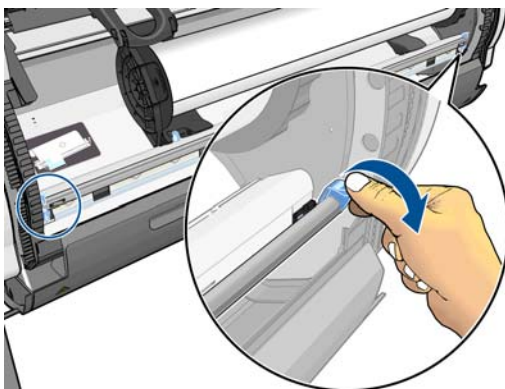
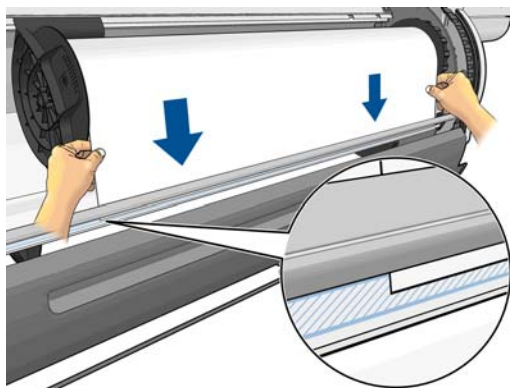
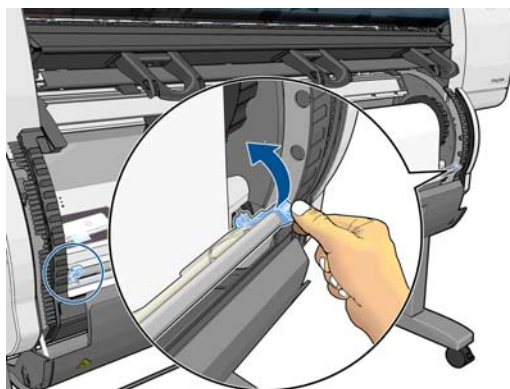
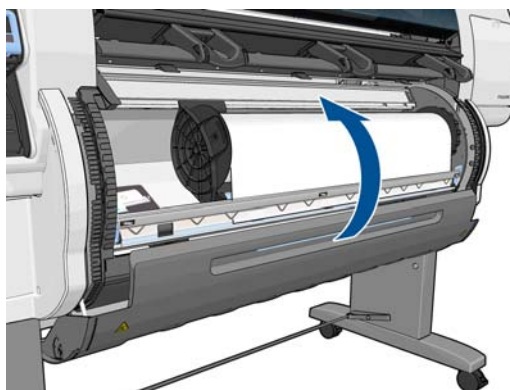
ロール紙をプリンタに取り付ける

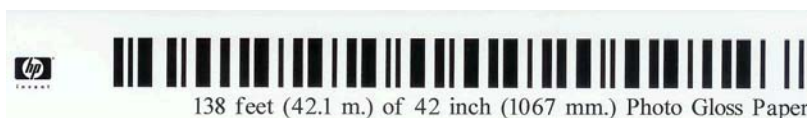
1. プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**用紙の取り付け**］-［**ロール紙の取り付け**］を選択します。

```
Paper load
▶ Load roll 1
▶ Load roll 2
▶ Load roll 3
```

2. 上矢印 および 下矢印 ボタンを使用して、取り付けるロールを選択します。すべてのロールがスタンバイ状態になります。
3. 選択したロールが現在取り付けられている場合は、自動的に取り外されます。［**用紙情報の印刷**］が有効な場合は (38 ページの 「用紙情報の印刷」を参照)、バーコードが印刷されます。取り外されたロールを取り除きます。
4. ［**用紙情報の印刷**］が無効な場合は、フロントパネルで用紙の種類を選択するようにメッセージが表示されます (28 ページの 「サポートされている用紙の種類」を参照)。
5. フロントパネルにメッセージが表示されたら、青いハンドルを使用してロール ドアを開きます。

6. ハブのサイズが取り付けるロールに合っていることを確認します。必要であれば変更します。
7. 青いレバーを押して左側のハブを左に動かします。

8. 用紙の端を手前にして、端を下に向けた状態で、ロールを中に入れます。

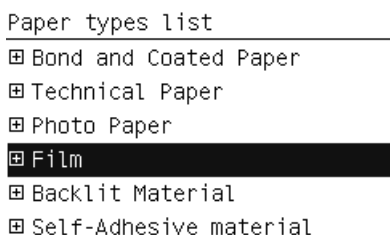
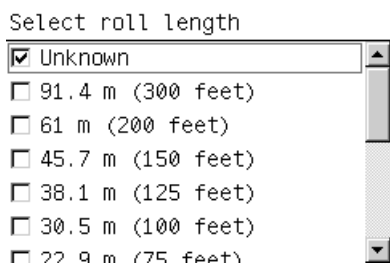
使用方法（用紙）

9. ロールの右側を右側のハブに取り付けます。ロールがディスクに接触していることを確認します。

10. 左側のハブをロールの左端に押し付けます。ハブ ディスクが緑色の印に揃っていることを確認します。

11. ロールと両側のハブの間に隙間がないことを確認します。

12. ロールから用紙を少し引き出します。

13. 用紙の先端を切り取る必要がある場合は、よく切れるナイフを使用して (プリンタには付属していません)、排紙ブレーキの溝に沿って切り取ります。

14. 排紙ブレーキを開きます。

15. 用紙を青いゾーンまで送ります。

16. 排紙ブレーキを閉じます。用紙の端がまだ青いゾーンにあることを確認します。

17. ロール ドアを閉めます。

18. 使用している用紙のロールの先端にバーコードが印刷されている場合、[**用紙情報の印刷**] が有効であると、プリンタはその情報を自動的に読み取ります。

138 feet (42.1 m.) of 42 inch (1067 mm.) Photo Gloss Paper

[**用紙情報の印刷**] が有効であるとき、取り付け中のロールでバーコードが検出されない場合、フロントパネルで、用紙の種類と取り付けるロールの長さの入力を促す指示が出ます。ロール紙の用紙カテゴリと用紙の種類を選択します。選択する用紙カテゴリまたは用紙の種類が不明な場合は、28 ページの 「サポートされている用紙の種類」を参照してください。

Paper types list
⊞ Bond and Coated Paper
⊞ Technical Paper
⊞ Photo Paper
⊞ Film
⊞ Backlit Material
⊞ Self-Adhesive material

ロール紙の長さを選択します。

Select roll length
☑ Unknown
☐ 91.4 m (300 feet)
☐ 61 m (200 feet)
☐ 45.7 m (150 feet)
☐ 38.1 m (125 feet)
☐ 30.5 m (100 feet)
☐ 22.9 m (75 feet)

19. 用紙のキャリブレーションが行われ、ロール紙を使用できるようになります。

注記： プリンタの最初のセットアップ中、ロール紙がプリンタにセットされた後、プリントヘッドの軸合わせとカラー キャリブレーションが自動的に行われます。

用紙の取り付け中に問題が発生した場合は、フロントパネルに表示される指示に従って、用紙を正しく取り付けます。取り付けをキャンセルすると、用紙が取り外されます。発生する可能性がある問題を次に示します。

- 用紙が見つからない。用紙の種類がサポートされていることを確認します (透明な用紙が使用されている可能性があります)。
- ロール紙の右端が青い線から離れすぎている。用紙が右側のハブに正しく揃っていることを確認します。
- 後部ドアが開いている。ロール紙の取り付け中は後部ドアを開かないでください。
- ロール紙の終わりに達した。この場合は、プリンタの前面から用紙が排出されます。

ロール紙をプリンタから取り外す

1. プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択し、次に [**用紙の取り外し**] を選択します。
2. すべてのロールがスタンバイ状態になり、用紙が取り外されます。[**用紙情報の印刷**] が有効な場合は、用紙の端にバーコードが印刷されます (38 ページの 「用紙情報の印刷」を参照)。
3. フロントパネルにロール ドアを開くように要求するメッセージが表示されるのを待ち、ロールドアを開きます。

4. 用紙のたるんだ部分を手動でロール紙に巻き直します。
5. 青いレバーを押して左側のハブを左に動かします。
6. ロール紙を取り除きます。
7. ロール ドアを閉めます。

用紙に関する情報を表示する

プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [**素材の供給方法の表示**] を選択します。

フロントパネルに、以下の情報が表示されます。

- ロール紙のステータス
- 選択した用紙の種類
- 用紙の幅 (mm) (プリンタによる推定値)
- 用紙の長さ (mm) (プリンタによる推定値)
- カラーキャリブレーション ステータス
- 素材送りのキャリブレーション ステータス

用紙が取り付けられていない場合は、**「ステータス : 用紙がありません」** というメッセージが表示されます。

同じ情報が内蔵 Web サーバの [サプライ品] ページにも表示されます。

素材送りキャリブレーションを実行する

プリンタは、フロントパネルに表示されるすべての用紙で用紙が正しく送られるようにキャリブレーションされます。取り付けられている用紙の種類を選択すると、印刷中に用紙を送る間隔がプリンタにより調整されます。ただし、印刷のイメージ品質を微調整する場合、用紙を送る間隔をキャリブレーションする必要があります。用紙送りのキャリブレーションによって問題が解決できるかどうかを決定する手順については、145 ページの 「印刷品質に関するトラブルシューティング」を参照してください。

正確に用紙を送ることで、用紙に対して適切にドットを配置することができます。用紙が正確に送られないと、明るい帯または暗い帯が印刷イメージに現われ、イメージのざらつきが増える場合があります。

用紙を正確に送ることが特に重要な種類の用紙が取り付けられている場合は、素材送りキャリブレーションが自動的に開始されます。これは、用紙を取り付けた後や、プリントヘッドを交換した後に行われます。

用紙の素材送りキャリブレーションのステータスを確認するには、 アイコンを選択し、次に **取り付けられている用紙の表示** - **用紙の詳細を表示** を選択します。ステータス画面が表示されます。

- **デフォルト** : 工場出荷時に設定されたデフォルトのキャリブレーションが使用されます。帯状または粒状のムラなどの印刷品質に関する問題が発生していない限り、素材送りのキャリブレーションを再実行することはお勧めしません。
- **推奨** : 用紙で素材送りの自動キャリブレーションがサポートされていますが、キャリブレーションがまだ行われていないか、失効しています。このような場合は、素材送りキャリブレーションを実行して値を最適化することをお勧めします。
- **OK** : この用紙ですでにキャリブレーションが実行されています。ただし、バンディングや粒状感など印刷品質の問題が発生しているときは、キャリブレーションを再度実行する必要があります。

注記： プリンタのファームウェアを更新した場合には必ず、用紙送りのキャリブレーション値は工場出荷時のデフォルト設定にリセットされます。142 ページの 「プリンタ ファームウェアのアップデート」を参照してください。

注記： 半透明ボンド紙、ならびに、クリア フィルム、モノクロ&カラートレーシングペーパー、ベラム紙などのカラー用紙、光沢キャンバス、および透明紙は、用紙送りのキャリブレーションに適していません。

用紙送りのキャリブレーションの概要

1. フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に ［**イメージ品質の保守**］ - ［**素材送りキャリブレーション**］ - ［**素材送りのキャリブレーション**］ を選択します。プリンタにより自動的に素材送りのキャリブレーションが行われ、素材送りのキャリブレーション イメージが印刷されます。
2. フロントパネルにステータス画面が表示されるのを待ち、再度イメージを印刷します。

   注記： キャリブレーションの処理には、約 6 分間かかります。フロントパネルには、処理中のあらゆるエラーが表示されます。

   満足できるイメージが得られた場合、用紙の種類に合わせて引き続きこのキャリブレーションを使用します。イメージ品質に改善が見られる場合、次の手順に進みます。満足できる再キャリブレーションの結果が得られない場合は、デフォルトのキャリブレーションに戻します。37 ページの 「デフォルトのキャリブレーションに戻す」を参照してください。

3. キャリブレーションを微調整するには、 アイコンを選択し、次に ［**イメージ品質の保守**］ - ［**素材送りキャリブレーション**］ - ［**素材送りの調整**］ を選択します。
4. -5‰ ～ 5‰の間で選択します。明るいバンディングを修正する場合は、パーセントを小さくします。暗いバンディングを修正する場合は、パーセントを大きくします。

   ヒント： これは、印刷物の全長の微調整にも使用できます。1‰で 1m あたり 1mm (1 インチあたり 1 ミル) の変更になります。

5. フロントパネルの OK ボタンを押して値を保存します。
6. フロントパネルにステータス画面が表示されるのを待ち、再度イメージを印刷します。

使用方法 (用紙)

デフォルトのキャリブレーションに戻す

デフォルトのキャリブレーションに戻すと、すべての用紙送りのキャリブレーションが 0 に設定されます。デフォルトの用紙送りのキャリブレーション値に戻す場合は、キャリブレーションをリセットする必要があります。

1. フロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**イメージ品質の保守**］-［**素材送りキャリブレーション**］-［**素材送りのリセット**］を選択します。
2. フロントパネルに作業の正常終了が表示されるまで待ってから、戻る ボタンを押して［**印刷可能です**］画面に戻ります。

用紙プリセットをダウンロードする

サポートされている用紙の種類にはそれぞれ独自の特徴があるため、用紙の種類によってプリンタの印刷方法が変更されます。用紙には、多量のインクを必要とする用紙もあれば、乾燥に長い時間を要する用紙もありますが、用紙の種類ごとに必要な設定の詳細をプリンタに伝える必要があります。この詳細のことを「用紙プリセット」といいます。

用紙プリセットには、用紙の色の特徴を記述する ICC プロファイルが含まれます。また、色とは直接関連がない用紙の特徴および要件も含まれています。このプリンタの既存の用紙プリセットは、プリンタのソフトウェアにインストールされています。

このプリンタでは、一般的に最もよく使用される用紙の種類の用紙プリセットのみが用意されています。プリンタにないプリセットの用紙の種類を購入する場合は、フロントパネルからその用紙の種類を選択できません。

新しい用紙の種類にプリセットを割り当てるには 3 つの方法があります。

- フロントパネル、HP ユーティリティで、使用する用紙の種類になるべく近いカテゴリと種類を選択して、HP の工場出荷時の用紙プリセットを使用します。

  注記：　カラーが正確ではない場合があるため、この方法は、高品質の印刷には向いていません。

- http://www.hp.com/go/designjet/downloads にアクセスして、［**HP Designjet ICC/Paper presets and PANTONE tables**］リンクをクリックします。［**HP Designjet 用紙プリセット**］プルダウン メニューから選択します。

  注記：　HP では、HP 用紙の種類に対するプリセットのみを提供しています。必要な用紙プリセットが Web 上にない場合、プリンタの最新のファームウェアに追加されている場合があります。ファームウェアのリリース ノートを参照して、情報を確認してください。142 ページの「プリンタ ファームウェアのアップデート」を参照してください。

乾燥時間をキャンセルする

フロントパネルの 排紙/カット ボタン を押します。

△ 注意：　乾燥時間が足りないと、印刷品質が低下することがあります。

乾燥時間を変更する

特別な印刷条件に合わせるために、HP ユーティリティを使用して乾燥時間を変更できます。

1. HP Color Center を開きます。
2. ［**用紙プリセット管理**］を選択します。
3. ［**Change printing properties**］(印刷プロパティの変更) を選択します。

4. 用紙のカテゴリを選択します。

5. 用紙の種類を選択します。

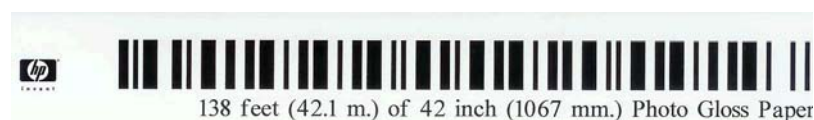
6. [Dry Time] (乾燥時間) プルダウン メニューから乾燥時間を選択します。

   注記： ［自動］オプションが選択されている (すべての用紙の種類のデフォルトで選択されます) と、プルダウン メニューの右側のテキスト ボックスに時間が秒で表示されません。これは、［自動］オプションを選択すると、プリンタが印刷時の温度に基づいて最適な乾燥時間を計算するため、前もって乾燥時間を知ることができないことによります。

すべての用紙の種類のすべての乾燥時間をオフにするには、 アイコンを選択し、次に［**素材の取り扱い**］-［**乾燥時間の選択**］-［**オフ**］を選択します。

乾燥時間の詳細は、28 ページの 「乾燥時間」を参照してください。

用紙情報の印刷

［**用紙情報の印刷**］オプションはデフォルトで有効です。このオプションにより、プリンタは、用紙が取り外されるとき、ロールの先端に印刷されているバーコードを読み取ることで、残りのロールの長さを推定できます。

新しい未使用のロールを取り付ける場合、ロールに印刷済みのバーコードがないため、フロントパネルで長さの入力を要求します。取り外し時にバーコードに印刷される長さは、開始時に宣言した長さから印刷された長さを引いて計算されます。

注記： 取り付け時にロールの長さが不明であると宣言すると、［**用紙情報の印刷**］が無効になり、バーコードは印刷されません。

［**用紙情報の印刷**］オプションを無効にするには、プリンタのフロントパネルで アイコンを選択し、次に［**印刷設定**］-［**用紙オプション**］-［**Disable printing paper info**］(用紙情報の印刷を無効にする) を選択します。この場合は、長さは要求されず、バーコードは印刷も読み取りもされません。

排紙とカット

フロントパネルで 排紙/カット ボタンを押すと、プリンタは用紙を送り、用紙は前面を横切ってまっすぐにカットされます。これを行うには少なくとも 2 つの理由があります。

- 用紙の先端が損傷を受けているか、まっすぐでない場合、それを切り取るため。
- プリンタが他のページのネスティングを待機中であるとき、待機時間をキャンセルして、印刷可能なページを直ちに印刷するため。

注記： プリントヘッドは、印刷が終わるたびにサービスを受け、用紙は、プロセスが完了するまでカットできないため、遅れに気付く場合があります。

注意： 排紙トレイからカットの切れ端を取り出します。細長い切れ端や短い印刷物が排紙トレイに残っていると、プリンタは紙詰まりを起こす可能性があります。

用紙を保管する

用紙を保管する際のヒントは次の通りです。

- 用紙の変色を防ぐため、未使用のロール紙はプラスチックの包装に包んでおくようにしてください。ロール紙が部分的に使用済みで、未使用部分がある場合は、使用済みの部分を包んでおいてください。
- ロール紙は積み重ねないでください。
- 用紙の種類を問わず、印刷に使用する 24 時間前には、包装を外して、使用する環境に用紙を出しておくようにしてください。
- フィルムと光沢紙は、端を持つか綿製の手袋をして取り扱ってください。このような用紙には手の油分が付着しやすく、指紋が付く可能性があります。
- 用紙の取り付けと取り外しの際は、用紙をロールにしっかりと巻き付けておいてください。巻き付け方が緩いと、取り扱いにくくなります。

用紙について

このプリンタに現在対応している用紙は以下のとおりです。

注記： 以下の表の内容は、将来変更される場合があります。最新情報については、http://www.hp.com/go/designjet/supplies/を参照してください。

販売地域を示すコード：

- (A) アジア（日本を除く）で販売されている用紙を示します。
- (J) 日本で販売されている用紙を示します。
- (C) 中国でのみ販売されている用紙を示します。
- (E) ヨーロッパ、中東、およびアフリカで販売されている用紙を示します。
- (L) 南米で販売されている用紙を示します。
- (N) 北米で販売されている用紙を示します。

製品番号に括弧が付いていない場合、その用紙はすべての地域で販売されています。

ここに示す用紙は、T7100 ではすべて使用できますが、T7100 Mono で使用できるのは、最初の列で「*」が付いている用紙だけです。

表 4-2 用紙

用紙の種類	g/m²	長さ	幅	製品番号
HP 普通紙とコート紙				
HP プラス スーパー厚手マット紙	210	30.5m（100 フィート）	610mm（24 インチ）	Q6626A
			914mm（36 インチ）	Q6627A
			1067mm（42 インチ）	Q6628A
HP 厚手コート紙	131	30.5m（100 フィート）	610mm（24 インチ）	C6029C（AEJN）
			914mm（36 インチ）	C6030C
			1067mm（42 インチ）	C6569C
		67.5m（225 フィート）	1067mm（42 インチ）	Q1956A（EN）

使用方法（用紙）

表 4-2 用紙（続き）

用紙の種類	g/m²	長さ	幅	製品番号
HP スタンダード厚手コート紙	120	30.5m（100 フィート）	610mm（24 インチ）	Q1412A（AEJN)
			914mm（36 インチ）	Q1413A
			1067mm（42 インチ）	Q1414A（AEJN)
HP コート紙*	90	45.7m（150 フィート）	420mm（16.54 インチ）	Q1443A（J)
			594mm（23.39 インチ）	Q1442A（EJ)
			610mm（24 インチ）	C6019B
			841mm（33.11 インチ）	Q1441A（EJ)
			914mm（36 インチ）	C6020B
			1067mm（42 インチ）	C6567B
		91.4m（300 フィート）	914mm（36 インチ）	C6980A
HP スタンダードコート紙*	95	45.7m（150 フィート）	610mm（24 インチ）	Q1404A（AEJN)
			914mm（36 インチ）	Q1405A（AEJN)
			1067mm（42 インチ）	Q1406A
HP インクジェット普通紙*	90	45.7m（150 フィート）	420mm（16.54 インチ）	Q1446A（J)
			594mm（23.39 インチ）	Q1445A（EJ)
			610mm（24 インチ）	C1860A（LN)、C6035A (AEJ)
			841mm（33.11 インチ）	Q1444A（EJ)
			914mm（36 インチ）	C1861A（LN)、C6036A (AEJ)
		91.4m（300 フィート）	914mm（36 インチ）	C6810A
HP スタンダード普通紙*	80	45.7m（150 フィート）	594mm（23.39 インチ）	Q8003A（AJ)
			610mm（24 インチ）	Q1396A（AEJN)
			914mm（36 インチ）	Q1397A（AEJN)
			1067mm（42 インチ）	Q1398A（AEJN)
		175m（574 フィート）	594mm（23.39 インチ）	Q8004A（AEJ)
			841mm（33.11 インチ）	Q8005A（AEJ)
			914mm（36 インチ）	Q8751A（ELN)
HP リサイクル普通紙*	80	45.7m（150 フィート）	420mm（16.54 インチ）	CG892A（E)
			610mm（24 インチ）	CG889A（EN)
			914mm（36 インチ）	CG890A（EN)
			1067mm（42 インチ）	CG891A（EN)
HP テクニカル用紙				
HP インクジェット専用紙*	90	45.7m（150 フィート）	610mm（24 インチ）	51631D（ELN)
			914mm（36 インチ）	51631E

表 4-2　用紙（続き）

用紙の種類	g/m²	長さ	幅	製品番号
HP モノクロ&カラートレーシングペーパー*	90	45.7m（150 フィート）	594mm（23.39 インチ）	Q1439A（J）
			610mm（24 インチ）	C3869A（AE）
			914mm（36 インチ）	C3868A（AE）
HP 半透明ボンド紙*	67	45.7m（150 フィート）	610mm（24 インチ）	C3860A（AJN）
			914mm（36 インチ）	C3859A（LN）
HP ベラム紙*	75	45.7m（150 フィート）	610mm（24 インチ）	C3862A（N）
			914mm（36 インチ）	C3861A（LN）
HP フィルム(テクニカル&グラフィクス)				
HP クリアフィルム*	174	22.9m（75 フィート）	610mm（24 インチ）	C3876A（AEJN）
			914mm（36 インチ）	C3875A
HP マットフィルム*	160	38.1m（125 フィート）	610mm（24 インチ）	51642A（AEJN）
			914mm（36 インチ）	51642B
HP フォト用紙				
HP プレミアムマットフォト用紙	210	30.5m（100 フィート）	610mm（24 インチ）	CG459A
			914mm（36 インチ）	CG460A
HP エブリデイ光沢フォト用紙	235	30.5m（100 フィート）	610mm（24 インチ）	Q8916A
			914mm（36 インチ）	Q8917A
			1067mm（42 インチ）	Q8918A
HP エブリデイ半光沢フォト用紙	235	30.5m（100 フィート）	610mm（24 インチ）	Q8920A
			914mm（36 インチ）	Q8921A
			1067mm（42 インチ）	Q8922A
HP プロフェッショナル半光沢フォト用紙	300	15.2m（50 フィート）	610mm（24 インチ）	Q8759A
HP プレミアムプラス光沢フォト用紙	280	15.2m（50 フィート）	610mm（24 インチ）	Q5488A（EN）
HP プレミアムプラス半光沢フォト用紙	280	15.2m（50 フィート）	458mm（18 インチ）	Q7920A（N）
			610mm（24 インチ）	Q5491A（EN）
HP プレミアム速乾光沢フォト紙	260	30.5m（100 フィート）	914mm（36 インチ）	Q7993A
			1067mm（42 インチ）	Q7995A
		22.9m（75 フィート）	610mm（24 インチ）	Q7991A
HP プレミアム速乾半光沢フォト紙	260	30.5m（100 フィート）	914mm（36 インチ）	Q7994A
			1067mm（42 インチ）	Q7996A
		22.9m（75 フィート）	610mm（24 インチ）	Q7992A
HP スタンダード速乾性光沢フォト用紙	190	30.5m（100 フィート）	610mm（24 インチ）	Q6574A
			914mm（36 インチ）	Q6575A
			1067mm（42 インチ）	Q6576A
		61m（200 フィート）	1067mm（42 インチ）	Q8754A（LN）

表 4-2 用紙（続き）

用紙の種類	g/m²	長さ	幅	製品番号
HP スタンダード速乾性半光沢フォト用紙	190	30.5m（100 フィート）	610mm（24 インチ）	Q6579A
			914mm（36 インチ）	Q6580A
			1067mm（42 インチ）	Q6581A
		61m（200 フィート）	1067mm（42 インチ）	Q8755A
HP スタンダード光沢フォト用紙	190	30.5m（100 フィート）	610mm（24 インチ）	Q1426A（AEJN）
			914mm（36 インチ）	Q1427A（AEJN）
			1067mm（42 インチ）	Q1428A（AEJN）
HP スタンダード半光沢フォト用紙	190	30.5m（100 フィート）	610mm（24 インチ）	Q1420A（AEJN）
			914mm（36 インチ）	Q1421A（AEJN）
			1067mm（42 インチ）	Q1422A（AEJN）
HP バックライト用紙				
HP プレミアムビビッドカラーバックライトフィルム	285	30.5m（100 フィート）	914mm（36 インチ）	Q8747A
			1067mm（42 インチ）	Q8748A
HP 粘着紙				
HP スタンダード粘着ビニール	290	20.1m（66 フィート）	914mm（36 インチ）	Q8676A（EN）
			1067mm（42 インチ）	Q8677A（EN）
HP ビニール（粘着タイプ）	328	12.2m（40 フィート）	914mm（36 インチ）	C6775A
HP ポリプロピレン粘着紙	128	50m（164 フィート）	914mm（36 インチ）	Q8044A（C）
			1067mm（42 インチ）	Q8884A（C）
HP ポリプロピレン粘着光沢紙	120	36.6m（120 フィート）	914mm（36 インチ）	Q8834A
			1067mm（42 インチ）	Q8835A
HP エブリデイポリプロピレン粘着マット紙	180	22.9m（75 フィート）	610mm（24 インチ）	CG843A
			914mm（36 インチ）	CG824A
			1067mm（42 インチ）	CG825A
HP サイン&バナー				
HP 耐久性半光沢ディスプレイフィルム	255	15.2m（50 フィート）	914mm（36 インチ）	Q6620B（EN）
HP オパークスクリム	486	15.2m（50 フィート）	610mm（24 インチ）	Q8675A（N）
			914mm（36 インチ）	Q1898B（AEN）
			1067mm（42 インチ）	Q1899B（AEN）
HP ポリプロピレンマット紙	130	22.9m（75 フィート）	914mm（36 インチ）	Q1903A（AEN）
			1067mm（42 インチ）	Q1904A（AEN）
HP エブリデイポリプロピレンマット紙	120	30.5m（100 フィート）	610mm（24 インチ）	CH022A（EN）
			914mm（36 インチ）	CH023A（EN）
			1067mm（42 インチ）	CH025A（EN）
		61m（200 フィート）	914mm（36 インチ）	CH024A（N）

表 4-2　用紙（続き）

用紙の種類	g/m²	長さ	幅	製品番号
HP 耐久バナー (DuPont Tyvek)	140	22.9m (75 フィート)	914mm (36 インチ)	CG821A
			1067mm (42 インチ)	CG822A

推奨しない用紙の種類

通常、HP でサポートしていない用紙の種類もプリンタで使用できます。ただし、以下の種類の用紙では、適切な結果を得られない可能性が高くなります。

- 膨張しやすいフォト用紙
- ブローシャ用紙

5　インク システム取り扱い

インク システム コンポーネント

インクカートリッジ

T7100 プリンタは 6 つのインクカートリッジから、ブラック、イエロー、マゼンタ、シアン、グレー、およびダークグレーの各インクをプリントヘッドに供給します。T7100 Mono プリンタには、ブラックとダークグレーの 2 つのインクカートリッジがあります。

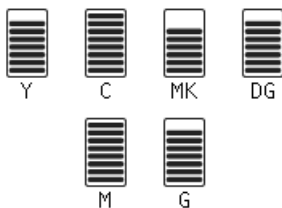
インクカートリッジには、保守やクリーニングは必要ありません。各インクカートリッジは、取り付ける前によく振ってからスロットにしっかりと差し込むと、プリントヘッドにインクが供給されます。プリントヘッドでページに転写されるインクの量が調節されるため、インクの残量が少なくなった場合でも、高品質の印刷結果が得られます。

△ **注意：** 静電気の放電に対して敏感なため、インクカートリッジを取り扱う際は、ピン、リード、および内部回路に触れないようにしてください。これらのデバイスは ESD センシティブ デバイスと呼ばれます。202 ページの 用語集を参照してください。静電気の放電は電子製品の主な障害の 1 つとなります。このような破損によって、デバイスの平均寿命が短くなることがあります。

インクカートリッジを交換する

インクカートリッジのインク量を確認するには

- ⓘ ボタンを、インク量が表示されるまで繰り返し押します。または、
- アイコンを選択し、次に［**インクカートリッジ情報**］を選択します。

Ink levels

カートリッジのインク残量が少なくなると、フロントパネルに警告メッセージが表示されます。カートリッジが空になると、印刷が停止し、フロントパネルに原因を示すメッセージが表示されます。

MK cartridge is out of ink

Replace MK cartridge/s

Press OK to start cartridge replacement

カートリッジが空になった場合は、新しい HP のカートリッジと交換することをお勧めします。67 ページの 「インク サプライ品について」、48 ページの 「インクカートリッジを取り外す」、および50 ページの 「インクカートリッジを取り付ける」を参照してください。

補充用インクカートリッジや HP 製品以外のインクカートリッジを使用できますが、いずれを使用する場合も、以下の重大な欠点があります。

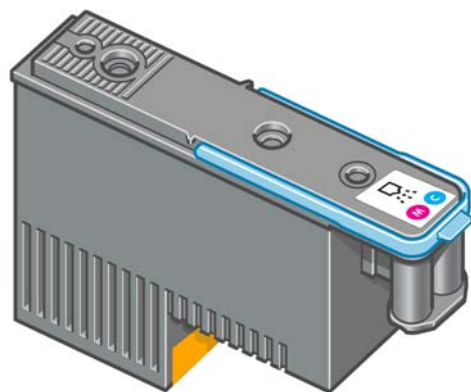
- プリンタが破損する危険があります。この場合は、カートリッジに関連するプリンタの修理に対してプリンタ保証は無効になります。同様に、インクの汚れによる問題に対してもプリンタ保証は無効になります。
- インク システム全体 (インク チューブを含む) を交換するまで、プリンタで引き続き使用される同じカラーのすべてのプリントヘッドの保証は無効になります。
- 印刷品質が低下する可能性があります。
- プリンタはカートリッジ内のインク残量を推定できなくなり、インク残量を空と報告します。

補充用インクカートリッジや HP 製品以外のインクカートリッジを使用するように決めた場合は、次の手順に従って、インク残量が空であると判断したカートリッジをプリンタに使用させる必要があります。

1. カートリッジをプリンタに取り付けます (50 ページの 「インクカートリッジを取り付ける」を参照)。
2. カートリッジが空であることがフロントパネルで表示されたら、カートリッジの取り外し処理が開始されます。キャンセル ボタンを押して、この自動処理を停止します。
3. フロントパネルで、 アイコンを選択します。[**インクカートリッジの交換**] がハイライトされますが、選択しないでください。
4. キャンセル ボタンと上矢印 ボタンを同時に押し、2 秒間以上押し続けます。
5. フロントパネルで一連の警告メッセージが表示されます。各メッセージに対して、キャンセル ボタンを押して処理を取り消すか、OK ボタンを押して処理の続行を確定します。

すべての警告メッセージに対して OK を押した場合は、フロントパネルでインクカートリッジの通常のステータス表示が行われ、補充用カートリッジや HP 製品以外のカートリッジは空の警告サインで表示されます。

プリントヘッド

プリントヘッドはインクカートリッジに接続されており、用紙にインクを噴射します。各プリントヘッドにはインクカートリッジの接点とノズルが 2 つずつありますが、これは、1 つのプリントヘッドが 2 つの異なる色で印刷できることを意味します。たとえば、以下のプリントヘッドはマゼンタとイエローで印刷します。

プリントヘッドの耐久性は非常に優れており、インクカートリッジを交換するたびにプリントヘッドを交換する必要は*ありません*。プリントヘッドにより、インクカートリッジのインク残量が少なくなった場合でも品質は高水準に維持されます。

最適な印刷品質を維持するため、自動的に一定の間隔でプリントヘッドがテストされ、必要に応じて修復されます。この処理には少し時間がかかり、印刷速度が遅くなる場合もあります。

最終的にプリントヘッドの交換が必要になると、フロントパネルにメッセージが表示されます。

プリントヘッドのステータスを確認するには

- ⓘ ボタンを、プリントヘッドのステータスが表示されるまで繰り返し押します。または、
- アイコンを選択し、次に［**プリントヘッド情報**］を選択します。

△ **注意：** 静電気の放電に対して敏感なため、インクカートリッジを取り扱う際は、ピン、リード、および内部回路に触れないようにしてください。これらのデバイスは ESD センシティブ デバイスと呼ばれます。202 ページの 用語集を参照してください。静電気の放電は電子製品の主な障害の 1 つとなります。このような破損によって、デバイスの平均寿命が短くなることがあります。

保守カートリッジ

プリントヘッド クリーナは、プリントヘッドのクリーニングと保守に使用し、印刷品質を最高水準に保ちます。また、プリントヘッドの未使用時に、プリントヘッドを保護して乾くのを防ぎます。

注記： 保守カートリッジには液体が含まれています。したがって、保守カートリッジは平らな面に上向きにして保管します。

インク システムのヒント

最高の結果を得るために、以下の説明に従ってください。

- インクカートリッジ、プリントヘッド、保守カートリッジは、パッケージに記載されている期限日より前に取り付けます。インクカートリッジの使用期限は、カートリッジに記載されている製造日プラス 30 ヶ月です。
- 取り付け作業中は、フロントパネルに表示される指示に従います。
- プリンタと保守カートリッジが、プリントヘッドを自動的にクリーニングできるようにします。
- インクカートリッジとプリントヘッドは、できる限り取り外さないでください。
- 印刷中は、インクカートリッジを決して取り外さないでください。必ずプリンタ側でインクカートリッジ取り外しの準備ができた状態で取り外してください。フロントパネルに、取り外しと取り付けの手順が表示されます (または、48 ページの 「インクカートリッジを取り外す」および50 ページの 「インクカートリッジを取り付ける」を参照)。
- インク システム消耗品を廃棄する際は、適用されるすべての法律や規則に従ってください。

注記： インクカートリッジは、よく振ってから取り付けます。50 ページの 「インクカートリッジを取り付ける」を参照してください。

インク システム コンポーネントの取り扱い

インクカートリッジを取り外す

インクカートリッジは、次の 2 つの理由がある場合、取り外す必要があります。

- インクカートリッジの残量が残りわずかなため、無人での印刷を行うのに十分な量のインクカートリッジと交換する必要がある場合。交換前のカートリッジに残っているインクは、別の機会に使い切ることができます。
- インクカートリッジが空になったか問題があり、印刷を続行するために交換する場合

MK cartridge is out of ink

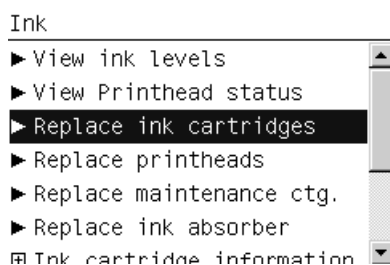
Replace MK cartridge/s

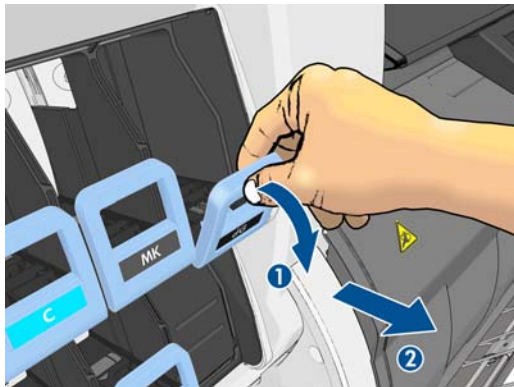
Press OK to start cartridge replacement

△ **注意：** インクカートリッジの取り外し処理は、フロントパネルで行う必要があります。インクカートリッジはフロントパネルで指示があるまで取り外さないでください。

注意： インクカートリッジを取り外す場合は、新しいインクカートリッジを用意してから行ってください。

⚠ **警告！** プリンタのキャスターがロックされ (ブレーキ レバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

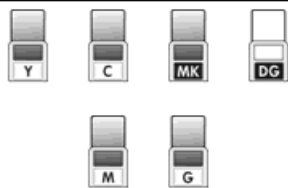
1. フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に［**インクカートリッジの交換**］を選択します。

2. 取り外すカートリッジの前面にある青いタブをつかみます。

3. 青いタブを下に引いてから手前に向けて外側に引き出します。

4. カートリッジが引き出しに載って出てきます。

5. インクカートリッジを引き出しから取り出します。

注記： プリンタとの接続部分には触らないでください。接続部分にインクが付着していることがあります。

注記： 一部使用済みのインクカートリッジを保管しなければならないときは、プリンタに挿入されていたときと同じポジションで保管します。立てて保管されていた一部使用済みのインクカートリッジは引き続き使用しないでください。

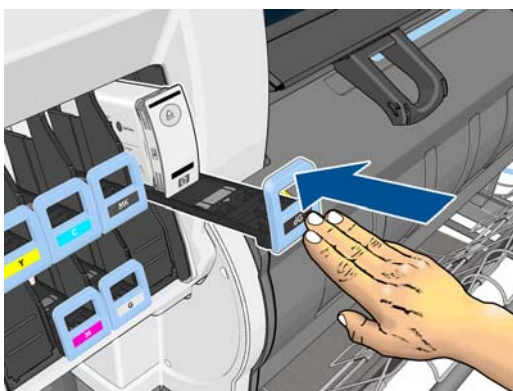
6. フロントパネルに、取り付けられていないインクカートリッジが表示されます。

インクカートリッジを取り付ける

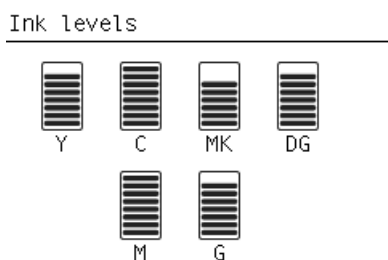
1. 新しいインクカートリッジを用意し、ラベルを参照してインクの色を確認してください。ラベルが手前から見て上部に見えるようにインクカートリッジを持ちます。

2. プリンタの空いたスロットの上部にあるラベルの色と、カートリッジのラベルの色が同じであることを確認します。

3. カートリッジを 15 秒間よく振ります。

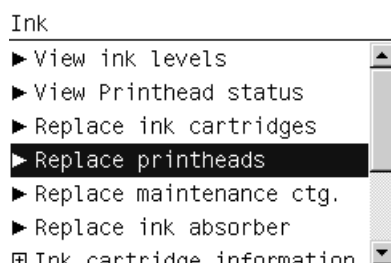
4. インクカートリッジを、カートリッジ用の引き出しに取り付けます。

5. カートリッジを設置した引き出しをスロットの中にスライドさせ、所定の位置に固定されるまで押し込みます。

取り付けにくい場合は、163 ページの 「インクカートリッジを取り付けられない」を参照してください。

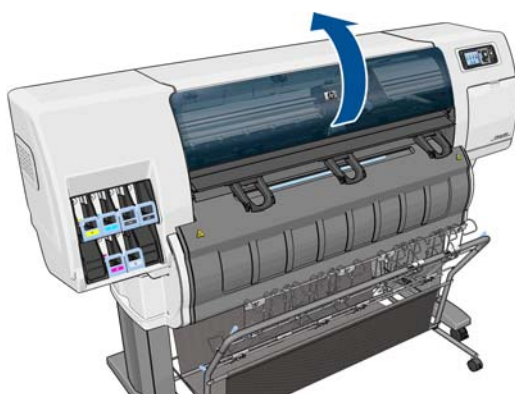
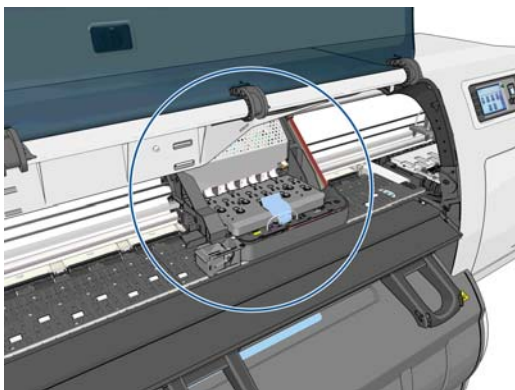
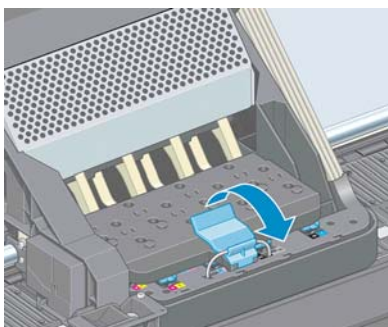
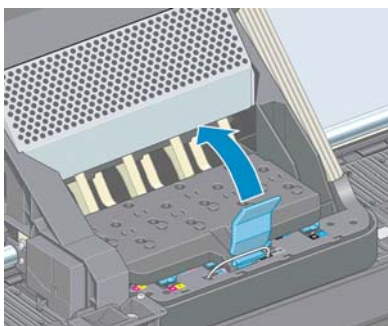
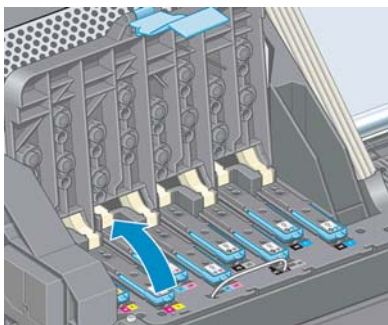
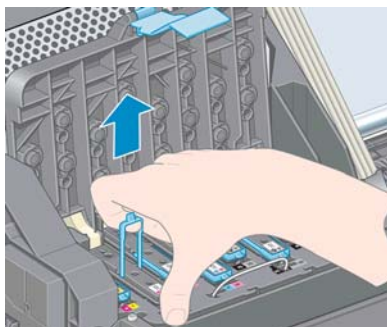
6. フロントパネルに、すべてのカートリッジが正しく取り付けられたことが表示されます。

プリントヘッドを取り外す

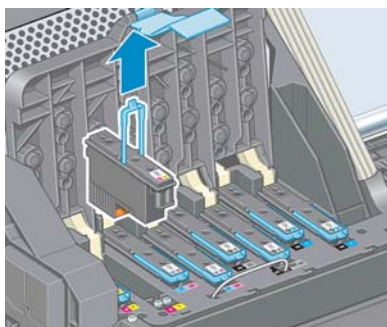
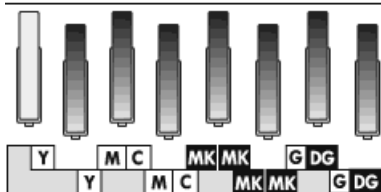
⚠ **警告！** プリンタのキャスターがロックされ (ブレーキ レバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

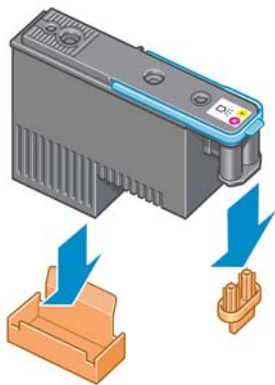
プリントヘッドの交換は、必ず、プリンタの背面にある電源スイッチをオンにしてから行ってください。

1. フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [**プリントヘッドの交換**] を選択します。

2. キャリッジが適切な位置に移動します。

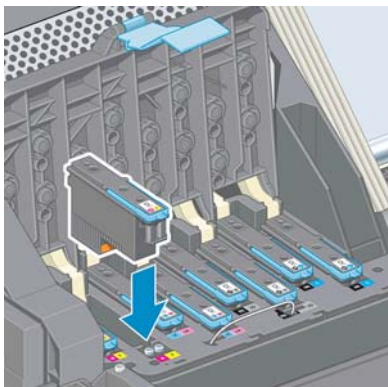
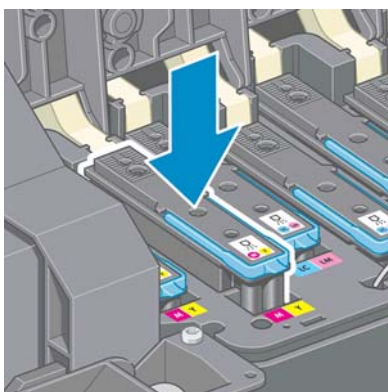
△ **注意：** キャリッジは、取り外し位置に移動してから 3 分以上、プリントヘッドの取り付けや取り外しが行われずに放置されると、右端の通常の位置に戻ります。

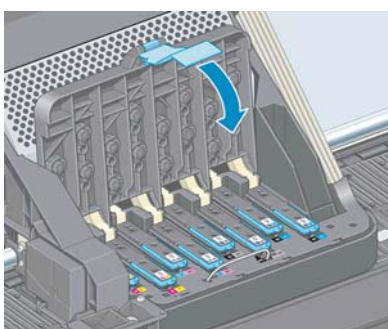
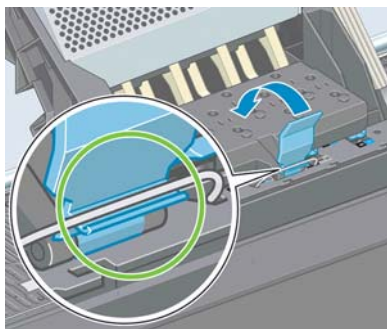
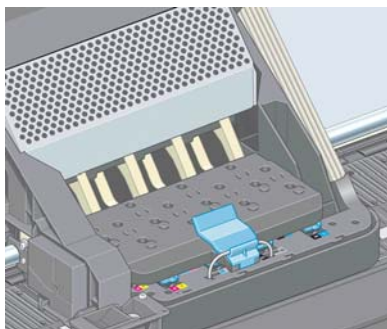
3. キャリッジが停止したら、プリンタのウィンドウを開くようフロントパネルにメッセージが表示されます。

4. プリンタの右側にあるキャリッジを確認します。

5. キャリッジ上部のラッチを引き上げて、ロックを解除します。

6. カバーを持ち上げます。これでプリントヘッドにアクセスできるようになります。

7. 取り外すプリントヘッドの青いハンドルを持ち上げます。

8. 持ち上げた青いハンドルを使用して、プリントヘッドを静かに取り外します。

9. プリントヘッドがキャリッジから外れるまで、青いハンドルをゆっくりと引き上げます。

△ **注意：** 急いで引き上げないでください。プリントヘッドに損傷を与える原因となります。

10. フロントパネルに、取り付けられていないプリントヘッドが表示されます。

プリントヘッドを取り付ける

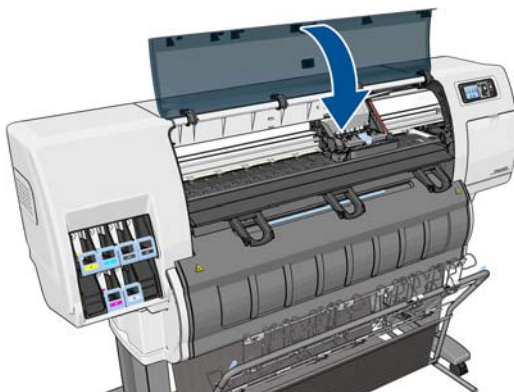
1. オレンジの保護キャップを引き下げて取り外します。

2. プリントヘッドは、間違ったスロットに取り付けられないよう設計されています。プリントヘッドのラベルの色と、プリントヘッドを取り付ける先のキャリッジ スロットのラベルの色が合っていることを確認してください。

3. 新しいプリントヘッドを、キャリッジの該当するスロットに取り付けます。

△ **注意：** プリントヘッドは、ゆっくりと垂直に下ろして取り付けてください。急に下ろしたり、斜めに取り付けたり、取り付ける際に回したりすると、破損することがあります。

4. 矢印のとおりに、プリントヘッドを下に押し込みます。

△ **注意：** 新しいプリントヘッドを取り付ける場合は、しっかりと、またゆっくりと押し込んでください。ブザーが鳴り、フロントパネルにプリントヘッドが取り付けられたことを示す確認画面が表示されます。取り付けにくい場合は、163 ページの 「プリントヘッドを取り付けられない」を参照してください。

5. 必要なプリントヘッドをすべて取り付けたら、キャリッジ カバーを閉じます。

6. 青いハンドルの先端が、キャリッジの手前側のワイヤー ループに掛かっていることを確認します。

7. ハンドルをキャリッジ カバーの上まで押し下げます。

すべてのプリントヘッドが正しく取り付けられ、プリンタがそれを認識すると、プリンタのブザーが鳴ります。

注記： プリントヘッドを取り付けてもブザーが鳴らず、フロントパネルに「**交換して下さい**」というメッセージが表示された場合は、プリントヘッドを取り付け直してください。

8. ウィンドウを閉じます。

9. フロントパネルに、すべてのプリントヘッドが正しく取り付けられたことが表示され、プリントヘッドの確認と準備が開始されます。すべてのプリントヘッドを交換した場合、通常の処理はデフォルトで 18 分ほどかかります。プリントヘッドの準備中に問題が発見された場合、処理にかかる時間が延び、最大で 30 分ほどかかることがあります。プリントヘッドを 1 つだけ交換した場合は、10～20 分ほどかかります。

10. すべてのプリントヘッドの確認と準備が終了した後、用紙が取り付けられている場合は、プリントヘッドの軸合わせが自動的に実行されます。59 ページの 「プリントヘッドの軸合わせ」を参照してください。

11. 用紙が取り付けられている場合、用紙の種類によっては、素材送りキャリブレーションの処理が自動的に実行されます。35 ページの 「素材送りキャリブレーションを実行する」を参照してください。

プリントヘッドをクリーニング (修復) する

プリンタの電源が常にオンになっている限り、定期的にプリントヘッドの自動クリーニングが実行されます。ただし、印刷品質の低下が見られ、他の方法では問題を解決できない場合は、プリントヘッドをクリーニングする必要があります。これによりノズル内に新しいインクが確保され、ノズルの目詰まりを防止できます。

プリントヘッドのステータス プロットを印刷すると、問題のあるカラーが判断できます。十分に機能していないプリントヘッドを 2 個 1 組選択します。クリーニングするプリントヘッドが不明な場合は、すべてのプリントヘッドをクリーニングします。

プリントヘッドのクリーニングを行うには、プリンタのフロントパネルでイメージ品質の保守アイコン を選択し、[**プリントヘッドのクリーニング**] を選択してから、クリーニング対象のプリントヘッドを選択します。すべてのプリントヘッド、または一部のプリントヘッドをクリーニングできます。

すべてのプリントヘッドのクリーニングには、5 分ほどかかります。すべてのプリントヘッドのクリーニングには、3 分ほどかかります。

注記： すべてのプリントヘッドのクリーニングには、1 組のプリントヘッドのクリーニングよりも多くのインクが必要です。

注記： プリンタの電源を 6 週間以上オフのままにしておいた場合、または、長期間の保管後に印刷した際カラーに一貫性がない場合、ジョブを印刷する前にプリントヘッドからインクを除去することをお勧めします。インクをプリントヘッドから除去することでカラーの一貫性を最大限に保つことができますが、低下したプリントヘッドの品質を改善することは*できません*。

プリントヘッドの電極をクリーニングする

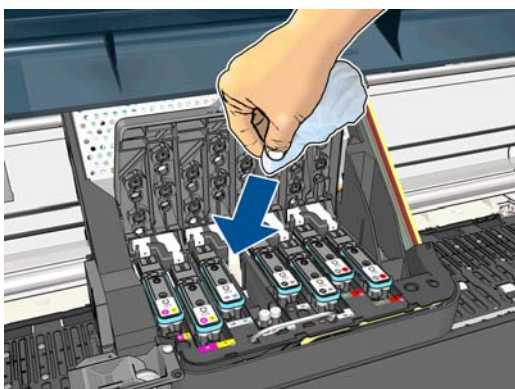
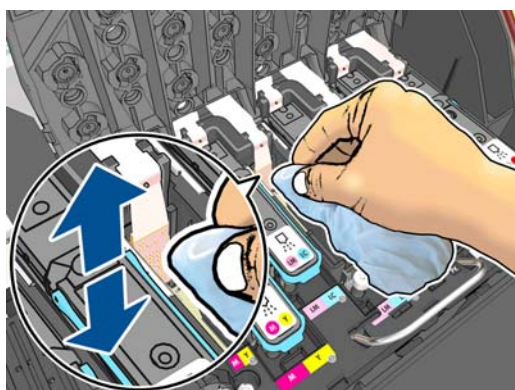
プリントヘッドを取り付けてもプリンタがプリントヘッドを認識しないことがあります。これは、プリントヘッドとプリントヘッド キャリッジが接触する電極部分に、インクがたまって付着していることが原因です。このような場合は、プリントヘッドの電極部分をクリーニングすることをお勧めします。しかし、特に問題がなければ、電極部分を定期的にクリーニングする必要は*ありません*。

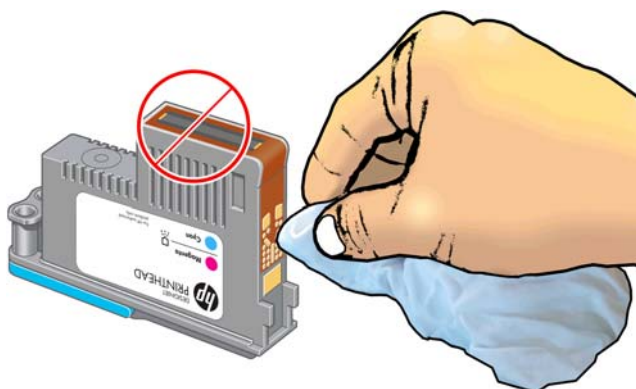
「**再度取り付けて下さい**」または「**交換して下さい**」というメッセージがプリントヘッドの横にあるフロントパネルに表示され続ける場合、吸収性のあるきれいな柔らかい布にイソプロピル アルコールを少し付けて、プリントヘッド キャリッジとプリントヘッドの両方の電極部分をクリーニングします。

1. プリントヘッド キャリッジのラッチを開き、フロントパネルに表示されている問題の原因となるプリントヘッドを取り外します。51 ページの 「プリントヘッドを取り外す」を参照してください。

2. 指を布で覆い、プリントヘッド スロットの奥に差し込みます。

△ **注意：** キャリッジはプリンタの中央部分に 7 分を超えて放置されると、右端の通常の位置に戻ります。

インク システム取り扱い

3. 布を*軽*く動かし、フレックス コネクタの底まで電極を拭きます。このとき、スロットの底にたまったインクをすくい上げないようにしてください。

4. すべての電極を慎重にクリーニングします。コネクタの底の部分の電極も忘れずにクリーニングしてください。

5. プリントヘッドが新しいものではない場合は、同じ布を使用して、プリントヘッドの電極ストリップをクリーニングします。プリントヘッドのノズルに触れないでください。

△ 注意： 破損しやすいため、ノズルがある面には触らないでください。

6. 両方のコネクタが乾くまでしばらく待ちます。乾いたら、プリントヘッドをプリントヘッド キャリッジに取り付けます。53 ページの 「プリントヘッドを取り付ける」を参照してください。

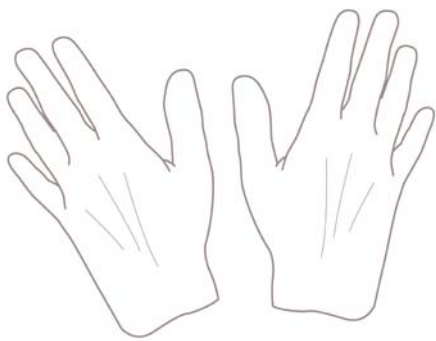
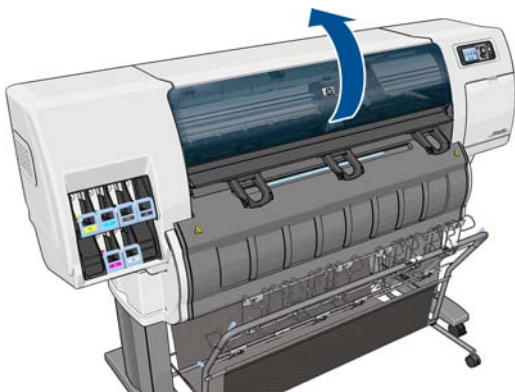
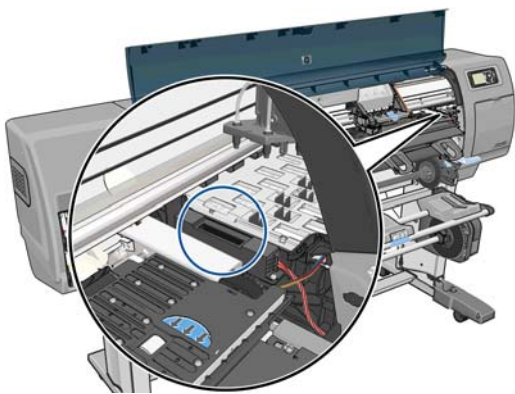
7. 布は洗うか捨ててください。手や服にインクが付かないように注意してください。

フロントパネルに「**再度取付けて下さい**」または「**交換して下さい**」というメッセージがまだ表示される場合は、プリントヘッドを交換するか、日本 HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせください。

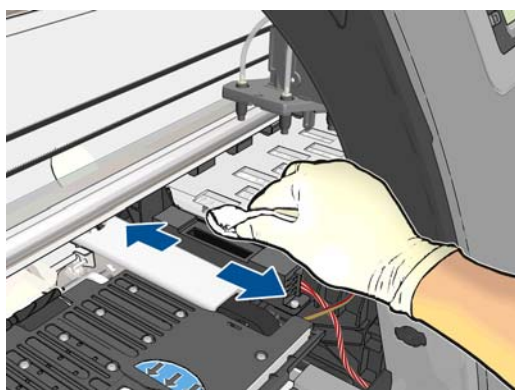
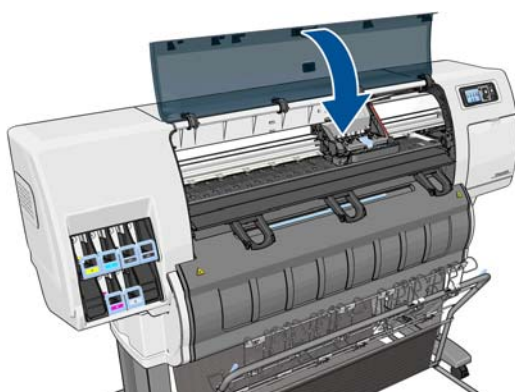
プリントヘッド ドロップ検出器をクリーニングする

プリントヘッド ドロップ検出器は、プリントヘッドの印刷しないノズルを検出するセンサーです。検出した場合は他のノズルを代用できます。小片 (繊維、髪の毛、用紙の切れ端など) がセンサーを遮っている場合は、印刷品質が影響を受けます。

フロントパネルで、ドロップ検出器のクリーニングが必要であると警告メッセージが表示されたら、クリーニングをお勧めします。すぐにクリーニングしなくても、プリンタの正常な動作には影響はありませんが、フロントパネルで警告が表示され続けます。

△ 注意： 手にインクがつかないように手袋をはめてください。

1. プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に［**プリントヘッドの交換**］を選択します。
2. フロントパネルでプリンタの電源をオフにします。
3. 感電を防ぐために、プリンタの電源をオフにし、電源コードを抜いてください。
4. ウィンドウを開きます。

5. プリントヘッド キャリッジの右側でプリントヘッド ドロップ検出器を探します。

6. プリントヘッド ドロップ検出器を遮っている小片を取り除きます。

インク システム取り扱い

7. 糸くずのでない乾いた布でドロップ検出器の表面を拭き取り、目に見えない粒子を取り除きます。

8. ウィンドウを閉じます。

9. プリンタの電源コードを差し込み電源を入れます。

10. フロントパネルでプリンタの電源をオンにします。

プリントヘッドの軸合わせ

プリントヘッド間の正確な軸合わせは、高いカラー精度、なめらかなカラー グラデーション、およびグラフィック要素の鮮明なエッジを実現する上で重要です。このプリンタには、プリントヘッドの入手または交換時に、プリントヘッドの軸合わせ処理を自動で行う機能があります。

用紙の紙詰まりが発生した場合、またはカラーが正確に再現されない問題が発生した場合は、プリントヘッドの軸合わせを行う必要があります。

注記： 用紙の紙詰まりが発生したら、プリントヘッドを取り付け直し、イメージ品質の保守メニュー から軸合わせ手順を再度実行することをお勧めします。

注意： プリントヘッドの軸合わせ処理には透明または半透明の用紙は使用しないでください。

インク システム取り扱い

プリントヘッドを再度取り付ける手順

1. 軸合わせのやり直し処理の実行中に誤った用紙が取り付けられている場合は、フロントパネルの キャンセル ボタンを押してください。

> △ 注意： 軸合わせのやり直し処理をキャンセルした場合は、印刷を行わないでください。[イメージ品質の保守] メニューの手順から軸合わせをやり直すことができます。

2. 使用する用紙を取り付けます。26 ページの 「使用方法 (用紙)」を参照してください。幅 420mm (16.54 インチ) 以上の用紙を使用してください。

> △ 注意： プリントヘッドの軸合わせ処理には透明または半透明の用紙は使用しないでください。

3. すべてのプリントヘッドを取り外して、取り付け直します。51 ページの 「プリントヘッドを取り外す」および53 ページの 「プリントヘッドを取り付ける」を参照してください。プリントヘッドの軸合わせ手順が開始されます。
4. ウィンドウが閉じていることを確認してください。プリントヘッドの軸合わせのやり直し中にプリンタ付近の強い光源が軸合わせに影響する可能性があります。
5. この処理には 6 分ほどかかります。フロントパネルに処理の完了が表示されてから、プリンタを使用します。

> 注記： プリンタからキャリブレーション イメージが印刷されます。イメージについては気にしないでください。フロントパネルには、処理中のあらゆるエラーが表示されます。

[イメージ品質の保守] メニューの手順

1. 使用する用紙を取り付けます。26 ページの 「使用方法 (用紙)」を参照してください。幅 420mm (16.54 インチ) 以上の用紙を使用してください。

> △ 注意： プリントヘッドの軸合わせ処理には透明または半透明の用紙は使用しないでください。

2. フロントパネルでイメージ品質の保守アイコンを選択し、次に [**プリントヘッドの軸合わせ**] を選択しします。プリンタは軸合わせのやり直しを行うのに十分な用紙があるかどうかを確認します。
3. 取り付けられた用紙が十分な場合、プリンタは軸合わせのやり直しを行い、軸合わせパターンを印刷します。ウィンドウが閉じていることを確認してください。プリントヘッドの軸合わせのやり直し中にプリンタ付近の強い光源が軸合わせに影響する可能性があります。
4. この処理には 5 分ほどかかります。フロントパネルに処理の完了が表示されてから、プリンタを使用します。

軸合わせ中のスキャン エラー

軸合わせ処理がうまくいかない場合、スキャンの問題 に関するメッセージがフロントパネルに表示されます。これは、軸合わせが正常に完了されなかったことを意味します。プリンタの軸合わせが行われていないため、軸合わせを繰り返してからでないと、高い印刷品質で印刷できません。軸合わせ処理がうまくいかない場合、次の原因が考えられます。

- サポートされていない用紙を使用している。別の種類の用紙で軸合わせを繰り返します。
- プリントヘッドが汚れている。56 ページの 「プリントヘッドをクリーニング (修復) する」を参照してください。
- ウィンドウが開いている。ウィンドウを閉じて軸合わせを繰り返します。

これらの原因に対処しても問題が解消されない場合は、スキャニング システムに問題があり修理する必要があるか、プリントヘッドを交換する必要がある可能性があります。

イメージ診断の印刷

イメージ診断の印刷では、プリントヘッドの信頼性の問題を明確にするためのパターンが印刷されます。これにより、現在コンピュータに取り付けられているプリントヘッドのパフォーマンスをチェックし、目詰まりやその他の問題を起こしているプリントヘッドがないかどうかを判断できます。

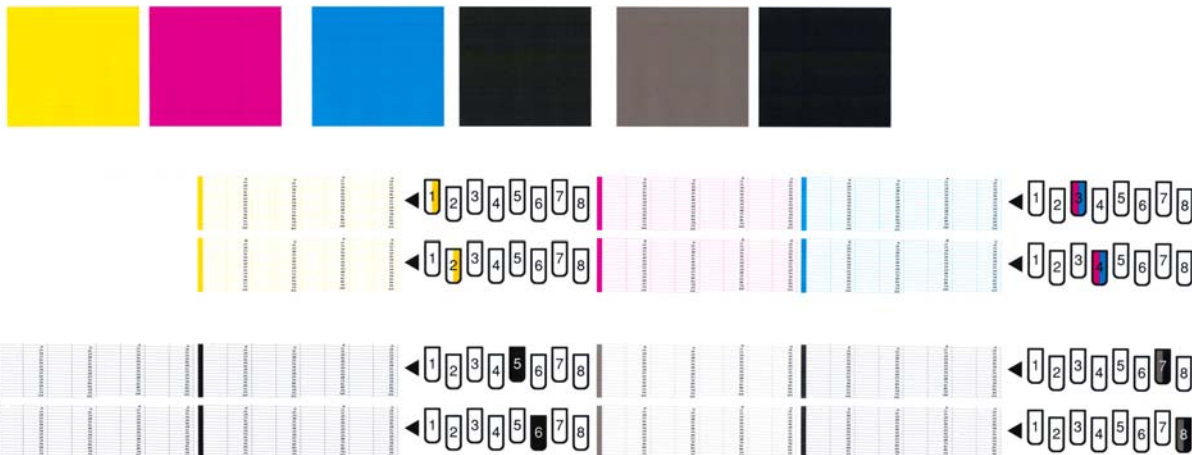
「イメージ診断の印刷」を印刷するには、以下の手順を実行します。

1. 問題が検出された時と同じ用紙の種類を使用します。
2. フロントパネルの 情報の表示 ボタン ⓘ を使用して、選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認してください。
3. プリンタのフロントパネルで、イメージ品質の保守アイコン を選択し、次に［**イメージ診断の印刷**］を選択します。

「イメージ診断の印刷」の印刷には 2 分ほどかかります。

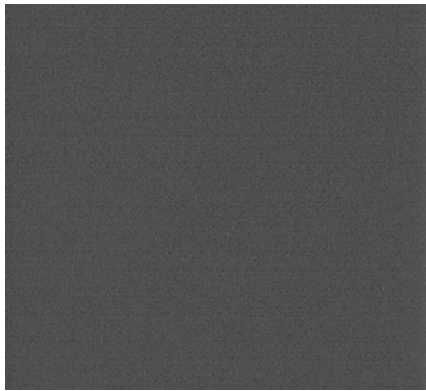
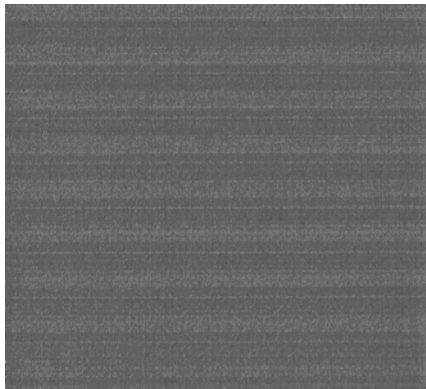
印刷は 2 つの部分に分かれており、両方でプリントヘッドのパフォーマンスがテストされます。

- パート 1 (上部) は純粋なカラーの長方形から構成され、それぞれのカラーは各プリントヘッドに対応しています。このパートは、各カラーから得られる印刷品質を表しています。
- パート 2 (下部) は小さな破線から構成され、それぞれの破線は各プリントヘッドのノズルに対応しています。このパートはパート 1 を補完するものであり、特に、各プリントヘッドの問題のあるノズルの個数を検出することを目的としています。

印刷を注意深く確認してください。カラーの名前が長方形の上と破線パターンの中央に表示されます。

最初に印刷の上部を見てください (パート 1)。各カラーの長方形の色は、水平の線がなく均一である必要があります。

次に、印刷の下部を見てください (パート 2)。各カラーのパターンに、破線の大部分が表示されているかどうかを確認します。

パート 1 に水平の線が表示され、パート 2 に同じカラーの破線の一部が印刷されない場合、問題のあるプリントヘッドをクリーニングする必要があります。ただし、長方形が塗りつぶされている場合は、パート 2 の破線の一部が印刷されなくても気にする必要はありません。ノズルが多少目詰まりを起こしてもプリンタで補正されるため、問題はありません。

以下は、良い状態のグレーのプリントヘッドの印刷例です。

以下は、悪い状態の同じプリントヘッドの印刷例です。

解決のための処置

1. 問題のあるプリントヘッドをクリーニングします (56 ページの 「プリントヘッドをクリーニング (修復) する」を参照)。次に、イメージ診断の印刷を再印刷し、問題が解決したかどうかを確認します。
2. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドをもう一度クリーニングしてから、イメージ診断の印刷を再印刷し、問題が解決したかどうかを確認します。
3. 問題が解決しない場合は、プリントヘッドを手動でクリーニングしてみてください (56 ページの 「プリントヘッドをクリーニング (修復) する」を参照)。印刷がうまくいく場合は、現在の印刷ジョブを再印刷することもできます。
4. 問題が解決しない場合は、プリントヘッド ドロップ検出器のクリーニングを行ってください。通常は、必要なときにプリンタが知らせてくれますが、知らせてくれない場合でも試す価値はあるかもしれません。57 ページの 「プリントヘッド ドロップ検出器をクリーニングする」を参照してください。
5. 問題がまだ解決しない場合は、問題のあるプリントヘッドを交換するか (44 ページの 「インク システム取り扱い」を参照)、HP サポートにお問い合わせください (178 ページの 「HP カスタマー・ケア」を参照)。

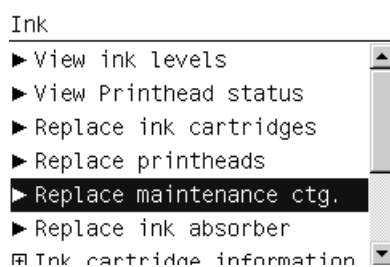
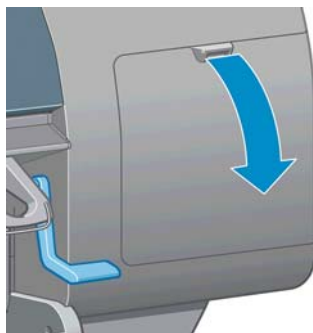
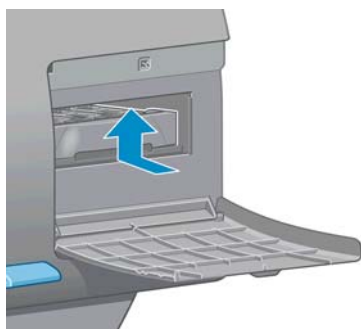
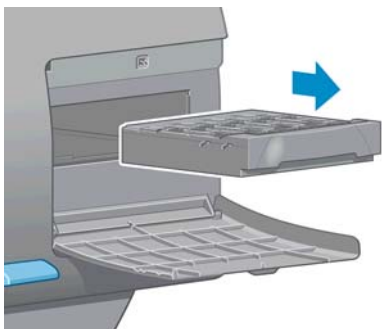
保守カートリッジを取り外す

保守カートリッジの交換が必要な場合、フロントパネルにメッセージが表示されます。保守カートリッジを取り外す際は、次の注意事項に従ってください。

- 手にインクが付かないように気を付けてください。取り外した保守カートリッジには、中にインクが残っていたり、外側にインクが付着していることがあります。
- 取り外した保守カートリッジを扱う際、また保管する際には、インクがこぼれないように、必ず上向きにするようにしてください。

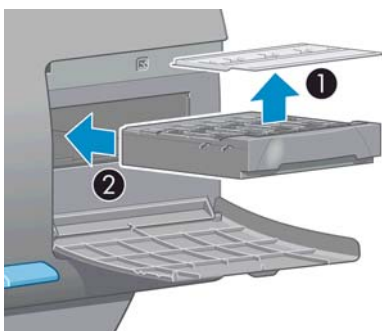
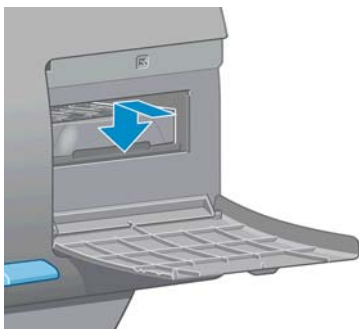
△ **注意：** 保守カートリッジがほぼ一杯の場合はフロントパネルにメッセージが表示されます。完全に一杯になると、もう一度フロントパネルにメッセージが表示され、交換が必要となります。フロントパネルの [OK] ボタンを押して警告を無視し、印刷を続行することができます。ただし、フロントパネルに表示されたら、保守カートリッジを交換することを強くお勧めします。警告を無視すると、プリンタに重大な損傷を与える可能性があります。

⚠ **警告！** プリンタのキャスターがロックされ (ブレーキ レバーが押し下げられている状態)、プリンタが動かないようになっていることを確認してください。

1. フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に［**保守カートリッジの交換**］を選択します。

2. 保守カートリッジは、プリンタ前面のフロントパネルの下に位置するスロットにあります。ドアを開きます。

3. 保守カートリッジの前面にハンドルがあります。カートリッジを取り外すには、矢印のように奥に押しながら上向きに押し上げます。カートリッジが固定位置から外れます。

4. 保守カートリッジを持ち上げてスロットから取り外し、水平に取り出します。

64 ページの 「保守カートリッジを取り付ける」も参照してください。

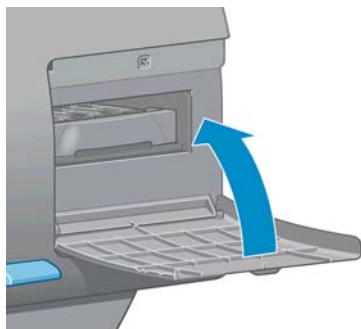
保守カートリッジを取り付ける

新しい保守カートリッジが入っていた袋は、古い保守カートリッジを捨てる際に使用できます。

1. 保守カートリッジを、該当するスロットに、下の図の矢印の方向に挿入します。

2. 保守カートリッジが奥まで入ったら、下の図の矢印のように、奥に押しながらカチッと音がするまで下方向に押し下げます。

取り付けにくい場合は、163 ページの 「保守カートリッジを取り付けられない」を参照してください。

注記： ドアを閉めるまで、フロントパネルに新しい保守カートリッジは表示されません。

インク システム取り扱い

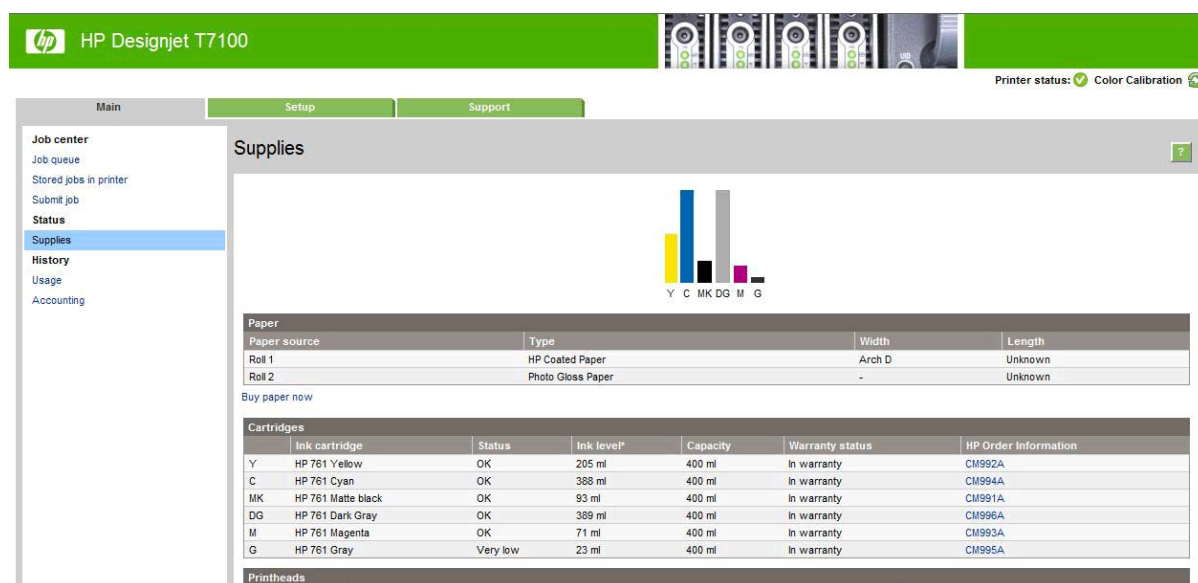
3. 保守カートリッジをプリンタに取り付け終えたら、ドアを閉めます。

> **注記：** 印刷を続行するには、インクカートリッジ、プリントヘッド、保守カートリッジをすべて取り付ける必要があります。

4. 用紙が取り付けられていない場合は、フロントパネルに用紙の取り付けを指示するメッセージが表示されます。

> **注記：** サプライ品を交換したら、プリンタのウィンドウと右のドアを必ず閉めてください。開いていると印刷は開始されません。

インク システムのステータスを確認する

1. 内蔵 Web サーバにアクセスします。20 ページの 「内蔵 Web サーバにアクセスする」を参照してください。

2. [メイン] タブの [サプライ品] ページに移動します。

[サプライ品] ページには、インクカートリッジ (インク残量など)、プリントヘッド、保守カートリッジ、および取り付けられている用紙に関するステータスが表示されます。

インクカートリッジのステータスを確認する

フロントパネルまたは HP ユーティリティを使用して、インクカートリッジの情報を表示できます。

フロントパネルの手順

1. フロントパネルで、次の操作を行います。
   - ⓘ ボタンを 2 回押します。または、
   - アイコンを選択し、次に［**インクカートリッジ情報**］を選択します。
2. 情報を確認するカートリッジを選択します。
3. フロントパネルに、以下の情報が表示されます。
   - カラー
   - 製品名
   - 製品番号
   - シリアル番号
   - ステータス
   - インク残量 (該当する場合)
   - 容量
   - 使用期限日付
   - 保証期限
   - 製造元

HP ユーティリティの手順

- HP ユーティリティ (Windows) では、［**概要**］タブに移動すると、［**サプライ品ステータス**］-［**カートリッジ**］の下に、各カートリッジのステータスが表示されます。
- HP ユーティリティ (Mac OS) では、［**情報**］-［**プリンタ ステータス**］を選択します。

プリントヘッドのステータスを確認する

印刷が終わるごとに、プリンタは自動的にプリントヘッドの確認と保守を行います。使用しているプリントヘッドの詳細を確認するには、以下の手順を実行します。

1. フロントパネルで、次の操作を行います。
   - ⓘ ボタンを 3 回押します。または、
   - アイコンを選択し、次に［**プリントヘッド情報**］を選択します。
2. 情報を確認するプリントヘッドを選択します。
3. フロントパネルに、以下の情報が表示されます。
   - カラー
   - 製品名
   - 製品番号
   - シリアル番号

- ステータス (194 ページの 「フロントパネルのエラー メッセージ」を参照)
- 使用済みインク量

HP ユーティリティを使用すると、コンピュータ上で上記の情報を取得することもできます。

注記： ステータスが「**保証に関する注記を参照**」の場合は、HP 製以外のインクが使用されていることを示します。「HP 製以外」のインクカートリッジを使用した場合、サービスおよび修理は無償保証の対象になりません。保証の詳細は、*法律情報*を参照してください。

インク サプライ品について

このプリンタ用にご注文いただけるインク サプライ品は以下のとおりです。

表 5-1 インクカートリッジ (T7100)

カートリッジ	製品番号
HP 762 マットブラック 400ml インクカートリッジ	CM991A
HP 762 イエロー 400ml インクカートリッジ	CM992A
HP 762 マゼンタ 400ml インクカートリッジ	CM993A
HP 762 シアン 400ml インクカートリッジ	CM994A
HP 762 グレー 400ml インクカートリッジ	CM995A
HP 762 ダークグレー 400ml インクカートリッジ	CM996A
HP 762 マットブラック 775ml インクカートリッジ	CM997A

表 5-2 インクカートリッジ (T7100 Mono)

カートリッジ	製品番号
HP 762 マットブラック 400ml インクカートリッジ	CM991S
HP 762 ダークグレー 400ml インクカートリッジ	CM996S
HP 762 マットブラック 775ml インクカートリッジ	CM997S または CN072A
HP 762 ダークグレー 775ml インクカートリッジ	CN073A

表 5-3 プリントヘッド (T7100)

プリントヘッド	製品番号
HP 762 イエロー プリントヘッド	CH645A

表 5-3　プリントヘッド (T7100)（続き）

プリントヘッド	製品番号
HP 762 プリントヘッド マゼンタ/シアン	CH646A
HP 762 プリントヘッド グレー/ダークグレー	CH647A
HP 762 プリントヘッド マットブラック/マットブラック	CH648A

表 5-4　プリントヘッド (T7100 Mono)

プリントヘッド	製品番号
HP 762 プリントヘッド マットブラック/マットブラック	CH648A
HP 762 プリントヘッド ダークグレー	CN074A

表 5-5　保守カートリッジ

保守カートリッジ	製品番号
HP 761 保守カートリッジ (7100 用)	CH649A
HP 762 保守カートリッジ (7100 Mono 用)	CM998A

6 複数のロール紙の使用

マルチロール プリンタの使用

マルチロール プリンタは、さまざまな方法で役立ちます。

- 必要に応じて、プリンタで用紙の種類を自動的に切り替えることができます。
- 必要に応じて、プリンタで用紙幅を自動的に切り替えることができます。これにより、小さいイメージを幅の狭い用紙に印刷して用紙を節約することができます。
- 同じロール紙をプリンタに複数取り付ける場合は、最初のロール紙が終了すると自動的に別のロール紙に切り替えられるので、印刷を長期間無人のまま実行できます。90 ページの 「無人印刷」を参照してください。

複数のロール紙を取り扱う場合に役立つ概念が 2 つあります。

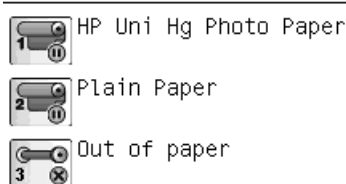
- アクティブなロール紙とは現在取り付けられているロール紙を指し、プリンタでロール紙を切り替える理由がない限り、デフォルトでこのロール紙に印刷されます。アクティブなロール紙を変更するには、用紙アイコン を選択し、[**アクティブなロール紙の選択**] を選択します。
- 保護されているロール紙とは、ロール紙番号またはその用紙の種類が具体的に要求されない限り使用されないロール紙を指します。90 ページの 「ロール保護」を参照してください。

すべてのロール紙の現在のステータスは、フロントパネルのステータス画面に表示されます。

Ready

HP Uni Hg Photo Paper

Plain Paper

Out of paper

プリンタによるロール紙へのジョブの割り当て方法

内蔵 Web サーバまたはプリンタ ドライバから印刷ジョブを送信するときに、([**用紙の種類**] または [**用紙の種類**] オプションを使用して) 特定の種類の用紙に印刷するように指定できます。また、([**給紙方法**]、[**給紙方法**]、または [**用紙フィード**] オプションを使用して) 特定のロール紙 (1 または 2) に印刷するように指定することもできます。プリンタでは、これらの要件を満たすように試行され、イメージを途切れないように印刷できる十分な大きさのロール紙が検索されます。

- 両方のロール紙がジョブに適している場合は、ロール切替ポリシーに従ってロール紙が選択されます。24 ページの 「ロール切替オプション」を参照してください。
- いずれかのロール紙のみがジョブに適している場合は、そのロール紙に印刷されます。
- どちらのロール紙もジョブに適していない場合は、用紙の不一致操作に応じて、ステータスが「用紙の保留」のジョブ キューにジョブが保持されるか、または適していないロール紙に印刷されます。24 ページの 「用紙の不一致操作」を参照してください。

Windows のプリンタドライバでは、現在プリンタに取り付けられている用紙の種類と幅、および印刷先のロール紙が通知されます。

次の一般的な状況で使用される可能性のある設定をいくつか示します。

- さまざまな種類の用紙が取り付けられている場合
  - [**用紙の種類**]：必要な用紙の種類を選択します
  - [**給紙方法**]：自動選択/定義済み
  - [**ロール切替ポリシー**]：無関係
- さまざまな幅の用紙が取り付けられている場合
  - [**用紙の種類**]：不特定
  - [**給紙方法**]：自動選択/定義済み
  - [**ロール切替ポリシー**]：用紙の消費を最小化

ヒント： イメージの回転またはネスティングによって用紙を節約できる場合もあります。87 ページの 「用紙を節約する」を参照してください。

- 同じロール紙が取り付けられている場合
  - [**用紙の種類**]：不特定
  - [**給紙方法**]：自動選択/定義済み
  - [**ロール切替ポリシー**]：ロールの変更を最小化

ネスティングによるジョブの割り当て

ネスティングがオンになっている場合 (88 ページの 「用紙を節約するためにジョブをネスティングする」を参照)、プリンタでは、ユーザの主な目的は用紙の節約であると想定されます。したがって、ロール切替オプションは無視され、プリンタは [**用紙の消費を最小化**] が選択されている場合と同様に動作します。24 ページの 「ロール切替オプション」を参照してください。

用紙の不一致操作が [**そのまま印刷をする**] に設定されている場合は、ロール紙がジョブの設定で指定されている給紙方法または用紙の種類と一致しなくても、任意のロール紙にジョブをネスティングできます。これらのジョブの設定を優先するには、用紙の不一致操作を [**ジョブを保留にする**] に設定します。24 ページの 「用紙の不一致操作」を参照してください。

ヒント： 特別な目的にのみ使用するロール紙または特に高価な用紙を含むロール紙がある場合は、ロール保護を使用して、ジョブでそのロール紙が誤って使用されないようにすることができます。90 ページの 「ロール保護」を参照してください。

7 スタッカの使用

スタッカは別売オプションです。スタッカを使用すると、印刷物はトレイに落ちずに 1 枚 1 枚平らに積み重ねられます。

- スタッカをインストールする
- スタッカをアンインストールする
- スタッカで用紙を使用する
- スタッカのメッセージ
- 温度を変更する
- スタッカの使用中にロール紙を交換する
- スタッカの外部をクリーニングする
- スタッカ ローラーをクリーニングする
- スタッカを移動または保管する

スタッカをインストールする

1. スタッカとプリンタをケーブルで接続します。

2. スタッカの電源を入れます。

3. プリンタのフロントパネルで、[アイコン] アイコンを選択し、次に［**アクセサリ**］-［**スタッカ**］-［**スタッカをインストール**］を選択します。フロントパネルに、プリンタにスタッカを取り付けるように要求するメッセージが表示されます。

4. スタッカには、プリンタ デフレクタにはめ込まれる 2 つのラッチがあります。スタッカをプリンタに取り付けるには、まず片側を取り付けてから反対側を取り付けます (このようにすると、かける力が少なくて済みます)。

注記： スタッカはカット紙に対して機能します。電源を入れると、カッターが自動的に有効になります。カッターがオフになっている場合、または印刷物をカットできない場合 (キャンバスなど) はスタッカは機能しません。

スタッカをアンインストールする

1. スタッカをアンインストールするには、プリンタのフロントパネルで、[アイコン] アイコンを選択し、次に［**アクセサリ**］-［**スタッカ**］-［**スタッカをアンインストール**］を選択します。

2. フロントパネルに、プリンタからスタッカを取り外すように要求するメッセージが表示されます。スタッカを片側から引いてそちら側を取り外し、次に反対側を取り外します。

3. スタッカのケーブルを取り外します。

スタッカで用紙を使用する

スタッカでは、長さが 420mm (A3 縦)(16.5 インチ) ～1189mm (A0 縦)(46.8 インチ) のカット紙を取り扱うことができます。長さがこれより短い印刷物は、余分な余白がある状態で最小の長さに拡大されます。長さがこれより長い印刷物は、スタッカから落ちるおそれがあります。

印刷物の中には、次のようなスタッカで使用できないものもあります。

- マットフィルムとクリアフィルム
- 光沢紙 (ただし、速乾光沢紙は使用できます)
- 厚手コート紙
- キャンバス

スタッカ

半透明ボンド紙、ベラム紙、またはトレーシングペーパーに高速モードで印刷する場合は、インク量が多い領域にインクの移動跡が付着する可能性があります。この問題を回避するには、標準モードまたは高品質モードを選択してください。78 ページの 「印刷品質を選択する」を参照してください。

注記： スタッカに積み重ねられたカット紙は、定期的に取り除く必要があります。

注記： 積み重ねられた印刷物から 1 つのジョブのみを取り出す場合は、その積み重ねを整った状態のままにするようにしてください。そうしないと、積み重ねの問題や紙詰まりが発生する可能性があります。

スタッカのメッセージ

スタッカの使用時に、次のメッセージが表示される場合があります。

- **スタッカを取り外してください**：スタッカで使用できる用紙が取り付けられていないので、印刷前にスタッカをアンインストールする必要があります。
- **スタッカの取り外し待ち**：ジョブに対して指定されている用紙の種類がスタッカに対応しておらず、用紙の不一致操作が［**用紙待ち**］なので、現在のジョブの印刷前にスタッカを取り外す必要があります。
- **用紙待ち**：用紙の不一致操作が［**用紙待ち**］で、ジョブに対して指定されている種類の用紙が取り付けられていません。
- **次のジョブ用の用紙を取り付けてください**：用紙が取り付けられていません。

温度を変更する

注記： このオプションは、プリンタにスタッカが取り付けられている場合にのみ使用できます。

スタッカには、用紙のカールを取り除くための加熱ローラーが備わっています。ローラーの温度を変更するには、プリンタのフロントパネルで、アイコンを選択し、次に［**アクセサリ**］-［**スタッカ**］-［**温度の選択**］を選択します。次の 3 つのオプションがあります。

- ［**標準**］：デフォルトの推奨される設定です。
- ［**高**］：ローラーを高温に設定します。特に硬い用紙の場合に役立ちます。
- ［**低**］：ローラーを低温に設定します。特に繊細なコーティング加工の用紙の場合に役立ちます。

スタッカの使用中にロール紙を交換する

1. スタッカを取り扱いやすくするために、スタッカに積み重ねられたカット紙を取り除きます。
2. プリンタからスタッカを取り外します。まず片側を取り外し、次に反対側を取り外します。
3. 通常の方法でロール紙を交換します。34 ページの 「ロール紙をプリンタから取り外す」および 30 ページの 「ロール紙をプリンタに取り付ける」を参照してください。

スタッカの外部をクリーニングする

138 ページの 「プリンタの外部をクリーニングする」を参照してください。

スタッカ ローラーをクリーニングする

警告！ 使用中のスタッカは熱くなります。クリーニング前に電源をオフにし、温度が下がるまで待ってください。

メイン スタッカ ローラーおよび小さい排紙ローラーにはインクが付着しやすいので、水で湿らせた布で定期的にクリーニングする必要があります。

クリーニングが必要になる頻度は、使用する用紙の種類にある程度左右されます。

- 普通紙、コート紙、または厚手コート紙の場合は、月に 1 回で十分です。
- 半透明紙、ベラム紙、光沢紙、またはトレーシングペーパーの場合は、最も時間がかかる印刷モードの場合でも、週に 1 回のクリーニングが必要になることがあります。

スタッカを移動または保管する

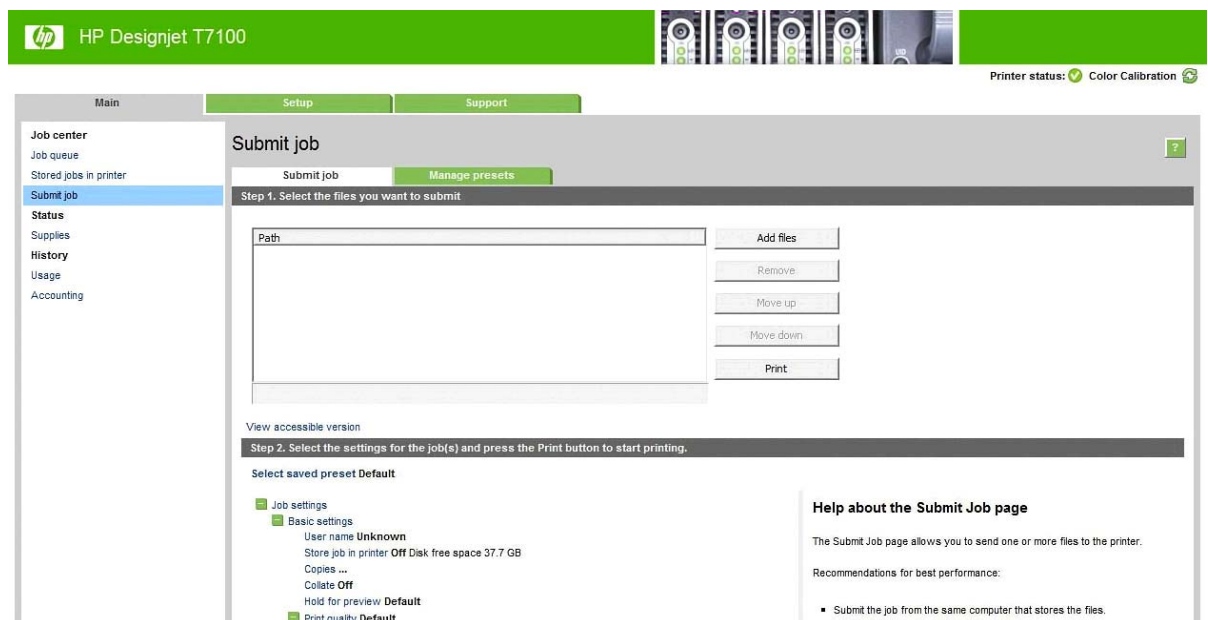
スタッカを移動または保管する前に、いくつかの手順を実行して占有スペースを減らします。

1. スタッカ トレイの両側のネジを取り外し、トレイがぶら下がるようにします。

2. 各脚部の延長部分からピンを取り外し、脚部の延長部分を上向きに回転させます。

スタッカ

8　印刷オプション

印刷ジョブを作成する

印刷するに場合は、印刷物をプリンタに送信する必要があります。これにより印刷ジョブが構成され、プリンタの印刷キューに入ります。印刷ジョブをプリンタに送信するには、次の 2 つの主要な方法があります。

- プログラムから直接印刷する場合は通常、プログラムの［**Print**］コマンドを使用します。HP Designjet プリンタを選択すると、ジョブをプリンタに送信するプリンタ ドライバが呼び出されます。
- サポートされているグラフィカル形式にすでになっているファイルがある場合は、プリンタ ドライバを経由せずに、内蔵 Web サーバを使用してジョブをプリンタに直接送信できます (以下を参照)。

内蔵 Web サーバを使用してファイルを印刷する

HP ユーティリティまたは内蔵 Web サーバから、ジョブ センター グループの［**ジョブの送信**］を選択します。以下のウィンドウが表示されます。

［**ファイルを追加**］ボタンを押して、印刷するコンピュータからファイルを選択します。ファイルは以下のいずれかの形式である必要があります。

- HP-GL/2
- RTL
- CALS/G4
- PDF (PostScript アップグレード キットを使用)
- PostScript (PostScript アップグレード キットを使用)
- TIFF (PostScript アップグレード キットを使用)
- JPEG (PostScript アップグレード キットを使用)

注記： ファイルに印刷する場合、ファイルは上記のいずれかの形式である必要がありますが、ファイル名は、**.plt** や**.prn** などの拡張子を持つことができます。

ファイルがこれらの形式のいずれでもない場合、ファイルは正常に印刷されません。

ジョブが適切な設定 (ページ サイズ、回転、サイズ変更、コピー部数など) で生成されている場合は、[**印刷**] ボタンを押すだけでジョブはプリンタに送信されます。

印刷設定を指定する必要がある場合は、[**ジョブの設定**] セクションに移動し、必要なオプションを選択します。各オプションの右側には説明のテキストがあり、各設定の動作を確認できます。設定を [**デフォルト**] のままにした場合、ジョブに保存されている設定が使用されます。ジョブに何も設定されていない場合は、プリンタの設定が使用されます。

保存ジョブを印刷する

ファイルを内蔵 Web サーバで印刷する場合は、プリンタに永続的に保存するジョブをマークできます。

内蔵 Web サーバの [**メイン**] タブで、[**プリンタに保存されたジョブ**] を選択すると、保存ジョブのリストが表示されます。各ジョブには以下の情報が表示されます。

- ジョブの名前
- ジョブのサイズ
- プリンタがジョブを受信した日時
- ジョブを送信したユーザの名前

任意の列のタイトルをクリックして、その列の情報でリストをソートできます。

1 つ以上のジョブをリストから選択し、リストの上部のボタンを使用して、ジョブに以下の操作を実行できます。

- [**印刷**]: 選択されたジョブは、元からの設定で印刷されます。ジョブの進捗状況を [**ジョブ キュー**] ページで確認できます。
- [**印刷の詳細設定**]: 選択されたジョブの設定が表示されますが、それらの設定を変更できます。新しい設定を保存するには、[**保存**] ボタンを押し、ジョブを印刷するには、[**印刷**] ボタンを押します。

  設定の値は、選択されたすべてのジョブで同じ値を持つ場合にのみ表示されます。そうでない場合はハイフンが表示されます。
- [**削除**]: 選択されたジョブはプリンタから完全に削除されます。

印刷品質を選択する

高品質の印刷では印刷速度が遅くなりますが、高速の印刷では印刷品質が低下するので、プリンタにはさまざまな印刷品質オプションが用意されています。

したがって、標準の印刷品質セレクタはスライダになっており、これを使用して品質および速度間の選択が可能です。

その他の方法としては、[**高品質**]、[**標準**]、[**高速**] のカスタム オプションから選択することもできます。[**高速**] を選択した場合は、[**エコノ モード**] も選択できます。これは、低いレンダリング解像度を使用し、インクの消費量を節約します。そのため、印刷速度が著しく高まりますが、印刷品質が低下します。[**エコノ モード**] は、カスタム オプションからのみ選択できます (スライダからは選択できません)。

印刷品質に影響する 2 つの追加のカスタム オプションである [**高精細**] および [**パスの拡張**] も用意されています。80 ページの 「高品質印刷」を参照してください。

注記: Windows ドライバのダイアログでは、ジョブに対するレンダリング解像度と印刷解像度が [**用紙/品質**] タブに表示されます。Mac OS の [プリント] ダイアログでは、[**一覧**] パネルに表示されます。

印刷品質オプションは、以下の方法で指定することができます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合**：[用紙/品質] タブに移動して [印刷品質] セクションを確認します。[**標準オプション**] を選択している場合は、簡単なスライダが表示されます。このスライダで品質または速度を選択できます。**[ユーザー定義オプション]** を選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。
- **Mac OS X 10.4 の [プリント] ダイアログの場合**：[**イメージ品質**] パネルに移動して [品質] セクションを確認します。品質オプションで [**標準**] を選択している場合は、簡単なスライダが表示されます。このスライダで品質または速度を選択できます。品質オプションで **[カスタム設定]** を選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。
- **Mac OS X 10.5 の [プリント] ダイアログの場合**：[**用紙/品質**] パネルに移動して [品質] セクションを確認します。品質オプションで [**標準**] を選択している場合は、簡単なスライダが表示されます。このスライダで品質または速度を選択できます。品質オプションで **[カスタム設定]** を選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合**：[**基本設定**] - [**印刷品質**] を選択します。次に [**標準オプション**] を選択すると、[**速度**] および [**品質**] 間の選択が可能です。**[カスタム印刷品質オプション]** を選択している場合は、ここで説明した特定のオプションが表示されます。
- **フロントパネルを使用する場合**：セットアップ アイコン を選択し、次に [**印刷設定**] - [**印刷品質**] を選択します。

注記： コンピュータで印刷品質が設定されている場合、フロントパネルで設定した印刷品質よりもこちらが優先されます。

注記： プリンタに送信中または送信済みのページの印刷品質は、印刷がまだ開始されていない場合でも変更できません。

試し印刷を行う

高速の試し印刷品質の印刷は、以下の方法で指定できます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合**：[**用紙/品質**] タブに移動して [印刷品質] セクションを確認します。印刷品質のスライダを左端 ('速度') まで移動させます。
- **Mac OS X 10.4 の [プリント] ダイアログの場合**：[**イメージ品質**] パネルに移動し、印刷品質のスライダを左端 ('速度') まで移動させます。
- **Mac OS X 10.5 の [プリント] ダイアログの場合**：[**用紙/品質**] パネルに移動し、印刷品質のスライダを左端 ('速度') まで移動させます。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合**：[**基本設定**] - [**印刷品質**] - [**標準オプション**] - [**速度**] を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合**：セットアップ アイコン を選択し、次に [**印刷設定**] - [**印刷品質**] - [**品質レベルの選択**] - [**高速**] を選択します。

さらに高速の試し印刷品質の印刷は、以下のようにエコノモードを使用して指定できます。これは、主にテキストと線描画のみを含むドキュメントを想定しています。

- **Windows ドライバのダイアログの場合**：[**用紙/品質**] タブに移動して [印刷品質] セクションを確認します。[**ユーザー定義オプション**] を選択し、印刷品質レベルを [**高速**] に設定し、[**エコノモード**] ボックスをオンにします。
- **Mac OS X 10.4 の [プリント] ダイアログの場合**：[**イメージ品質**] パネルに移動し、品質オプションを [**カスタム設定**] に設定し、次に品質を [**高速**] に設定し、[**エコノモード**] ボックスをオンにします。

印刷オプション

- **Mac OS X 10.5 の [プリント] ダイアログの場合**：[用紙/品質] パネルに移動し、品質オプションを [カスタム設定] に設定し、次に品質を [高速] に設定し、[エコノモード] ボックスをオンにします。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合**：[基本設定] - [印刷品質] - [カスタム] を選択します。[品質レベル] を [高速] に設定し、[エコノモード] を [オン] に設定します。

高品質印刷

高品質印刷は、以下の方法で指定できます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合**：[用紙/品質] タブに移動して [印刷品質] セクションを確認します。印刷品質のスライダを右端 ('品質') まで移動させます。
- **Mac OS X 10.4 の [プリント] ダイアログの場合**：[イメージ品質] パネルに移動し、印刷品質のスライダを右端 ('品質') まで移動させます。
- **Mac OS X 10.5 の [プリント] ダイアログの場合**：[用紙/品質] パネルに移動し、印刷品質のスライダを右端 ('品質') まで移動させます。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合**：[基本設定] - [印刷品質] - [標準オプション] - [品質] を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合**：セットアップ アイコン を選択し、次に [印刷設定] - [印刷品質] - [品質レベルの選択] - [高品質] を選択します。

印刷はデフォルトで双方向です (用紙を横断して双方向に移動するときプリントヘッドが印刷します) が、速度を犠牲にして品質を少し上げるために [単方向] 印刷を選択できます。[高速] 印刷品質を選択している場合、このオプションは使用できません。

高解像度イメージの場合

イメージがレンダリング解像度よりも高い解像度の場合 (Windows ではドライバの [用紙/品質] タブで確認できます)、[高精細] オプションを選択して、印刷の鮮明度を向上できます。光沢用紙で印刷し、[高品質] 印刷品質を選択している場合のみ、このオプションを使用できます。

- **Mac OS の [プリント] ダイアログ (ドライバのダイアログ) の場合**：標準の印刷品質オプションではなくカスタムのオプションを選択し、[高精細] ボックスをオンにします。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合**：[基本設定] - [印刷品質] - [カスタム] を選択します。[品質レベル] を [高品質] に設定し、[高精細] を [はい] に設定します。

注記： [高精細] オプションを選択すると、フォト用紙では印刷速度が遅くなりますが、インクの使用量は増えません。

プリントヘッドに問題がある場合

プリントヘッドで非常に多数のノズルが目詰まりを起こしている場合は (印刷物にバンディング (白い縞模様) が入る原因になる可能性があります)、[パスの拡張] オプションを選択することで印刷品質を向上できます。

- **Mac OS の [プリント] ダイアログ (ドライバのダイアログ) の場合**：標準の印刷品質オプションではなくカスタムのオプションを選択し、[パスの拡張] ボックスをオンにします。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合**：[基本設定] - [印刷品質] - [カスタム] を選択します。[品質レベル] を [高品質] に設定し、[パスの拡張] を [はい] に設定します。

注記： [パスの拡張] オプションを選択すると、印刷速度が遅くなりますが、インクの使用量は増えません。

ヒント： このオプションを使用せずに、イメージ診断の印刷を使用して、問題の原因になっているプリントヘッドを特定してから、そのプリントヘッドをクリーニングまたは交換することを検討してください。61 ページの 「イメージ診断の印刷」を参照してください。

用紙サイズを選択する

用紙サイズは、以下の方法で指定することができます。

注記： ここでは、文書が作成された用紙サイズを指定する必要があります。印刷するために文書を拡大縮小できます。83 ページの 「印刷の拡大縮小を行う」を参照してください。

- **Windows ドライバのダイアログの場合**：[**用紙/品質**] タブを選択し、次に [**文書サイズ**] リストから用紙サイズを選択します。
- **Mac OS の [ページ設定] ダイアログの場合**：[**対象プリンタ**] プルダウン メニューで使用するプリンタを選択し、次に [**用紙サイズ**] を選択します。

  注記： アプリケーションで [**ページ設定**] ダイアログが表示されない場合は、[**印刷**] ダイアログを使用してください。

- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合**：[**詳細設定**] - [**用紙**] - [**ページ サイズ**] - [**標準**] を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合**：セットアップ アイコン を選択し、次に [**印刷設定**] - [**用紙オプション**] - [**用紙サイズの選択**] を選択します。

  注記： コンピュータで用紙サイズが設定されている場合、フロントパネルで設定した用紙サイズよりもこちらが優先されます。

  注記： スキュー チェックを無効にすると、用紙の長さは幅の 4 倍と推定されます。

ヒント： ドキュメントが 330×483mm(13×19 インチ) (同じサイズのカット紙に合うように作成されている) の場合、文書サイズは [**スーパー B/A3**] を選択します。

カスタム用紙サイズ

用紙サイズのリストに表示されない標準以外の用紙サイズを選択するには、以下の手順を実行します。

- **Windows** では、2 つの方法があります。
  - ドライバ ダイアログで、[**用紙/品質**] タブの [**カスタム**] ボタンを押し、新しい用紙サイズの名前と寸法を指定し、次に [**保存**] をクリックして新しい用紙サイズを保存します。PostScript ドライバで、カスタム サイズのリストに新しいカスタム サイズを表示するには、プリンタのプロパティを終了し、次に再度プリンタのプロパティを表示します (必要に応じて、[**詳細**] ボタンを使用します)。

    注記： ドライバでは、幅が長さを超える用紙サイズを作成することはできません。

  - [**スタート**] メニューで [**プリンタと FAX**] を選択し、[**ファイル**] メニューで [**サーバーのプロパティ**] を選択します。[**用紙**] タブで [**新しい用紙を作成する**] ボックスをオンにして、新しい用紙の名前と寸法を指定し、[**用紙の保存**] をクリックします。

注記： 別のコンピュータに接続された共有プリンタを使用している場合は、これらのフォームは使用できません。

- **Mac OS の場合**：[ページ設定] ダイアログで ［**用紙サイズ**］ - ［**カスタムサイズを管理**］ を選択します。

注記： アプリケーションで ［**ページ設定**］ ダイアログが表示されない場合は、［**印刷**］ ダイアログを使用してください。

- **内蔵 Web サーバの ［ジョブの送信］ ページの場合**：［**詳細設定**］ - ［**用紙**］ - ［**ページ サイズ**］ - ［**カスタム**］ を選択します。

マージン オプションを選択する

デフォルトでは、イメージの端と用紙の端の間には 5mm(0.02 インチ) マージンがあります。ただし、光沢紙に印刷する場合、上マージンは 11.5mm(0.45 インチ) に設定されます。いくつかの方法でこの動作を変更できます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合**：［**用紙/品質**］ タブを選択して、次に ［**レイアウト/マージン**］ ボタンを選択します。

ヒント： Windows PostScript ドライバの場合、［**文書サイズ**］ リストから正しい選択を行っていることを確認します。［**オーバーサイズ**］ または ［**内容をマージンでクリップ**］ オプションを使用する場合は、文書サイズで「マージンなし」を選択する必要があります。

- **Mac OS X の ［プリント］ ダイアログの場合**：［**レイアウト/マージン**］ パネルを選択します。
- **内蔵 Web サーバの ［ジョブの送信］ ページの場合**：［**詳細設定**］ - ［**用紙**］ - ［**マージン設定**］ を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合**：セットアップ アイコン を選択し、次に ［**印刷設定**］ - ［**マージン設定**］ - ［**マージン設定の選択**］ を選択します。

注記： コンピュータでマージンが設定されている場合、フロントパネルで設定したマージンよりもこちらが優先されます。

以下のオプションのいくつかが表示されます。

注記： Mac OS では、使用できるマージン オプションは ページ設定 ダイアログで選択した用紙サイズによって異なります。たとえば、オーバーサイズ印刷では、「オーバーサイズ」が含まれている用紙サイズ名を選択する必要があります。

- ［**標準**］イメージは選択したサイズのページに印刷され、イメージの端と用紙の端の間に 5mm(0.02 インチ) のマージンが取られます。イメージは、マージン部分より小さいサイズにする必要があります。
- ［**オーバーサイズ**］イメージは、選択したサイズより若干大きいページに印刷されます。マージンを切り落とす場合は、イメージの端と用紙の端の間にマージンを入れずに、選択したサイズのページを保持します。
- ［**内容をマージンでクリップ**］イメージに白いフチがあり、サイズが選択した用紙サイズと同じ場合は、このオプションを使用します。白いフチはプリンタによって 5mm(0.02 インチ) のマージンとして使用され、ドライバで選択したページ サイズと同じサイズのページが得られます。

印刷オプション

取り付けられた用紙に印刷する

プリンタに取り付けられた任意の用紙にジョブを印刷するには、プリンタ ドライバの用紙の種類のオプションで［**不特定**］を選択します。

- **Windows ドライバのダイアログの場合**：［**用紙/品質**］タブを選択し、次に用紙の種類のプルダウン メニューで［**不特定**］ボタンを選択します。
- **Mac OS X 10.4 の［プリント］ダイアログの場合**：［**イメージ品質**］パネルを選択し、次に用紙の種類のプルダウン メニューで［**不特定**］を選択します。
- **Mac OS X 10.5 の［プリント］ダイアログの場合**：［**用紙/品質**］パネルを選択し、次に用紙の種類のプルダウン メニューで［**不特定**］を選択します。

注記： ［**不特定**］は、用紙の種類のデフォルトの選択です。

印刷の拡大縮小を行う

イメージを特定のサイズでプリンタに送信し、プリンタの側でサイズを変更（通常は拡大）するように指定することができます。これは、使用しているソフトウェアで大判印刷がサポートされていない場合に便利です。

イメージの拡大縮小は、以下の方法で行うことができます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合**：［**機能**］タブに移動して［サイズ変更オプション］セクションを確認します。
  - ［**文書を印刷する用紙**］オプションを使用すると、選択した用紙サイズで印刷できるように、イメージ サイズを調整できます。たとえば、用紙サイズで ISO A2 を選択し、A3 サイズのイメージを印刷する場合、A2 用紙に合うようにイメージは拡大されます。用紙サイズで ISO A4 を選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合、A4 サイズに合うようにイメージが縮小されます。
  - ［**% (実際のサイズに対する比率)**］オプションを使用すると、元の用紙の印刷可能範囲（ページからマージンをマイナスした範囲）を指定した比率で拡大/縮小し、プリンタ マージンを追加して出力用紙サイズを調整できます。
- **Mac OS の［プリント］ダイアログの場合**：［**仕上げ**］パネルを選択し、次に［**文書を印刷する用紙**］を選択すると、イメージ サイズが、選択した用紙サイズに調整されます。たとえば、用紙サイズで ISO A2 を選択し、A3 サイズのイメージを印刷する場合、A2 用紙に合うようにイメージは拡大されます。用紙サイズで ISO A4 を選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合、A4 サイズに合うようにイメージが縮小されます。
- **内蔵 Web サーバの［ジョブの送信］ページの場合**：［**詳細設定**］-［**サイズ変更**］を選択します。
  - ［**標準**］オプションと［**カスタム**］オプションを使用すると、イメージ サイズが、選択した標準またはカスタムの用紙サイズに調整されます。たとえば、用紙サイズで ISO A2 を選択し、A3 サイズのイメージを印刷する場合、A2 用紙に合うようにイメージは拡大されます。用紙サイズで ISO A4 を選択し、イメージのサイズがこれより大きい場合、A4 サイズに合うようにイメージが縮小されます。
  - ［**% (実際のサイズに対する比率)**］オプションを使用すると、元の用紙の印刷可能範囲（ページからマージンをマイナスした範囲）を指定した比率で拡大/縮小し、プリンタ マージンを追加して出力用紙サイズを調整できます。
- **フロントパネルを使用する場合**：セットアップ アイコン を選択し、次に［**印刷設定**］-［**用紙オプション**］-［**サイズ変更**］を選択します。

印刷をプレビューする

画面上で印刷をプレビューすると、印刷前に印刷のレイアウトを確認できます。これにより、誤った印刷による用紙やインクの無駄を防ぐことができます。

- Windows では、次のオプションで印刷をプレビューできます。
  - アプリケーションの印刷プレビュー オプションを使用します。
  - ［**印刷プレビューの表示**］オプションをクリックします。このオプションは、ドライバの［**用紙/品質**］タブと［**機能**］タブにあります。プレビューは、使用するプリンタとプリンタ ドライバによって異なる方法で表示される場合があります。
- Mac OS では、次のオプションで印刷をプレビューできます。
  - アプリケーションの印刷プレビュー オプションを使用します。
  - ［プリント］ダイアログ ボックスの下部にある［**プレビュー**］ボタンをクリックします。これは、Mac OS で提供される基本的な印刷プレビューです。
  - ［**印刷プレビューの表示**］オプションをクリックします。このオプションは、ドライバの［**印刷**］ダイアログの［**仕上げ**］パネルにあります。
- 内蔵 Web サーバを使用して印刷をプレビューするには、［**ジョブの送信**］-［**基本設定**］-［**プレビュー待ち**］を選択します。

16 ビットのカラー イメージを印刷する

16 ビットのイメージでは、主要な 3 つの各カラーは、16 ビット値でエンコードされるため、各ピクセルは最大 48 ビットを使用します。

16 ビットのカラー イメージをプリンタ ドライバで印刷する場合は、8 ビットのカラーに縮小されてからプリンタに送られます。

16 ビットのカラー イメージをプリンタに送信するには、イメージを 16 ビット カラーの TIFF ファイルまたは JPEG ファイルとして保存し、次にプリンタ ドライバを経由せずにそのファイルをプリンタに直接送信します (77 ページの 「内蔵 Web サーバを使用してファイルを印刷する」を参照)。この場合は、16 ビットのカラー イメージに対してカラーマネジメントが行われるため、正確に実行されます。イメージは最終印刷で 8 ビット カラーに縮小されます。

ヒント： 一部のアプリケーションは、16 ビットのカラー イメージを JPEG 形式に保存しません。その他のアプリケーションは 16 ビットのカラー イメージを 8 ビット カラーに自動的に縮小します。TIFF ファイルは一般に印刷が高品質であるためお勧めします。

重なった線の処理方法を変更する

注記： このトピックは HP-GL/2 ジョブを印刷する場合にのみ適用されます。

マージオプションでは、イメージ内での重なった線の処理方法を設定できます。以下の 2 種類の設定があります。

- オフ：線が交差している場合、前面の線の色のみが印刷されます。これはデフォルトの設定です。
- オン：線が交差している場合、2 つの線の色がマージされます。

マージをオンにするには、フロントパネルでセットアップ アイコン を選択し、次に［**印刷設定**］-［**HP-GL/2 の設定**］-［**マージの有効化**］を選択します。一部のアプリケーションでは、ソフトウェ

アからマージ オプションを設定できます。ソフトウェアでの設定がフロントパネルの設定を上書きします。

切り取り線を印刷する

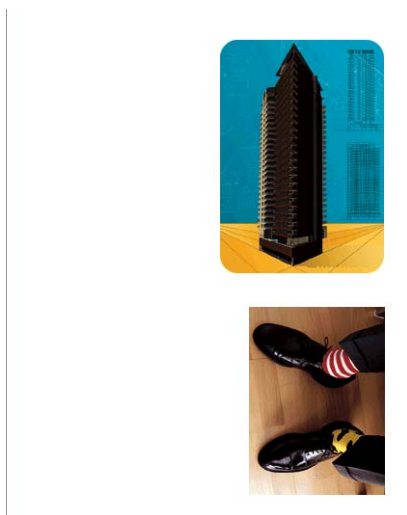
切り取り線は、選択した用紙サイズまで縮めるにはどの位置で用紙をカットするべきかを示します。切り取り線は以下の方法を使用して各ジョブで自動的に印刷できます。

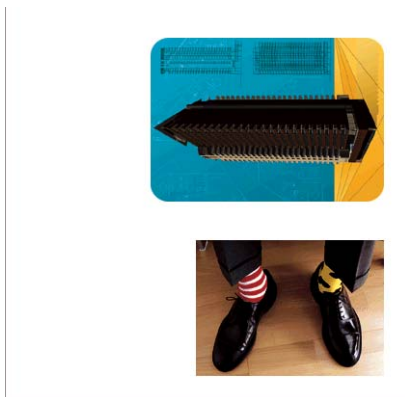
- **Windows ドライバのダイアログの場合**：[**機能**] タブを選択し、次に [**切り取り線の有効化**] を選択します。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合**：[**仕上げ**] パネルに移動して [**切り取り線の有効化**] を選択します。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合**：[**詳細設定**] - [**ロール紙オプション**] - [**切り取り線の有効化**] を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合**：セットアップ アイコン を選択し、次に [**印刷設定**] - [**用紙オプション**] - [**切り取り線の有効化**] - [**オン**] を選択します。

ネスティングしたジョブ (88 ページの 「用紙を節約するためにジョブをネスティングする」を参照) で切り取り線を印刷するには、以下の異なるオプションを選択する必要があります。

- **内蔵 Web サーバの場合**：[**ジョブ管理**] - [**ネスティング有効時に切り取り線を使用する**] - [**オン**] を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合**：セットアップ アイコン を選択し、次に [**ジョブ管理**] - [**ネスティングの設定**] - [**切り取り線の有効化**] - [**オン**] を選択します。

イメージを回転する

デフォルトでは、イメージは次のように短い方の縁が用紙の上端に平行になるように印刷されます。

用紙を節約するため、次のようにイメージを 90 度回転させることができます。

印刷オプション

以下の方法でこの作業を行うことができます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合**：［**機能**］タブを選択し、次に［**90°回転**］を選択します。
- **Mac OS の［プリント］ダイアログの場合**：［**仕上げ**］パネルに移動して［**90°回転**］を選択します。
- **内蔵 Web サーバの［ジョブの送信］ページの場合**：［**詳細設定**］-［**ロール紙オプション**］-［**回転**］を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合**：セットアップ アイコン を選択し、次に［**印刷設定**］-［**用紙オプション**］-［**回転**］を選択します。

注記：　コンピュータから回転を設定すると、フロントパネルの設定が上書きされます。

注記：　ジョブを回転させる際には、ページ サイズの長さを増やしてイメージが途切れないようにすることが必要な場合があります。これは、通常は左右のマージンよりも上下のマージンのほうが大きいためです。

注記：　イメージの向きを縦から横に変更すると、用紙の幅がイメージには足りない場合があります。たとえば、縦置きの A1 サイズのイメージを横置き (90 度) にして A1 サイズ用紙に印刷すると、イメージが用紙の幅からはみ出してしまいます。内蔵 Web サーバを使用している場合は、このような際にはプレビュー画面に警告の三角マークが表示されます。

自動回転

［**自動回転**］オプションは、これを行うと用紙が節約されると判断した場合にジョブを自動的に 90 度回転します。

自動回転を使用すると、ページを回転するかどうかの決定を印刷時まで延ばすことができます。これは、さまざまなロール サイズを使って定期的に作業し、ロールの条件が変更された場合にジョブがクリップされないようにしたり、不要な用紙幅を無駄に使用しないようにする場合に便利です。

ヒント：　自動回転は、［**用紙の消費を最小化**］ロール切替オプション (24 ページの 「ロール切替オプション」を参照) と組み合わせて使用すると特に役立ちます。

自動回転を有効にするには、以下の手順を実行します。

- **Windows ドライバのダイアログの場合**：［**機能**］タブを選択し、次に［**自動回転**］を選択します。
- **Mac OS の［プリント］ダイアログの場合**：［**仕上げ**］パネルに移動して［**自動回転**］を選択します。

- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合**：[**詳細設定**] - [**ロール紙オプション**] - [**自動回転**] を選択します。
- **フロントパネルを使用する場合**：セットアップ アイコン を選択し、次に [**ジョブ管理オプション**] - [**自動回転**] を選択します。

注記： コンピュータから自動回転を設定すると、フロントパネルの設定が上書きされます。

注記： 自動回転の決定には、ジョブの既知の寸法が必要です。したがって、[**印刷の開始**] の設定 (105 ページの 「キュー内のジョブを印刷するタイミングを選択する」を参照) に関係なく、ジョブの処理が完了するまで印刷は開始されません。また、[**自動回転**] と [**余白を削除**] を要求した場合は、余白の削除のみが実行されます。

ヒント： ジョブがレンダリングされて再印刷が可能になったとき、ジョブの寸法や解像度によっては、自動回転に数分かかる場合があります。自動回転される再印刷の速度を上げるには、ロール設定が計画されたシナリオに合致するときにレンダリングするジョブを送信し、最後の自動回転は、ロール条件の予期しない変更を修正するためだけに残して置きます。これは、TIFF/JPEG/PS/PDF ジョブにのみ適用されます。

グレー階調で印刷する

イメージのすべてのカラーを、以下の方法でグレー階調に変換できます。

- **アプリケーション プログラムを使用する場合**：多くのプログラムでこのオプションが提供されます。
- **Windows ドライバのダイアログの場合**：[**カラー**] タブに移動して [カラー オプション] セクションを確認します。[**グレースケールで印刷**] を選択します。
- **Mac OS X の [プリント] ダイアログの場合**：[**カラー オプション**] パネルに移動し、モード プルダウン メニューから [**グレースケール**] を選択します。
- **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合**：[**カラー**] - [**カラー/グレースケール**] - [**グレースケールで印刷**] を選択します。

用紙を節約する

用紙を節約するための推奨方法は、次のとおりです。

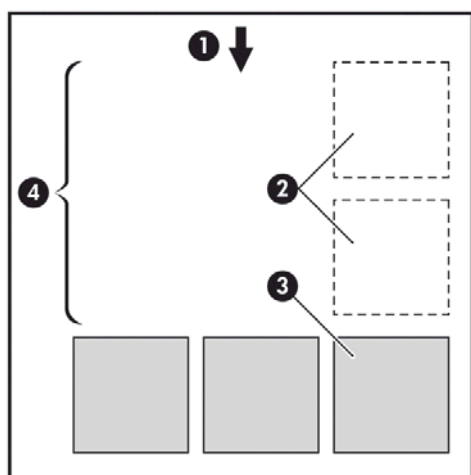
- 比較的小さなイメージや文書ページを印刷する場合は、ネスティングを使用して、順々に印刷するのではなく並べて印刷できます。88 ページの 「用紙を節約するためにジョブをネスティングする」を参照してください。
- 比較的小さなページの複数の文書を印刷する場合は、最大 16 の文書を 1 枚の用紙に印刷できます。[**機能**] タブ (Windows ドライバの場合) または [**レイアウト**]パネル (Mac OS ドライバの場合) で[**Pages per sheet**] (用紙あたりのページ数) オプションを使用します。

印刷オプション

- 以下のオプションを選択すると、用紙を節約できます。
  - **Windows ドライバのダイアログの場合**：[**機能**] タブを選択し、次に [**余白を削除**] および/または [**90°回転**] か [**自動回転**] を選択します。
  - **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合**：[**仕上げ**] パネルを選択し、次に [**余白を削除**] および/または [**90°回転**] か [**自動回転**] を選択します。
  - **内蔵 Web サーバの [ジョブの送信] ページの場合**：[**詳細設定**] - [**ロール紙オプション**] - [**余白を削除**] および/または [**回転**] を選択します。
- 印刷前にコンピュータ上で印刷プレビューを確認することで、明らかな間違いのある印刷を避けることができ、用紙を節約できます。84 ページの 「印刷をプレビューする」を参照してください。

[**余白を削除**] オプションを使用すると、印刷物の上下の余白が削除され、印刷に使用される用紙が削減されるようになります。HP-GL/2 を使用している場合にこのオプションを使用すると、印刷物の左右の余白も削除されます。

用紙を節約するためにジョブをネスティングする

ネスティングとは、イメージまたは文書の複数のページを順々にではなく同じ用紙に並べて自動的に印刷することです。これにより、用紙を節約することができます。

1. 用紙が進む方向
2. ネスティング オフ
3. ネスティング オン
4. ネスティングで節約される用紙

ネスティングの使用方法

ネスティングを使用する際の一般的なガイドラインを次にいくつか示します。

- ネスティングを有効にするには、フロントパネル (ジョブ管理メニュー) または内蔵 Web サーバ ([セットアップ] タブ) を使用します。
- 同じ形式の一連のジョブを処理している場合は、[**通常の順序**] のネスティングを選択します。これにより、新しい形式のファイルが最初に到着したときにネストが閉じられます。
- ファイル形式が混在している場合は、[**最適化**] のネスティングを選択します。このオプションを使用すると、キュー内の互換性のあるページがネスティングされ、ネストを閉じる前に、最大

3 ページの互換性のないページの間隔を挿入できるようになります (後述の「ネスティングの互換性」を参照)。

- ネスティングするジョブに対して、使用する共通の値を選択してプリセットを作成します。内蔵 Web サーバの［**プリセットを管理**］タブを使用してプリセットを保存できます。

注記： ネスティングが有効になっているマルチロール プリンタがある場合は、プリンタで用紙を節約するために最適な処理が実行されます。つまり、ユーザが選択したロール切替オプションに関係なく、用紙の消費が少なくなるロール紙が選択されます (24 ページの 「ロール切替オプション」を参照)。

注記： プリンタでは、最大 8 個の互換性のあるジョブが連続してネスティングされます。

ヒント： 用紙の不一致操作［**そのまま印刷をする**］を使用すると、給紙方法または用紙の種類の制限が無視されて、用紙の消費が最小限に抑えられます。目的の給紙方法または用紙の種類に基づいてより細かいジョブのネスティングを行うには、［**ジョブを保留にする**］用紙の不一致操作を使用します。

ヒント： 高価なロール紙または特別な目的にのみ使用するロール紙がある場合は、ロール保護を使用して、用紙の種類および給紙方法が指定されていないジョブで特別なロール紙を使用できないようにします (90 ページの 「ロール保護」を参照)。

ネスティング待ち時間

ジョブが印刷できる状態になったとき、［**ネスティング**］が有効になっていると、プリンタはジョブをネスティングするために、その他のジョブが到着するまで待機します。フロントパネルからこの待機時間を変更するには、セットアップ アイコン を選択し、次に［**ジョブ管理オプション**］-［**ネスティングの設定**］-［**待ち時間の選択**］を選択します。

フロントパネルの 排紙/カット ボタンを押すことでネスティング待ち時間をキャンセルすることもできます。

ネスティングの互換性

ネスティングされたページはすべて同時に印刷する必要があるので、ネスティングする前にすべてのページで共通の印刷形式を共有する必要があります。1 つまたは 2 つのファイル形式を定期的に使用して、大部分のジョブを同じ設定で印刷する場合は、ネスティングの互換性を確保するために追加の操作を行う必要はありません。それ以外の場合、ネスティングを使用して用紙の消費を最小限に抑えるには、次のようにします。

- 内蔵 Web サーバの［**プリセットを管理**］タブを使用して、設定をプリセットに保存します。次の設定を保存できます。
  - 印刷品質設定 ([**印刷品質**]、[**高精細**]、[**パスの拡張**])
  - カラーとカラー調整の設定 (96 ページの 「カラー調整オプション」を参照)
  - レイアウトと機械の設定 ([**マージン設定**]、[**左右反転**]、[**カッター**])
- すべてのページが次の 3 つのグループのいずれかに属している必要があります (1 つのネストには、1 つのグループのメンバーのみを含める必要があります)。
  - TIFF および JPEG (入力プロファイルが異なる場合でもネスティングできます)
  - PostScript および PDF
  - 同じカラー スペース (sRGB/aRGB/dRGB) を使用する HP-GL/2

注記： CALS/G4 ページはネスティングされません。

注記： 解像度が 300dpi を超える解像度の JPEG および TIFF ページは、他のページとネスティングできない場合があります。

インクを節約する

インクを節約するための推奨方法は、次のとおりです。

- 試し印刷を行うには、普通紙を使用し、印刷品質スライダをスケールの左端 ('速度') まで移動させます。さらに節約するためには、カスタム印刷品質オプションを選択し、［**高速**］および［**エコノモード**］を選択します。
- プリントヘッドのクリーニングは、必要なときだけ、クリーニングが必要なプリントヘッドのみ行います。プリントヘッドのクリーニングは便利ですが、インクを消費します。
- プリンタの電源を入れたままにしておくと、プリンタが自動的にプリントヘッドを良好な状態に維持します。このプリントヘッドの定期保守では少量のインクが使用されますが、この定期保守を行わない場合、プリントヘッドの状態を回復するために、より多くのインクが使用される必要があります。
- プリントヘッドの保守では少量のインクが使用され、その頻度はプリントヘッドによって行われるパス数に関連するため、縦向きで印刷するより、横向きで印刷するほうがインクを節約できます。したがって、ジョブをネスティングすることで用紙を節約するとともにインクも節約できます (88 ページの 「用紙を節約するためにジョブをネスティングする」を参照)。

ロール保護

ロール紙を保護すると、ロール紙番号またはロール紙に取り付けられる用紙の種類が明示的に指定されている場合にのみジョブがそのロール紙に印刷されます。これは、たとえば以下の場合に便利です。

- 重要でないジョブが高価な用紙に誤って印刷されないようにする場合。
- HP プリンタ ドライバを操作せずに AutoCAD から印刷するときに、特定のロール紙に印刷されないようにする場合。

ロール紙を保護するには、フロントパネルでセットアップ アイコン を選択し、次に［**印刷設定**］-［**用紙オプション**］-［**ロール保護**］を選択します。

注記： ロール紙を保護し、後で現在のロール紙を取り外して新しいロール紙を取り付けた場合、新しいロール紙も保護され続けます。特定のロール紙ではなく、ロール紙番号を保護しているためです。そのロール紙番号は、保護をキャンセルするまで保護されたままになります。

ヒント： ロール紙番号または用紙の種類を指定せずに印刷する場合は、保護されたどのロール紙にも印刷できません。

無人印刷

長時間にわたるジョブの印刷を処理するための推奨方法は、次のとおりです。

- 可能であれば、新品の長いロール紙を使用します。
- 一部使用済みのロール紙に印刷する場合は、内蔵 Web サーバまたはフロントパネルで用紙の種類と残りの長さをチェックし、すべてのジョブを印刷できる十分な長さの用紙があることを確認できます。

  注記： 残りの長さに関する情報は、ロール紙を取り付けたときにその長さをプリンタに入力した場合、またはプリンタがロール紙に印刷されたバーコードからその長さを読み取った場合にのみ確認できます。

- ジョブに適している 2 つのロール紙を取り付けます。1 つのロール紙が終了したら、もう 1 つのロール紙に自動的に切り替えられます。
- すべてのジョブを印刷できる十分な幅の用紙があることを確認します。用紙の不一致操作が［**ジョブを保留にする**］に設定されている場合、幅が広すぎるジョブは「用紙の保留状態」になることがあります (24 ページの 「用紙の不一致操作」を参照)。
- インクカートリッジのインク残量を確認します。
- 印刷ジョブを送信したら、遠隔地から内蔵 Web サーバを使用して、そのステータスを監視できます。
- 乾燥時間を［**自動**］に設定する必要があります。
- 高スループットを実現するには、セットアップ アイコン を選択し、次に［**印刷設定**］-［**用紙オプション**］-［**ロール切替オプション**］-［**ロールの変更を最小化**］または［**用紙の少ないロールを使用**］を選択します。
- 用紙を節約するには、セットアップ アイコン を選択し、次に［**印刷設定**］-［**用紙オプション**］-［**ロール切替オプション**］-［**用紙の消費を最小化**］および［**自動回転をオン**］を選択します。

9 カラーマネジメント

はじめに

本プリンタは、先進のハードウェアとソフトウェアによって期待通りの信頼できる結果を約束します。

- グレー、ダークグレー、およびマットブラックのインクにより、すべての種類の用紙で中間のグレーを再現します。

カラー プリンタのみ

- 一貫した色を再現するためにカラーキャリブレーションを行います。
- 他の HP Designjet プリンタのカラー エミュレーションを行います。

T7100 Mono プリンタを使用している場合は、以下のセクションのうち、カラー マネジメントとカラー調整オプションに関するセクションをお読みください。通常、この章のそれ以外のセクションは無視してかまいません。

色が表示される仕組み

カラーを表示するすべてのデバイスは、数値的な用語でカラーを再現するためにカラー モデルを使用します。ほとんどのモニタは RGB (Red-Green-Blue) カラー モデルを使用する一方、ほとんどのプリンタは CMYK (Cyan-Magenta-Yellow-blacK) カラー モデルを使用します。

イメージは、あるカラー モデルから別のカラー モデルに変換できます。ただし、一般に変換は完全ではありません。本プリンタは、RGB カラー モデルを使用しています。これは、モニタで使用されているものと同じカラー モデルです。

これにより、カラーのマッチングの問題は単純化されますが、完全に解決されるわけではありません。各デバイスは、たとえ同じカラー モデルを使用していても、他のデバイスとは少し異なるカラーを再現します。ただし、ソフトウェアから、特定のデバイスの特性に従ってイメージのカラーを調整できます。その際、正しい色を実現するためにデバイスのカラー プロファイルが使用されます。

カラーマネジメント プロセスの概要

正確で一貫した期待どおりの色を得るために、使用する用紙の種類に応じて以下の手順に従ってください。

1. 一貫した色を再現するために、用紙の種類に対してカラーキャリブレーションを行います。キャリブレーションはときどき行う必要があります (93 ページの 「カラーキャリブレーション」を参照)。また、特に色再現が重要な印刷ジョブの前には、ただちにキャリブレーションを実行します。
2. 印刷時に、使用する用紙の種類に合った適切なカラー プリセットを選択します。

カラーキャリブレーション

カラーキャリブレーションを行うことによって、プリンタの特定のプリントヘッド、インク、および使用する用紙の種類に合わせて、また特定の環境条件に応じて、色調を統一することができます。カラー キャリブレーションを行うと、異なる場所にある 2 つのプリンタから同様の印刷物を出力することができます。

用紙の種類によってはキャリブレーションを行うことができない場合があります。それ以外の種類の用紙では、以下の状況の場合にキャリブレーションを行ってください。

- プリントヘッドを交換した場合
- 現在のプリントヘッドでキャリブレーションを実行したことがない新しい用紙の種類を使用する場合
- 環境条件 (温度や湿度など) が大きく変化した場合

現在取り付けられている用紙のカラーキャリブレーション ステータスは、フロントパネルの 情報の表示 ボタンを押すことで、いつでも確認できます。ステータスは以下のいずれかになります。

- ペンディング : この用紙でキャリブレーションが実行されていません。

注記： プリンタのファームウェアを更新した場合、すべての用紙のカラーキャリブレーション ステータスはペンディングにリセットされます。

- 失効 : この用紙でキャリブレーションが実行されましたが、プリントヘッドが交換されて現在失効しているため、キャリブレーションをもう一度実行する必要があります。
- 完了 : この用紙でキャリブレーションが実行され、そのキャリブレーションが有効です。
- 無効 : この用紙でキャリブレーションを実行することはできません。

注記： カラーキャリブレーションは、普通紙やすべての種類の透明紙では実行できません。

カラーキャリブレーション ステータスは、HP ユーティリティでも確認できます。

カラーキャリブレーションは、以下の方法で開始できます。

- HP ユーティリティ (Windows) で、[**Color Center**] - [**用紙のキャリブレーション**] を選択し、キャリブレーションを実行する用紙を選択します。
- HP ユーティリティ (Mac OS) で、[HP Color Center] グループから [**用紙プリセット管理**] を選択して、キャリブレーションを実行する用紙を選択し、ボタンを押して、[**用紙のキャリブレーション**] を選択します。
- フロントパネルで、イメージ品質の保守アイコンを選択し、[**カラーキャリブレーション**] を選択します。

キャリブレーション処理は完全に自動化されています。A4、その他のより大きなサイズなど、キャリブレーションを行う種類の用紙を取り付けた後、無人で実行されます。アクティブなロールの用紙にキャリブレーションが実行されます。キャリブレーションを実行するロールがアクティブになっていることを確認してください。アクティブなロール紙を変更するには、用紙アイコンを選択し、[**アクティブなロール紙の選択**] を選択します。

この処理には 3～5 分ほどかかります。以下の手順で実行されます。

1. キャリブレーション チャートが印刷されます。これには、プリンタで使用される各インクのパッチが印刷されています。

2. チャートは、インクが乾いてカラーが安定するまでプリンタに保持されます。この時間は用紙の種類によって異なります。
3. チャートがスキャンされ、計測されます。
4. 計測結果を基に、必要な修正要素が算出され、その用紙の種類で再現性のあるカラー印刷を行うために適用されます。また、その用紙に使用される各インクの最大量も計算されます。

プリンタ ドライバからのカラーマネジメント

カラーマネジメント オプション

カラーマネジメントの目的は、あらゆるデバイスで色をできるだけ正確に再現することにあります。これによって、イメージを印刷するとき、モニタ上でそのイメージを見たときと限りなく近い色で印刷することができます。

プリンタのカラーマネジメントには 2 つの基本的な方法があります。

- **[アプリケーションで管理]**：この場合、アプリケーション プログラムで、イメージに埋め込まれた ICC プロファイルやプリンタおよび用紙の種類の ICC プロファイルを使用して、プリンタおよび用紙の種類のカラー スペースに合わせてイメージの色が変換される必要があります。
- **[プリンタで管理]**：この場合、アプリケーション プログラムではカラー変換が行われずにイメージがプリンタに送信され、プリンタでカラー スペースに合わせて色が変換されます。このプロセスの詳細は、使用しているグラフィック言語によって異なります。
  - **PostScript (PostScript アップグレードを使用)**：プリンタ内部の PostScript インタプリター モジュールでは、プリンタに保存されたプロファイルおよび PostScript ジョブと共に送信された追加のプロファイルを使用してカラー変換を実行します。この種のカラーマネジメントは、PostScript ドライバを使用していてプリンタのカラーマネジメントを指定した場合や、内蔵 Web サーバを介してプリンタに PostScript、PDF、TIFF または JPEG ファイルを直接送信した場合に実行されます。どちらの場合も、デフォルトとして使用するプロファイル (ジョブで指定されない場合に備えて) および適用するレンダリング用途を選択する必要があります。
  - **PostScript 以外 (HP-GL/2、RTL)**：カラーマネジメントは、保存されたカラー テーブルのセットを使用して実行されます。ICC プロファイルは使用されません。この方法は他の方法よりも用途が限られていますが、使いやすさや速さに優れ、標準的な HP の用紙の種類で良好な結果が得られます。この種のカラーマネジメントは、PostScript 以外のドライバを使用していてプリンタのカラーマネジメントを指定した場合や、内蔵 Web サーバを介してプリンタに HP-GL/2 または RTL ファイルを直接送信した場合に実行されます。

  注記： プリンタに格納されているカラー テーブルでプリンタのカラー スペースに変換できるカラー スペースは、2 つだけです (Windows の場合は Adobe RGB と sRGB、Mac OS の場合は Adobe RGB)。

使用するアプリケーションのカラーマネジメント オプションの使用方法については、Knowledge Center (176 ページの 「Knowledge Center」を参照) を参照することをお勧めします。

[アプリケーションで管理] および **[プリンタで管理]** を選択するには：

- **Windows ドライバのダイアログの場合**：**[カラー]** タブを選択します。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合**：**[カラー オプション]** パネルを選択します。
- **一部のアプリケーションの場合**：アプリケーションで選択できます。

プリンタ エミュレーション

特定のジョブが、別の HP Designjet プリンタでどのような色で印刷されるか、およその色を確認したい場合は、プリンタのエミュレーション モードを使用します。

注記： このオプションは、HP-GL/2、PostScript、または PDF ジョブを印刷する場合にのみ使用できます。これは、普通紙、コート紙、または厚手コート紙に印刷する場合にのみ正しく機能します。

- **Windows ドライバのダイアログの場合**：カラー タブを選択し、[**プリンタで管理**] を選択し、[ソースプロファイル] リストの [**プリンタのエミュレーション**] を選択します。[エミュレートされるプリンタ] リストから選択します。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合**：[カラー オプション] パネルを選択し、[プリンタのエミュレーション] リストから選択します。

カラー調整オプション

カラーマネジメントの目的は、正確な色を出力することにあります。カラーマネジメントを正しく実行すれば、手動のカラー調整を必要とせずに、正確な色を出力することができるはずです。

ただし、以下の状況では手動での調整が便利です。

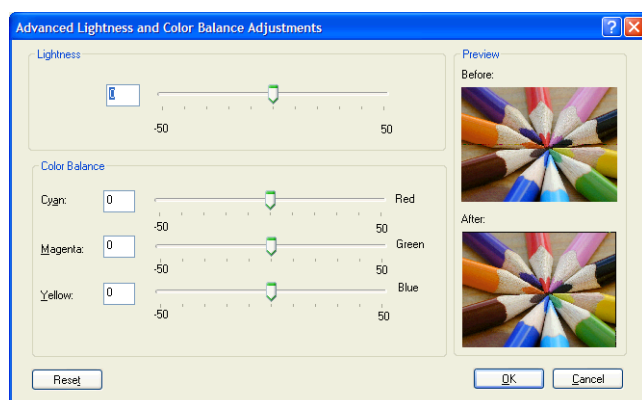
- カラーマネジメントが何らかの理由で正しく機能していない場合
- 正確さより主観的に好ましい色が求められる場合

プリンタ ドライバは、カラーで印刷するか、グレースケールで印刷するかによって、異なる調整機能を提供します。純粋な白黒で印刷する場合、カラー調整オプションはありません。

カラーで印刷

印刷の色は、Windows と Mac OS でほとんど同じ方法で調整できます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合**： [**カラー**] タブを選択し、[**カラー詳細調整**] ボックスがオンになっていることを確認し、その隣にある [**設定**] ボタンを押します。
- **Mac OS X 10.5 または 10.6 の [プリント] ダイアログの場合**：[カラー オプション] パネルを選択し、モード リストから [**カラー**] を選択して、[**Adjust**] (調整) ボタンを押します。
- **Mac OS X 10.4 の [プリント] ダイアログの場合**：[カラー オプション] パネルを選択して、次に [**Lightness and Hue**] (明度と色相) を選択します。

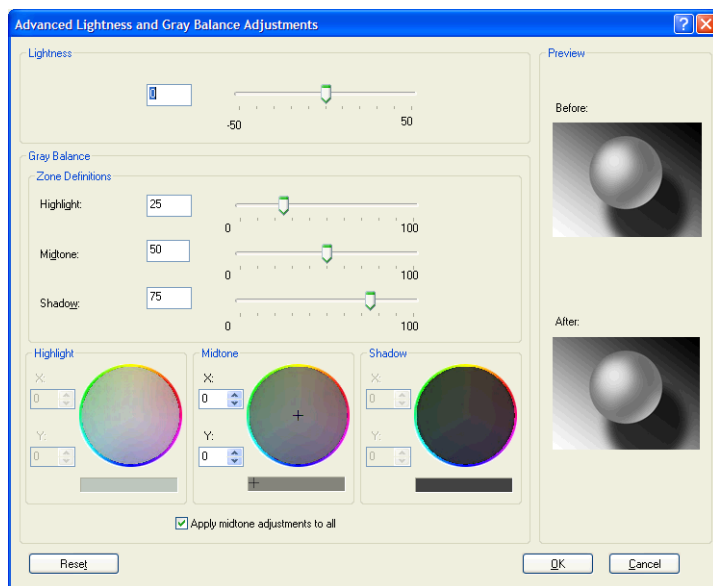
どちらのオペレーティング システムでも、明度スライダと 3 つのカラー調整スライダを使用して調整できます。

- 明度スライダは、単に印刷全体を明るくしたり、または暗くしたりします。
- カラー調整スライダは、印刷で各原色を弱めたり、強調したりするために使用できます。原色は、イメージで使用されているカラー モデルに応じて、レッド、グリーン、ブルー、またはシアン、マゼンタ、イエローのどちらかになります。

[**リセット**] ボタンは、各スライダをデフォルトの中央位置に戻します。

グレースケールで印刷

印刷のグレー バランスは、Windows と Mac OS でほとんど同じ方法で調整できます。

- **Windows ドライバのダイアログの場合**：［**カラー**］タブを選択し、［**カラー詳細調整**］ボックスがオンになっていることを確認し、その隣にある［**設定**］ボタンを押します。
- **Mac OS X 10.5 および 10.6 の［プリント］ダイアログの場合**：［**カラー オプション**］パネルを選択し、モード リストから［**Grayscale**］(グレースケール) を選択して、［**Adjust**］(調整) ボタンを押します。
- **Mac OS X 10.4 の［プリント］ダイアログの場合**：［**カラー オプション**］パネルを選択して、次に［**グレースケールで印刷**］、［**Gray balance**］(グレー バランス) を選択します。

どちらのオペレーティング システムでも、ハイライト、中間色、および影の別々のコントロールを使用して調整できます。

- 明度スライダは、単に印刷全体を明るくしたり、または暗くしたりします。このスライダは、Mac OS X 10.4 の場合を除き、［**Lightness and Hue**］(明度と色相) を選択して利用可能な、他のグレースケール コントロールと同じウィンドウで利用できます。
- 領域定義スライダは、ハイライト、中間色、および影が示す内容を定義するために使用できます。
- ハイライト、中間色、および影の他のコントロールは、ハイライト、中間色、および影のそれぞれのグレー バランスを調整するために使用できます。

［**リセット**］ボタンは、各コントロールをデフォルトの設定に戻します。

プリンタ ドライバからのカラーマネジメント (PostScript)

この機能は、PostScript ドライバを使用して印刷するときに使用できます。

HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション

イメージで特定の PANTONE カラーを使用すると、通常、アプリケーションによってそのカラーに近い CMYK または RGB カラーがプリンタに送信されます。ところが、アプリケーションではプリンタや用紙の種類が考慮されないため、PANTONE カラーに一般的に近いカラーが再現されるだけで、異なるプリンタや用紙では違う色に見えます。

[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] では、プリンタや用紙の種類の特性を考慮に入れることによって、はるかに良好な結果を得ることができます。特定のプリンタで特定の用紙を使

用して再現されるカラーは、元の PANTONE カラーと可能な限り同じように見えるようになります。この技術は、プリプレスのプロフェッショナルが手作業で設定したエミュレーションと同様のエミュレーションを実現することを目的としています。

[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] を使用するには、この機能をオンにするだけです。通常は、デフォルトでオンになっています。

- **Windows PostScript ドライバのダイアログの場合**：[**カラー**] タブに移動し、[**HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション**] を選択します。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合**：[**カラー オプション**] パネルに移動し、[**HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション**] を選択します。

また、内蔵 Web サーバを使用して、プリンタが再現する PANTONE カラーのエミュレーションを示す見本帳を印刷することもできます。この見本帳には、各エミュレーションと元の PANTONE スポット カラーの間の色の差 (ΔE) の値も示されます。[HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション] を使用すると、お使いのプリンタで実現できる最も一致するカラーを再現できるだけでなく、そのエミュレーションが元のスポット カラーにどの程度近いかに関する明確な情報も得ることができます。101 ページの 「PANTONE 見本帳の印刷」を参照してください。

カラー エミュレーション

お使いのプリンタでは、他のデバイス (モニタなどの RGB デバイス、印刷機やプリンタなどの CMYK デバイス) の色の作用をエミュレートできます。

カラー エミュレーションは、以下の方法で設定できます。

- **Windows PostScript ドライバのダイアログの場合**：[**カラー**] タブを選択し、[**プリンタで管理**] を選択します。
- **Mac OS の [プリント] ダイアログの場合**：[**カラー オプション**] パネルを選択し、[カラーマネジメント] リストから [**プリンタ**] を選択します。

適切なエミュレーションを実行するために、プリンタでは、これらのデバイスで再現できるカラーの仕様が必要です。これらの情報をカプセル化するための標準的な方法は、ICC プロファイルです。この解決策の一部として、弊社では、さまざまなデバイスで最も共通性の高い標準規格を用意しました。

オプションは以下のとおりです。

CMYK カラー エミュレーション

従来の処理では、CMYK スペースでカラーが定義されます。最高の印刷結果を得るには、カラーをプリンタに合わせて調整する必要があります。これは、プリンタが変わると同じ CMYK データから異なるカラーが生成されるためです。印刷中のイメージ ファイルがプリンタに合わせて作成されていない場合は、プリンタから再調整を要求するメッセージが表示されます。再調整を行うには、プリンタの以下のオプションからいずれかを選択します。

- [**なし (ネイティブ)**]：エミュレーションを行いません。プリンタは、デフォルト設定の内部変換を使用して CMYK を RGB に変換します。特定のカラー標準には準拠しません。これは、結果が悪くなるということではありません。
- [**U.S. Web Coated (SWOP) 2**] は、インクの総使用量 300%、ネガ版、出版用コート紙の印刷条件下で、米国製インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- [**U.S. Web Uncoated 2**] は、インクの総使用量 260%、ネガ版、普通オフセット用紙の印刷条件下で、米国製インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。

- [**U.S. Sheetfed Coated 2**] は、インクの総使用量 350%、ネガ版、普通オフセット用紙の印刷条件下で、米国製インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- [**U.S. Sheetfed Uncoated 2**] は、インクの総使用量 260%、ネガ版、普通オフセット用紙の印刷条件下で、米国製インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- [**Europe ISO Coated FOGRA27**] は、インクの総使用量 350%、ポジ版、コート紙の印刷条件下で、ISO 12647 に準拠した印刷の高品質の色分解を行うように設計されています。
- [**Euroscale Uncoated 2**] は、インクの総使用量 260%、ポジ版、普通オフセット用紙の印刷条件下で、Euroscale インクを使用して高品質の色分解を行うように設計された仕様に準拠しています。
- [**Japan Web Coated (Ad)**] は、日本国内の雑誌および広告業界向けにイメージのデジタル プルーフ用として日本雑誌協会が作成した仕様に準拠しています。
- [**Japan Color 2001 Coated**] は、Japan Color 2001 のタイプ 3 (コート紙) の仕様に準拠しています。これは、インクの総使用量 350%、ポジ版、コート紙の印刷条件下で、高品質の色分解を行うように設計されています。
- [**Japan Color 2001 Uncoated**] は、Japan Color 2001 のタイプ 4 (普通紙) の仕様に準拠します。これは、インクの総使用量 310%、ポジ版、普通紙の印刷条件下で、高品質の色分解を行うように設計されています。
- [**Japan Color 2002 Newspaper**] は、Japan Color 2002 新聞用に準拠しています。これは、インクの総使用量 240%、ポジ版、標準新聞紙の印刷条件下で、高品質の色分解を行うように設計されています。
- [**JMPA**] は、オフセット印刷用の日本国内の規格です。
- [**Toyo**] は、高品質の色分解を行うための東洋インキ製造独自の仕様です。
- [**DIC**] は、高品質の色分解を行うための大日本インキ化学工業独自の仕様です。

注記： 以上のオプションは、アプリケーションで独自の CMYK スペース (PostScript ではキャリブレートされた CMYK または CIEBasedDEFG と言う) が定義されている場合は無効になります。

RGB カラー エミュレーション

お使いのプリンタには、以下のカラー プロファイルが用意されています。

- [**なし (ネイティブ)**]：エミュレーションを行いません。カラー変換がアプリケーションまたはオペレーティング システムによって行われ、データが既にカラーマネージメントされた状態でプリンタに送られる場合に使用します。
- [**sRGB IEC61966-2.1**]：一般的な PC モニタの特性をエミュレートします。このカラー スペースは、多数のハードウェア メーカーとソフトウェア メーカーから支持されており、さまざまなスキャナ、プリンタ、ソフトウェア アプリケーションに標準装備されるカラー スペースになりつつあります。
- [**ColorMatch RGB**]：Radius Pressview モニタ固有のカラー スペースをエミュレートします。このカラー スペースは、[Adobe RGB (1998)] よりも色域が狭く、印刷製作作業に使用することができます。
- [**Apple RGB**]：一般的な Apple モニタの特性をエミュレートし、さまざまな DTP アプリケーションで使用されています。このカラー スペースは、Apple モニタでファイルを表示する場合、または古い DTP ファイルを処理する場合に使用します。
- [**Adobe RGB (1998)**]：RGB カラーの広い色域を再現します。このカラー スペースは、印刷物に幅広い範囲の色が必要な場合に使用します。

内蔵 Web サーバからのカラーマネジメント

[ジョブの送信] のオプション

内蔵 Web サーバの［**ジョブの送信**］ページを使用してプリンタにジョブを送信するとき、以下のカラーマネジメント オプションを使用できます。

オプションを［**デフォルト**］のままにした場合、ジョブに保存されている設定が使用されます。ジョブに何も設定されていない場合は、プリンタのフロントパネルの設定が使用されます。

- ［**カラー/グレースケール**］: カラーで印刷するか、グレー階調で印刷するか、純粋な白黒で印刷するかを選択できます。
- ［**デフォルト RGB ソース プロファイル**］: プリンタによって認識され、選択された RGB ソースプロファイルから選択できます。
- ［**プリンタ エミュレーション**］: 他の HP Designjet プリンタをエミュレートすることができます。デフォルト : ［**オフ**］(プリンタ エミュレーションなし)。

PostScript ジョブまたは PDF ジョブのみ

- ［**デフォルト CMYK ソース プロファイル**］: プリンタによって認識され、選択された CMYK ソース プロファイルから選択できます。デフォルト : ［**Europe ISO Coated FOGRA27**］。
- ［**レンダリング用途**］: レンダリング用途を選択できます。
- ［**黒点の補正**］: 黒点の補正をオンまたはオフにすることができます。
- ［**HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション**］: HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーションをオンまたはオフにすることができます。

レンダリング用途

レンダリング用途とは、カラー変換を行う際に使用する設定の 1 つです。印刷するカラーの一部がプリンタで再現できない場合があります。レンダリング用途を使用すると、これらのいわゆる色域外の色を処理する 4 つの方法のいずれかを選択できます。

- ［**彩度**］: 明るい、鮮やかな色を使用するプレゼンテーション用のグラフィック、表、またはイメージに最適です。
- ［**知覚的**］: 中間色が多数含まれた写真またはイメージに最適です。カラーの全体的な見栄えは、可能な限り維持されます。
- ［**相対カラーメトリック**］: 特定のカラーと調和させる場合に最適です。主にプルーフ用に使用され、正確にカラーを印刷できる状態では、正確なカラーが確実に印刷されます。これ以外のオプションでは、より望ましい色の範囲が再現される場合もありますが、特定の色が正確に印刷されるとは限りません。また、このオプションでは、入力カラー スペースの白が、印刷する用紙の白にマッピングされます。
- ［**絶対カラーメトリック**］: 相対カラーメトリックと同様ですが、白のマッピングは行われません。このレンダリングも主にプルーフ用に使用されますが、この場合のプルーフは、1 台のプリンタの出力のシミュレーション (白点を含む) を目的に行います。

黒点の補正を行う

[黒点の補正] オプションでは、カラー スペース間でカラー変換を行ったときに、黒点の差異を調整するかどうかを指定します。このオプションを選択すると、変換元スペースのダイナミック レンジが変換先スペースのダイナミック レンジにマッピングされます。このオプションにより、変換元スペースの黒点が変換先スペースの黒点より濃い場合に、暗い部分を保持することができます。このオプションは、レンダリング用途に［**相対カラーメトリック**］が選択されている場合のみ使用できます (100 ページの 「レンダリング用途」を参照)。

PANTONE 見本帳の印刷

内蔵 Web サーバを使用して、プリンタが再現する PANTONE カラーのエミュレーションを示す見本帳を印刷することもできます。この見本帳には、各エミュレーションと元の PANTONE スポット カラーの間の色の差 (ΔE) の値も示されます。

見本帳を印刷するには、内蔵 Web サーバの ［メイン］ タブを選択し、［**HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション**］ を選択します。エミュレートする PANTONE ストックを選択し、印刷する PANTONE カラーのストリップを 1 つまたは複数選択します。複数の PANTONE ストックからカラー ストリップを選択できます。必要なカラーをすべて選択したら、［**次へ**］ ボタンを押します。次のウィンドウに選択内容が表示され、［**印刷**］ を押してその選択項目を印刷するか、［**戻る**］ を押して選択内容を変更できます。

フロントパネルからのカラーマネジメント

フロントパネルからイメージ品質の保守アイコン を選択し、［**カラーキャリブレーション**］ を選択することによって、取り付けた用紙の種類のカラーキャリブレーションを行うことができます。93 ページの 「カラーキャリブレーション」を参照してください。

フロントパネルにある他のカラー オプションはすべて、セットアップ アイコン を選択し、［**印刷設定**］ - ［**カラー オプション**］ を選択すると表示できます。

注記： フロントパネルでのこれらの設定はすべて、プリンタ ドライバまたは内蔵 Web サーバのジョブ送信設定で上書きできます。

- [**カラー/グレースケール**]：カラーで印刷するか、グレー階調で印刷するかを選択できます。デフォルト：[**カラー印刷**]。
- [**RGB ソース プロファイルの選択**]：プリンタによって認識され、選択された RGB ソース プロファイルから選択できます。デフォルト：[**sRGB (HP)**]。
- [**プリンタのエミュレート**]：他の HP Designjet プリンタをエミュレートすることができます。デフォルト：[**オフ**] (プリンタ エミュレーションなし)。

ヒント： 他の HP Designjet プリンタ用に作成された古い HP-GL/2 ファイルまたは PostScript ファイルがある場合、プリンタにそれを送信し、フロントパネルを使用して適切なエミュレーション モードをオンにすることができます。

PostScript ジョブまたは PDF ジョブのみ

- [**CMYK ソース プロファイルの選択**]：プリンタによって認識され、選択された CMYK ソース プロファイルから選択できます。デフォルト：[**Europe ISO Coated FOGRA27**]。
- [**レンダリング用途の選択**]：レンダリング用途を選択できます。デフォルト：[**知覚的**]。
- [**黒点の補正**]：黒点の補正をオンまたはオフにすることができます。デフォルト：[**オン**]。
- [**HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション**]：HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーションをオンまたはオフにすることができます。デフォルト：[**オン**]。

10 ジョブ キューの管理

内蔵 Web サーバのジョブ キュー ページ

プリンタのジョブ キューは、HP ユーティリティ (20 ページの 「HP ユーティリティにアクセスする」を参照)、またはプリンタの内蔵 Web サーバ (20 ページの 「内蔵 Web サーバにアクセスする」を参照) から管理できます。

ジョブ キュー ページには、プリンタのジョブ キューで利用可能なすべてのジョブが表示されます。このページには、受信、解析、レンダリング、印刷されているジョブ、およびすでに印刷されたジョブが含まれます。

各ジョブの以下の情報が表示されます。

- **[プレビュー]**：ジョブ プレビューを表示するにはこのアイコンをクリックします。ジョブのプレビューは、ジョブが処理されるたびに利用できます。
- **[ファイル名]**：ジョブのプロパティを表示するには、ファイル名をクリックします。
- **[ステータス]**：現在のジョブ ステータスを表示します。
- **[ページ数]**：ジョブのページ数。
- **[部数]**：印刷される部数。
- **[日付]**：プリンタがジョブを受信した日時。
- **[ユーザ]**：ユーザの名前。

キュー内のジョブは対応する列のタイトルをクリックして、(プレビューを除く) 任意の情報項目別にソートできます。キュー内の 1 つまたはすべてのジョブで以下の操作を実行できます。

- **[キャンセル]**：選択したジョブをキャンセルします。ジョブがキャンセルされる前に確認するように要求されます。ジョブはプリンタに格納されたままですが、**[再印刷]** をクリックしない場合には印刷されません。
- **[保留]**：印刷するために **[続行]** をクリックするまで、選択したジョブを保留にします。
- **[続行]**：保留状態にあるすべての選択したジョブが印刷を続行します。
- **[再印刷]**：ジョブのコピーをさらに印刷します。コピー部数 (デフォルトは 1、最大 99) を入力し、**[印刷]** をクリックします。
- **[キューの先頭に移動する]**：すべての選択したジョブをジョブ キューの先頭に送信します。
- **[削除]**：ジョブ キューから選択したジョブを削除します。ジョブが削除される前に確認するように要求されます。
- **[更新]**：ページを更新し、情報がアップデートされていることを確認します。

注記： ジョブ キュー ページは自動的にアップデートされません。

ジョブのプレビュー

プリンタは、すべての受信ジョブをサンプリングし、ジョブのプレビューとして機能することができる JPEG ファイルを生成します。このプレビューは、プリンタでサポートされるすべての種類のジョブで利用できます。

ヒント： プレビューが 64 ページを超える場合は、ジョブを送信しないでください。

ジョブのプレビューはジョブが処理されるたびに利用できます。プレビュー ページにアクセスするには、ジョブ キュー ページのプレビュー列に表示される虫眼鏡アイコンをクリックします。プレビュー ページには、ジョブのサムネル プレビューと共に、以下のジョブの詳細が表示されます。

- **[ファイル名]**：ジョブのファイル名。
- **[取り付けられている素材]**：プリンタに取り付けられている用紙の種類。
- **[ジョブの寸法]**：ジョブの寸法です。

ジョブのより大きなプレビューを表示するには、プリンタ イメージの右側に表示されるジョブのサムネイルまたは虫眼鏡アイコンをクリックします。

注記： Macromedia プラグインを使用しないブラウザには、黄色い陰影の付いたジョブ イメージが表示されます。Macromedia フラッシュ プラグイン バージョン 7 以降を持つブラウザには、プリンタに取り付けられている用紙内にジョブ イメージの拡張プレビューが表示されます。

ジョブのキューをオフにする

キューをオフにするには、内蔵 Web サーバから、**[セットアップ]** タブ - **[プリンタ設定]** - **[ジョブ管理]** - **[キュー]** を選択して **[オフ]** を選択するか、フロントパネルから、セットアップ アイコン を選択し、**[ジョブ管理オプション]** - **[キューの有効化]** - **[オン/オフ]** を選択します。

キュー内のジョブを印刷するタイミングを選択する

注記： [印刷の開始] オプションは、PostScript ジョブでは使用できません。

キュー内にあるファイルを印刷したい時点で選択できます。内蔵 Web サーバから、**[セットアップ]** タブ - **[プリンタ設定]** - **[印刷の開始]** を選択するか、フロントパネルから、セットアップ アイコン を選択し、**[ジョブ管理オプション]** - **[印刷の開始]** を選択します。

選択可能な 3 つのオプションがあります。

- **[処理後]** が選択される場合、プリンタはページ全体が処理され印刷が開始されるまで待機します。これは最も時間がかかる設定ですが、大量で複雑な印刷の場合に最高の印刷品質を保証します。
- **[すぐに]** が選択される場合、プリンタはページの処理時に印刷します。これは最速の設定ですが、プリンタはデータを処理するために、印刷の途中で終了する場合があります。この設定は、濃い色の複雑なイメージには推奨されません。
- **[最適化]** が選択される場合 (これはデフォルト設定です)、プリンタはページの印刷を開始する最適な時間を計算します。通常は、**[処理後]** および **[すぐに]** の設定間で最適な調整を行います。

キュー内のジョブの識別

キューの内容を確認するには、内蔵 Web サーバで、**[メイン]** タブ - **[ジョブ キュー]** を使用するのが最適です。ここでは、キューの管理や、(ファイルの名前をクリックして) すべてのジョブの詳細情報の確認を行うことができます。

ただし、キューはフロントパネルから管理することもできます。これを行うには、ジョブ キュー アイコン を選択し、**[ジョブ キュー]** を選択します。ここでは、キュー内のジョブの一覧が表示されます。

それぞれが、以下から構成される識別子を持ちます。

ジョブ キュー

<キューの位置>: <イメージ名>

現在印刷中のジョブには指差しのアイコン、すでに印刷済みのジョブにはチェックマーク、キャンセルされたジョブには×マーク、処理中のジョブには時計マーク、および保留中のジョブには警告が表示されます。

キュー内の特定ジョブを優先させる

キュー内の任意のジョブを次に印刷されるようにするには、それを選択し、[**再印刷**] (内蔵 Web サーバ) または [**キューの先頭に移動する**] (フロントパネル) を選択します。

ネスティングがオンになっている場合は、優先させたジョブも他のジョブと一緒にネスティングされます。このジョブを実際に次に印刷するには、ネスティングをオフにしてから、上記の手順でジョブをキューの先頭に移動します。

キューからジョブを削除する

通常は、印刷後にジョブをキューから削除する必要はありません。新しいファイルが送信されると、ジョブはキューの末尾から自動的に削除されます。ただし、ファイルを間違って送信し、それを印刷しないという場合は、そのファイルを削除することができます。ファイルを選択し、次に、(内蔵 Web サーバまたはフロントパネルで) [**削除**] を選択します。

同じ方法で、まだ印刷されていないジョブを削除することもできます。

現在印刷中のジョブ (ステータスが **印刷しています** のジョブ) をキャンセルして削除するには、内蔵 Web サーバで キャンセル をクリックするか、フロントパネルの キャンセル ボタンを押し、次にジョブをキューから削除します。

キュー内のジョブを再印刷またはコピーする

キュー内のジョブのコピーを再印刷または作成するには、内蔵 Web サーバでジョブを選択し、[**再印刷**] アイコンをクリックして、部数を指定します。ジョブがキューの先頭に移動します。フロントパネルからキュー内の印刷されないジョブを複数印刷するには、ジョブを選択して、[**部数**] を選択し、次に必要な部数を指定して、選択 ボタンを押します。上記の設定は、ソフトウェアで指定された値より優先されます。

注記： [**回転**] が [**オン**] になっている場合は、各コピーもすべて回転した状態で印刷されます。

フロントパネルからすでに印刷されたジョブを再印刷できます。ジョブ キュー アイコン を選択し、キューからジョブを選択して、[**再印刷**] を選択します。

ジョブのステータス メッセージ

以下は、表示されうるジョブのステータス メッセージです。メッセージはおおよそ、この順序で表示されます。

- **データを受信しています**：プリンタはコンピュータからジョブを受信しています。
- **処理を待っています**：ジョブはプリンタによって受信され、レンダリングを待っています (内蔵 Web サーバから送信したジョブの場合のみ)。
- **データを処理しています**：プリンタがジョブを解析およびレンダリングしています。
- **回転しています**：ジョブは既にレンダリングされていますが、用紙を節約するために回転されています (自動回転がオンになっています)。
- **印刷の準備を行っています**：プリンタはジョブの印刷前に出力システムの確認を実行中です。

- **印刷待ち**：ジョブはプリンタ エンジンが使用可能になり、印刷を開始できるようになるのを待っています。
- **ネスティング待ち**：プリンタはネスティングがオンに設定されており、ネストを完了して印刷を開始するために他のジョブを待っています。
- **一時停止しています**：ジョブは［**on hold for preview**］(プレビューを表示する) オプションを使用して送信され、一時停止中です。

ヒント： プレビューが 64 ページを超える場合は、ジョブを送信しないでください。

注記： ジョブの印刷中にプリンタが停止した場合、キュー機能がオンになっていると、一部しか印刷されていないジョブはプリンタが再起動したときに、キューに **一時停止しています** と表示されます。ジョブを再開すると、中断されたページから印刷が開始されます。

- **用紙の保留**：プリンタに必要な用紙が取り付けられていないため、ジョブを印刷できません。必要な用紙を取り付け (26 ページの 「使用方法 (用紙)」を参照)、［**続行**］をクリックしてジョブを再開します。
- **アカウンティング情報を待っています**：プリンタがすべてのジョブにアカウント ID を要求しているため、ジョブを印刷できません。ジョブを再開するには、アカウント ID を入力して［**続行**］をクリックします。
- **印刷**
- **乾燥しています**
- **用紙をカットしています**
- **素材を排出しています**
- **キャンセルしています**：ジョブはキャンセル中ですが、プリンタのジョブ キューには残ります。
- **削除しています**：プリンタからジョブを削除しています。
- **印刷しました**
- **キャンセルしました**：プリンタによってジョブがキャンセルされました。
- **ユーザの指示によりキャンセルしました**
- **ジョブがありません**：ジョブに印刷するものが含まれていません。

保留を解除する

プリンタが保留中のジョブを置く場合、アラートを受信します (173 ページの 「プリンタ アラート」を参照)。これには、ジョブが保留中である理由が説明されています。画面に表示される指示に従って、保留を解除、印刷を続行します。

11 プリンタの使用状況に関する情報を取得する

プリンタのアカウンティング情報を取得する

プリンタからアカウンティング情報を取得するさまざまな方法があります。

- プリンタの使用期間全体のプリンタの使用状況に関する情報を表示します (109 ページの 「プリンタの使用状況に関する情報を確認する」を参照)。
- HP ユーティリティを使用することによって、最新のジョブのそれぞれのインクおよび用紙の使用状況を表示します (109 ページの 「ジョブのインクと用紙の使用状況を確認する」を参照)。HP ユーティリティが利用できない場合は、20 ページの 「HP ユーティリティにアクセスする」を参照してください。
- インターネットを介してプリンタからプリンタ ステータス、プリンタの使用状況、またはジョブのアカウンティング データを要求するには、サードパーティ アプリケーションを使用してください。プリンタは、必要に応じていつでもアプリケーションに XML でデータを提供します。HP では、このようなアプリケーションの開発を促進するためにソフトウェア開発キットを提供しています。

プリンタの使用状況に関する情報を確認する

プリンタの使用状況に関する情報を確認するには、2 つの方法があります。

注記： 使用状況に関する情報の正確性は保証されていません。

HP ユーティリティでのプリンタ情報

1. HP ユーティリティにアクセスします (20 ページの 「HP ユーティリティにアクセスする」を参照)。
2. Windows では、[**概要**] タブに移動し、[**プリンタ使用状況**] リンクをクリックします。

   Mac OS では、[**情報**] - [**プリンタ使用状況**] を選択し、[**検索**] ボタンをクリックします。

内蔵 Web サーバでのプリンタ情報

1. 内蔵 Web サーバにアクセスします (20 ページの 「内蔵 Web サーバにアクセスする」を参照)。
2. [**メイン**] タブに移動します。
3. [**履歴**] - [**使用状況**] を選択します。

ジョブのインクと用紙の使用状況を確認する

ジョブのインクと用紙の使用状況を確認するには、2 つの方法があります。

注記： 使用状況に関する情報の正確性は保証されていません。

HP ユーティリティでのインクと用紙の情報

1. HP ユーティリティにアクセスします (20 ページの 「HP ユーティリティにアクセスする」を参照)。
2. 最新のジョブに関する情報を表示するには、[**ジョブ センター**] を選択します。
3. Windows では、[**アカウンティング**] リンクをクリックします。

   Mac OS では、[**ジョブ アカウンティング**] を選択し、[**検索**] ボタンをクリックします。

内蔵 Web サーバでのインクと用紙の情報

1. 内蔵 Web サーバにアクセスします (20 ページの 「内蔵 Web サーバにアクセスする」を参照)。
2. [**メイン**] タブに移動します。
3. [**履歴**] - [**アカウンティング**] を選択します。

12 実際の印刷の例

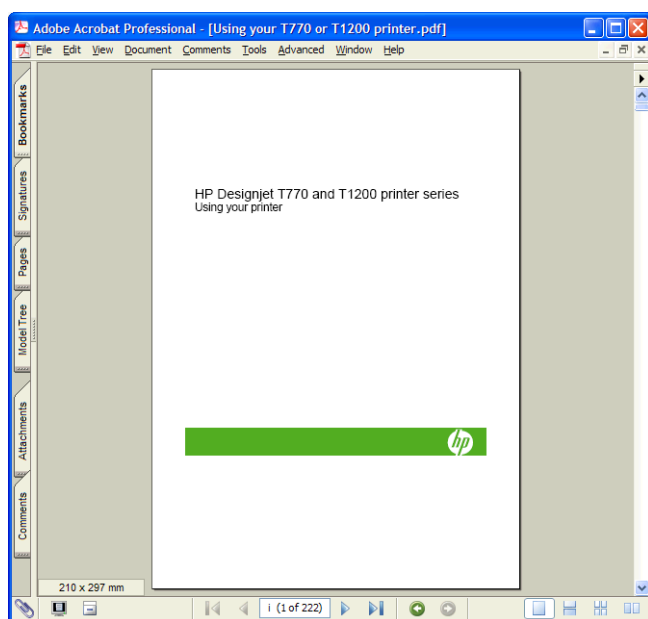
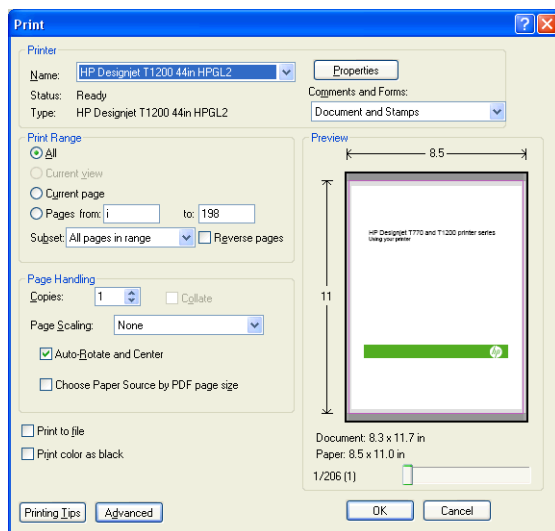
概要

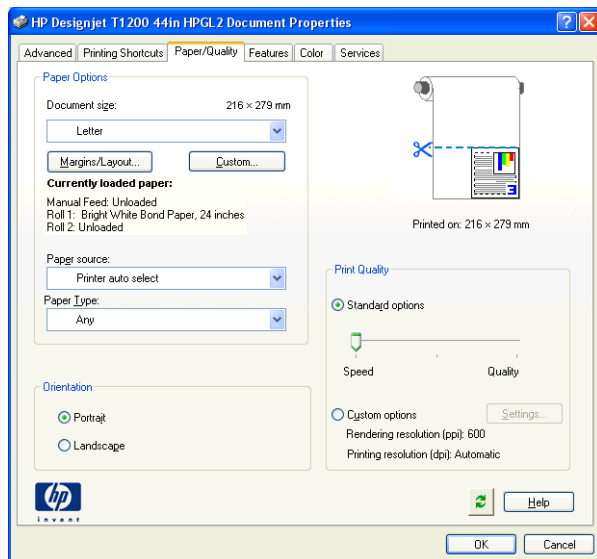
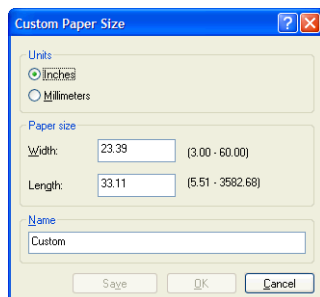
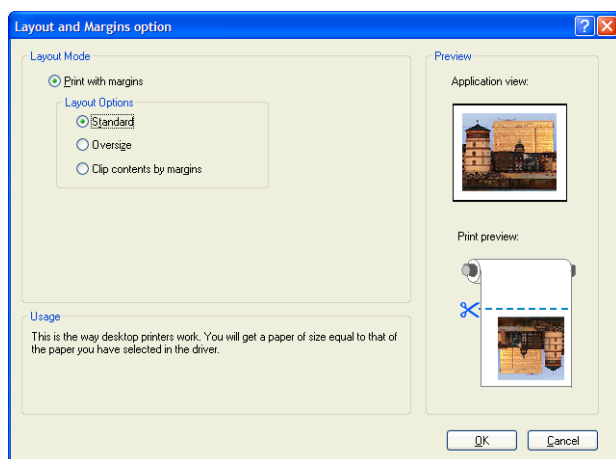
ここでは、特定のソフトウェアを使用した特定の印刷ジョブを手順を追って説明します。これは、Web 上にある HP の Knowledge Center に掲載されているものとほとんど同じです。RIP でのシナリオなど、その他の印刷の例および最新の情報については、Knowledge Center (http://www.hp.com/go/T7100/knowledgecenter/ または http://www.hp.com/go/T7100mono/knowledgecenter/) を参照してください。

正しい倍率で試し印刷する

このセクションでは、Adobe Acrobat から正しい倍率で試し印刷する方法を示します。

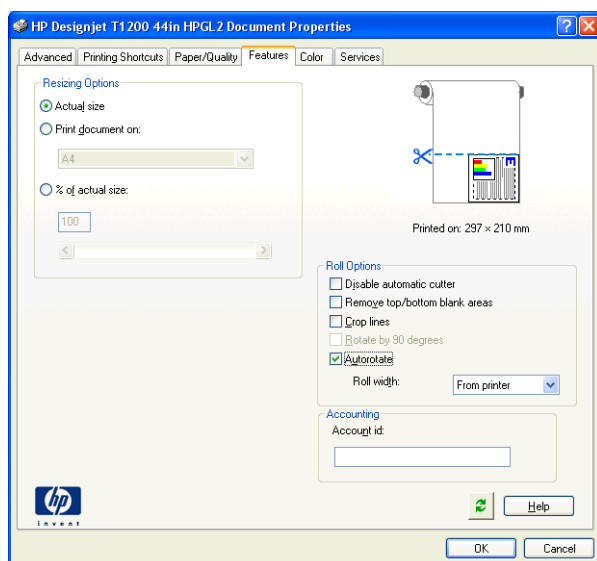
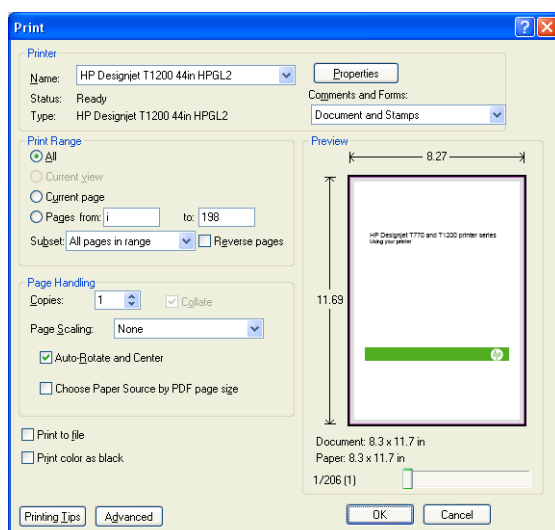
Adobe Acrobat を使用する

1. Acrobat のウィンドウで、マウスのカーソルをドキュメント ペインの左下隅まで移動してジョブのサイズを確認します。

2. [ファイル] - [印刷] を選択し、[ページの拡大/縮小] が [なし] に設定されていることを確認します。

注記： ページ サイズは、描画サイズに従って自動的に選択されるわけではありません。

3. ［プロパティ］ボタンをクリックし、［**用紙/品質**］タブを選択します。

4. 使用する［**文書サイズ**］および［**印刷品質**］を選択します。新しいカスタム用紙サイズを定義する場合は、［**カスタム**］ボタンをクリックします。

5. ［**レイアウト/マージン**］ボタンをクリックし、レイアウト オプションを選択します。

ジョブの縦横両方の寸法が選択したページ サイズよりも 10mm 短い場合は、［**標準**］マージンを選択します。82 ページの 「マージン オプションを選択する」を参照してください。

ジョブのサイズが選択したページ サイズと同じで、端に 5mm 以上の余白がある場合は、［**内容をマージンでクリップ**］を選択します。

ジョブのサイズが選択したページ サイズと同じで、端に 5mm の余白がない場合は、［**オーバーサイズ**］を選択します。最終的な出力は選択したページよりも大きくなりますが、どの部分も欠けることなく、印刷物を正しいサイズにカットすることができます。

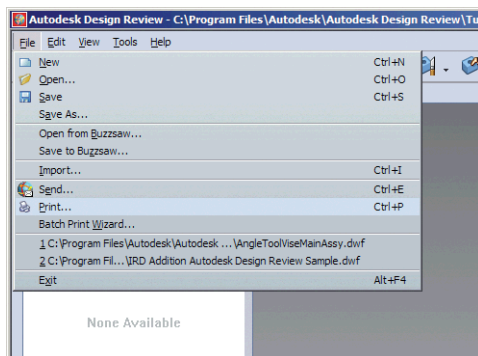
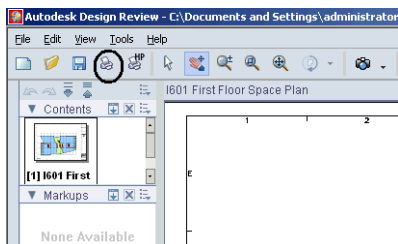
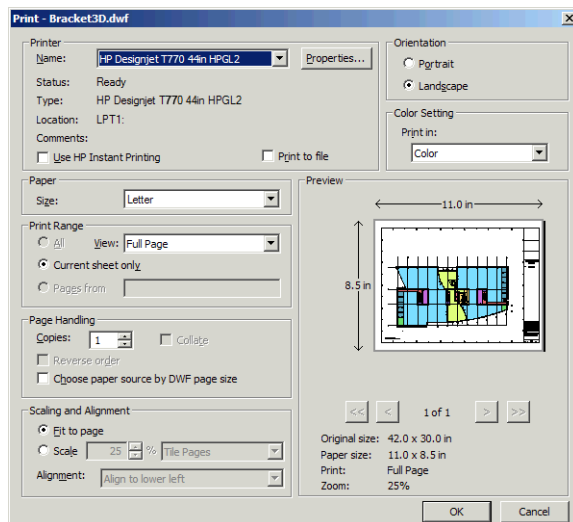
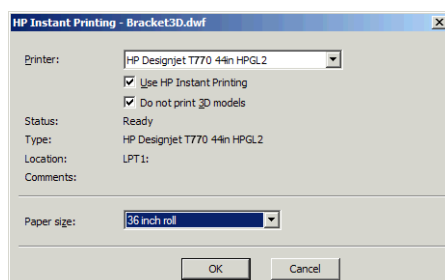
6. ［機能］タブを選択し、［自動回転］を選択します。

7. ［OK］をクリックし、[印刷] ダイアログ ボックスの印刷プレビューが正しいことを確認します。

プロジェクトの印刷

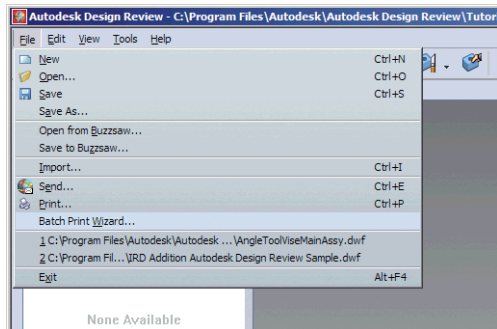
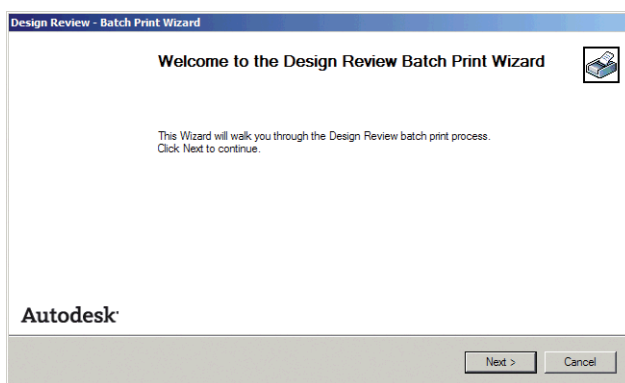
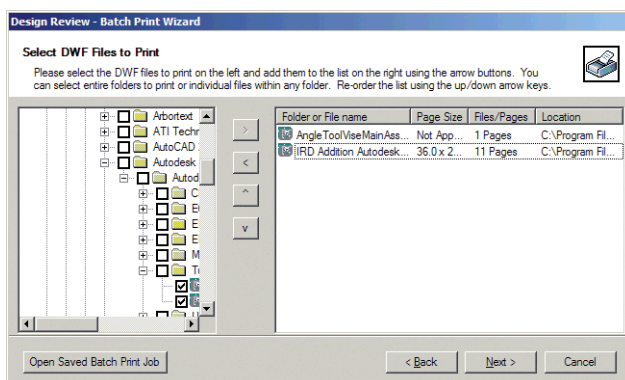
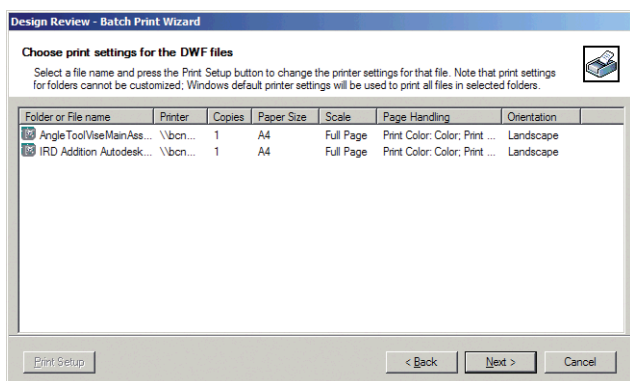
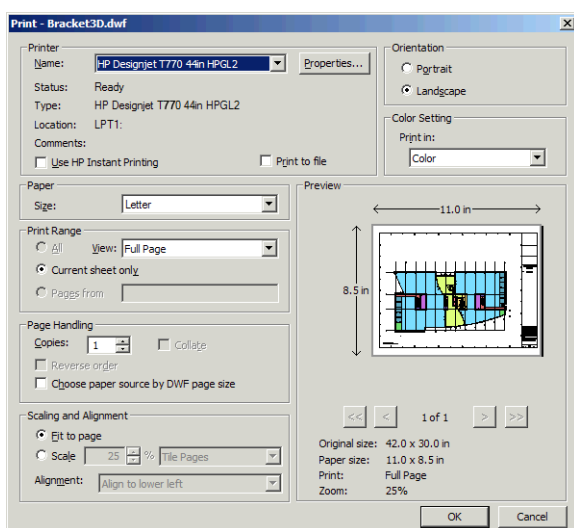
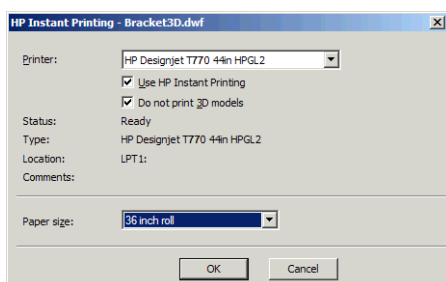
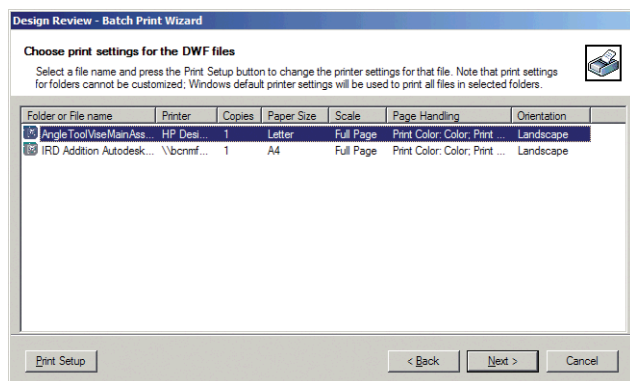
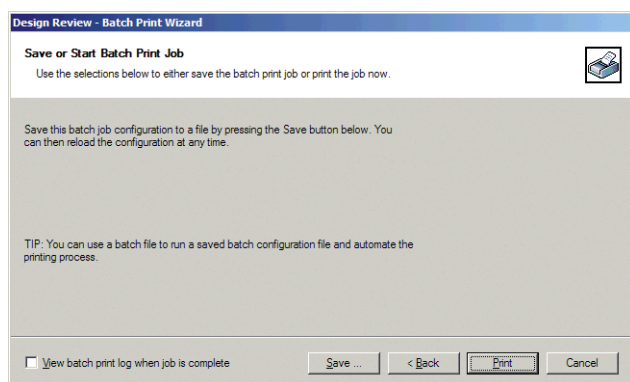
このセクションでは、Autodesk Design Review、AutoCAD およびプリンタの内蔵 Web サーバから プロジェクトを印刷する方法を示します。

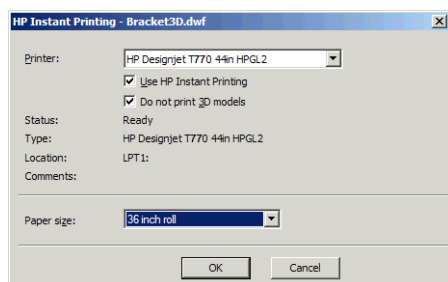
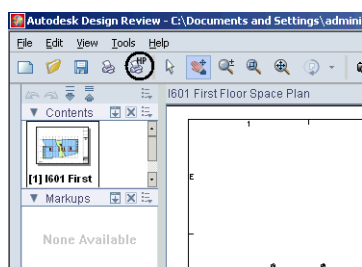
Autodesk Design Review を使用する

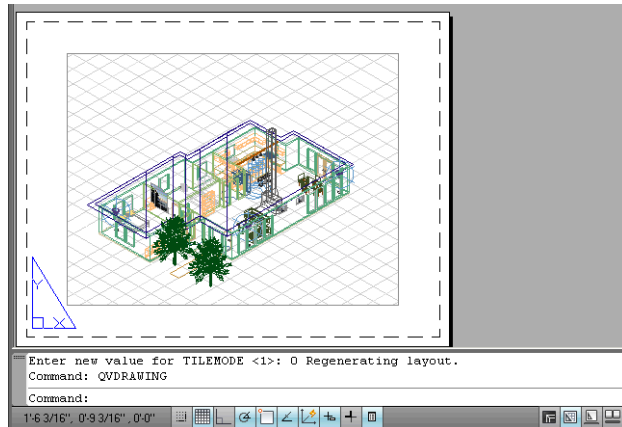
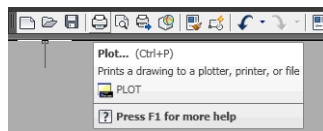
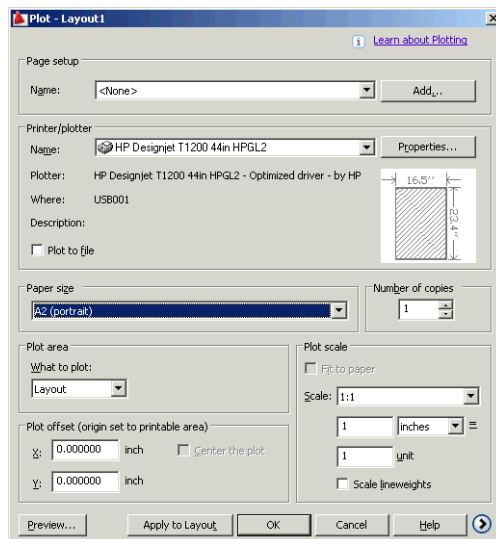
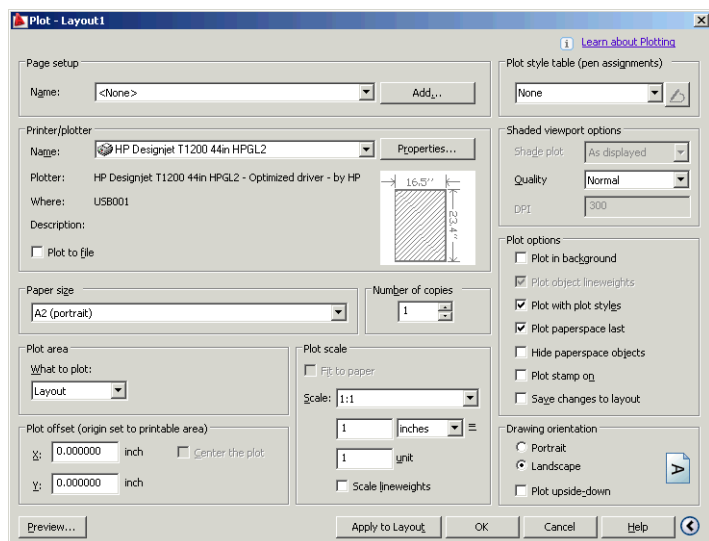
Autodesk Design Review では、［**HP Instant Printing** を使用］オプションが利用可能です。このオプションは一度有効化すると、無効化するまで印刷オプションのデフォルトとして設定されます。

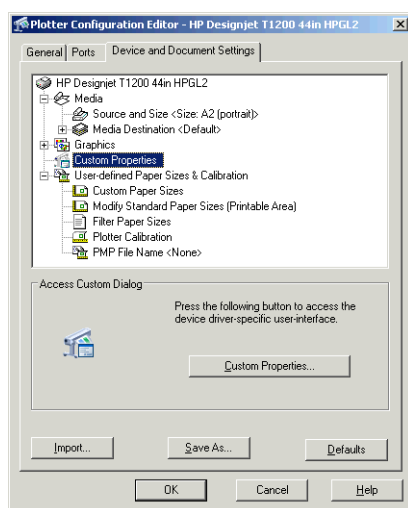
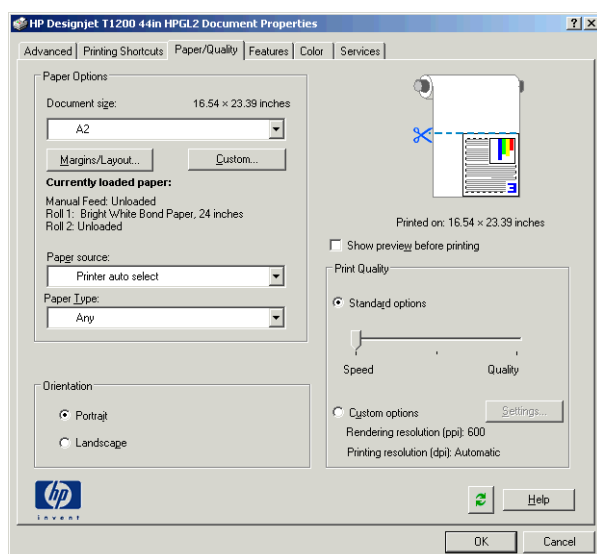
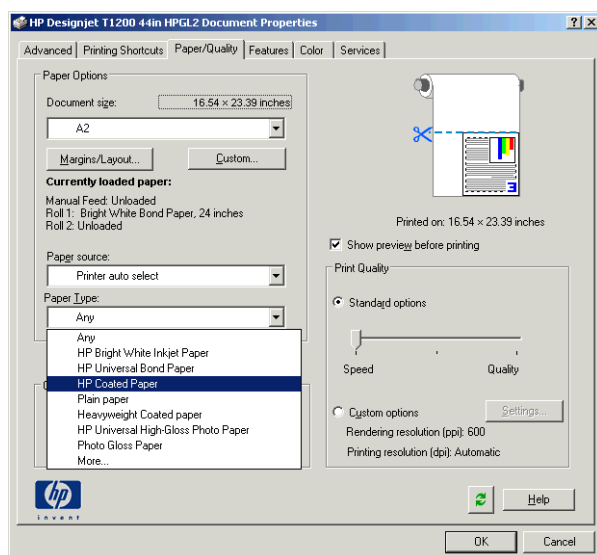
Autodesk Design Review で HP Instant Printing を有効化する

1. Autodesk Design Review を起動し、[ファイル] - [印刷] を選択します。

または、ツールバーの [印刷] アイコンをクリックします。

2. [印刷] ダイアログ ボックスで、[**HP Instant Printing を使用**] ボックスをオンにします。プリンタと用紙サイズはここで選択するか、この後のウィンドウでも選択できます。

3. プリンタと用紙サイズが正しいことを確認してから、[**OK**] をクリックして印刷を開始します。

バッチ印刷ウィザードで HP Instant Printing を有効化する

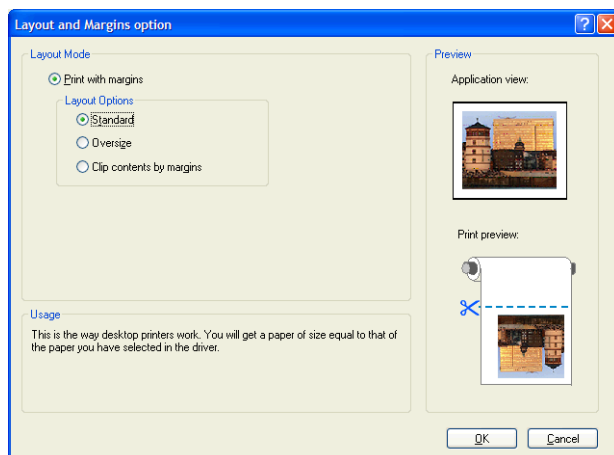
1. バッチ印刷ウィザードがインストールされていることを確認します。Autodesk Design Review を起動し、[ファイル] - [バッチ印刷ウィザード] を選択します。

2. [ようこそ] ダイアログ ボックスで、[次へ] をクリックします。

3. 印刷する DWF ファイルを選択し、[次へ] をクリックします。

4. 設定するファイルが複数ある場合は、Shift キーを使用して選択します。次に、[**印刷設定**] をクリックすると、選択したすべてのファイルに印刷設定が適用されます。

5. [印刷] ダイアログ ボックスで、[**HP Instant Printing を使用**] ボックスをオンにします。プリンタと用紙サイズはここで選択するか、この後のウィンドウでも選択できます。

6. プリンタと用紙サイズが正しいことを確認してから、[**OK**] をクリックします。用紙サイズは自動的に事前に選択されています。

7. ［印刷設定を選択］ダイアログ ボックスに戻り、［次へ］をクリックします。

8. バッチ印刷ジョブを保存するか開始します。

HP Instant Printing の使用

● 必ず［HP Instant Printing を使用］が選択されていることを確認してください。印刷するには、ツールバーの [印刷] アイコンをクリックするか、［ファイル］-［印刷］を選択します。使用する印刷設定を選択し、［OK］をクリックします。

● また、[HP Instant Printing を使用] は、専用のツールバー アイコンから直接起動することもできます。この場合、前回定義した設定ですぐに開始されます。

AutoCAD を使用する

1. AutoCAD ウィンドウには、モデルやレイアウトを表示できます。通常は、モデルではなくレイアウトが出力されます。

2. ウィンドウの上部の [プロット] アイコンをクリックします。

3. [プロット] ウィンドウが開きます。

4. ウィンドウの右下隅の丸いボタンをクリックすることで、追加のオプションを表示できます。

注記：　ここでの [品質] オプションは、最終的な印刷品質ではなく、印刷用に送信される AutoCAD ビューポート オブジェクトの品質のことを指します。

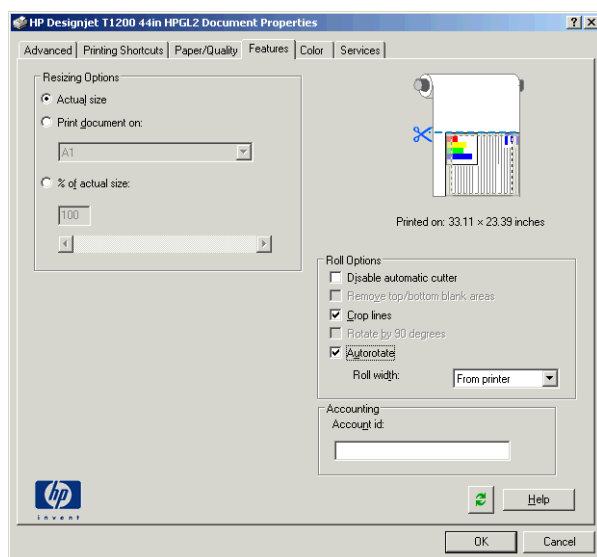
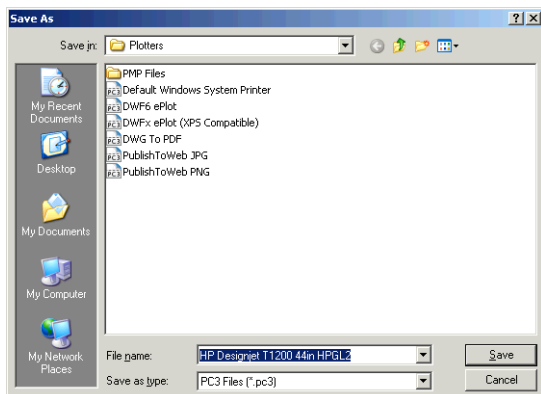
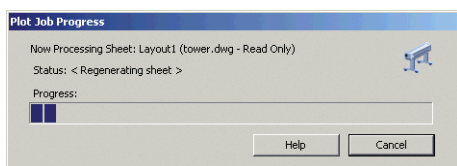
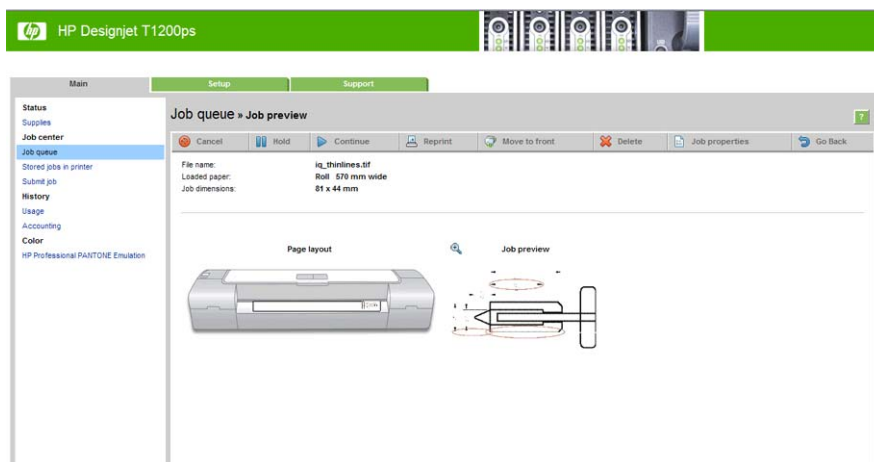
5. ［プロパティ］ボタンをクリックします。

6. ［デバイスとドキュメントの設定］タブを選択し、［カスタム プロパティ］ボタンをクリックします。

7. ［用紙/品質］タブで、［印刷プレビューの表示］ボックスをオンにし、使用する用紙の種類を選択します。

注記： 給紙方法と用紙の種類のどちらも選択しなかった場合、プリンタは保護されたどのロール紙にも印刷しません (90 ページの 「ロール保護」を参照)。

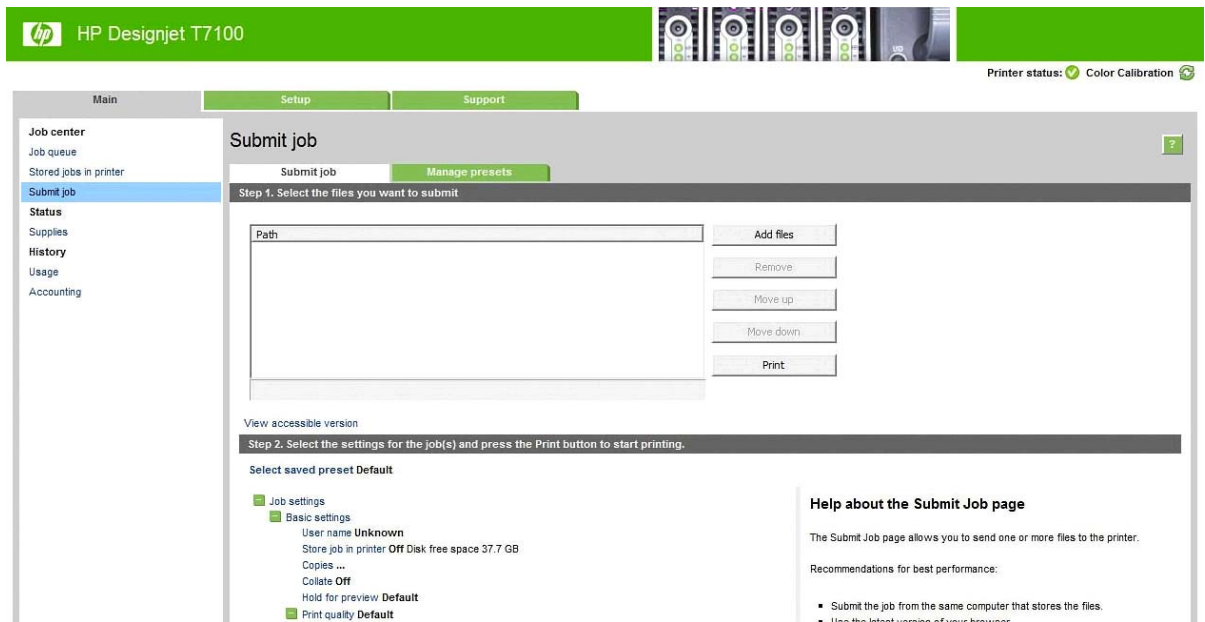
8. 印刷品質 (印刷の速度と品質の間での任意の選択) を選択します。

9. ［**レイアウト/マージン**］ボタンをクリックし、レイアウト オプションを選択します。

ジョブの縦横両方の寸法が選択したページ サイズよりも 10mm 短い場合は、［**標準**］マージンを選択します。82 ページの 「マージン オプションを選択する」を参照してください。

ジョブのサイズが選択したページ サイズと同じで、端に 5mm 以上の余白がある場合は、［**内容をマージンでクリップ**］を選択します。

ジョブのサイズが選択したページ サイズと同じで、端に 5mm の余白がない場合は、［**オーバーサイズ**］を選択します。最終的な出力は選択したページよりも大きくなりますが、どの部分も欠けることなく、印刷物を正しいサイズにカットすることができます。

10. ［**機能**］タブを選択し、［**自動回転**］オプションと［**切り取り線**］オプションを選択します。自動回転は用紙を節約することに役立ち、切り取り線は印刷後に用紙をカットする場所を示します。

11. ［**OK**］ボタンをクリックし、PC3 ファイルに設定の変更を保存します。

12. ［プロット］ウィンドウで［**OK**］ボタンをクリックすると、プリンタで印刷プレビューが実行されます。

Status: Waiting to receive the job...

内蔵 Web サーバを使用したファイルの送信

HP ユーティリティまたは内蔵 Web サーバから、［**ジョブ センター**］-［**ジョブの送信**］を選択します。一部の Web ブラウザでは、次のようなウィンドウが表示されます。他の Web ブラウザでは、ファイルの追加方法が少し異なります。

[**ファイルの追加**] ボタン (または [**ファイルの選択**]、[**ファイルを追加**]) を押して、コンピュータから印刷するファイルを選択します。ファイルは以下のいずれかの形式である必要があります。

- HP-GL/2
- RTL
- CALS/G4
- PDF (PostScript アップグレード キットを使用)
- PostScript (PostScript アップグレード キットを使用)
- TIFF (PostScript アップグレード キットを使用)
- JPEG (PostScript アップグレード キットを使用)

注記： ファイルに印刷する場合、ファイルは上記のいずれかの形式である必要がありますが、ファイル名は、**.plt** や**.prn** などの拡張子を持つことができます。

ファイルがこれらの形式のいずれでもない場合、ファイルは正常に印刷されません。

ジョブが適切な設定 (ページ サイズ、回転、サイズ変更、コピー部数など) で生成されている場合は、[**印刷**] ボタンを押すだけでプロジェクトがプリンタに送信されます。

印刷設定を指定する必要がある場合は、[**ジョブの設定**] セクションに移動し、必要なオプションを選択します。各オプションの右側には説明のテキストがあり、各設定の動作を確認できます。設定を [**デフォルト**] のままにした場合、ジョブに保存されている設定が使用されます。ジョブに何も設定されていない場合は、プリンタの設定が使用されます。

プリンタ エミュレーションを使用する

プリンタ エミュレーションは、[**詳細設定**] - [**カラー**] - [**カラーマネジメント**] - [**プリンタのエミュレーション**] を選択して呼び出すことができます。

[**オフ**] (プリンタ エミュレーションを行わない) を選択したり、エミュレートするプリンタ モデルの名前を選択したりすることができます。

この設定は、ジョブに保存されるプリンタ エミュレーション設定を含まないジョブに適用されます。

内容をマージンでクリップする

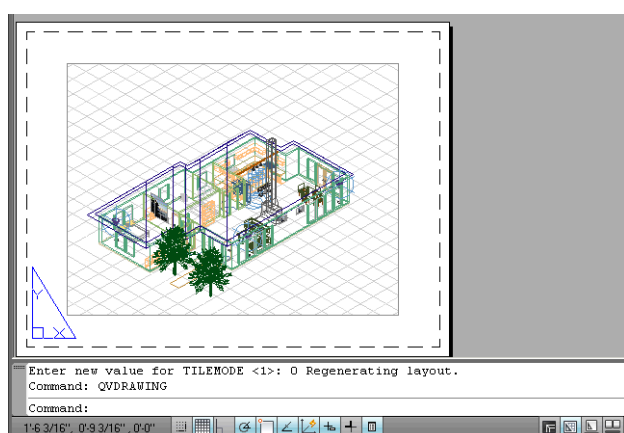
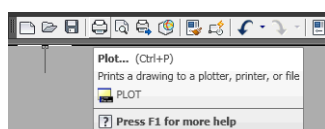
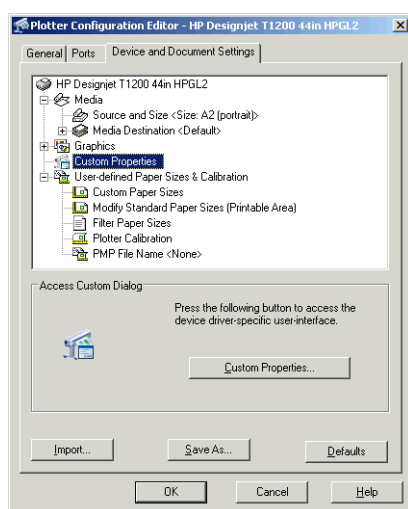
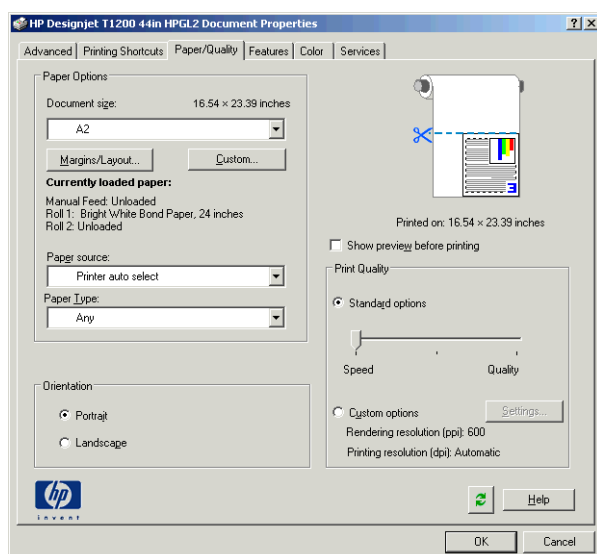
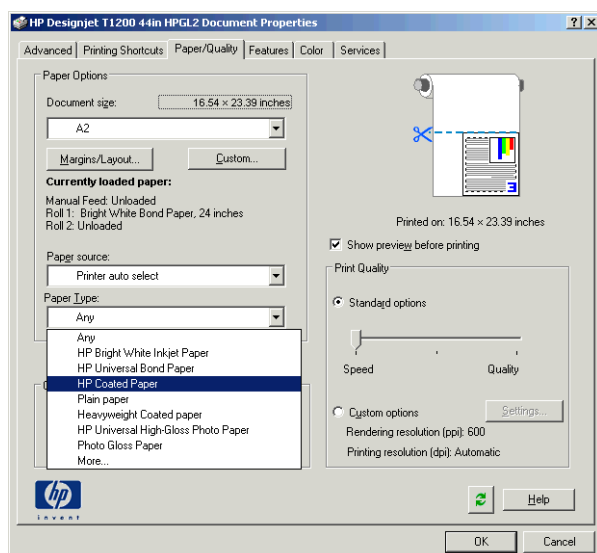
このマージン オプションは、[**詳細設定**] - [**用紙**] - [**レイアウト/マージン**] - [**マージンを含めて印刷**] - [**レイアウト**] - [**内容をマージンでクリップ**] で選択できます。

印刷する内容に白いフチがあり、サイズが選択した用紙サイズと同じ場合は、このオプションを使用します。白いフチはプリンタによってマージンとして使用され、ドライバで選択したページサイズと同じサイズのページが得られます。

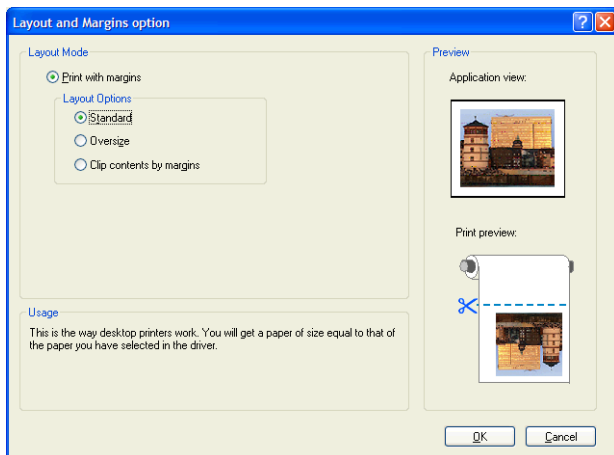
プレゼンテーションの印刷

このセクションでは、AutoCAD および Photoshop からプレゼンテーションを印刷する方法を示します。

AutoCAD を使用する

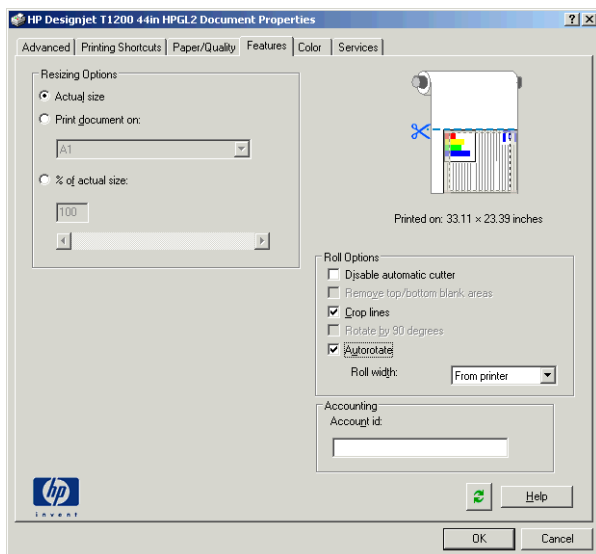
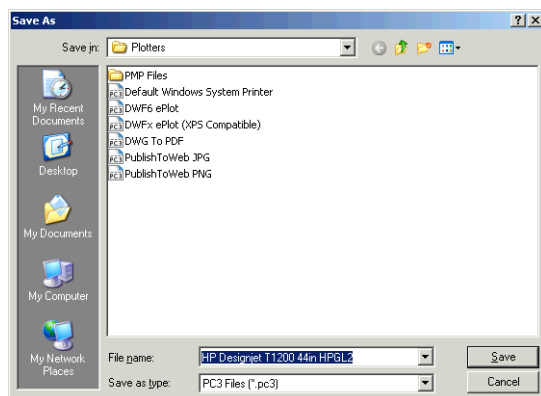
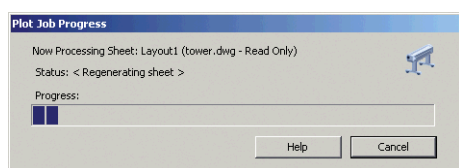
1. AutoCAD ファイルを開いて、レイアウトを選択します。

2. ウィンドウの上部の [プロット] アイコンをクリックします。

3. 正しいプリンタが選択されていることを確認し、[**プロパティ**] ボタンをクリックします。

4. ［デバイスとドキュメントの設定］タブを選択し、［**カスタム プロパティ**］ボタンをクリックします。

5. ［**用紙/品質**］タブで、［**印刷プレビューの表示**］ボックスをオンにし、使用する用紙の種類を選択します。

注記： 給紙方法と用紙の種類のどちらも選択しなかった場合、プリンタは保護されたどのロール紙にも印刷しません (90 ページの 「ロール保護」を参照)。

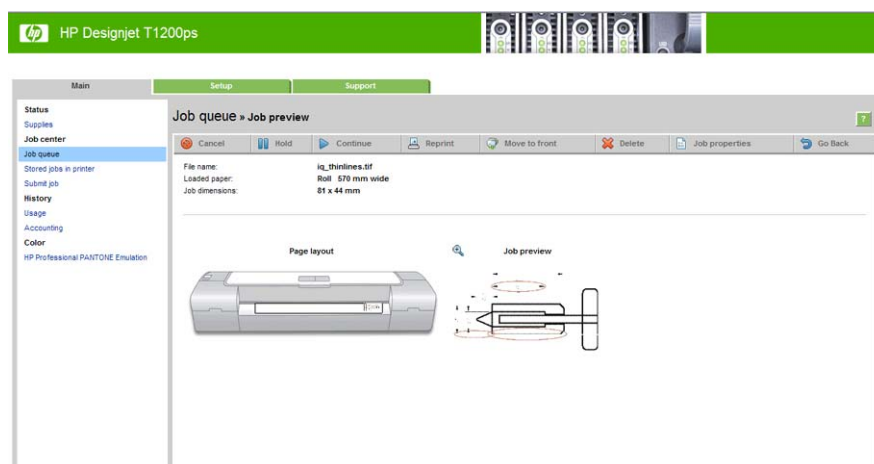
6. 印刷品質 (印刷の速度と品質の間での任意の選択) を選択します。

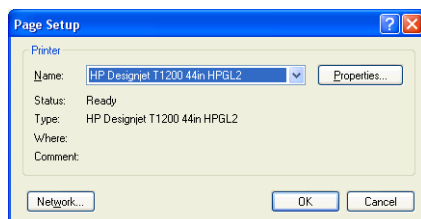
7. ［**レイアウト/マージン**］ボタンをクリックし、レイアウト オプションを選択します。

ジョブの縦横両方の寸法が選択したページ サイズよりも 10mm 短い場合は、［**標準**］マージンを選択します。82 ページの 「マージン オプションを選択する」を参照してください。

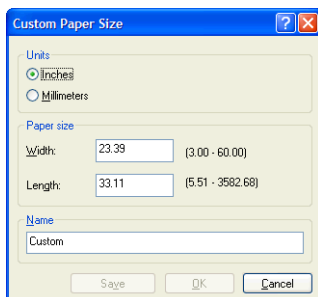
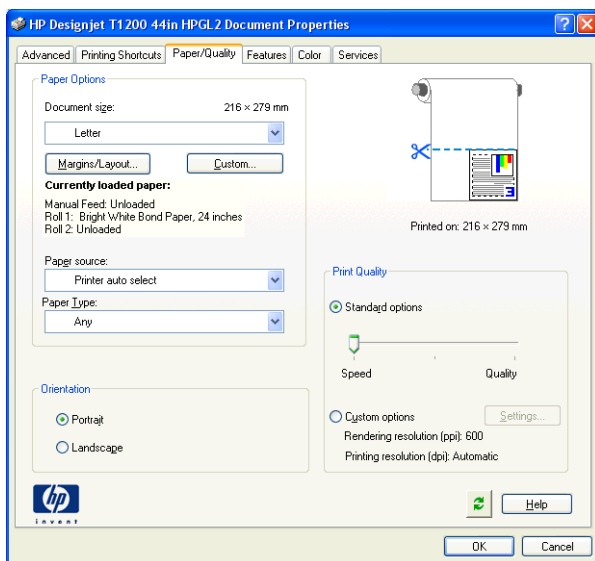
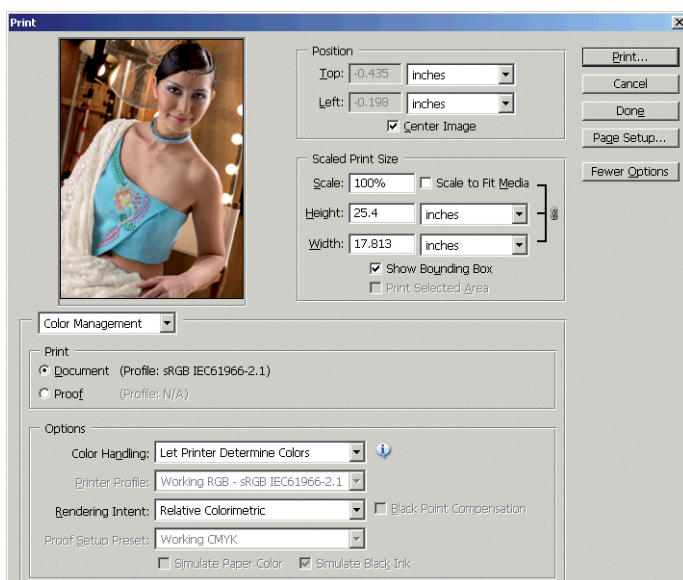
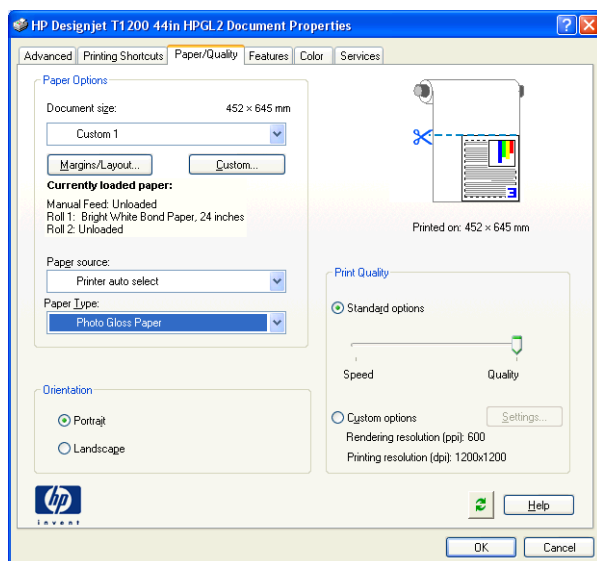
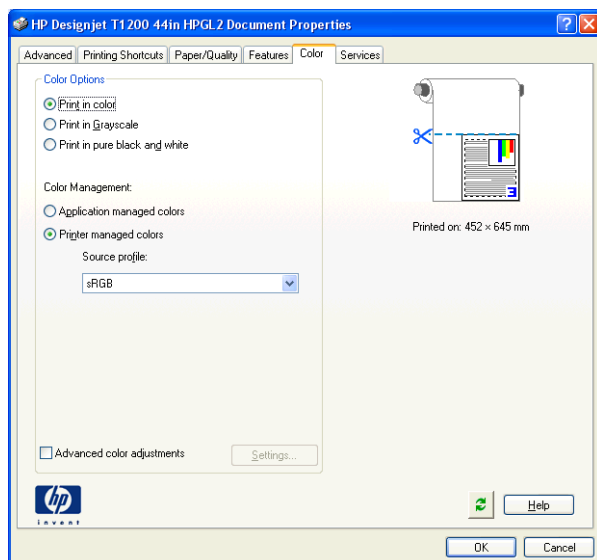
ジョブのサイズが選択したページ サイズと同じで、端に 5mm 以上の余白がある場合は、［**内容をマージンでクリップ**］を選択します。

ジョブのサイズが選択したページ サイズと同じで、端に 5mm の余白がない場合は、［**オーバーサイズ**］を選択します。最終的な出力は選択したページよりも大きくなりますが、どの部分も欠けることなく、印刷物を正しいサイズにカットすることができます。

8. ［**機能**］タブを選択し、［**自動回転**］オプションと［**切り取り線**］オプションを選択します。自動回転は用紙を節約することに役立ち、切り取り線は印刷後に用紙をカットする場所を示します。

9. ［**OK**］ボタンをクリックし、PC3 ファイルに設定の変更を保存します。

10. ［プロット］ウィンドウで［**OK**］ボタンをクリックすると、プリンタで印刷プレビューが実行されます。

Preview in progress

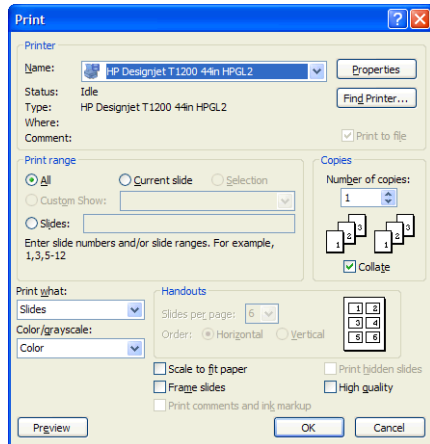
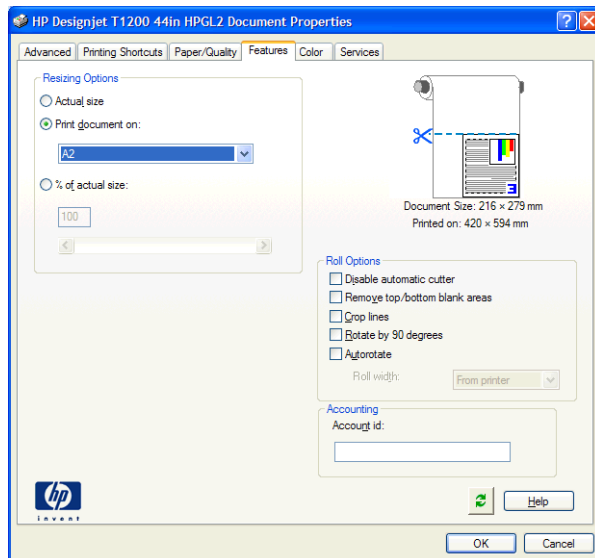
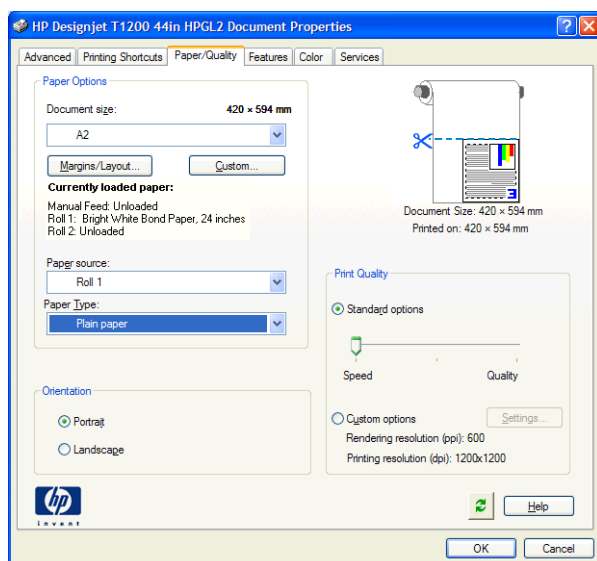
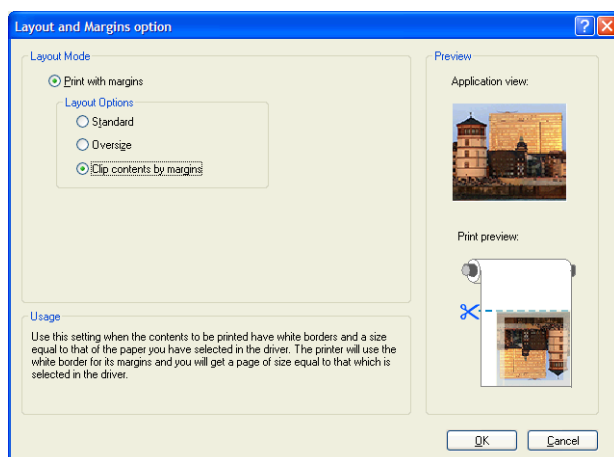
Status: Waiting to receive the job...

Adobe Photoshop を使用する

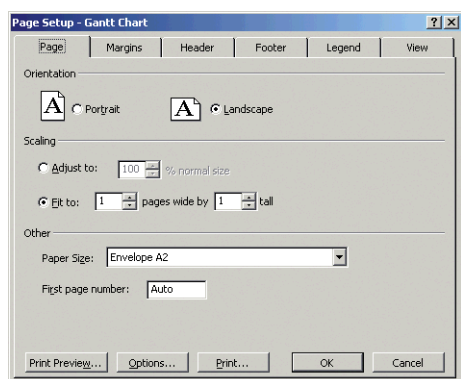
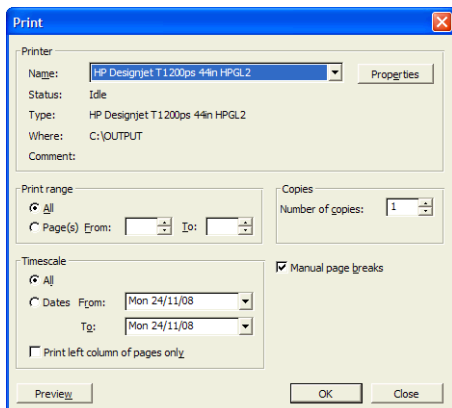
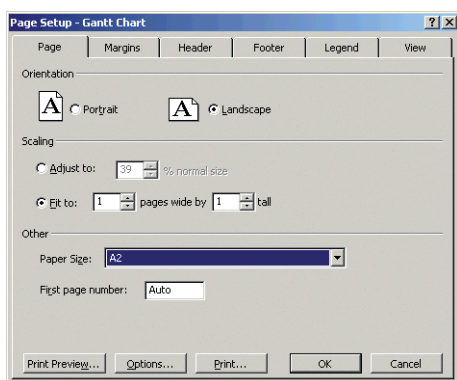
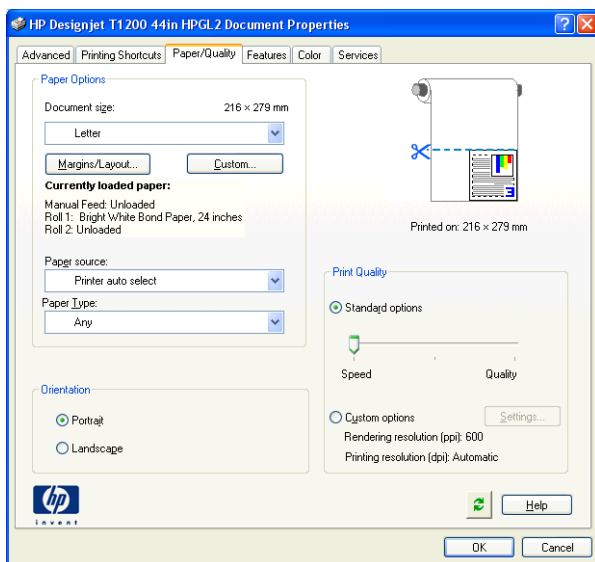
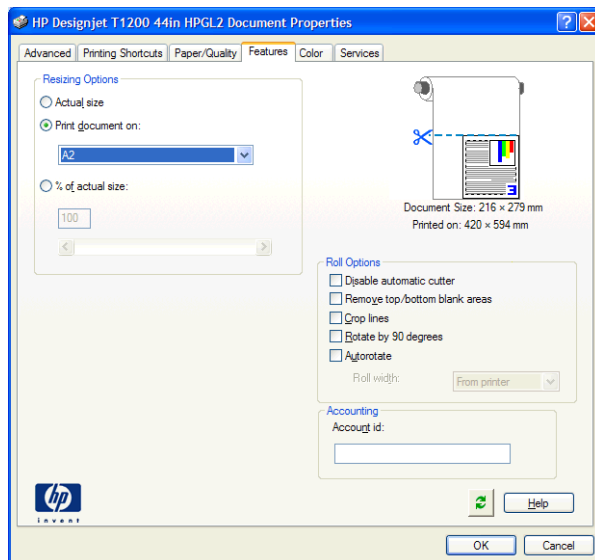
1. ［ファイル］-［用紙設定］-［プリンタ］を選択し、プリンタを選択して［**OK**］をクリックします。

2. 使用できる用紙サイズから選択します。

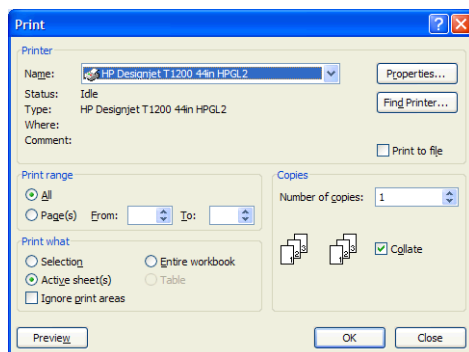
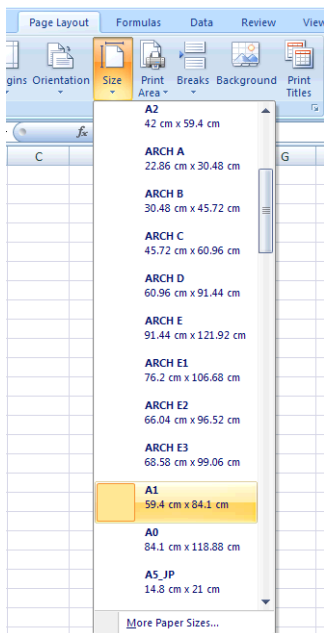
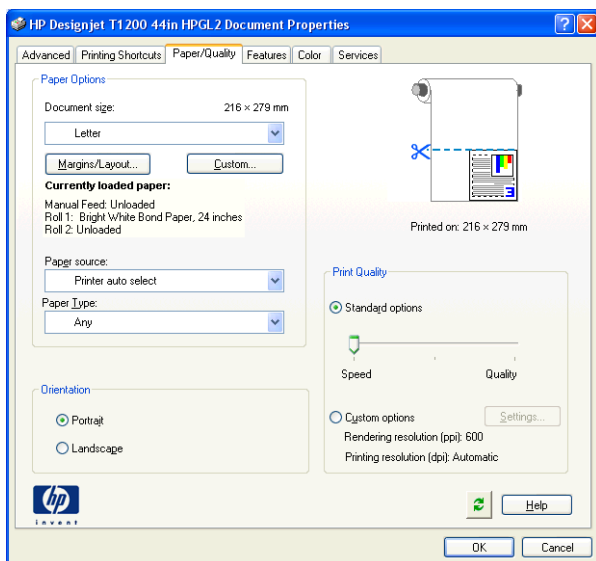
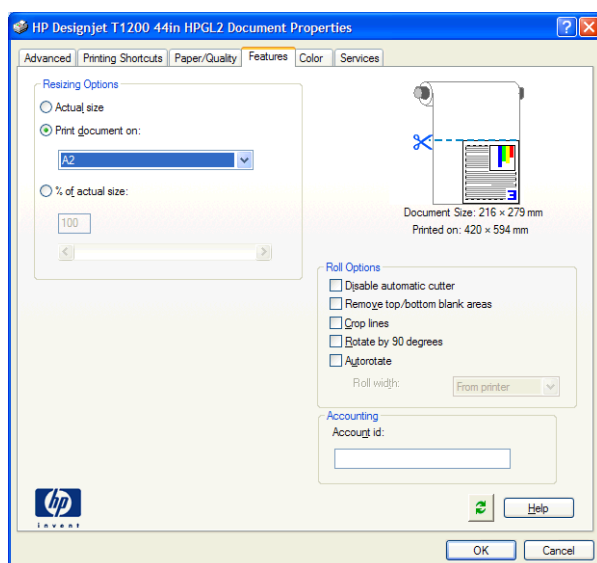
使用する用紙サイズが見つからない場合は、[**プリンタ**] - [**プロパティ**] - [**用紙/品質**] - [**カスタム**] - [**用紙サイズ**] を選択します。カスタム用紙サイズの幅、長さ、および名前を入力します。[**保存**] ボタンおよび [**OK**] ボタンをクリックします。

3. [**ファイル**] - [**プリントプレビュー**] を選択します。

4. ［プリント］-［プロパティ］を選択します。[文書のプロパティ] ウィンドウで、[**給紙方法**]、[**用紙の種類**]、および［**印刷品質**］を選択します。

5. Photoshop で［**プリンタによるカラー処理**］を選択しているため、[**カラー**］タブのカラーマネジメント オプションは、デフォルトの［**プリンタで管理**］が正しいオプションとなります。

Microsoft Office からの印刷および拡大縮小

このセクションでは、Microsoft Office から印刷および拡大縮小する方法を示します。

PowerPoint を使用する

1. Office ボタンをクリックして［印刷］を選択し、プリンタの名前を選択します。

2. ［プロパティ］-［機能］-［文書を印刷する用紙］を選択して、文書を特定のサイズに拡大縮小します。

3. ［用紙/品質］タブを選択し、［給紙方法］および［用紙の種類］を選択します。

4. ［レイアウト/マージン］を選択し、［内容をマージンでクリップ］を選択して、サイズを維持します。

Project を使用する

1. ［ファイル］-［ページ設定］-［印刷］を選択します。

2. お使いのプリンタの名前を選択し、[閉じる] を選択します。

3. [ページ設定] を選択し、使用する [用紙サイズ] を選択します。

4. [オプション] を選択して、プリンタ ドライバに移動します。[用紙/品質] タブのデフォルトのオプション ([給紙方法] : [プリンタ自動選択]、[用紙の種類] : [任意]) が適しています。

5. ［機能］-［文書を印刷する用紙］を選択して、文書を特定のサイズに拡大縮小します。代わりに、Project で文書を拡大縮小することもできます。

Excel を使用する

1. Office ボタンをクリックし、［印刷］を選択します。お使いのプリンタの名前を選択し、［閉じる］をクリックします。

2. ［ページ レイアウト］タブを選択して［サイズ］を選択し、必要な用紙サイズを選択します。

3. Office ボタンをクリックし、［印刷］-［プロパティ］を選択してプリンタ ドライバに移動します。［用紙/品質］タブで、［給紙方法］、［用紙の種類］、および［印刷品質］を選択します。

4. ［機能］-［文書を印刷する用紙］を選択して、文書を特定のサイズに拡大縮小します。代わりに、Excel で文書を拡大縮小することもできます。

13 プリンタの保守

プリンタの外部をクリーニングする

湿らせたスポンジや柔らかい布と、研磨剤の入っていない液状の石鹸など、刺激の少ない家庭用洗剤を使用して、プリンタの外部や、通常の操作で触れるその他の部分 (インクカートリッジの引き出し用のハンドルなど) のクリーニングを行います。

⚠ **警告！** 感電を防ぐために、クリーニングの前に、プリンタの電源がオフになっていて、電源コードが抜いてあることを確認してください。プリンタ内部に水が入らないようにしてください。

△ **注意：** プリンタに研磨剤入り洗剤を使用しないでください。

プラテンをクリーニングする

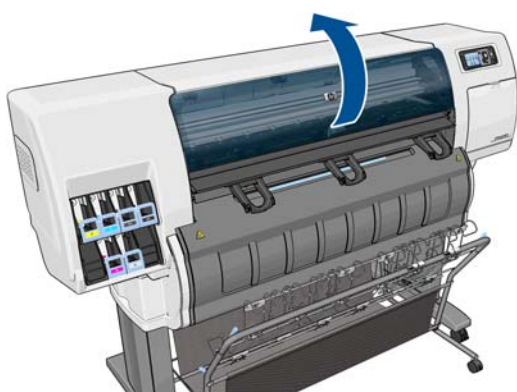
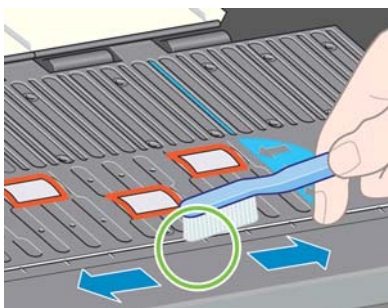
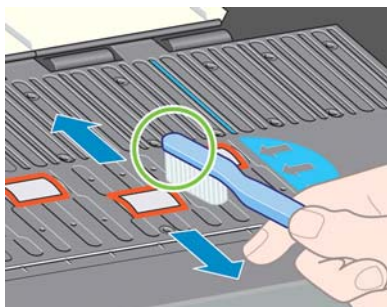
数か月ごとに、または必要に応じて、プリンタのプラテンのクリーニングを行う必要があります。

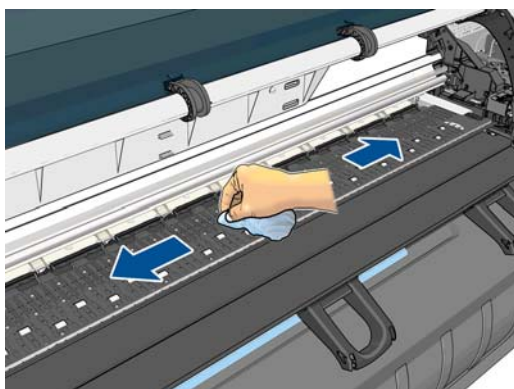
注記： 特定の用紙をしばらく使用した後で、それより幅の広い用紙に印刷を行うと、プラテンの左側が汚れている場合があります。汚れている箇所をクリーニングしないと、インクが用紙の裏面に残る場合があります。

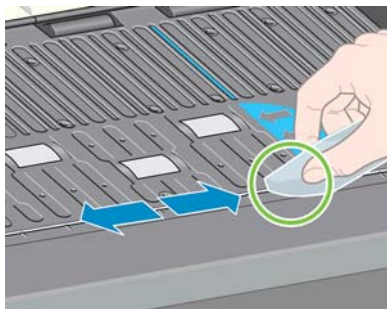
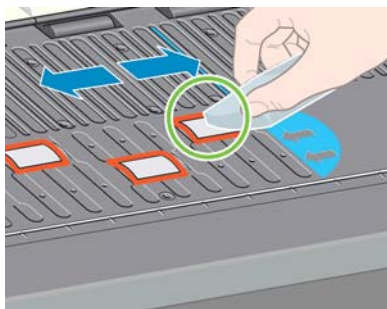
⚠ **警告！** プラテンをクリーニングする際は、用紙送りセンサーに損傷を与えないよう注意してください。センサーは極小の長方形の窓で、右から 6 番目のプラテン ローラーの近くにあります。140 ページの 「素材送りセンサーの窓をクリーニングする」を参照してください。

以下の手順に従って、プラテンのクリーニングを行います。

1. プリンタからすべての用紙を取り外します。34 ページの 「ロール紙をプリンタから取り外す」を参照してください。

2. ウィンドウを開きます。

3. 乾いたブラシで、カッターの溝からインクの付着を取り除きます。

4. 同じ乾いたブラシで、プラテンの表面からインクの付着を取り除きます。

5. 吸収性のあるきれいな柔らかい布に、イソプロピル アルコールを少し付けて、プラテンから落ちたインクの付着を拭き取ります。

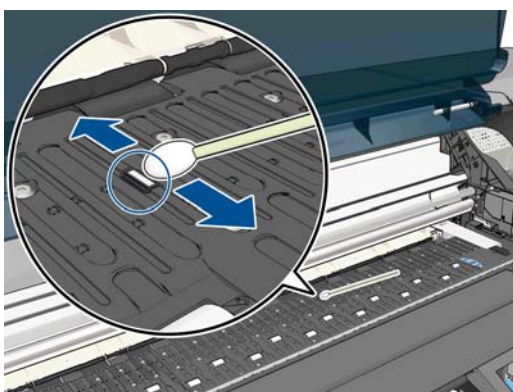
注記： イソプロピル アルコールは、メンテナンス キットに含まれていません。

△ 注意： 市販の洗剤や研磨剤入り洗剤は使用しないでください。プラテンに水分が残るため、プラテンを直接濡らさないでください。

6. 湿った布を使用して、カッターの傾斜面のクリーニングを行います。

7. 乾いた布で、ホイールの露出している部分のクリーニングを行います。できれば、このホイールの周辺全体のクリーニングを行ってください。

素材送りセンサーの窓をクリーニングする

用紙送りセンサーは極小の長方形の窓で (1 平方センチメートル以下で、以下の図に示します)、右から 6 番目のプラテン ローラーの近くにあります。

10 か月ごとに、および印刷品質に問題が発生した場合に素材送りセンサーの窓をクリーニングすることをお勧めします。

1. フロントパネルに表示される手順に従って、用紙を取り外します。34 ページの 「ロール紙をプリンタから取り外す」を参照してください。
2. 綿棒にイソプロピル アルコールを少し浸し、センサーの窓からインクやほこりを拭き取ります。センサーの窓にインクが大量に付いている場合、拭くときに少し圧力をかけて、綿にインクが吸収されやすくする必要があります。

   注記： 水で湿らせた綿棒は使用しないでください。水を使用すると、蒸発に時間がかかり、窓からセンサー自体に浸透してしまう可能性があります。

3. クリーニングされたセンサーの窓を間接照明の下で見ると、紫色の反射が表面全体に均一に見えます。この反射を確認するには、センサーの窓に目を近づけてから、見る角度を少し変えて見てください。
4. 新しい綿棒を使って、綿に汚れが付かなくなり、センサー ウィンドウに汚れが見えなくなるまでクリーニングを続けます。
5. アルコールをすべて確実に蒸発させるため、3～4 分待ってから用紙を再度取り付けます。

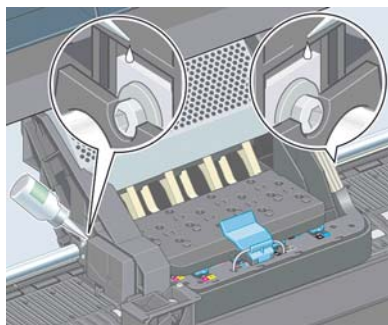
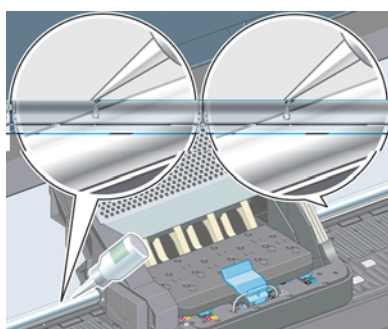
プリントヘッド キャリッジを潤滑する

プリントヘッド キャリッジは、年に 1 度程度、潤滑油をさして、スライダ ロッドがスライドしやすいようにします。

1. キャリッジにアクセスするには、フロントパネルで アイコンを選択し、次に［**プリントヘッドの交換**］を選択します。キャリッジがプリンタの中央部分にスライドします。

   注意： キャリッジはプリンタの中央部分に 7 分以上放置されると、右端の通常の位置に戻ります。

2. このプリンタ対応の注文できるメンテナンス キットから潤滑油を取り出します。

3. ウィンドウを開き、キャリッジの両側のパッドに、数滴の潤滑油をさします。

4. キャリッジの両側のスライダ ロッドに直接、数滴の潤滑油をさします。

5. ウィンドウを閉じます。

インクカートリッジを保守する

インクカートリッジは、通常の使用期間内であれば特別な保守は必要ありません。ただし、最高の印刷品質を維持するため、使用期限に達したカートリッジは交換してください。使用期限は、カートリッジに記載されている製造日プラス 30 ヶ月です。

予防保守を実行する

プリンタを使用していると、常に使用されるコンポーネントは、消耗していきます。

コンポーネントの消耗によるプリンタの故障を防ぐために、プリンタは、プリンタ キャリッジがプリンタの軸を横切った回数と、使用したインクの合計量を記録しています。

プリンタはこの数値を使用して、予防保守が必要なことを検出します。その際には、フロントパネルに以下のメッセージが表示されます。

- 保守#1 が必要です
- 保守#2 が必要です

これらのメッセージは、コンポーネントの寿命が近づいていることを示します。プリンタの使用状況によっては、長期にわたって印刷を続行することもできますが、日本 HP カスタマー・ケア・センターに連絡して、予防保守を依頼することをお勧めします。サービスエンジニアは、消耗した部品をオンサイトで交換します。これにより、より長くプリンタをお使いいただくことができます。

フロントパネルにこれらのメッセージが表示されたときに、サービスエンジニアの派遣を手配すると、以下の 2 つの利点があります。

- プリンタ コンポーネントをお客様の都合に合わせて交換することができます。
- サービスエンジニアが予防保守を実行する場合、一度に複数の部品を交換するため、何度もお客様を訪問することはありません。

プリンタを移動または保管する

プリンタを移動したり、長期間保管する必要がある場合は、準備作業を正しく行い、プリンタの損傷を防ぐ必要があります。

1. インクカートリッジ、プリントヘッド、またはプリントヘッド クリーナは取り外さないでください。
2. 用紙が取り付けられていないことを確認します。
3. プリントヘッド キャリッジが、プリンタ右端のサービス ステーションにあることを確認します。
4. フロントパネルに「**印刷可能です**」メッセージが表示されていることを確認します。
5. フロントパネルの 電源 ボタンを押して、電源をオフにします。
6. プリンタの背面にある電源スイッチもオフにします。
7. 電源ケーブル、およびネットワーク、コンピュータ、またはスキャナにプリンタを接続しているすべてのケーブルを取り外します。

注記： プリンタやインクカートリッジを気温の低い場所から、気温と湿度が高い場所に移動すると、大気中の水分がプリンタの部品やカートリッジ上で凝結し、インク漏れやプリンタ エラーの原因になることがあります。この場合、凝結した水分を蒸発させるために、プリンタの電源を入れたり、インクカートリッジを取り付けたりする前に少なくとも 3 時間、プリンタやインクカートリッジを放置します。

ヒント： プリントヘッドの準備と除去には時間がかかり、インクが消費されるので、プリントヘッドの状態を良好に保つために、プリンタの電源を常にオン、またはスリープ モードにしておくことを強くお勧めします。どちらの場合も、随時プリンタは自動的に起動し、プリントヘッドが保守されます。そのため、プリンタを使用する前に、準備処理に長い時間をかけずにすみます。

プリンタ ファームウェアのアップデート

プリンタのさまざまな機能は、プリンタ内のソフトウェアによって制御されています。このソフトウェアは、ファームウェアとも呼ばれます。

ファームウェアのアップデートは、随時、Hewlett-Packard から入手することができます。このアップデートにより、プリンタの性能が向上し、プリンタの機能が拡張されます。

ファームウェアのアップデートは、インターネットからダウンロードしてプリンタにインストールできます。以下の中から最も便利な方法をご使用ください。

- Windows の場合、HP ユーティリティを開いて、プリンタを選択し、[**サポート**] タブを選択し、[**ファームウェアのアップデート**] を選択します。
- Mac OS の場合、HP ユーティリティを開き、[**サポート**] を選択し、[**ファームウェアのアップデート**] を選択します。
- 使用するプリンタの内蔵 Web サーバで [**セットアップ**] タブを選択し、[**ファームウェアのアップデート**] を選択します。

画面の指示に従ってファームウェア ファイルをハードディスクに保存します。次に、ダウンロードしたファイルを選択し、[**アップデート**] をクリックします。

ファームウェアには、最も一般的に使用される用紙プリセットが含まれています。追加の用紙プリセットは、別途ダウンロードできます。37 ページの 「用紙プリセットをダウンロードする」を参照してください。

ファームウェア ファイルをプリンタにアップロードする処理に非常に時間がかかる場合は、プロキシ サーバの使用がその原因であることがあります。その場合は、プロキシ サーバを経由せずに内蔵 Web サーバに直接アクセスします。

- Windows 版の Internet Explorer 6 を使用している場合は、[**ツール**] - [**インターネット オプション**] - [**接続**] - [**LAN の設定**] をクリックし、[**ローカル アドレスにはプロキシ サーバーを使用しない**] チェック ボックスをオンにします。さらに高度な設定を行うには、[**詳細設定**] ボタンをクリックし、プロキシ サーバを使用しないように、プリンタの IP アドレスを [次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない] の一覧に追加します。
- Mac OS の Safari を使用している場合は、[**Safari**] - [**環境設定**] - [**詳細設定**] をクリックし、[**プロキシ : 設定を変更**] ボタンをクリックします。プロキシ サーバを使用しないように、プリンタの IP アドレスまたはドメイン名を [プロキシ設定を使用しないホストとドメイン] の一覧に追加します。

安全なディスク消去

プリンタのハード ディスクは、印刷ジョブの一時的な格納領域として使用されます。安全なディスク消去機能を使用すれば、ハード ディスクから情報を完全に消去して、許可のないアクセスから情報を保護できます。特定のファイルを消去することも、ハード ディスク全体を消去することも可能です。

安全なディスク消去機能では、次の 3 つのセキュリティ レベルを設定できます。

- [**非セキュア高速消去**] : 情報の参照元がすべて消去されます。情報そのものは、その情報が入っているディスク領域が他の目的で必要になるまでハード ディスクに残りますが、その後は上書きされます。情報はディスクに残りますが、ほとんどのユーザにとってアクセスすることは困難です。ただし、特定の目的で設計されたソフトウェアを使用すればアクセス可能です。これは、ほとんどのコンピュータ システムでファイルを消去するときに使用される通常の方法です。最も短時間で消去できますが、最も安全性の低い方法です。
- [**セキュア高速消去**] : 情報の参照元がすべて削除され、情報そのものも固定された文字パターンで上書きされます。非セキュア高速消去よりは時間がかかりますが、より安全な方法です。それでも、磁気の痕跡を検出する特殊なツールを使用すれば、消去した情報の断片にアクセスすることが可能な場合があります。
- [**セキュア サニタイジング消去**] : 情報の参照元がすべて削除され、情報そのものもすべての痕跡を除去するために作られたアルゴリズムを使用して繰り返し上書きされます。最も時間はかかりますが、最も安全な方法です。セキュア サニタイジング消去は、米国国防総省の、ディスク メディアの消去およびサニタイジングの要件 (5220-22.m) に適合しています。安全なディスク消去を使用する際は、これがデフォルトのセキュリティ レベルです。

安全なディスク消去は、HP から無料で提供されている Web ベースの印刷管理ソフトウェア Web JetAdmin の機能の 1 つです。http://www.hp.com/go/webjetadmin/を参照してください。

Web JetAdmin から安全なディスク消去するときに問題が発生した場合は、HP サポートにお問い合わせください。178 ページの 「HP カスタマー・ケア」を参照してください。

注記： ハード ディスク全体を消去すると、処理中に何度かプリンタの再起動を要求される場合があります。この処理は、安全なディスク消去では約 6 時間、セキュア サニタイジング消去では約 24 時間かかります。

14 アクセサリ

アクセサリについて

お使いのプリンタ用にご使用いただけるアクセサリは以下のとおりです。

名前	製品番号
HP Designjet T7100 ロール用アップグレード	CQ743A
HP Designjet T7100 スタッカ 220 V	CQ742A
HP Designjet T7100 スタッカ 110 V	CQ742B
HP Designjet HD スキャナ	CQ654A
HP Designjet 用外付けハード ディスク	CN501A
HP Jetdirect 635n (IPv6/IPsec)	J7961A
HP Designjet PostScript/PDF のアップグレード キット	CQ745A
Serif Poster Designer for HP	CN088A
SCP Reprocontrol for HP (プリンタ 1 台)	CN454A
SCP Reprocontrol for HP (プリンタ 2 台)	CN455A
HP Designjet Z6100/Z6200 User Maintenance Kit	Q6715A

お使いのプリンタにダウンロードできるソフトウェアは以下のとおりです。

名前	ダウンロード元
HP Instant Printing Pro	http://www.hp.com/go/hpinstantprintingutilitypro/
Serif PosterPro	http://www.hp.com/go/PosterDesignerPro/

15 印刷品質に関するトラブルシューティング

トラブルシューティング

一般的なヒント

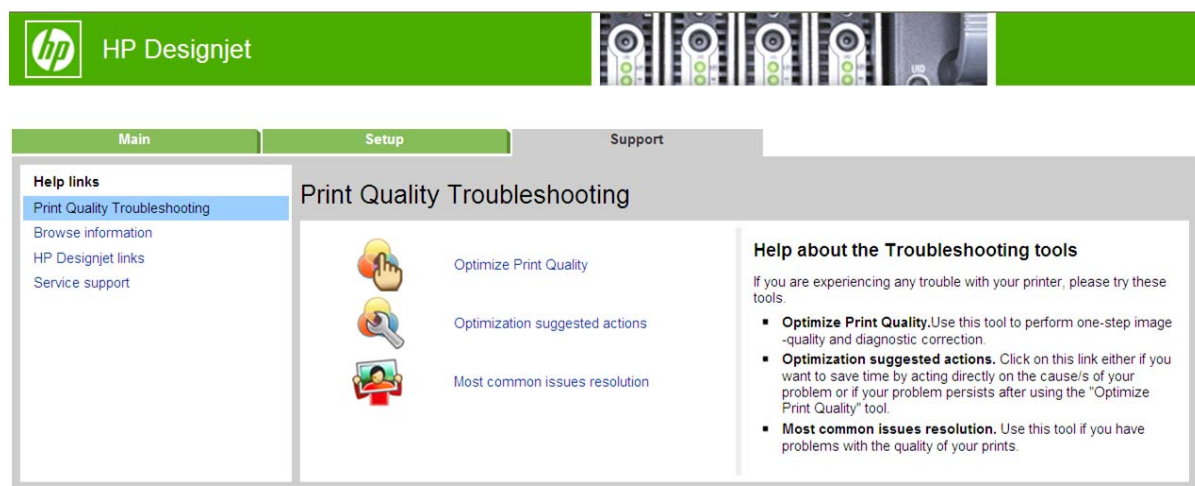
印刷の品質に問題がある場合は、以下の項目を確認してください。

- プリンタで最高のパフォーマンスを実現するために、HP 純正のサプライ品とアクセサリをお使いください。これは、純正品では信頼性とパフォーマンスが十分に検証されており、トラブルなく最高品質の印刷を実現できるためです。推奨する用紙についての詳細は、39 ページの 「用紙について」を参照してください。
- フロントパネルで選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認してください。使用する用紙の種類に対応したキャリブレーションが済んでいることを確認してください。また、ソフトウェアで選択されている用紙の種類が、プリンタに取り付けられている用紙の種類と同じであることを確認してください。

△ 注意： 誤った用紙の種類を選択すると、印刷品質の低下やカラーの問題が発生し、プリントヘッドが破損する可能性があります。

- 目的に最も適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。78 ページの 「印刷品質を選択する」を参照してください。印刷品質の低下が起こりやすいのは、印刷品質 のスライダを［**高速**］の端に移動させるか、またはカスタムの印刷品質レベルを［**高速**］に設定した場合です。
- 環境状況 (温度、湿度) が推奨する範囲内にあることを確認します。201 ページの 「動作環境の仕様」を参照してください。
- インクカートリッジおよびプリントヘッドが使用期限を超過していないことを確認します。141 ページの 「インクカートリッジを保守する」を参照してください。
- 印刷の実行中は、用紙に触れないようにします。

トラブルシューティング用ツール

内蔵 Web サーバでトラブルシューティング用ツールにアクセスするには、［**サポート**］タブを選択します。最初の 2 つのツールは、フロントパネルの ［イメージ品質の保守］ メニューからもアクセスできます。

印刷品質を最適化する

このオプションは、プリンタおよびサプライ品が最適な印刷品質を提供できるように調整します。すべてのキャリブレーションおよび修復ルーチンを自動的に実行するには、［**次へ**］をクリックします。プロセス全体で用紙の 80cm を消費し、最大 20 分かかることがあります。

注記： このオプションは、フロントパネルからも選択できます。メイン メニューで、 を選択し、次に［**印刷品質を最適化する**］を選択します。

最適化の提案されるアクション

このオプションは、内部チェックの結果に基づいて、印刷品質を向上させるための一連の推奨されるアクションを提供します。これらのアクションには、プリントヘッドの取り付け直し、特定のキャリブレーションを実行するための用紙の変更、いくつかのプリンタ コンポーネントのクリーニングなどが含まれる場合があります。これらは提案される順に実行します。

ヒント： 問題の原因に基づいて直接行動することによって時間を節約したい場合、または自動的な［**印刷品質を最適化する**］プロセスの後で問題が解決されない場合に、このオプションを使用します。

注記： このオプションは、フロントパネルからも選択できます。メイン メニューで、 を選択し、次に［**最適化の提案されるアクション**］を選択します。

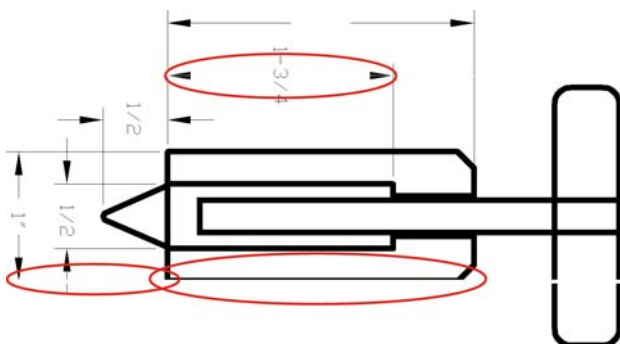
最も一般的な問題の解決策

このオプションは、大判印刷でユーザが直面する最も一般的な印刷品質に関する問題の一部を解決する上で役立てていただけるように設計されました。

- イメージに、暗いまたは明るい横線 (バンディング) が見られる
- 粒状感
- 線品質の低下
- 色が正確に再現されない

最初のウィンドウで、発生している印刷品質の問題を選択し、［**次へ**］をクリックします。

適切な解決策のリストが表示されます。手順に従って解決処理を行います。

線画が太すぎるか細すぎる、または印刷されない

1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。フロントパネルで確認するには、情報の表示 ボタン を使用します。

2. 目的に適した印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します (76 ページの「印刷オプション」を参照)。ドライバのダイアログのカスタム印刷品質オプションを選択し、［**高精細**］オプションをオンにします (使用可能な場合)。問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。

3. イメージの解像度が印刷解像度よりも高いと、線品質が低下する場合があります。Windows 用 HP-GL/2 および HP RTL ドライバを使用している場合は、［**アプリケーションの最大解像度**］オプションが、ドライバのダイアログの［**詳細設定**］タブで、［**ドキュメントのオプション**］-［プ

リンタの機能］ の下に表示されます。このオプションを変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。

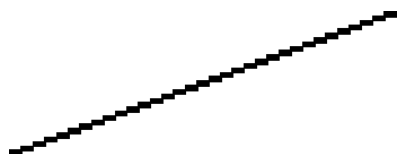
4. 線画が細すぎる、または印刷されない場合は、[イメージ診断の印刷] を印刷します。61 ページの「イメージ診断の印刷」を参照してください。

5. 問題が解決しない場合は、フロントパネルでインク アイコン を選択し、次に［**プリントヘッド情報**］ を選択してプリントヘッドの軸合わせのステータスを確認します。ステータスが [保留] になっている場合は、プリントヘッドの軸合わせを行います。59 ページの 「プリントヘッドの軸合わせ」を参照してください。軸合わせを行って問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。

6. フロントパネルで、情報の表示 ボタン を押して素材送りキャリブレーションのステータスを確認します。ステータスが [デフォルト] または [推奨] になっている場合は、素材送りキャリブレーションを実行します。35 ページの 「素材送りキャリブレーションを実行する」を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

線画が段状またはギザギザに表示される

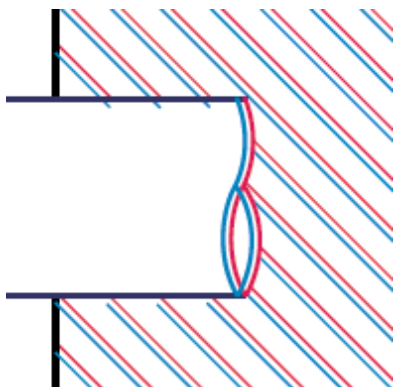
印刷時に、イメージの線が段状になるとか、またはギザギザになった場合、以下の手順に従ってください。

1. イメージ自体に問題がある場合もあります。イメージの編集に使用しているアプリケーションで、イメージの品質を向上させてみます。

2. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認してください。76 ページの 「印刷オプション」を参照してください。

3. ドライバのダイアログのカスタム印刷品質オプションを選択し、［**高精細**］ オプションをオンにします (使用可能な場合)。

線が二重または間違った色で印刷される

この問題では、以下のようなさまざまな症状が現れる場合があります。

- 色付きの線画が別の色で二重に印刷される。

- 色付きのブロックの境界線の色が間違っている。

この問題を修正するには、以下の手順に従います。

1. プリントヘッドを取り外してから再度挿入して、プリントヘッドを再度取り付けます。51 ページの 「プリントヘッドを取り外す」および53 ページの 「プリントヘッドを取り付ける」を参照してください。
2. プリントヘッドの軸合わせを行います。59 ページの 「プリントヘッドの軸合わせ」を参照してください。

線が不連続になる

線が次のように途切れ途切れになる場合は、以下の手順に従います。

1. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認してください。76 ページの 「印刷オプション」を参照してください。
2. プリントヘッドを取り外してから再度挿入して、プリントヘッドを再度取り付けます。51 ページの 「プリントヘッドを取り外す」および53 ページの 「プリントヘッドを取り付ける」を参照してください。
3. プリントヘッドの軸合わせを行います。59 ページの 「プリントヘッドの軸合わせ」を参照してください。

線がぼやけている

湿度は、インクのにじみや線がぼやけて不鮮明になる原因となります。以下の手順に従ってください。

1. 環境状況（温度、湿度）が高品質の印刷に適しているかどうかを確認します。201 ページの「動作環境の仕様」を参照してください。
2. フロントパネルで選択した用紙の種類が、実際に使用している用紙の種類と同じかどうか確認します。フロントパネルで確認するには、情報の表示 ボタン ⓘ を使用します。
3. HP 厚手コート紙や HP プラススーパー厚手マット紙などの厚い紙に変更してみてください。
4. 取り付けている用紙よりも少し薄い用紙の種類を選択します。これにより、インクの使用量が少なくなります。用紙の種類の例を薄い順に示すと、普通紙、コート紙、厚手コート紙、プラススーパー厚手マット紙となります。
5. 光沢紙を使用している場合は、別の種類の用紙に変更してみてください。
6. プリントヘッドの軸合わせを行います。59 ページの「プリントヘッドの軸合わせ」を参照してください。

線の長さが正確でない

印刷された線を測って、用途に対して長さの精度が不十分であることがわかった場合は、以下の方法で線の長さの精度を向上できます。

1. プリンタの線の長さの精度を指定した HP マットフィルムに印刷します。199 ページの「プリンタ機能の仕様」を参照してください。

   ポリエステル フィルムは、寸法安定性が紙よりも約 10 倍高いです。ただし、HP マットフィルムよりも薄いフィルムまたは厚いフィルムを使用すると、線の長さの精度が低下します。
2. [印刷品質] のスライダを［**品質**］に設定します。
3. 部屋の温度を 10～30°C（50～86°F）に保ちます。
4. フィルムのロールを取り付け、5 分置いてから印刷します。
5. 精度がまだ不十分な場合は、素材送りのキャリブレーションを行ってください。35 ページの「素材送りキャリブレーションを実行する」を参照してください。

イメージ全体がぼやけているかざらついている

1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。フロントパネルで確認するには、情報の表示 ボタン ⓘ を使用します。
2. 正しい印刷面に印刷しているかどうかを確認してください。
3. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認してください (76 ページの 「印刷オプション」を参照)。場合によっては、より高い印刷品質のレベルを選択することにより印刷品質の問題を解決できる場合があります。たとえば、[印刷品質] のスライダを [**速度**] に設定している場合は、[**品質**] に設定します。印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
4. フロントパネルでインク アイコン を選択し、次に [**プリントヘッド情報**] を選択してプリントヘッドの軸合わせのステータスを確認します。ステータスが [保留] になっている場合は、プリントヘッドの軸合わせを行います。59 ページの 「プリントヘッドの軸合わせ」を参照してください。軸合わせを行って問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
5. フロントパネルで、情報の表示 ボタン ⓘ を押して素材送りキャリブレーションのステータスを確認します。ステータスが [デフォルト] または [推奨] になっている場合は、素材送りキャリブレーションを実行します。35 ページの 「素材送りキャリブレーションを実行する」を参照してください。

上記のすべての処理を実行しても問題が解決されない場合は、HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせの上、詳細を確認してください。

用紙が平らになっていない

プリンタから排紙されるときに、用紙が浅く波打って平らになっていない場合に、印刷されたイメージに垂直のすじが現れるなどの問題が起こることがあります。これは、印刷されたインクを吸収しきれないほど薄い用紙を使用した場合に発生することがあります。

1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。フロントパネルで確認するには、情報の表示 ボタン ⓘ を使用します。
2. HP 厚手コート紙や HP プラススーパー厚手マット紙などの厚い紙に変更してみてください。
3. 取り付けている用紙よりも少し薄い用紙の種類を選択します。これにより、インクの使用量が少なくなります。用紙の種類の例を薄い順に示すと、普通紙、コート紙、厚手コート紙、プラススーパー厚手マット紙となります。

印刷物に擦れ落ちやキズがある

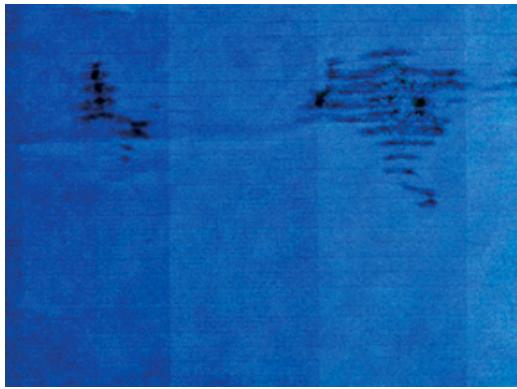
黒の顔料は、指やペンなどで触れると擦れ落ちたりキズができたりします。これは特にコート紙を使用した場合に顕著です。

光沢紙は、インクの使用量と印刷時の環境条件によっては、スタッカなどの印刷直後に触れるものに対して非常に敏感になる場合があります。

擦り落ちやキズを少なくするには、以下の方法に従います。

- 印刷された用紙を注意して扱います。
- 印刷された用紙を積み重ねないようにします。
- 印刷された用紙がカットされたらすぐに取り出し、バスケットに入らないようにします。または、別のカット紙をバスケットに入れたままにしておき、新たに印刷されたカット紙がバスケットに直接触れないようにします。

用紙にインク跡が付く

普通紙またはコート紙に使用するインクが多すぎると、インクが用紙に吸収され広がります。プリントヘッドは、用紙の上を移動するときに用紙に触れるため、印刷イメージが汚れる場合があります。通常、この問題が起こるのは、カット紙だけで、ロール紙では起こりません。

この問題に気付いたら、直ちに印刷ジョブをキャンセルしてください。キャンセル ボタンを押して、コンピュータ アプリケーションのジョブをキャンセルします。インクが染み込んだ用紙により、プリントヘッドが損傷する可能性があります。

この問題を解決するには、以下の推奨方法を実行します。

1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。フロントパネルで確認するには、情報の表示 ボタン ⓘ を使用します。
2. 推奨する用紙の種類 (39 ページの 「用紙について」を参照) と適切な印刷設定を使用します。
3. HP 厚手コート紙や HP プラススーパー厚手マット紙などの厚い紙に変更してみてください。
4. 取り付けている用紙よりも少し薄い用紙の種類を選択します。これにより、インクの使用量が少なくなります。用紙の種類の例を薄い順に示すと、普通紙、コート紙、厚手コート紙、プラススーパー厚手マット紙となります。
5. ソフトウェア アプリケーションを使用してページの中央にイメージを移動し、マージンを大きくします。

印刷された用紙に触れると黒インクが落ちる

この問題は、光沢紙にマットブラック インクで印刷した場合に発生することがあります。マットブラック インクが用紙に定着しないことをプリンタが認識している場合、マットブラック インクは使用されません。マットブラック インクが使用されないようにするには、フォト用紙のカテゴリで光沢フォト用紙を用紙の種類として選択します。

さまざまな色の縦方向の線

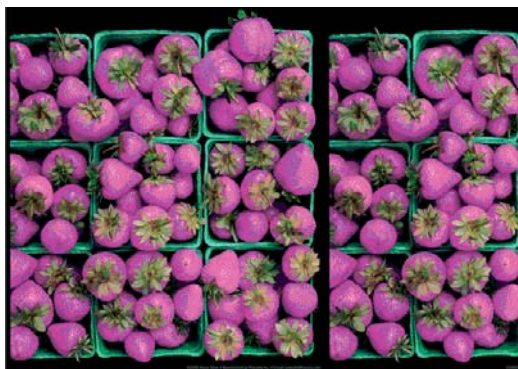
印刷でさまざまな色の縦方向のバンディングが発生する場合は、以下の手順に従います。

1. HP 厚手コート紙、HP スーパー厚手コート紙などの推奨する用紙の種類から厚手の用紙を選択して使用します。39 ページの 「用紙について」を参照してください。
2. 印刷品質設定のレベルを上げます (76 ページの 「印刷オプション」を参照)。たとえば、[印刷品質] のスライダを［**速度**］に設定している場合は、［**品質**］に設定します。

印刷物に白点がある

印刷物に白点がある場合があります。これは、多くの場合、用紙の繊維、ほこり、または剥がれたコーティング材が原因です。この問題を解消するには、以下の手順に従います。

1. ほつれた繊維や小片を取り除くために、印刷する前にブラシを使用して用紙を手でクリーニングします。
2. プリンタのカバーを常に閉じておきます。
3. ロール紙を袋や箱に保管して保護します。

色が正確に再現されない

印刷物の色が予期したものと一致しない場合、以下の解決方法を試してください。

1. フロントパネルおよび使用しているソフトウェアで選択されている用紙と同じ種類の用紙が取り付けられていることを確認します。同時に、カラーキャリブレーションのステータスを確認してください。ステータスが [ペンディング] または [失効] の場合、カラーキャリブレーションを実行する必要があります。93 ページの 「カラーキャリブレーション」を参照してください。変更を行って問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷します。
2. 正しい印刷面に印刷しているかどうかを確認してください。
3. 適切な印刷品質設定を使用しているかどうかを確認します。78 ページの 「印刷品質を選択する」を参照してください。[**エコノモード**] オプションまたは [**速度**] オプションを選択した場合、正確な色が得られないことがあります。印刷品質設定を変更して問題が解決した場合、この時点でジョブを再印刷する必要があります。
4. アプリケーション カラーマネジメントを使用している場合、選択した用紙の種類および印刷品質設定に合ったカラー プロファイルを使用しているかどうか確認してください。使用するカラー設定が不明の場合、92 ページの 「カラーマネジメント」を参照してください。
5. 問題が印刷物とモニタ間でのカラーの差異による場合、HP Color Center の「ディスプレイのキャリブレーション方法」セクションの手順に従ってください。問題が解決したらジョブを再印刷します。
6. [イメージ診断の印刷] を印刷します。61 ページの 「イメージ診断の印刷」を参照してください。

問題が解決しない場合は、日本 HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせください。175 ページの 「ヘルプ」を参照してください。

PANTONE*色が正確に再現されない

97 ページの 「HP プロフェッショナル PANTONE エミュレーション」を参照してください。

他の HP Designjet と色が一致しない

異なる 2 機種のプリンタ (HP Designjet T7100 シリーズ プリンタと HP Designjet 4500 シリーズ プリンタなど) でイメージを印刷した場合、2 つの印刷物の色が一致しないことがあります。

それぞれの印刷デバイスで、インクの化学組成、用紙の化学組成、およびプリントヘッドが違っている場合、色を完全に一致させることはできません。ここでは、特定のプリンタを別のプリンタで一致させる方法を説明します。

PostScript ドライバで印刷する

PostScript ドライバがインストールされたプリンタで、印刷を行う場合の手順を説明します。以下の例では、HP Designjet T7100 シリーズ プリンタおよび HP Designjet 4500 シリーズ プリンタを使用しているものとします。

1. どちらのプリンタにも、最新バージョンのファームウェアがインストールされていることを確認します。142 ページの 「プリンタ ファームウェアのアップデート」を参照してください。

2. どちらのプリンタにも、最新のプリンタ ドライバがインストールされていることを確認します。HP 製プリンタの最新のプリンタ ドライバを、http://www.hp.com/go/designjet からダウンロードします。

3. カラー キャリブレーションがオンになっているかを確認します。HP Designjet T7100 のフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [**イメージ品質の保守**] - [**カラーキャリブレーションの有効化**] - [**オン**] を選択します。

4. どちらのプリンタにも同じ種類の用紙を取り付けます。

5. フロントパネルで用紙の種類に、取り付けられた用紙に合った設定が選択されていることを確認します。

6. イメージを HP Designjet 4500 で印刷するには、通常の設定を使用します。

7. 同じイメージを、今度は HP Designjet T7100 で印刷する準備を行います。

   ソフトウェアで、イメージのカラー スペースを設定し、HP Designjet 4500 とそのプリンタで使用した特定の用紙の種類をエミュレートします。ドライバに送信されるデータは、既にこのエミュレーション カラー スペース (CMYK カラー スペース) に変換されている必要があります。変換方法の詳細については、ソフトウェア プログラムのオンライン ヘルプを参照してください。このようにして、この用紙の種類で印刷が行われたときに 4500 が作成した色が、T7100 によってエミュレートされます。

8. HP Designjet T7100 用 PostScript ドライバで [カラーマネジメント] セクションに移動し、CMYK 入力プロファイルを、ソフトウェアで選択したものと同じ HP Designjet 4500 のカラー スペース (エミュレーション カラー スペース) に設定します。

9. HP Designjet T7100 でイメージを印刷します。

HP-GL/2 ドライバで印刷する

HP-GL/2 ドライバがインストールされたプリンタで、印刷を行う場合の手順を説明します。

1. どちらのプリンタにも、最新バージョンのファームウェアがインストールされていることを確認します。142 ページの 「プリンタ ファームウェアのアップデート」を参照してください。

2. どちらのプリンタにも、最新のプリンタ ドライバがインストールされていることを確認します。HP 製プリンタの最新のプリンタ ドライバは、http://www.hp.com/support/japan にアクセスしてダウンロードできます。

3. カラー キャリブレーションがオンになっているかを確認します。HP Designjet T7100 シリーズ プリンタのフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に［**イメージ品質の保守**］-［**カラーキャリブレーションの有効化**］-［**オン**］を選択します。

4. どちらのプリンタにも同じ種類の用紙を取り付けます。

5. フロントパネルで用紙の種類に、取り付けられた用紙に合った設定が選択されていることを確認します。

6. HP Designjet T7100 用 HP-GL/2 ドライバで、［**カラー**］タブを選択し、カラー マネージメント オプションのリストから［**プリンタ エミュレーション**］を選択します。次に、エミュレートされるプリンタのリストから HP Designjet 4500 を選択します。

7. HP Designjet 4500 用 HP-GL/2 ドライバで、［**オプション**］タブを選択し、次に［**マニュアルカラー**］-［**カラーコントロール**］-［**ディスプレイカラー**］を選択します。また、［**用紙サイズ**］タブを選択して、［**用紙の種類**］を選択します。

同一の HP-GL/2 ファイルを印刷する場合

一方のプリンタにインストールされた HP-GL/2 ドライバを使用して HP-GL/2 ファイル (PLT ファイルとも呼ばれます) を生成し、生成したファイルを別のプリンタに送信する場合の手順を説明します。

1. どちらのプリンタにも、最新バージョンのファームウェアがインストールされていることを確認します。142 ページの 「プリンタ ファームウェアのアップデート」を参照してください。

2. カラー キャリブレーションがオンになっているかを確認します。HP Designjet T7100 のフロントパネルで、 アイコンを選択し、次に［**イメージ品質の保守**］-［**カラーキャリブレーションの有効化**］-［**オン**］を選択します。

3. どちらのプリンタにも同じ種類の用紙を取り付けます。

4. フロントパネルで用紙の種類に、取り付けられた用紙に合った設定が選択されていることを確認します。

5. HP Designjet 4500 用に生成した HP-GL/2 ファイルを、HP Designjet T7100 で印刷する場合は、内蔵 Web サーバまたはフロントパネルで以下の手順に従います。

   - 内蔵 Web サーバを使用する場合 : カラー オプションを［**デフォルト**］のままにします。

   - フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に［**セットアップ**］-［**印刷設定**］-［**カラーオプション**］-［**プリンタのエミュレート**］-［**HP Designjet 4500 シリーズ**］を選択します。

   その他の HP Designjet プリンタを使用する場合は、画面の色がそれぞれの HP-GL/2 ドライバを使用して印刷したときと一致するように (選択できる場合は sRGB に)、両方のプリンタを設定します。

まったく印刷されない

フロントパネルのグラフィック言語の設定が［**自動**］(デフォルト) の場合は、他の設定を試してください。たとえば、PostScript ファイルの場合は［**PostScript**］、HP-GL/2 ファイルの場合は［**HP-GL/2**］になります。次に、再度ファイルを送信します。

この印刷が完了したら、グラフィック言語を［**自動**］に再設定します。

一部しか印刷されない

- プリンタがすべてのデータを受信する前に キャンセル を押した場合、データの送信が途中で終了したため、ページを印刷し直す必要があります。
- **[I/O タイムアウト]** 設定が短すぎる可能性があります。この設定により、ジョブが終了したとプリンタが判断する前に、コンピュータがデータをさらに送信するまでのプリンタの待ち時間が決まります。フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に **[接続]** - **[詳細設定]** - **[I/O タイムアウトの選択]** を選択して、**[I/O タイムアウト]** の設定値を大きくしてから、もう一度印刷を行います。
- コンピュータとプリンタの間の通信に問題がある可能性があります。USB またはネットワーク ケーブルを確認してください。
- ソフトウェアの設定が、現在使用しているページ サイズ (長尺印刷など) に対して正しいかどうかを確認してください。
- ネットワーク ソフトウェアを使用している場合は、タイムアウトが発生していないかどうかを確認してください。

イメージの一部が印刷されない

イメージの欠落は通常、取り付けられている用紙の実際の印刷可能な範囲と、ソフトウェアで説明されている印刷可能な範囲が一致していない場合に発生します。多くの場合、印刷をプレビューすることにより、この問題を印刷前に確認することができます。84 ページの 「印刷をプレビューする」を参照してください。

- 取り付けられた用紙サイズの実際の印刷可能領域を確認します。

  印刷可能領域 = 用紙サイズ - マージン
- ソフトウェアが認識する印刷可能な領域 (「印刷領域」または「印刷可能領域」とも呼ばれます) を確認します。たとえば、ソフトウェア プログラムによっては、このプリンタで使用される印刷可能な範囲よりも広い範囲を標準と想定している場合があります。
- マージンがきわめて狭いカスタム ページを定義した場合、プリンタ自体により最小マージンが上書きされ、イメージが少し途切れる場合があります。より大きい用紙サイズを使用してみてください。82 ページの 「マージン オプションを選択する」を参照してください。
- 印刷するイメージ自体にマージンが含まれている場合は、**[内容をマージンでクリップ]** を使用することによって正常に印刷できることがあります。82 ページの 「マージン オプションを選択する」を参照してください。
- ロール紙を使用して長いイメージを印刷する場合、ソフトウェアがそのサイズのイメージに対応しているかどうかを確認してください。
- 幅が足りない用紙サイズの場合、横置きにページを回転するように求めるメッセージが表示されることもあります。
- 必要に応じて、ソフトウェアでイメージやドキュメントのサイズを小さくして、マージン間にぴったり収まるようにします。

イメージの一部が印刷されない場合、別の原因も考えられます。Adobe Photoshop、Adobe Illustrator、CorelDRAW などのプログラムは、16 ビットの内部座標系を使用するため、32,768 ピク

セルを超えるイメージを処理できません。これより大きいイメージを印刷しようとすると、イメージの下部が印刷されません。イメージ全体を印刷するには、以下の推奨方法を実行します。

- HP-GL/2 ドライバを使用している場合、イメージが 32,768 ピクセル以下になるように解像度を下げることができます。Windows ドライバのダイアログには、[**16 ビットアプリケーションとの互換性**] が含まれており、解像度が自動的に下げられます。このオプションは、[**詳細設定**] タブで [**ドキュメントのオプション**] - [**プリンタの機能**] の下に表示されます。
- ファイルを TIFF や EPS など別の形式で保存し、別のプログラムで開きます。
- RIP を使用してファイルを印刷します。

イメージが印刷可能な範囲に小さく印刷される

- ソフトウェアで選択したページ サイズが小さすぎる可能性があります。
- イメージがページの一部であるとアプリケーションで認識されている可能性があります。

イメージが誤った向きに回転される

フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [**セットアップ**] - [**印刷設定**] - [**用紙オプション**] - [**回転**] を選択します。設定が正しいかどうかを確認してください。

PostScript 以外のファイル : [**ネスティング**] が [**オン**]になっている場合、用紙を節約するためにページが自動的に回転することがあります。88 ページの 「用紙を節約するためにジョブをネスティングする」 を参照してください。

イメージが左右反対に印刷される

フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [**セットアップ**] - [**印刷設定**] - [**用紙オプション**] - [**左右反転の有効化**] を選択します。設定が正しいかどうかを確認してください。

印刷が歪むまたは不鮮明になる

- プリンタをネットワーク (またはコンピュータ) に接続しているインタフェース ケーブルに問題が発生した可能性があります。ケーブルを変えて試してみます。
- フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [**セットアップ**] - [**印刷設定**] - [**グラフィック言語の選択**] を選択します。フロントパネルのグラフィック言語の設定が [**自動**] (デフォルト) の場合は、他の設定を試してください。たとえば、PostScript ファイルの場合は [**PostScript**]、HP-GL/2 ファイルの場合は [**HP-GL/2**] になります。次に、再度ファイルを送信します。
- プリンタで使用しているソフトウェア、ドライバ、および RIP によっては、この問題を解決する独自の方法があります。詳細については、販売元のマニュアルを参照してください。

同じ印刷上でイメージが別のイメージと重なる

[**I/O タイムアウト**] 設定が長すぎる可能性があります。フロントパネルで設定を小さくして、印刷し直してください。 アイコンを選択し、次に [**接続**] - [**詳細設定**] - [**I/O タイムアウトの選択**] を選択します。

ペン設定が適用されない

- アイコンを選択してから［**セットアップ**］-［**印刷設定**］-［**HP-GL/2**］-［**パレットの定義**］を選択して、フロントパネルの設定を変更しましたが、このパレットは［**セットアップ**］-［**印刷設定**］-［**HP-GL/2**］-［**パレットの選択**］で選択されていません。
- ソフトウェアによるペンの自動設定を有効にするには、フロントパネルで アイコンを選択し、次に［**セットアップ**］-［**印刷設定**］-［**HP-GL/2**］-[**パレットの選択**］-［**ソフトウェア**］を選択します。

イメージに木目が現れる (エアロワーム)

エアロワームは、波打っている水平方向の帯状のムラで、空気により引き起こされる DPE（ドット配置エラー）です。場合によっては、エアロワームによってイメージに木目が現れます。低品質および高速で設定された印刷ジョブで最も一般的に発生します。カスタム印刷品質設定が [高品質] に設定されていると、発生しません。

エアロワームを解消するには、より高い画質印刷設定を選択します。78 ページの 「印刷品質を選択する」を参照してください。

トラブルシューティング

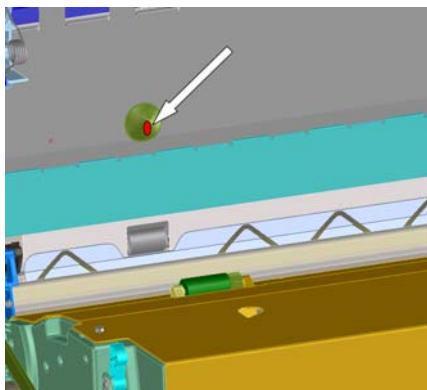
16　トラブルシューティング (用紙)

用紙が詰まっている

紙詰まりが発生した場合は、フロントパネルに表示される指示に従います。

操作手順は以下のとおりです。

1. ウィンドウを開きます。
2. 詰まった用紙が見えるかどうかを確認するメッセージが表示される場合があります。[いいえ] と答えた場合、プリンタで診断が実行されて、キャリッジに問題があるかどうかが確認されます。
3. キャリッジを横に移動し、プラテンから詰まった用紙を取り除きます。
4. プリンタの背面に移動し、後部ドアを開きます。
5. 示されている線に沿ってナイフなどで用紙をカットし、見える範囲の用紙をすべて取り除きます。
6. 後部ドアを閉めます。
7. 用紙が残っていることがプリンタで検出された場合、やり直すよう求められます。やり直してもまだ用紙が検出される場合は、プリンタで診断が実行されて、用紙センサーに問題があるかどうかが確認されます。
8. プリンタを再起動してください。
9. 用紙を取り付けます。

粘着紙を使用してロールの切り替えを頻繁に行っている場合は、用紙の挿入経路に紙詰まりが起こることがあります。この問題は、用紙センサーの円錐体の表面に用紙の端から付着した接着剤が原因で発生する可能性があります。この特定の問題を解決するには、柔らかい綿布を使用して、用紙センサーから接着剤をすべて拭き取ってください。

印刷物がスタッカに正しく積み重ならない

- 用紙は端でカールすることが多いため、積み重ねの問題が発生します。新しいロール紙を取り付けるか、印刷が完了したら手で取り出します。
- 異なるサイズの印刷物が混じっていたり、ネスティングしている場合、スタッカに複数のサイズの用紙が積み重ねられるため、問題が発生することがあります。

17 トラブルシューティング (インクシステム)

インクカートリッジを取り付けられない

1. 正しいカートリッジ (モデル番号) を使用しているかどうかを確認します。
2. カートリッジのラベルの色がスロットのラベルの色と同じであるかどうかを確認します。
3. カートリッジの向きが正しいかどうか、インクカートリッジの正面の矢印が上を向いているかどうかを確認します。

△ **注意：** インクカートリッジ スロットの内部はクリーニングしないでください。

プリントヘッドを取り付けられない

1. 正しいプリントヘッド (モデル番号) を使用しているかどうかを確認します。
2. プリントヘッドから、保護キャップを取り外し、透明の保護テープを剥がしたかどうかを確認します。
3. プリントヘッドのラベルの色がスロットのラベルの色と同じであるかどうかを確認します。
4. プリントヘッドの向きが正しいかどうかを (他のプリントヘッドと比較して) 確認します。
5. プリントヘッドのカバーが閉じられ、ラッチで固定されているかどうかを確認します。

トラブルシューティング

保守カートリッジを取り付けられない

保守カートリッジの種類が正しく、向きが正しいかどうかを確認します。

プリントヘッドを取り付け直す、または交換するように、フロントパネルにメッセージが表示される

1. プリントヘッドを取り外し、保護フィルムが剥がされていることを確認します。
2. プリントヘッドとキャリッジ間の電極部分のクリーニングを行います。56 ページの「プリントヘッドの電極をクリーニングする」を参照してください。
3. プリンタヘッドをキャリッジに再び取り付け、フロントパネルのメッセージを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、新しいプリントヘッドを挿入します。

18 トラブルシューティング (スタッカ)

用紙が渦巻き状になる

丸まった用紙を使用して高速モードで印刷すると、スタッカ トレイに排出されるときに用紙が渦巻き状になることがあります。この問題を解消するには、標準モードに切り替えるか、76.2mm (3 インチ) 芯のロール紙を使用することをお勧めします。

用紙の下端が丸まる

［**イメージの最適化**］設定を使用します。78 ページの 「印刷品質を選択する」を参照してください。

用紙が完全に排出されない

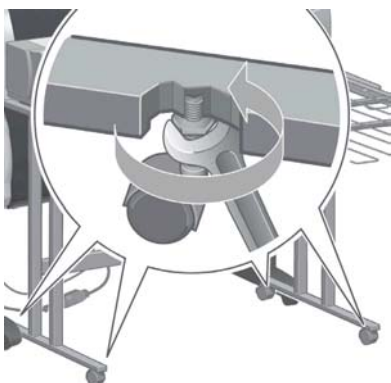
落ちている物や用紙の切れ端など、用紙経路に障害物がないかどうか確認します。

フロントパネルにスタッカが外れていると表示される

フロントパネルにスタッカがプリンタから外れていると常にまたは断続的に表示される場合、スタッカの高さに問題がある可能性があります。スタッカの高さを調整するには、以下の手順に従います。

1. 六角レンチを使用して、プリンタに最も近い両方のスタッカ ホイールの上部にある六角ナットを緩めます。

2. 下部にある六角ナットを時計回りまたは反時計回りに回転して、スタッカの高さを調整します。

3. 適切な高さになったら、上部にある六角ナットを締めます。

トラブルシューティング

19 その他のトラブルシューティング

プリンタで印刷されない

コンピュータから送信されたファイルが正しく印刷されない場合の理由には、以下が含まれます。

- 電源に問題がある可能性があります。プリンタが動作せず、フロントパネルが反応しない場合、電源ケーブルが正しく取り付けられていること、および電源ソケットが動作していることを確認してください。
- 強力な電磁場や重大な電気障害など、異常な電磁現象が発生している可能性があります。このような現象が発生している場合、プリンタが異常な動作をしたり、動作を停止することがあります。このような場合は、フロントパネルの 電源 ボタンを押してプリンタの電源を切り、電磁的な環境が正常に戻るまで待機してから、電源を入れ直してください。問題が解決しない場合は、日本 HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせください。
- グラフィック言語の設定が間違っている可能性があります。
- 正しいプリンタ ドライバがコンピュータにインストールされていない可能性があります。
- 用紙に関する以下のいずれかのシナリオが存在している可能性があります。
  - プリンタにセットされている用紙名がフロントパネルに反映されていない。
  - ロール紙に、ジョブ全体が印刷できるだけの十分な用紙がセットされていない。

  このような場合は、あるジョブが印刷される一方、別のジョブが印刷キューで一時停止の状態になります。この問題を解決するには、プリンタからロール紙を取り外し、フロントパネルに表示される処理手順に従って、新しいロール紙をセットします。
- ネスティングが［**オン**］になっているため、指定のネスティング待ちのタイムアウトまで待機しています。このような場合は、フロントパネルにネスティングまでの残り時間が表示されます。
- プリンタ ドライバから印刷プレビューの実行を要求した可能性があります。このような場合は、Web ブラウザにプレビューが表示されます。

ジョブが印刷されない

特定のジョブが印刷されない場合は、以下の理由が考えられます。

- 取り付けられていない用紙の種類をジョブで指定している。
- 用紙が取り付けられていない供給方法をジョブで指定している。
- 取り付けられている用紙よりもジョブの方が幅が広い。
- スタッカがインストールされており、取り付けられている用紙がスタッカで使用できない。
- 用紙の種類も供給方法もジョブで指定しておらず、ロールが保護されている。

印刷ジョブの生成中にソフトウェア アプリケーションの処理速度が低下したり停止する

高品質の大判印刷ジョブを生成するには、大量のデータが必要な場合があります。これが原因で、ソフトウェア プログラムの処理速度が低下したり停止します。印刷解像度を下げることでこのようなシナリオを回避できますが、印刷解像度を下げると印刷品質が低下します。

Windows HP-GL/2 ドライバで、［**詳細設定**］タブを選択し、次に［**ドキュメントのオプション**］-［**プリンタの機能**］を選択して、［**アプリケーションの最大解像度**］を [300] に設定します。

プリンタの印刷が遅い

この場合、いくつかの原因が考えられます。

- 印刷品質を［**高品質**］に設定している場合。印刷品質が［**高品質**］に設定されたイメージの印刷には、より多くの時間がかかります。
- 用紙を取り付けたときに、正しい用紙の種類を指定しなかった場合。プリンタにセットされている用紙名がフロントパネルに反映されているかどうか確認してください。
- プリンタがネットワークに接続されている。ネットワーク上のすべてのコンポーネント (ネットワーク インタフェース カード、ハブ、ルータ、スイッチ、およびケーブル) が高速動作に対応しているかどうかを確認します。ネットワーク上の他のデバイスのトラフィック量も確認してください。
- 乾燥時間を［**長い**］に設定している場合。乾燥時間を［**自動**］に変更してみてください。37 ページの 「乾燥時間を変更する」を参照してください。
- プリントヘッドの状態が悪い場合。プリントヘッドのクリーニングが必要な場合、印刷時間が長くなる可能性があります。フロントパネルまたは内蔵 Web サーバでプリントヘッドのステータスを確認してください。必要に応じてプリントヘッドを修理するか交換します。
- イメージにインク濃度の高い黒い塗りつぶしがある場合。インク濃度の高い黒い塗りつぶしがあると、印刷時間が長くなる場合があります。

コンピュータとプリンタ間の通信に問題がある

問題の例を以下に示します。

- プリンタにイメージを送信しても、フロントパネルのディスプレイに「データを受信しています」というメッセージが表示されない。
- 印刷しようとすると、コンピュータにエラー メッセージが表示される。
- データ送信時に、コンピュータまたはプリンタが停止する。
- 印刷結果に不規則なエラーまたは原因不明なエラーが発生する (線が正しく表示されない、グラフィックの一部だけ表示されるなど)。

通信の問題を解決するには、以下の手順に従います。

- ソフトウェア プログラムで、正しいプリンタが選択されていることを確認します。
- 別のソフトウェア プログラムを使用して、そのプリンタが正常に動作することを確認します。
- 大きなイメージの場合は、受信、処理、印刷に時間がかかる場合があります。
- プリンタが USB で接続されている場合、USB ケーブルをいったん取り外してから再びコンピュータに取り付けます。
- プリンタとコンピュータの間に、スイッチ ボックス、バッファ ボックス、ケーブル アダプタ、ケーブル コンバータなどの中間デバイスがある場合は、それらを取り外し、プリンタとコンピュータを直接接続して印刷してみます。
- インタフェース ケーブルを別のものに変えて試してみます。13 ページの 「使用する接続方法を選択する」を参照してください。
- グラフィック言語の設定が正しいことを確認します。

内蔵 Web サーバにアクセスできない

まだお読みでない場合は、まず20 ページの 「内蔵 Web サーバにアクセスする」をお読みください。

注記： USB ケーブルでプリンタを直接コンピュータに接続している場合は、HP ユーティリティを使用してください。

1. フロントパネルで、 アイコンを選択します。
2. **[接続]** - **[詳細設定]** - **[内蔵 Web サーバ]** - **[内蔵 Web サーバを使用]** - **[オン]** の順に選択します。
3. プリンタと TCP/IP で接続されている場合は、フロントパネルに移動し、 アイコンを選択してから **[接続]** を選択します。
4. 使用している接続の種類を選択します。
5. **[情報の表示]** を選択します。
6. 設定の情報で、**[IP 有効：はい]** と表示されていることを確認します。表示されていない場合は、別の接続を選択する必要があります。

それでもまだ内蔵 Web サーバにアクセスできない場合は、フロントパネルの 電源 ボタンでプリンタの電源をいったん切ってから、もう一度入れ直してください。

内蔵 Web サーバへのアクセスに非常に時間がかかる場合は、プロキシ サーバの使用がその原因であることがあります。その場合は、プロキシ サーバを経由せずに内蔵 Web サーバに直接アクセスします。

- Windows 版の Internet Explorer 6 を使用している場合は、**[ツール]** - **[インターネット オプション]** - **[接続]** - **[LAN の設定]** をクリックし、**[ローカル アドレスにはプロキシ サーバーを使用しない]** チェック ボックスをオンにします。**[詳細設定]** ボタンをクリックし、プロキシサーバを使用しないように、プリンタの IP アドレスを [次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない] の一覧に追加します。
- Mac OS の Safari を使用している場合は、**[Safari]** - **[環境設定]** - **[詳細設定]** をクリックし、**[プロキシ：設定を変更]** ボタンをクリックします。プロキシ サーバを使用しないように、プリンタの IP アドレスまたはドメイン名を [プロキシ設定を使用しないホストとドメイン] の一覧に追加します。

[メモリ不足] エラー メッセージ

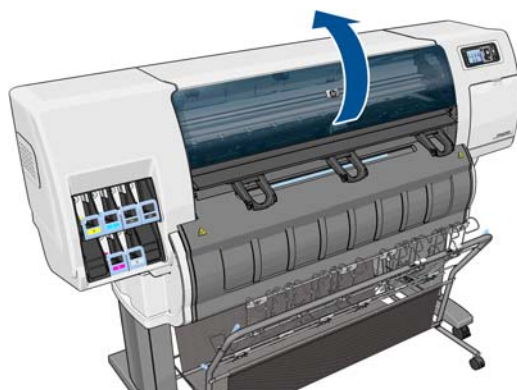
コンピュータでのファイル サイズと、そのファイルの印刷に必要なメモリ量には、直接の関係はありません。実際には、ファイル圧縮などのさまざまな要因があるため、ジョブの印刷で必要なメモリ量を推定することは困難です。より大きなジョブの印刷を過去に行ったことがある場合でも、プリンタに搭載されているメモリでは特定のジョブを印刷するのに十分ではない可能性があります 。 プリンタにメモリを追加することが、1 つの解決策になります。

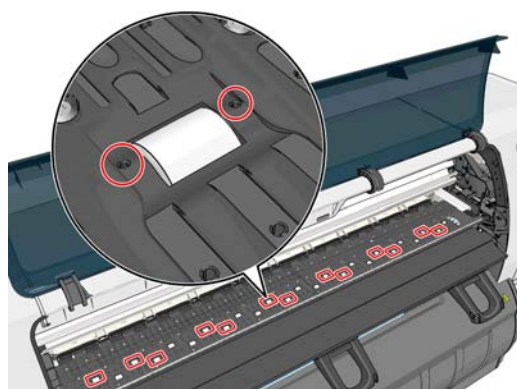
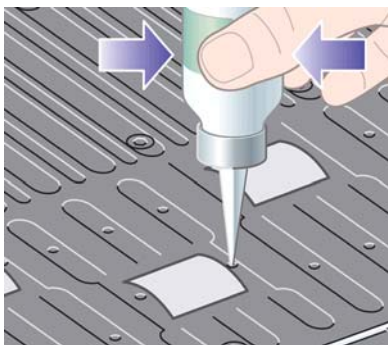
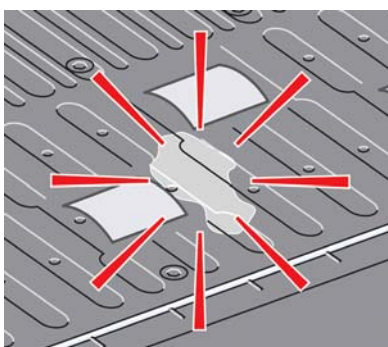
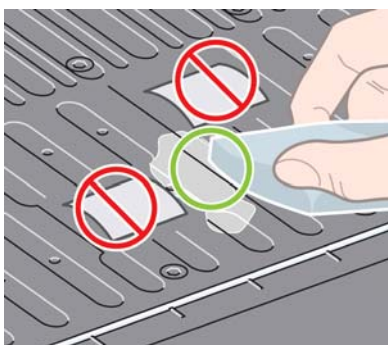
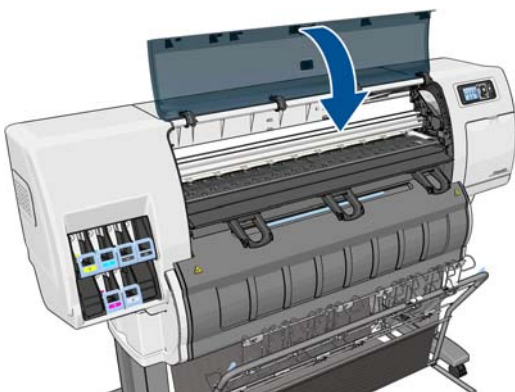
Windows HP-GL/2 ドライバを使用している場合は、プリンタのメモリの問題を解決する方法として、**[詳細設定]** タブを選択し、次に **[ドキュメントのオプション]** - **[プリンタの機能]** - **[ビットマップ形式でジョブを送信する]** を選択します。

注記： このオプションを選択すると、コンピュータでのジョブの処理がかなり長くなる場合があります。

プラテン ローラーからきしみ音がする

プラテン ローラーには、オイルをさして潤滑する必要があります。プリンタに付属の注文できるメンテナンスキットから、潤滑油を取り出します。

1. フロントパネルの 電源 ボタンを押して、電源をオフにします。
2. ウィンドウを開きます。

3. ローラーの横にあるプラテンに、小さい穴があります。

トラブルシューティング

4. プラテンにある穴に、オイルを 3 滴さします。

注記： オイルがプラテンにこぼれないように注意してください。

5. オイルがプラテンにこぼれてしまった場合は、メンテナンス キットに付属の布できれいに拭き取ってください。

6. ウィンドウを閉じます。

HP ユーティリティにアクセスできない

まだお読みでない場合は、まず20 ページの 「HP ユーティリティにアクセスする」をお読みください。

1. フロントパネルで、 アイコンを選択します。
2. ［**接続**］ - ［**詳細設定**］ - ［**Web サービス**］ - ［**HP ユーティリティ ソフトウェア**］ - ［**有効化**］ の順に選択します。
3. プリンタと TCP/IP で接続されている場合は、フロントパネルに移動し、 アイコンをもう一度選択します。
4. 使用している接続の種類を選択します。
5. ［**情報の表示**］ を選択します。

それでもまだ接続できない場合は、フロントパネルの 電源 ボタンを使用してプリンタの電源を切ってから、入れ直してください。

プレビュー待ちの時に印刷ジョブがキャンセルおよび削除される

このプリンタでは、最大 64 ページまでプレビューが保存されます。プレビューするために選択したジョブに 64 ページを超えるページが含まれている場合、65 ページ目の処理がプリンタで開始されると、予告なしにジョブがキャンセルおよび削除されます。64 ページを超えるページが含まれているジョブをプレビューする場合、65 ページ目の処理がプリンタで開始される前に ［続ける］ ボタンを押します。プレビュー イメージは最初のページが処理されるとすぐに準備されるため、プレビュー イメージの確認には十分な時間が必要です。

プリンタ アラート

ご使用のプリンタは 2 種類のアラートを発信します。

- **エラー**：主に、プリンタが印刷できないという事実を警告します。ただし、ドライバの場合は、プリンタが印刷できない場合にもクリッピングなどの印刷を損なう可能性のある状態もエラーで警告する可能性があります。
- **警告**：キャリブレーションなどの調整、または予防保守やインク残量が少なくなっているなど、印刷不可能な状態が起こりうるなど、プリンタが要注意の状態であるときに警告します。

プリンタのシステム内には 4 つの異なるアラート コミュニケータがあります。

- **フロントパネルの表示**：フロントパネルには、一度に最も関連したアラートのみが表示されます。通常は、ユーザが確認して OK ボタンを押す必要がありますが、警告の場合は、タイムアウト後に表示されなくなります。「インクカートリッジのインク残量が少なくなっています」などの持続的なアラートがあり、プリンタがアイドル状態になる場合や、別のさらに深刻なアラートがない場合には再度表示されます。
- **内蔵 Web サーバ**：内蔵 Web サーバ ウィンドウの右上隅にプリンタ ステータスが表示されます。プリンタにアラートがある場合は、ステータスにアラート テキストが表示されます。
- **ドライバ**：ドライバはアラートを表示します。ドライバは、最終出力に問題が生じる可能性のあるジョブ構成設定に関して警告を発します。プリンタが印刷する準備が整っていない場合は、警告を表示します。
- **HP ユーティリティ**：アラートを表示するには、［**概要**］ タブに移動して、右側に ［**Items needing attention**］ (要注意の項目) リストを確認します。

トラブルシューティング

デフォルトでは、アラートは印刷時、およびカートリッジのインクの残量が少なくなっているかなくなっている場合、またはプリンタが用紙切れの場合など、印刷に問題がある場合にのみ表示されます。アラートが有効になっていて、印刷を妨げる問題がある場合は、プリンタが印刷できない理由を説明するポップアップ ウィンドウが表示されます。指示に従って、必要な結果を得ます。

注記： USB でプリンタに接続された Windows コンピュータなどの、双方向通信をサポートしない環境があります。このような場合には、アラートはジョブ所有者に届きません。

20 ヘルプ

はじめに

HP カスタマー・ケアは、優れたサポート内容により受賞経験もあります。お使いの HP Designjet から常に最高の結果を得られるようにサポートいたします。HP カスタマー・ケアは、広範囲にわたる信頼のおけるサポート専門知識と新しい技術で、ほかには類を見ないきめ細かなサポートを提供いたします。サービスには、セットアップおよびインストールのサポート、トラブル解決のための情報提供、アップグレード保証、修理および交換サービス、電話と Web によるサポート、ソフトウェアのアップデート、自己保守サービスなどがあります。HP カスタマー・ケアの詳細は、弊社 Web サイト (http://www.hp.com/go/designjet/) をご覧ください。

HP プロフェッショナル サービス

Knowledge Center

HP は専用のサービスとリソースを取り揃えており、HP Designjet 製品およびソリューションに関して最高のパフォーマンスが得られます。

Knowledge Center の HP コミュニティは、大判印刷に携わる方々のコミュニティです。ご登録いただくと、以下のリソースをいつでもご利用になれます。

- マルチメディア チュートリアル
- 印刷手順
- ダウンロード : 製品の最新ファームウェア、ドライバ、ソフトウェア、用紙プリセットなど
- 技術サポート : オンラインのトラブルシューティング、HP カスタマー・ケアへのご連絡など
- 特定のソフトウェア アプリケーションからのさまざまな印刷タスクを完了させるためのワークフローおよび詳細アドバイス
- HP の専門技術者や他の上級ユーザと直接連絡することのできるフォーラム
- オンラインでの保証の確認。いつでも確認できるので安心です
- 最新の製品情報 : 製品、サプライ品、アクセサリ、ソフトウェアなど
- インクと用紙に関するすべての情報を確認できるサプライ センター

Knowledge Center は、製品に応じて、以下の場所で参照できます。

- http://www.hp.com/go/T7100/knowledgecenter/
- http://www.hp.com/go/T7100mono/knowledgecenter/

購入製品とビジネス分野に合わせて登録内容をカスタマイズし、ご希望の連絡方法を設定することができます。

HP スタートアップ キット

HP スタートアップ キットは、製品に同梱されている DVD です。製品のソフトウェアおよび文書が含まれています。

HP Care Pack および保証期間の延長

HP Care Pack および保証期間の延長により、製品保証をその標準期間より延長することができます。

これらにはリモート サポートが含まれます。必要に応じてオンサイト サービスも利用可能で、2 通りの訪問日をお選びいただけます。

- 次の営業日
- 同じ営業日で、4 時間以内 (一部の国ではご利用いただけない場合があります)

HP Care Pack の詳細については、http://www.hp.com/go/printservices/を参照してください。

HP インストレーション

HP インストレーション サービスは、お客様に代わって製品の開梱、セットアップ、および接続を行います。

これは、HP Care Pack サービスの一つです。詳細については、http://www.hp.com/go/printservices/を参照してください。

HP Instant Support

HP Instant Support Professional Edition は、プリンタから診断情報を収集し、HP のナレッジベースに蓄積された解決策と照合して迅速に問題を解決する、HP のトラブルシューティング用のツールです。

HP Instant Support セッションを開始するには、プリンタの内蔵 Web サーバに表示される［**サポート**］タブのリンクをクリックします。20 ページの 「内蔵 Web サーバにアクセスする」を参照してください。

HP Instant Support を使用するには、以下の条件を満たす必要があります。

- プリンタの接続方法が TCP/IP を使用したものであること。HP Instant Support は、内蔵 Web サーバからのみアクセス可能です。
- Web にアクセスできること。HP Instant Support は、Web ベースのサービスです。

HP Instant Support は現在、英語、韓国語、簡体中国語、繁体中国語でご利用いただけます。

HP Instant Support の詳細については、弊社 Web サイト (http://www.hp.com/go/ispe/) をご覧ください。

HP Proactive Support

HP Proactive Support は、商業用のイメージや印刷製品の使用時に発生する問題を識別、診断、および解決する HP のトラブルシューティング用のサポート ツールです。HP Proactive Support は、HP ユーティリティなど複数の HP ソフトウェア プログラムに内蔵されているので、簡単で手軽にすべての HP プリンタを監視、更新、および最適な状態に保持することができます。

HP Proactive Support の詳細については、弊社 Web サイト (http://www.hp.com/go/proactivesupport) をご覧ください。

カスタマー セルフ リペア

HP のカスタマー セルフ リペア プログラムは、お客様に保証または契約のいずれかのもとで最も迅速なサービスを提供します。このプログラムは、HP が交換用部品をお客様 (エンド ユーザ) にお送りし、お客様にてその部品を交換していただくものです。このプログラムをご利用の場合、お客様が都合のよいときに部品を交換できます。

便利で、利用するのが簡単

- HP のサポート担当者が診断して、不具合のあるハートウェア コンポーネントに対処するために交換部品が必要かどうかを判断します。
- 交換用部品は急行便で発送します。ほとんどの在庫部品は、HP にご連絡をいただいた当日に発送します。
- 現在、保証期間中または契約の対象になっているほとんどの HP 製品に適用されます。
- ほとんどの国でご利用いただけます。

カスタマー セルフ リペアの詳細については、http://www.hp.com/go/selfrepair/を参照してください。

HP カスタマー・ケア

弊社はお客様を支えるパートナーとして、お客様のビジネスを円滑にするお手伝いをしたいと考えております。HP カスタマー・ケアは、優れたサポート内容により受賞経験もあります。お使いの HP Designjet から常に最高の結果を得られるようにサポートいたします。

HP カスタマー・ケアは、広範囲における信頼のおけるサポート専門知識を提供し、常に新しい技術を効果的に使用することで、ほかには類を見ないきめ細かなサポートを提供いたします。サービスには、セットアップおよびインストールのサポート、トラブル解決のための情報提供、アップグレード保証、修理および交換サービス、電話と Web によるサポート、ソフトウェアのアップデート、自己保守サービスなどがあります。HP カスタマー・ケアについての詳細は、弊社 Web サイト (http://www.hp.com/go/designjet/) をご覧ください。お問い合わせに関する最新情報は、[**お問い合わせ**] リンクをクリックするか、以下に示す対応の電話番号にお電話ください。

お問い合わせになる前に、以下を行ってください。

- 本書で紹介されているトラブルの解決手段を再度確認してください。
- 本製品のドライバ付属のマニュアル (PostScript ファイルを印刷する場合、または Microsoft Windows のユーザの場合) を参照してください。
- サードパーティ社製のソフトウェア ドライバと RIP をインストールしている場合は、それらのマニュアルを参照してください。
- 問題がソフトウェア プログラムに関連していると思われる場合は、ソフトウェアの販売元にお問い合わせください。
- 弊社にお問い合わせの際は、お客様のご質問により迅速にお答えできるよう、下記の事項をご確認ください。
    - お使いのプリンタの情報 (プリンタの背面のラベルに記載されている、製品番号とシリアル番号。フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に [**プリンタ情報の表示**] を選択して確認します)
    - プリンタのサービス ID (同様に、[**プリンタ情報の表示**] オプションにあります)
    - フロントパネルにエラー コードが表示される場合は、エラー コードをメモに取ってください。
    - お使いのプリンタの商品名とモデル番号
    - お使いの特別な機器やソフトウェア (スプーラ、ネットワーク、スイッチボックス、モデム、特別なソフトウェア ドライバなど)
    - お使いのネットワーク ケーブルの製品番号と購入した際の店舗名
    - プリンタでお使いのインタフェースの種類 (USB、またはネットワーク)

◦ 使用中のソフトウェアの名前とバージョン

◦ [サービス情報の印刷] を印刷しておいてください。サポート センターからこれらのページの FAX 送信をお願いする場合があります。

フロントパネルの場合 : アイコンを選択し、次に [**印刷メニュー**] - [**サービス情報の印刷**] - [**上記の全ページの印刷**] を選択します。

内蔵 Web サーバの場合 : [**サポート**] タブの [**サービス サポート**] ページにアクセスして、[**プリンタ情報**] - [**全ページ**] を選択します。

電話番号

HP サポートの電話番号の最新リストは、Web で提供しています。弊社 Web サイト (http://welcome.hp.com/country/us/en/wwcontact_us.html) をご覧ください。Web にアクセスできない場合は、以下のいずれかの電話番号までご連絡ください。

- アルジェリア : 213 17 63 80
- アルゼンチン : 0 800 777 HP INVENT、5411 4778 8380 (国内)
- オーストラリア : 13 10 47
- オーストリア : 0810 00 10 00
- バーレーン : 800 171
- ベルギー : (0) 78 600 600
- ボリビア : 0 800 1110、54 11 4708 1600 (国内)
- ブラジル : 0800 157 751、55 11 3747 7799 (国内)
- カナダ : 1 800 HP INVENT
- カリブ海諸国 : 1 800 711 2884
- 中央アメリカ : 1 800 711 2884
- チリ : 800 HP INVENT、123 800 360 999
- 中国 : 800 810 59 59、10 6564 59 59
- コロンビア : 01 8000 51 HP INVENT、571 606 9191 (国内)
- チェコ共和国 : 420 261 307 310
- デンマーク : 70 11 77 00
- エクアドル : 999 119、1 800 225 528
- エジプト : 202 532 5222
- フィンランド : 0203 53232
- フランス : 08 26 10 49 49
- ドイツ : 0180 52 58 143
- ギリシャ : 210 6073603、801 11 22 55 47
- グアドループ : 0800 99 00 11、877 219 8791
- グアテマラ : 1 800 999 5105、1 800 711 2884

- 香港：852 3002 8555
- ハンガリー：06 1 382 1111
- インド：1 600 112 267
- インドネシア：350 3408
- アイルランド：1 890 946500
- イスラエル：09 830 4848
- イタリア：02 3859 1212
- ジャマイカ：0 800 711 2884
- 日本：0120 014121
- 韓国：82 1588 3003
- ルクセンブルグ：27 303 303
- マレーシア：1 800 80 5405
- マルティニク：0 800 99 00、877 219 8671
- メキシコ：01 800 472 6684、5258 9922 (国内)
- 中東：4 366 2020
- モロッコ：2240 4747
- オランダ：0900 1170 000
- ニュージーランド：09 365 9805
- ノルウェー：800 62 800
- パラグアイ：00 811 800、800 711 2884
- パナマ：001 800 711 2884
- ペルー：0 800 10111
- フィリピン：632 888 6100
- ポーランド：22 566 6000
- ポルトガル：213 164 164
- プエルトリコ：1 800 652 6672
- 南アフリカ共和国：27 11 258 9301、086 000 1030 (国内)
- ルーマニア：40 21 315 4442
- ロシア：095 797 3520、812 3467 997
- サウジアラビア：6272 5300
- スロバキア：2 50222444
- 南アフリカ：0800 001 030
- スペイン：902 010 333
- スウェーデン：077 130 30 00

- スイス : 0848 80 20 20
- 台湾 : 886 2 872 28000
- タイ : 0 2353 9000
- チュニジア : 71 89 12 22
- トルコ : 216 444 71 71
- アラブ首長国連邦 : 800 4520、04 366 2020
- ウクライナ : 44 4903520
- 英国 : 0870 842 2339
- アメリカ合衆国 : 1 800 HP INVENT
- ウルグアイ : 54 11 4708 1600
- ベネズエラ : 0 800 HP INVENT、58 212 278 8000 (国内)
- ベトナム : 84 8 823 45 30
- 西アフリカ (フランス語) : 351 213 17 63 80

HP Designjet Online

HP は専用のサービスとリソースを取り揃えており、HP Designjet 製品およびソリューションに関して最高のパフォーマンスが得られます。

HP Designjet Online は、大判印刷に携わる方々のコミュニティです (http://www.hp.com/go/designjet/)。ご登録いただくと、以下のリソースを無制限でご利用になれます。

- ダウンロード - プリンタの最新ファームウェア、ドライバ、ソフトウェア、用紙プリセットなど
- 技術サポート - オンラインのトラブルシューティング、HP カスタマー・ケアへのご連絡など
- HP の専門技術者や他の上級ユーザと直接連絡することのできるフォーラム
- オンラインでの保証の確認。いつでも確認できるので安心です
- 技術資料およびトレーニング用のビデオ。
- 最新の製品情報 : プリンタ、サプライ品、アクセサリ、ソフトウェアなど。
- インクと用紙に関するすべての情報を確認できるサプライ センター

購入製品とビジネス分野に合わせて登録内容をカスタマイズし、ご希望の連絡方法を設定することができます。

最高のパフォーマンスを実現するため、是非、HP Designjet Online にご登録ください。

HP Designjet Online は、日本語、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、韓国語、簡体中国語、繁体中国語でご覧いただけます。

その他の情報源

その他に、以下の情報をご利用いただけます。

- 内蔵 Web サーバから、プリンタのステータス、技術サポート、オンライン マニュアルなどをご利用いただけます。8 ページの 「プリンタ ソフトウェア」を参照してください。
- Linux を使用している場合は、http://hplipopensource.com/hplip-web/index.html を参照してください。
- プリンタの組み立てに関するマニュアル (プリンタに同梱)。

ヘルプ

A フロントパネル メニュー

この付録では、フロントパネル メニュー システムのオプションの一覧を示します。

注記： ファームウェアのアップデートは、メニュー システムへの変更をもたらす場合があり、その場合、この付録はいくつかの点で古くなります。

フロントパネル メニューのよりグラフィカルで最新の図を印刷するには、フロントパネルで、 アイコンを選択し、次に［**ユーザ情報の印刷**］-［**メニュー マップの印刷**］を選択します。

表の表記のキー

[E]：内蔵 Web サーバでも利用可能

[J]：ジョブ キューまたは選択したジョブの状態により異なる

[P]：PostScript アップグレードでのみ利用可能

用紙メニュー

用紙の取り付け	ロール 1 の取り付け	
	ロール 2 の取り付け	
	ロール 3 の取り付け	
用紙の取り外し	ロール 1 の取り外し	
	ロール 2 の取り外し	
	ロール 3 の取り外し	
アクティブなロール紙の選択	アクティブなロール 1	
	アクティブなロール 2	
	アクティブなロール 3	
素材の供給方法の表示		
Change active paper type (アクティブな用紙の種類の変更)	(select paper category and type (用紙のカテゴリおよび種類の選択))	
Paper types list (用紙の種類のリスト)	(select paper category and type (用紙のカテゴリおよび種類の選択))	用紙の詳細を表示
Move paper (用紙の移動)		

[**ロールの取り付け**] では、取り付けプロセスの図が表示されます。これらのオプションは、用紙がすでに取り付けられている場合はロックされています。

[**ロールの取り外し**] では、取り外しプロセスの図が表示されます。これらのオプションは、用紙が取り付けられていない場合はロックされています。

[**素材の供給方法の表示**] では、取り付けられている用紙についての情報が表示されます。表示される情報は、ステータス、用紙ベンダー、用紙の種類、幅、長さ、カラーキャリブレーションです。

[**Change active paper type**] (アクティブな用紙の種類の変更) では、選択可能な用紙の種類のリストが表示されます。このオプションは、用紙が取り付けられていない場合はロックされています。

[**Paper types list**] (用紙の種類のリスト) では、カテゴリ別にグループ分けされたインストール済みの用紙の種類のリストが表示され、それぞれを表示または削除できます。[**用紙の詳細を表示**] では、用紙の種類、カテゴリ、ベンダー、消去可能なステータス、改訂情報、秤量、フォト/マットブラックの使用、および作成元が表示されます。

[**Move paper**] (用紙の移動) では、用紙を前後に移動するための双方向の対話が表示されます。このオプションは、用紙が取り付けられていない場合はロックされています。

ジョブ管理メニュー

前回のジョブの再印刷		
印刷の一時停止 (または再開)		
ジョブ キュー	キューは空です [J]	
	(select job (ジョブの選択)) [J]	情報の表示
		続行
		キューの先頭に移動する
		部数
		再印刷
		キャンセル
		削除

[**ジョブ キュー**] では、ジョブ キューのジョブが表示されます。ジョブは印刷後にキューに残ります。

[**情報の表示**] では、選択したジョブに関する以下の情報が表示されます：名前、ステータス、日付、印刷した部数およびページ。

[**続行**] では、保留になっているジョブを印刷するために排出されます。

[**キューの先頭に移動する**] では、選択したジョブをキューの先頭に移動し、現在のジョブが終了したらすぐに印刷するようにします。

インク メニュー

インク容量の表示	
View printhead status (プリントヘッドのステータスの表示)	
インクカートリッジの交換	
プリントヘッドの交換	
保守カートリッジの交換	
インクカートリッジ情報	View (color) ink cartridge ((カラー) インクカートリッジの表示)
プリントヘッド情報	View (colors) printhead ((カラー) プリントヘッドの表示)
保守カートリッジ情報	
エンコーダ ストリップのクリーニング	

[**インク容量の表示**] では、プリンタのすべてのカートリッジのインク容量が表示されます。表示上で点滅しているカートリッジは、インク容量が少なくなっていることを警告しています。

[**View printhead status**] (プリントヘッドのステータスの表示) では、プリンタのすべてのプリントヘッドの保証または状態のステータスが表示されます。プリントヘッドが保証期間中である場合は、「保証」と表示され、それ以外の場合は、状態のステータスが表示されます。

[**(カラー) インク カートリッジの表示**] では、選択したインク カートリッジに関する以下の情報が表示されます : カラー、製品名、製品番号、シリアル番号、ステータス、インク残量 (ml)、容量 (ml)、使用期限日付、製造元、および保証期限。

[**(カラー) プリントヘッドの表示**] では、選択したプリントヘッドに関する以下の情報が表示されます : カラー、製品名、製品番号、シリアル番号、ステータス、インク量 (ml)、および保証期限。

[**保守カートリッジ情報**] では、保守カートリッジに関する以下の情報が表示されます : ステータス、残量 (%) および製品番号。

セットアップ メニュー

印刷の詳細設定	グラフィック言語の選択 [E]	
	印刷品質	品質レベルの選択
		高精細の有効化
		エコノモードの有効化
	カラー オプション	カラー/グレースケール
		RGB ソース ファイルの選択
		プリンタのエミュレート
		CMYK ソース ファイルの選択 [P]
		レンダリング用途の選択 [P]
		黒点の補正 [P]
		HP プロフェッショナル PANTONE® エミュレーション [P]
	黒のオプション	黒/グレースケール
	用紙オプション	用紙サイズを選択する
		上下の余白を削除
		サイズ変更
		回転
		左右反転の有効化
		切り取り線の有効化
		ロール切り替え
		ロール照合
		用紙情報の印刷を有効にする
		ロール保護
	マージン設定	マージン レイアウトの選択 [E]
	HP-GL/2 の設定	パレットの選択
		パレットの定義
		マージの有効化
	PostScript の設定 [P]	エンコードの選択
		高品質の透明度
		線の幅を狭める
	標高の選択	
素材の取り扱い	乾燥時間の選択	

ジョブ管理オプション	キューの有効化 [E]	
	印刷の開始 [E]	
	ネスティングの設定	ネスティングの有効化 [E]
		待ち時間の選択
		切り取り線の有効化 [E]
		Oversize nested job margin (オーバーサイズのネスティング ジョブのマージン)
	自動回転	
	Max. number of printed jobs (印刷済みのジョブの最大値) [E]	
	ジョブ リカバリー モードの選択	
	Paper mismatch action (用紙の不一致操作)	
フロントパネル オプション	言語の選択	
	画面コントラストの選択	
	ブザーの有効化	
	単位の選択 [E]	
	日付と時刻オプション	View current device time (現在の日時の表示) [E]
		日付の設定 [E]
		時刻の設定 [E]
		タイム ゾーンの設定 [E]
	Enable sleep mode (スリープ モードの有効化)	
	スリープ モード待ち時間	
リセット	Reset encoder cleaning (エンコーダクリーニングのリセット)	
	工場出荷時の設定に戻す	
External hard disk (外付けハード ディスク)	Install (or Uninstall) external hard disk (外付けハード ディスクのインストール (またはアンインストール))	
アクセサリ	スタッカ	スタッカをインストールする (またはアンインストールする)
		スタッカ情報の表示
		温度の選択
		クリーニング手順
	他のアクセサリ	Install other accessories (他のアクセサリのインストール)

[切り取り線の有効化] が、**[用紙オプション]** (個々のジョブに適用される) および **[ネスティングの設定]** (ネスティングしたジョブに適用される) の下のメニューの 2 つの場所に表示されます。デフォルト値は、両方の場合に [オフ] です。

[**パレットの選択**] では、[ソフトウェア]、[パレット A]、[パレット B] および [デフォルト] の選択が可能です。

[**パレットの定義**] では、パレット A、パレット B およびデフォルトのパレットを定義できます。これを行うには、0～15 の間のペンのいずれかを選択します。その後、ペンの幅またはカラーを変更できます。幅は 0.13mm (0.0051 インチ) ～12.0mm (0.47 インチ)、カラーは 0～255 まで変更できます。

[**手動乾燥時間**] では、乾燥時間を 1～1800 秒まで選択できます。デフォルト値は 100 秒です。

[**ネスティングの有効化**] では、[オフ]、[通常の順序]、および [最適な順序] を選択できます。ネスティングを有効にするには、[**印刷の開始**] を [**処理後**] に設定する必要があります。

イメージ品質の保守メニュー

印刷品質を最適化する	
Optimization actions (最適化アクション)	
カラーキャリブレーション	
プリントヘッドの軸合わせ	
イメージ診断の印刷	
素材送りのキャリブレーション	素材送りのキャリブレーション
	拡張精度の調整
	Reset paper advance (拡張精度のリセット)
プリントヘッドのクリーニング	すべてのクリーニング
	Clean (colors) ((カラー) のクリーニング)
カラーキャリブレーションの有効化	

接続メニュー

ギガビットイーサネット	情報の表示	
	設定の表示	
	設定の変更	
	工場出荷時の設定に戻す	
USB	情報の表示	
Jetdirect EIO	情報の表示	
	設定の表示	
	設定の変更	
	工場出荷時の設定に戻す	
詳細設定	I/O タイムアウトの選択	
	SNMP を使用	
	内蔵 Web サーバ	内蔵 Web サーバを使用
		Reset EWS access control (内蔵 Web サーバ アクセス コントロールのリセット)
	Web サービス	プリンタ ユーティリティ ソフトウェア
		色と素材の管理
	工場出荷時の設定に戻す	

［**情報の表示**］では、インタフェースがインストールされているかどうか、IP アドレスが有効になっているかどうか、およびこのインタフェースで印刷が有効になっているかどうかが表示されます。MAC アドレスも表示されます。

［**設定の表示**］では、以下の情報が表示されます : リンク ステータス、IP アドレス、設定モード、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイ、mDNS サービス名、および MAC アドレス。

［**設定の変更**］では、IP アドレス、サブネット マスク、デフォルト ゲートウェイ、およびアイドル タイムアウトを変更できます。ホスト名文字列を表示し、IP アドレス設定方法を [BOOTP]、[DHCP]、[Auto IP] および [手動] から選択することもできます。

［**プリンタ ユーティリティ ソフトウェア**］では、HP ユーティリティの使用を有効または無効にすることができます。

印刷メニュー

デモ印刷	描画デモ印刷
	レンダリング デモ印刷
	GIS マップ印刷
ユーザ情報の印刷	メニュー マップの印刷
	現在の設定の印刷
	使用状況レポートの印刷
	HP-GL/2 パレットの印刷
	PS フォント一覧の印刷 [P]
サービス情報の印刷	ステータス情報の印刷
	プリンタ使用状況の印刷
	イベント ログの印刷
	キャリブレーション状況の印刷
	接続設定の印刷
	上記の全ページの印刷

情報メニュー

プリンタ情報の表示	
製品証明書	
プリンタ ログ	システム エラー
	システムに関する警告
	プリントヘッド
	インクカートリッジ

[**プリンタ情報の表示**] では、製品名、製品番号、シリアル番号、サービス ID、言語、メモリ、ディスク容量、およびファームウェア バージョンを含む一般的なプリンタ情報が表示されます。

B　フロントパネルのエラー メッセージ

状況によっては、フロントパネルにエラー メッセージが表示されます。その場合は、[推奨] 列のヒントに従ってエラーを解決します。

このリストに*ない*エラー メッセージがフロントパネルに表示され、的確な対応が不明な場合は、日本 HP カスタマー・ケア・センターにお問い合わせください。178 ページの 「HP カスタマー・ケア」を参照してください。

表 B-1　テキスト メッセージ

メッセージ	推奨
[カラー] カートリッジの使用期限が切れています	カートリッジを交換してください。48 ページの 「インクカートリッジを取り外す」および50 ページの 「インクカートリッジを取り付ける」を参照してください。
[カラー] カートリッジがありません	該当するカラーのカートリッジを取り付けてください。50 ページの 「インクカートリッジを取り付ける」を参照してください。
[カラー] カートリッジがインク切れです	カートリッジを交換してください。48 ページの 「インクカートリッジを取り外す」および50 ページの 「インクカートリッジを取り付ける」を参照してください。
[カラー] プリントヘッド #[n] エラー：取り付けられていません	該当するプリントヘッドを取り付けてください。53 ページの 「プリントヘッドを取り付ける」を参照してください。
[カラー] プリントヘッド #[n] エラー：取り外して下さい	間違ったプリントヘッドを取り外し、該当する種類 (カラーおよび番号) の新しいプリントヘッドを取り付けてください。51 ページの 「プリントヘッドを取り外す」および53 ページの 「プリントヘッドを取り付ける」を参照してください。
[カラー] プリントヘッド #[n] エラー：交換して下さい	機能していないプリントヘッドを取り外し、新しいプリントヘッドを取り付けてください。51 ページの 「プリントヘッドを取り外す」および53 ページの 「プリントヘッドを取り付ける」を参照してください。
[カラー] プリントヘッド #[n] エラー：再度取り付けて下さい	プリントヘッドを取り外してから同じプリントヘッドを取り付け直すか、電極部分のクリーニングを行います。必要に応じて、新しいプリントヘッドを取り付けます。163 ページの 「プリントヘッドを取り付け直す、または交換するように、フロントパネルにメッセージが表示される」を参照してください。
[カラー] プリントヘッド #[n] は保証期間切れです	試用期間の長さまたはインク消費量のいずれかが原因で、プリントヘッドの保証期間が切れました。『*法律情報*』を参照してください。
[カラー] プリントヘッド #[n] での保証に関する警告です	間違った種類のインクを使用したことにより、プリントヘッドの保証が無効になっている可能性があります。『*法律情報*』を参照してください。
[警告] 内部エラー：プリントを作成できません	このプリンタには、印刷メニュー ファイルはありません。内蔵 Web ファイル経由で印刷メニュー ファイルを読み込んでください。

表 B-1 テキスト メッセージ（続き）

メッセージ	推奨
IO エラー	プリンタを再起動してください。問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。178 ページの「HP カスタマー・ケア」を参照してください。
IO/警告	再試行してください。それでも問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。178 ページの 「HP カスタマー・ケア」を参照してください。
PDL エラー：インク切れ	プリントヘッドをクリーニングしてください。56 ページの「プリントヘッドをクリーニング（修復）する」を参照してください。
PDL エラー：ジョブがクリップされました	イメージが用紙またはプリンタに対して大きすぎます。より大きい用紙を取り付けるか、またはイメージ サイズを小さくしてください。
PDL エラー：メモリが足りません	プリンタを再起動し、ジョブを再送信してみてください。必要に応じて、ジョブの複雑さを軽減します。
PDL エラー：用紙切れ	用紙を追加してください。
PDL エラー：解析エラー	印刷ジョブがプリンタで解析できません。作成し直して、再送信してください。プリンタの接続を確認してください。
PDL エラー：印刷モードエラー	用紙の種類またはジョブに対して指定した印刷品質が不適切です。取り付けられている用紙の種類または印刷設定を変更してください。
PDL エラー：印刷エラー	ジョブをもう一度送信してください。
PDL エラー：仮想メモリが足りません	プリンタを再起動し、ジョブを再送信してみてください。必要に応じて、ジョブの複雑さを軽減します。
[カラー] インクカートリッジを交換してください	カートリッジがインク切れです。カートリッジを交換してください。48 ページの 「インクカートリッジを取り外す」および50 ページの 「インクカートリッジを取り付ける」を参照してください。
故障した [カラー] インクカートリッジを交換してください	カートリッジが故障しています。カートリッジを交換してください。48 ページの 「インクカートリッジを取り外す」および50 ページの 「インクカートリッジを取り付ける」を参照してください。
[カラー] カートリッジを再度取り付けて下さい	カートリッジを取り外し、同じカートリッジを再度取り付けてください。48 ページの 「インクカートリッジを取り外す」および50 ページの 「インクカートリッジを取り付ける」を参照してください。
アップデート：失敗。無効なファイルです。	正しいファームウェアのアップデート ファイルが選択されていることを確認してください。次に、再度アップデートを実行してください。

状況によっては、フロントパネルに数字でエラー メッセージが表示されます。その場合は、[推奨] 列のヒントに従ってエラーを解決します。

このリストに*ない*エラー メッセージがフロントパネルに表示される場合は、プリンタの電源をいったんオフにし、再びオンにしてください。問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。178 ページの 「HP カスタマー・ケア」を参照してください。

表 B-2　数字のエラー メッセージ

エラー コード	推奨
26.n.01 (n には問題のあるインクカートリッジの番号が入ります)	問題のあるインクカートリッジを取り外し、もう一度、プリンタに取り付けます。それでも同じエラーが表示される場合は、問題のインクカートリッジを交換します。問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。178 ページの 「HP カスタマー・ケア」を参照してください。
29.01	保守カートリッジが正しく取り付けられていません。プリンタの右側にある保守カートリッジのドアを開け、保守カートリッジが正しく取り付けられていることを確認したら、ドアを閉めます。問題が解決されない場合は、保守カートリッジを交換します。問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。178 ページの 「HP カスタマー・ケア」を参照してください。
61.01	ファイル形式が間違っているため、プリンタがジョブを処理できません。以下の対策を試します。 ● フロントパネルの [電源] ボタンと、プリンタの背面にある電源スイッチを使用してプリンタの電源をオフにしてから、電源コードをいったん抜き取ります。その後、電源コードをもう一度差し込んで、プリンタの電源をオンにします。 ● グラフィック言語の設定が正しいことを確認します。23 ページの 「グラフィック言語の設定を変更する」を参照してください。 ● プリンタにファイルを再送信します。 ● プリンタのファームウェアが最新版かどうかを確認します。142 ページの 「プリンタ ファームウェアのアップデート」を参照してください。 問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。178 ページの 「HP カスタマー・ケア」を参照してください。
61.04	最新のファームウェア リリースをインストールしてください。142 ページの 「プリンタ ファームウェアのアップデート」を参照してください。
61.08	用紙の種類が変更されたため、ジョブを再送信してください。
61.08.1	ジョブがパスワード保護されているため、印刷できません。
61.08.2	ジョブにエラーがあるため、印刷できません。
63.04	ネットワークカードで入出力エラーが発生しました。以下の対策を試します。 ● ネットワークケーブルがネットワークカードに正しく接続されていることを確認します。 ● プリンタのファームウェアが最新版かどうかを確認します。142 ページの 「プリンタ ファームウェアのアップデート」を参照してください。 問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。178 ページの 「HP カスタマー・ケア」を参照してください。
71.08	メモリ不足。データが失われました。HP-GL/2 および HP RTL ドライバで、[**詳細設定**] タブ、[**ドキュメントのオプション**]、[**プリンタの機能**] の順に選択し、[**ビットマップ形式でジョブを送信する**] を有効にしてからジョブを再送信してください。

表 B-2　数字のエラー メッセージ（続き）

エラー コード	推奨
74.01	ファームウェア アップデート ファイルのアップロード中にエラーが発生しました。以下の対策を試します。 ● フロントパネルの [電源] ボタンと、プリンタの背面にある電源スイッチを使用してプリンタの電源をオフにしてから、電源コードをいったん抜き取ります。その後、電源コードをもう一度差し込んで、プリンタの電源をオンにします。 ● もう一度、このファームウェア アップデート ファイルをプリンタにアップロードしてください。142 ページの 「プリンタ ファームウェアのアップデート」を参照してください。 問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。178 ページの「HP カスタマー・ケア」を参照してください。
76.03	リソース領域がいっぱいです。ハード ディスク リカバリー ユーティリティを使用してください。
77.04	内蔵 Web サーバの内部ソフトウェア エラーが発生しました。以下の対策を試します。 ● フロントパネルの [電源] ボタンと、プリンタの背面にある電源スイッチを使用してプリンタの電源をオフにしてから、電源コードをいったん抜き取ります。その後、電源コードをもう一度差し込んで、プリンタの電源をオンにします。 ● プリンタのファームウェアが最新版かどうかを確認します。142 ページの「プリンタ ファームウェアのアップデート」を参照してください。 問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。178 ページの「HP カスタマー・ケア」を参照してください。
81.01、81.03、86.01	プリンタのウィンドウを開け、ドライブローラーの動きを妨げるものがないことを確認します。用紙が詰まってドライブローラーの動きが妨げられている場合は、用紙の負荷レバーを持ち上げて、障害を取り除きます。問題が解決されない場合は、HP サポートにお問い合わせください。178 ページの 「HP カスタマー・ケア」を参照してください。

エラー メッセージ

C　プリンタの仕様

プリンタ機能の仕様

表 C-1　HP No. 762 インク サプライ品

	T7100	T7100 Mono
プリントヘッド	イエロー、マゼンタ/シアン、グレー/ダークグレー、ブラック/ブラック	ブラック/ブラック、ダークグレー
インクカートリッジ	ブラック、イエロー、マゼンタ、シアン、グレー、ダークグレー	ブラック、ダークグレー
保守カートリッジ	特定の色に依存せず	特定の色に依存せず

表 C-2　用紙サイズ

	最小	最大
幅	280mm (11 インチ)	1067mm (42 インチ)
長さ	420mm (16.5 インチ)	91m (300 フィート)
ロールの直径		180mm (7.08 インチ)

注記：　プリンタでは、名目幅との違い (幅が広いまたは狭い) が 3mm 以内のロール紙に対応できます。

表 C-3　印刷解像度 (Windows HP-GL/2 ドライバを使用)

印刷品質	フォト用紙での最大解像度	レンダリング解像度	印刷解像度
[高品質]	オン	1200×1200	2400×1200 (HP プレミアム速乾光沢フォト紙、HP プレミアム速乾半光沢フォト紙、HP スタンダード速乾性フォト用紙 光沢、HP スタンダード速乾性半光沢フォト用紙、光沢フォト用紙、半光沢/サテンフォト用紙、つや消しフォト用紙) 1200×1200 (その他の用紙)
[高品質]	オフ	600×600	600×1200 (HP プレミアム速乾光沢フォト紙、HP プレミアム速乾半光沢フォト紙、HP スタンダード速乾性フォト用紙 光沢、HP スタンダード速乾性半光沢フォト用紙、光沢フォト用紙、半光沢/サテンフォト用紙、つや消しフォト用紙) 1200×1200 (その他の用紙)
[標準]	なし	600×600	600×1200 (HP プレミアム速乾光沢フォト紙、HP プレミアム速乾半光沢フォト紙、HP スタンダード速乾性フォト用紙 光沢、HP スタンダード速乾性半光沢フォト用紙、光沢フォト用紙、半光沢/サテンフォト用紙、つや消しフォト用紙) 1200×1200 (その他の用紙)
[高速]	なし	300×300	600×1200 (普通紙、インクジェット普通紙、HP プレミアム速乾光沢フォト紙、HP プレミアム速乾半光沢フォト紙、HP スタンダード速乾性フォト用紙 光沢、HP スタンダード速乾性半光沢フォト用紙、光沢フォト用紙、半光沢/サテンフォト用紙、つや消しフォト用紙) 1200×1200 (その他の用紙)

表 C-4　マージン設定

左右マージン	5mm (0.197 インチ)
上マージン (用紙の上端)	5mm (0.197 インチ)、11.5mm (0.453 インチ) (光沢紙)
下マージン (用紙の下端)	5mm (0.197 インチ)

表 C-5　機構的な精度

指定ベクトル長±0.1%または±0.1mm (いずれか大きい方)、気温 23°C (73°F)、相対湿度 50～60%、A0 サイズの印刷物に［**高品質**］または［**標準**］で HP マットフィルムを使用して印刷。

表 C-6　サポートされているグラフィック言語

HP Designjet T7100 プリンタ	HP-GL/2、RTL、CALS/G4
HP Designjet T7100ps プリンタ	HP-GL/2、RTL、CALS/G4、Adobe PostScript 3、Adobe PDF 1.7、TIFF、JPEG

物理的仕様

表 C-7　プリンタの物理的仕様

重量 (スタンド部を含む)	187kg (412 ポンド)
幅	1970mm (77.5 インチ)
奥行き	690mm (27.2 インチ)
高さ	1370mm (53.9 インチ)

メモリの仕様

表 C-8　メモリの仕様

T7100 および T7100 Mono メモリ (DRAM)	1024MB
T7100ps および T7100ps Mono メモリ (DRAM)	1536MB
ハードディスク	160GB
外付けハード ディスク アクセサリ	160GB

電源の仕様

表 C-9　プリンタの電源の仕様

入力電圧	100 - 127 V AC / 220 - 240 V AC±10%、自動調整
周波数	50-60Hz
電流	5A / 3A
消費電力	270W (最大)

動作環境の仕様

表 C-10　プリンタの動作環境の仕様

イメージを最高品質で印刷するための相対湿度範囲	20-80% (用紙の種類により変動)
イメージを最高品質で印刷するための温度範囲	15～30°C (59～86°F) (用紙の種類により変動)
印刷時の温度範囲	5～40°C (41～104°F)
印刷時以外の温度範囲	-20～+55°C (-4～+131°F)
動作可能な最大高度	3000 m

注記：　プリンタやインクカートリッジを気温の低い場所から、気温と湿度が高い場所に移動すると、大気中の水分がプリンタの部品やカートリッジ上で凝結し、インク漏れやプリンタ エラーの原因になることがあります。この場合、凝結した水分を蒸発させるために、プリンタの電源を入れたり、インクカートリッジを取り付けたりする前に少なくとも 3 時間、プリンタやインクカートリッジを放置します。

動作音に関する仕様

表 C-11　プリンタの動作音に関する仕様

アイドリング時の動作音	≤ 5.8B (A)
操作時の動作音	≤ 7.0 B (A)
アイドリング時の音圧	≤ 38 dB (A)
操作時の音圧	≤ 53 dB (A)

用語集

Bonjour
IETF のゼロコンフィギュレーション仕様フレームワークの実装に関する Apple Computer 株式会社の商標で、Apple の Mac OS X バージョン 10.2 以降で使用されているコンピュータ ネットワーク技術。LAN (ローカルエリアネットワーク) で使用可能なサービスを検索するために使用され、当初は Rendezvous と呼ばれていました。

CALS/G4
CALS (生産・調達・運用支援統合情報システム) は、軍の文書を電子化し、関連情報を電子的に結び付けるための米国防総省による取り組みです。この取り組みでは、民間の供給者と電子データを交換するための標準仕様 (プロトコル) が多数開発されています。これらの標準は、多くの場合、単に「CALS」と呼ばれます。CALS 標準は、米国のいくつかの同盟国で採用されています。

ESD
静電気の放電。静電気は、日常的に頻繁に発生します。自動車ドアに触れるとスパークしたり、衣服を張り付かせたりします。制御された静電気には役に立つ利点がありますが、未制御の静電気の放電は電子製品の主な障害の 1 つとなります。したがって、破損を防ぐには、製品を設定したり、静電気放電に敏感なデバイスを扱う際に、いくつかの手順が必要です。このような破損によって、デバイスの平均寿命が短くなることがあります。未制御の静電気放電を最小限にして、このような破損を減らす方法の 1 つは、静電気放電に敏感なデバイス (プリントヘッドまたはインクカートリッジなど) を扱う前に、製品の接地した箇所 (主に金属部分) に触れることです。また、身体での帯電の発生を減らすには、カーペットを敷いた場所での作業を避け、静電気放電に敏感なデバイスを扱う際に身体の移動を最小限に抑えます。さらに、湿度の低い環境での作業を避けます。

HP-GL/2
Hewlett-Packard Graphics Language 2 : HP 社が定義するベクトル グラフィック描画用の言語。

I/O
入出力。デバイス間におけるデータのやり取りを説明する用語です。

ICC
International Color Consortium (国際カラーコンソーシアム) の略語。カラー プロファイルの標準化に同意している企業の団体です。

IP アドレス
TCP/IP ネットワーク上で、特定のノードを識別するための固有の識別子。4 組の整数から構成され、各組はドットで区切られています。

Jetdirect
HP 社のプリントサーバ シリーズの商品名。直接ローカル エリア ネットワークへ接続することが可能になります。

LED
発光ダイオード。電気的な刺激が与えられると発光する半導体機器です。

MAC アドレス
Media Access Control address （メディアアクセス コントロール アドレス）の略。ネットワーク上で特定のデバイスを識別するために使用される固有の識別子です。IP アドレスよりも下位レベルの識別子であり、デバイスは MAC アドレスおよび IP アドレスの両方を持つ場合があります。

Rendezvous

Apple Computer 社のネットワーク ソフトウェアの元の名称。現在は Bonjour と呼ばれます。

TCP/IP
伝送制御プロトコル/インターネット プロトコル。インターネットのベースとなる通信プロトコルです。

USB
Universal Serial Bus (ユニバーサル シリアル バス) の略語。コンピュータに接続するために設計された標準シリアル バスです。

イーサネット
ローカル エリア ネットワーク用の一般的なコンピュータ ネットワーク技術。

インクカートリッジ
取り外し可能なプリンタ コンポーネント。特定カラーのインクが収められておりプリントヘッドに提供します。

カッター
プラテン上を前後にスライドし、用紙をカットするプリンタのコンポーネント。

ガモット
プリンタまたはモニタなど、出力デバイス上で再現可能なカラーおよび濃度値の範囲。

カラー スペース
各カラーが一連の固有の数値で表されるカラー モデル。多くの異なるカラー スペースが同じカラー モデルを使用できます。たとえば、通常、モニタは RGB カラー モデルを使用しますが、特定の RGB 数値セットがさまざまなモニタ上でさまざまなカラーとなるので、モニタはさまざまなカラー スペースを持ちます。

カラーの一貫性
大量の出力でも、またプリンタを変えても、特定の印刷ジョブの同じカラーを印刷する機能。

カラー モデル
数値でカラーを想定したシステム。そのようなシステムの例として、RGB または CMYK があります。

カラー精度
元のイメージにできるだけ忠実な色あいを印刷する機能。色域はすべてのデバイスで限定されているため、特定のカラーについて色を完全に一致させることができない場合があります。

ノズル
プリントヘッドにある多数の小さな穴の一つ。印刷に使用するインクが通過します。

ファームウェア
プリンタの機能を管理し、プリンタに半永久的に保存されます (アップデート可能)。

プラテン
プリンタ内にある平らな面。印刷中に用紙がプラテン上を通過します。

プリンタ ドライバ
生成フォーマットされた印刷ジョブを、特定のプリンタに適したデータに変換するソフトウェア。

プリントヘッド
取り外し可能なプリンタ コンポーネント。対応するインクカートリッジから 1 つまたは複数のインクを吸収し、ノズルの集合体を通して用紙に付着させます。

用紙
書いたり印刷したりすることを目的に製造される、薄くて平らな素材。用紙の多くは、繊維をパルプにしたり、乾燥または圧縮させて製造されます。

索引